古今鍛冶備考

乾

古今鍛冶備考

凡例

○此編ハ世に行はる目巧の書と同しからす唯鉄性の良を知て武夫の最要とせしめん為にまつ鉄砂を吹く大略を首にして造刀の法及ひ研法肉置の規矩を図し従て相劔も古今精稿しさる次第戈論を

○据物の事古今異同ありといへとも今用ゆる土壇の築方竪様の様方等を図し其業の大意を録すといへとも口訣多けれは経け難かるへし いふかるゝ事なかれ

○薩州波平橋口氏ハ本邦巧治の名家なれハ畧系を著して累代正統の其姓四海に貫通せしむ同国他家の系図も次第をなさしめるまに是を載れ其外諸国の巧治も代々續く家ハ悉く系図を乞需るといへとも

数家なりし銘寄乃段に最用乃傳のミ挙て餘ハ闕略に
○古今鍛冶の銘を出るものハ元暦を境に為し以前の巧冶ハ一の
巻乃末ニ至るまて録し以後の巧冶ハ今現在の巧冶に至るまて二三四の巻に
名乗の訓の首字を摭てイロハの仮名字に為し又同字別訓或ハ
同字を音にて呼ものも同字乃部に加へ旁に実の音訓乃仮名を
配し或ハ実訓あれとも音にて呼ものハ俗称に倣ふ是繁に慶をハンケイと
云ふか如し偖又名乗乃下の文字も訓の首字を摭て是もイロハ乃順に
据る故古刀も新刀の次へ出し或ハ父子師弟も逆に出たる有又同銘
数工あるもの次第ハ五畿七道の順に据るものなれハ年代の不順あるし
唯看出し易からしめん為也名乗の音訓いまた詳ならさるものハ混雑に
録せ
○今乃世の通称に倣ひ文禄より以前の巧冶を古刀と唱へ慶長より

以後の巧冶を新刀と唱ふ且古刀ハ圏の印新刀ハ鱗乃印を
冠らせて新古をわかち鼇頭に名乗の首字を置て同訓乃
別字をわかち又年号何の頃と計りいへるものハ大槩盛んに造る
中央乃年号と知るへし業の五等を録したるものハ懐宝剣尺の位列或
わかりに同し良工といへとも、いまた試わらさるものハ附せす追々補ふへし
先哲乃輯聚せられし銘鑑を照し合すれと大いに増補せるもの
凡二百餘工に及ふ此餘遺漏せるもの又多かるへし同好の士これか缺を或
補ひ在所時代等乃謬誤を正さは大幸ならん
○中心押象ハ大凡応永前後より今の世乃巧冶に終り全く本国を
乱して録せすといへとも自国を去り他郡に於て多く造るものハ其所に
出せし銘鑽走り足なとめ或ハ鑢のかけ瀬まても細密に為んと欲
せしかとも摸寫と鐫刀の及さるハ多きを恨む看る人従て辨すへし

○中心押象の郡國の名乃下ニ細書を下にしたるハ其土ニ古今と
なく門葉蔓り一派を興して世ニ知られしもの或通称ニ志るしおいて
録し童蒙ニ便にし是押象ニハ拘らざるところと知るべし

古今鍛冶備考目録

目録終

鍛冶銘索引

(イ)家一(ハ)春治玄張晴流泰繁蓮(ニ)日入仁(ホ)寶卜
堀(ト)友倫朝具知共輌朋侖任才利俊歳年壽時季
刻辰豊富遠東虎同(チ)近親周至及(リ)了力立(ヌ)王
(ヲ)興音往乙(カ)兼包勝景晩量和方標上加岩(ヨ)吉
義善能良賀嘉賢堅慶克美祥膳如懿養覺由珎榮
頼依仍自歸馮夜女(タ)忠但旦督妙爲高貴孝香隆
宮鷹尊武雄著竹種達龍竜大丹(ツ)次繼續綱恒經
常貫鶴(十)永長直尚成業仲中奈南(ム)宗統吉村(ウ)
氏雲梅埋右瓜(ノ)則教法範儀德順憲應信意延宣

江堪陳㋗國軍月㋳安康泰保補㋮正政昌當將匡
雅陜増禮丸希又万松㋘源㋫房英冬藤風諷浮フ
不伏二一佛㋙是惟之伊小㋓越㋢照輝昭鐵傳㋐有
在秋顯觀鑑明章銘誠絡口敦天淡㋚貞定眞實左
西山散サ㋖清淨氷神金菊奇紀喜鬼休㋴行幸雪
進㋯光滿三盈道逼㋛重鎮茂下新心十シ四㋪廣
弘寛門野嚴禮汎久秀衛平兵ヒ彦鬚畫㋲盛守森
林宴護元基本師持用百猛㋝千泉仙㋜助众祐資
佐相典管末純住角

此餘音訓の未詳銘の者ハ混雑の部ニ出す

古今鍛冶備考巻之一

東都　山田吉睦　著

雜録

鐵山略辨

凢土中より生ずる鉄砂ハ山砂海砂川砂の三種あり又砂此色ニも三品ありて出始めの砂の色ハ黒く盛ニ出る色ハ淺黄なる紫終りニ至りし色ハ紫を帯ふ是ハ淡黄色ニ錆をもつなれバ紫色ニ見ゆるなり又鉄砂を洗ふニも上中下の三段あり事繁けれバ省く備鉄を吹く法ハ古今又國所ニよりても異同あり中古天文此頃より蘇る播州宍粟郡千草の鉄山ニおゐて白鋼を吹く法を

刪畧して穴にハ録して先つ鉄を吹く爐、釜を塗立る場所ハ
小高き地を見たて其地の中央に三間四方程深さ八九尺乃穴を
穿ち此穴の中まて柴を焚き土中を焼くる凡六七十日ほとして
おちたる次に太き材木を用て蓋のごとくきわらしく組なから其上ハ
たゝき土乃ごとく基趾をかさめ此蓋の四隅に小さき穴を明て
穴よりる気を漏となり此一下仍外乃廻りに四方折廻し幅六尺ほと
深さハ中央の穴より一段ふかく溝乃ごとく掘り大いさも同しく
材木を用て蓋にかし土を振掛して能かため土積乃水気を抜也
中央乃空口穴の上ハ其中爐を据る場所の両脇へ行する通き
邊に幅三尺ほと長さ二間程に樋乃ごときものを造る是れを船と
呼なり又爐釜の場所へかけ一面に柴を焚き灰を打堅め水気を
去る是を床打と云借又爐釜とも大小種々有れとも大概正面

五尺程の幅にして横幅三尺高さ五尺位なるを大とし先つ塗立る始に
内の廣さハ八寸角程の木を其中に横たへ底は幅ハ此木に倣ひ甚狭く
上に至るほと次第に廣め下釜は塗立成就しぬる上にハ其角木を
抜去るなり夫より中釜上釜と次々に塗立るなり下釜に倣ふ借炉ノ
鉄湯を流し出す穴其面に塗是ハ下釜乃胴中の地形に付て其中へ
一ツ宛穴を穿り此名を本トモと唱ふ又同し場所本トモよりおし高く
上け両脇へ一宛穴を穿つ此名を脇トモと唱ふ各土を以栓と為し
塞き置也又炉釜乃風入穴ハ正面の表裏、釜底へ付け凡
十ヶ所宛或七八箇所も穴を明る尤炉乃大小により其國所の鎔法に
よりて差別あり此穴乃明け加減等ハ猶更棟梁の秘事なれは略す
先つ風入穴十ヶ所なれは丸竹十本悉く節を抜き踏鞴の風口へ
指入れ其先きの方ハ扇の骨をむらきぬくやうにして竹乃先きハ切鐵に

しもて火口へ指也ミ炮釜の風入穴へ火口を配りて仕ため蹈鞴の風口
となる也火口よりまるゝと土を堅め塗置也又蹈鞴辟と云ふもの有
是ハ蹈鞴と炉ハ釜の間乃中程よ辟を塗立炮中乃炎ハ氣を
鎔冶の為ニ通る也釜く成就しより上りて再三火を以て和ニ突成
去る数て新釜の吹りらふハ鉄砂も濡て炉へ納るゝ也是ハいさゝかも水氣
ある時ハ鉄汤速く塊りて鈤鉄（鈤ハナマカ子と呼ぶもの俗ニ不鉄又地鉄と云）多く出来る故よ忌也
初吹の段よ至てハいよく棟梁乃手配り大事よして炭を積上げ
蹈鞴を蹈ミ火を熾よして鉄砂をさんく炉上より納て鎔し鉄砂
とけて湯よ涌る時よ両本トモよ土樋を仕かけ栓を抜き鉄汤を流し
取也是を銑（俗よツクカ子又鍋カ子と呼ぶもの）と称ふ為く流れ出るふ去てさらい焼巾も
火ハ窜よ破られ底ハ大よ廣がり廻りの土落ちハミて本トモの口も埋り
塞りて銑の流れ悪くなりぬる時よ及て両脇トモの栓を抜き銑を

流し取るまで前のごとく炭を継足しく鉄砂も段々納て鎔くれバ自らし
火を強く受る鉄ハ塊り（此塊を精鋼也）次第よ吹するよ従て此鉄塊爐底ふ
為く出来炉上より納る鉄砂ハ勿論汤よ涌と云へとも根トモの口も鉄塊よ
半ハ塞られ流れ出る事衰る頃を考へ炭汁納て吹減し又炭を
納て又吹渇まる事凡三度よしてよふくと吹牽り（始より凡三昼夜吹と云）上釜と中釜ハ
取除け（上中の釜ハ再三用るゆよ取除置也）下釜計り打崩し底よ塊る所の鋼の上ハ面
或釜付の端々ふ垢鉄或吹むらまて含出しある所ハ悉切鏉て去り
大概精鋼汁よして大鑽を用ひ十文字よ四ッふ截り割其まゝ
捨置き火氣の退く後よ其精鋼を折り小家へ轉し送り大槌を
以て大小とふく一塊く打缺て出れ是を四方白又八方白とも唱へ
大よ天下よ行ハる鉄性の善悪を擇ひ易き故也又石州邑智郡
出羽の鉄山りく一法ハ成工夫なし砂吹ハ大凡同し法なれとも炭を

継足く吹るヿ二度にして吹事り前法のごとく下ハ金汁崩し
側に水を湛へ置き其水中へ投こミハシカクふして引出し大鎚にて
下して打砕き一塊くになし是を水入鋼と唱へ天下に行ハるゝ
相同し都て四方白水入鋼ともに打砕く中にハ必靭く子バキ鉄交りて
鉄汁の玉有是をコロと唱ふ勝て良き鋼也備後州よりハ白鋼出羽よりハ
水入鋼を出せしかども近世ハ千州にて水入鋼を製し出羽にても白鋼を
吹出せり其他の鉄山より出せる鋼も此両品に混して吹出しぬるゆゑ
是ハ何の國より出る鋼といふ事ハ刀匠の辨別もへきの最第一也
○鉄山砂吹の法古今精密にして次叙を尋るに往古の砂吹の法ハ
蹈鞴を蹈る事七日七夜と云爐ハ釜とも一重に塗立鉄湯を流し取計
にして是ぞ銑と唱へ此一色の鉄を以萬器を造る尤刀劍及ひ諸乃
刃物を造るにハ鍛冶自銑を研し鋼に吹抜き用ひしも上に云ごとく

銑を流し取るヿ数度に及ひぬるまで炉底に鉄塊出来て湯れ
流れ難き時に至て其場所ハ止め別乃場所へ新に塗釜を塗立て
吹しも也郷に云ふ塗底に塊る鉄ハ七晝夜亦数遍吹抜るゝ故に
靭くして打とも擲ともも鉄きれと不用の物にしてさまゝ棄置し也
今に至て伯州日野郡保暉村印可鋼を吹出せし鉄山ふ往昔此
釜跡也とて大なる鉄塊遺る所有とそ其後此鉄塊ハ精鋼なる事
るヿを知り釜の仕立に工夫をし前條に録せる四方白を吹く
鎔法乃基本にして大凡同し仕かけなれとも七晝夜ハ又たも五昼夜
にして吹を止む是力を用るヿ大に厚けれハ鋼も勝て精密也靭き故
鉄て四方白となせるヿ能ハされハ鉄を以て截り割り打延して出せり是ぞ
延鋼 延鋼ハ精粗混りて塊なるを撰ひわけて打延しものと唱ふ又大水以下の名も云 このなれとも平ままの刀劔ハ造らさりしとそ
其後白鋼或ハ水入鋼ふとを吹くに簾略の法發り又世降て後ハ大に

変化して四ッ鞴と鳴へ炮の表裏へ二挺え鞴を仕かけ十二人かゝりて吹る一昼夜つゝや又近世便利なる天秤といふもの成考へ出し龍吐水を押にぬく二人つゝそ吹るも是も一昼夜つゝや仕法至て省略しぬれど鋼ハ益粗く弥剛く殆ど銑に近く悪きハ鋼に似て精錬からに中古以来良刀造成せさるハ近の拙きゆゑにハ非に鑪乃不良なる故と知るへし

○鋼の俗称大槩

出羽鋼 邑知鑪氏云　千草鑪 宍粟鑪氏云　印可鋼 伯耆鑪氏云　水折鑪　延鋼

山延鑪　鍛鑪　頃物鑪　撰鋼　小間鋼　地小間鑪

目白鑪　作子鑪

○今の世専ら銑の出る所大槩

奥州　但州　因州　伯州　雲州　石州　播州

作州　備中　備後　藝州　薩州

此外諸國より出るといへとも一方品少き故略に

○南蛮鉄

大古渡　中古渡　祖冉　木の葉　瓢箪形也享和年中

鉄までも渡ると云

○異國の鉄と見ゆるハ打返し鍛ふることハなくそのまゝに打延るものと見へたり阿蘭陀外科道具ハアカの如く同しハアカハ南蛮鉄を其まゝに打延しるものや南蛮鉄ハ本邦の出羽鑪より大に堅く銑の如くにして瓢箪形木の葉形何れも鎔に流し入るものなれハ錬して錬する能はハ故なかしつゝ赤めて打延し用るなり

鑄錬鍛挫畧辨　川部正秀 補助

○夫鐵ハ剛なるを以て性とす故に火を用て刺し自在にして刀劔及び百器を造成し火氣退く後ハ本性の剛に復す然れとも火に觸るゝ毎に剛氣ハ次第に弱るなり是を助る法ハ五行をもって四時に土用あるが如し茲に鍛挫と焠との理を以て説を先つ鋼を鍊るにハ泥土藁灰等を以て鐵を塗包み火と氣の淡に金氣を刺さるやう能ハ隔らしむ焠刃も又同じ理にして土を塗付るのハ土と水火氣を淡ふ絶て又土と氣水氣を隔るなれば地となる土ハ去りなる所ハ土氣の助なき故に水火相逆する事甚しくて鋭利の刃となる是火剋金の理推て知るべし

○往昔より刀劔を造るに鑄煉鍛挫の二法ある事和洋ともに同じ鑄法ハ難く鍛法ハ易し鑄刀の法ハ火床の湯涌りに永く保ちて內膨に堅め水氣を能去り鞴の大小に應じて湯も多少なれば分量を積り銑にても鉧小さくも又ハ鐵にても細かに碎きて（往昔より銑汁也）鉄湯りへ納れ炭を多くして鑠すなり尤火床の製し方に法有火口のある位鉄湯り比淺深によりて銑ハ南蠻鐵にぬき湯合に吹かりて剛るとき或ハ銑も鋼も鉧に変し或ハ変せざれども柔かに弱くなり鉧も勿論鐵に吹上られば此の害成るによつて多く和氣なれバ風も和氣とみるて拵るべし火口湯滴りに高低淺深なく鞴も程よく吹て加減甚だるべきハ剛るれバ柔るれバ靭き精密の鉄性となる借(?)一堆(?)りて鐵を鉄溜りより引出し垢を能去り又食出る所ハ悉く打鋏て去りいかにも悪き鐵の混らざるやうになして夫より刀劔の長短にまかひ打延へ象を造るなり是を鑄刀と唱ふ地鉄水晶のごとく一点の肌膚なし事にあらず鑠境の肌出るハ雲の如く煉りても

鐵は生れより又ハ練加減の悪き時ハ二三遍或其餘も打返し
鍛て造る有是ハ自然鍛へ境乃肌所々しとの之鑄法ハ庸工乃
及さる業なれバ應永頃より以来ハ殆と此法ハ廢れて鍛法頻りに
行ハる其後濃州関は和泉守兼定及ひ孫六兼元往古之鑄刀ニ
等しき法乃研し鐵ニ為し鍛へ目ニ垢を合ませて火加減練續を締く
造る妙ニ至るに此二氏ニ于今賞翫せらる次ニ天文頃鐵山より
製して出れ鐵を其まゝ鍛て造る法行ハれて研錬の法も又廢絶を
慶長の頃ニ至て堀川の國廣ハ研鐵ニ為して鍛刀を造る次て
津田助廣研銕ハ兼定を的ニして能製し既越前守助廣と
五字は裏銘ニ以地鐵ハ研造と切しハ鉧を研して鋼ニ為し其上ハ
数遍鍛しものなれバ鍛刀ニ柔なる好し其頃ハ研銕を加て
造る法も行りしに元禄頃より後ハ此等の法も疎くなり行

今の世功者なる刀匠ニ尋ぬれバ法と修行とを合て此二法を再興
有へし

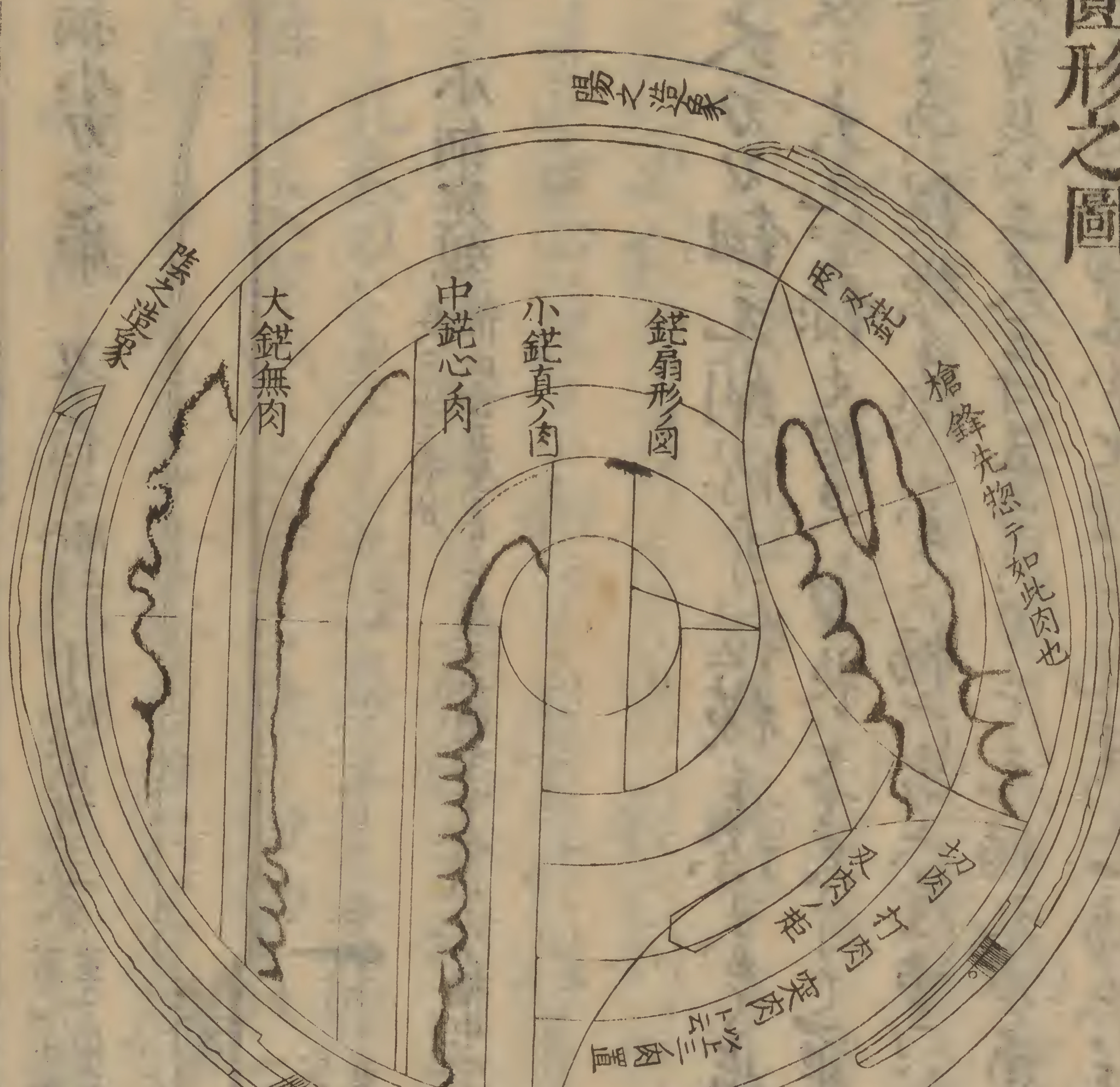
○鍛挫乃法ハ中古以来专ら行ハれし近世益功成鍛境を顕され
精義ニする鍛法ニ於てハ先挫を恥て先ツ鍛法乃大概ハ一ト鍛々し
鋼ニ四百目程挺の先へ鑠し付泥土ニ藁灰を塗包ミ鑠し加減ニ
過不及なく鎚か互ニ精を合せ〳〵みなく三方より挫て打延へ
真四角ニ幅狭く打延し扨折返し度毎ニ合口ニ為んと思ふ一方ハ
横ニなし上ニ而し鐵鉗へ付れ鏡乃肌のごとく打延し其上ニ小鎚ニ水を
そゝきて火肌鐵肌を能く去り一點の攫なきやうニ強く鑢しおし
中ニ真ニ象を付け其裏の先ハ刃へ割鎖を以て横ニ切目を入れ鉄鉗乃
向ふ角ト へ付小鎚を以て無理なく二ツニ打曲け柾目の方より大鎚を以て
三ツ四ツ打せ又小鎚ニ水をそゝきて能く鑢し泥をかけ一ト鑠して引出し

又上に云ごとく鍛錬して後打返し鍛する遍数ハ十四五より廿遍限
よしとす是より尤鉄性に逆して打数大に加減あるものなれハ精錬成
択ひ生鍛に数遍打延し鍛ても良なり最初錬を白く焼て
打延しぬれハ崩るるも崩れさるも両品あり崩るる錬ハ鉄の寄ありて
剛過き刃コボレ折易く刃弱くして下品也崩れさる錬ハ能熟したる
精錬なり故に刀剣に鍛て刃色白く潤ありて打難く物も通り自然
上作の位あり去なれともフクレ出易く肌寄あらくなるものなれハ此錬を
能製し覚るか肝要也唯鉄中に錬肌泥糟のあらさる仕法にして
前に錬するぬく打延しの合口中高なる時ハ鉄肌泥糟左右へ
飛去り瑾ハなくとも肌も出るものなし鏈し方粗略にていさゝか窪ミある
ある時ハ泥糟とまり或窪ミの廻りより先きへ錬付て中に風残
合てフクレと成り或鉄肌泥糟残て種々の瑾となるもの也ハ針れ

先もて突さる程の小瑾も打延ゆゑ大きく大なる瑾と成る故に大小の
鎚の小口ハ釘目を研去り銭鉆乃向ふ面ハ（ひらた）如此作して打返れ時
強く打て鉄鉆に当り合口に瑾出付るを恐るゝ又鉄肌乃放まさる
痕まも泥糟といまり瑾よならねとも弱り銭と成締り悪く焼刃も
さえやかならすを所謂鍛へ殺しといふ是也又箸鍛と云ハ鍛冶鍛ふて
錬を挟て鍛するを云是ハ跡先ずつ元挫し鍛て中より折曲けてハ
打延しをつ挺鍛に同し何れにても同しことを良とす又灰汁鍛と云有
是ハ金氣乃助け薄けれは説れ物延鋼白錬水入錬或銑鉧
ともに砂吹の時剛く吹かかりたる銭ハ火に速く刺されて柔らかに吹
かかりたる銭ハ遅く焼さるものなれは火加減の大際ハ都て錬色を
見て規矩とし又其上に物よく通り折難き太刀ハ剛柔兼備し
鍛き銭合なれは火中乃加減至て難し上古は良冶乃造りし

刀劔ハ遠く此加減備る事奇也といふへし其妙所を考ふるに
修行の熟せる所より出る良法と法より出る奇術と二ッ有既
相州乃五郎正宗ハ此技に抽んて獨天下に賞譽せらるといへとも
自ら安んせざる宇内を周行して長少となく同技の存する所を求て
師として其蘊奥を究む其志厚きを感ずへし今乃刀匠古き
良法を忘れたるにより法にさされ術行怠るへし法と術とを合
されハ良刀ハ造り難く心ハ正直を本とし身ハ潔精を先とすへし
○右に出せる所の圓形の圖象ハ往昔より秘せる禮地なく此圖なれハ
圖を大に拵して法をなすへし

圓形之圖



平造菖蒲造
冠落長刀
十文字鎗横手
都テ圓形之
圖ヨリ出ルナリ
血漕ノ撥始メ
留メ共ニ相同シ
事繁キ故ニ
圖象ハ畧ス

小柄小刀之矩　刄長四寸 内壹寸関上　中心貳寸五分 宗ノマチ際五厘程下ケ中心ノ重子図ノ如ク薄クスルナリ　幅三分五厘



宗ノ厚サノ図也
重子肉合ノ図

小柄定規 長三寸貳分 幅四分五厘ヨリ七厘ニ不過モノナレハ小刀ノ幅中心ノ長サ可考計

○太刀刀鎺元関際より鋩横手際に至て歩合を落すに規矩有
爰に大凡を録すれハ刃長サ壹尺にして関際の幅ハ八分重子ハ二歩に
造ることのハ鋩横手際に至てハ幅六歩六厘重子ハ壹歩六厘に摺立るや
或ハ刃長サ二尺三寸五歩乃刀にて元ト幅九歩重子二二歩に造る刀を
横手際乃幅五分七厘壹毛重子ハ二歩六ハ毛に摺立る也都て刀の長サ

壹尺に付て幅ハ壹歩四厘落し重子ハ四厘落すの割合也此歩合の
定規を以何尺乃太刀を造るといふとも釣合恰好勝て佳也打刀乃
寸尺長短ハ其主乃身の大小力の強弱にしたかひて相應の寸尺を
用ゆへし打應よりも短く軽きに利有反りハ其流派に働ふて得失哉
為へし然れとも腰反を佳とし反り恰好よきものハ鋩乃利よく馬上
にてハ猶更利あり反りなきものハ鋩の利き何しく餘り反深きも又
何しき也中心ハ短きに利ありり目貫穴ハ往昔のなく長きを良とせ
近きハ手の裏へ響なくや其餘幅重鋩乃大小ハ其主の好に應し
為し凡太刀ハ是上して九徳歩立まて十徳といへり
○焼刃ハ火加減の大事百錬の功勤も此一時に在る也火に燥き
水に淬くまて木火土金水乃五行各徳を厭し錢を害せし焔刃
全く備り沸も匂も此錢性にしたかひて顕れ敏利の刃となる

又火加減高きにもそ烱刃の成就しうるハ五行各徳乃所るゝ藥の称よき
ゆへ中をゐて金氣満ち沸粗く所ハ世に云ふ白ひ計まく良刃と
なるに又火高よして粗沸出ることハ鉄性よりて也備鑄刀鍛刀ともに
鉄乃性に應して烱刃ハ火加減を量り火床より引出し水舟へ入る間も
遅速乃加減有其大略ハ縵理刃ハ速く亀文刃ハ遅きんの規矩也
志かれとも多くハ加減を仕損し五行のうちに勝敗出来て鉄氣を害ふ
ゆへに刃味不良也其ハ甚きに至てハ疵刃に陥ることの多し唯烱刃ハ物を
截断する為に刃の鉄を堅むる法なれハ刃文ハ華美ハ勢して功なし
といへとも武威を輝けは均しけれハ敢て悪むへきにハあらされとも鉄合ハ
堅ゐをるハ烱を入れしてれるとのあれハ幅廣き刃文ハ猶更刀匠乃んを
用ゆへきこそ最第一也

九峯先生遺稿撮抄

○上古ハ研磨も刀匠の業なりしとそ研ハ肉合第一よしらく其
刀剣は鉄合よ従て肉置の差別ありて大意ハ前乃図のかし備拭ひを
入れ磨きせかけるハ枝末也是ハ形容の美を飾るにひとし敢て実する乃
用なし近世刃肉及ひ刃を出合せる仕法ハ粗く容貌を形る仕立乃法に
精く成り研上けるまゝにて物は切るも刃に仕立る心ハ更よなき故に
人毎よ根太ハ刃は合せされハ切れ悪きとのと思ふハ誤也志かれとも
此風因循しぬれハ根太刃を細く合せて帯ひへし根太刃は合せハ法ハ
先ッ常見寺砥よて刃をよく居へ夫より名倉砥よかけ其上ハ合せ砥は
篤と研きいりよも刃まへを細かに鑢まて刃は出合を考て合せ込むへし
ほうちに差別あり鉄合堅きと脆きとのハ水をひく砥汁は少くして
名倉砥限りよ合せ込むも合せ砥をかけれハ切れ悪しけれハとて常見寺
乃砥目ありては切きれしきとのや又剛柔持合ひ靭き鉄合のとのを

刄を廣くかけ砥汁を多くして合せ砥を以て合せ込む程刄味
勝て良なり

○凡刀劔を研究る業は本阿弥家の司る所也始祖は足利尊氏
に仕へ研磨相劔して名ありて菅原姓にて妙本と称す
其裔今に至る迄数百年其傳を受継き其業を失はず故に宇内の人
皆此家に輻湊して刀劔作人の真偽及び其位を究ることを需め
是を信ずること神の如く恨らくは其傳他へ洩ることなし故に世々
刀劔を好める武夫相劔の臆説を吐て大に惑を生せり往昔は相劔も
刀匠の任にして鐵性の良き歟撰ぶことのみとぞ既に承元中
後鳥羽帝番鍛冶の業を集らせ鐵性の利鈍を　鳳論ありしと云々
又正和及び文明頃に降りても相劔に名ある士に命じて良き刀劔を
擇ばしむ然るに世降りて後は鐵性刄味の優劣をば究ることを難くなれ

先哲の撰び置ける刀匠の銘出来ありとなきを見知る為に唯眼に
附る鍛へ目等に名を付け柾目板目或は肌膚或は焔刄の文品
鋩の形像沸匂等の品目に心眼を凝し更に規矩を備へ最第一
に法理を精く穿鑿して見覺る事に成降りより是刀劔古今の
造法と鐵性の利鈍をおのづから離れきたりてあるべしは因循して
世々の目利者偏怙ある愛憎の臆説を吐く衆人是が為に眩き唯
義賞の銘のみを好み実用の取失へり是目利の公平ならさる故也
呂氏春秋曰使人大迷惑者必物之相似也玉人之所患患石
之似玉者相劔者所患患劔似呉干者呉干呉之干将若迎賢主之所患
患人之博聞辯言而似通者通達亡國之主似智亡國之臣似忠
相似之物此愚者之所大惑而聖人之所加慮也と云々鐵性を
わかる傳は疎く唯眼に尚る所の容貌を知る傳に片向て修行せる

故に似て非なるものをわかち難し夫れを相るものハ刀匠より先に出る
ものなし然とも中古より刀匠と研磨と目利と三段に分りて以来ハ
鉄性を能く會得したる刀匠も又稀也今の世是を辨知せざるハ
刀匠ハ自己乃造れる物も上作の域に至る事なし目利なき刀匠ハ必
上工にハ成難し又武夫乃目利ハ鉄の良を知て足るべし其傳
深長にして弁き難けれとも先ッ刃業兼備し勁き鉄合なる業
刃中に次第有刃乃内碧色を含ミて白くいかにも刃のかね締りて
艶能く地かねも金と寒所ハれ山の端に月乃匂ひのさしかゝるが如
いづる古歌の心なりて自然物ふかく潤あるを最上とす其次ハ刃の内
赤らまずれとも碧色なるを良とす又地鉄もうるみ蝸刃も沈みて刃
黒く見ゆる刃にても物の能切るゝ有是鉄の垢ハあらされども火加減
よく金気の満たる故也或ハ地刃ともに能く締り刃文浅さも好けり

一ト條言ふ鉄良く見へて切れあしく折易きものなり或ハ切れよけれとも
折易き鉄合有此等ハ大小差ありて一篇に説く盡さるにあら
ねとも極意ハ金之氣乃満さる故と知るべし此論ハ金ハ火乃力を
かりて精粗を發しぬれと火の軽る時ハ金氣満る火乃過るときは
剋されて金氣弱る也火加減法のごとく能とゝのひ金氣乃満る
ものハ地鐵乃精粗ハ拘らず物能通り折難くいきて曲る鉄合乃
良刀となる故に太刀にてもことく延て折るゝことのなし或て折る或
ものも能ゝ辨知すべし

○炮しものを忌む理を試るに先ッ鋼を打延し火中へ入れ燒成る
して水に淬き借鎚をもつて打折ぬれば缺口あらはれそ粗き土塊乃
碎け目のごとし脆くして世に甘きと云鉄合ハ是也砂の如く焼を
遂して粗く成りたる鋼或又火に焼き鎚をもつて四方より錬し充打を

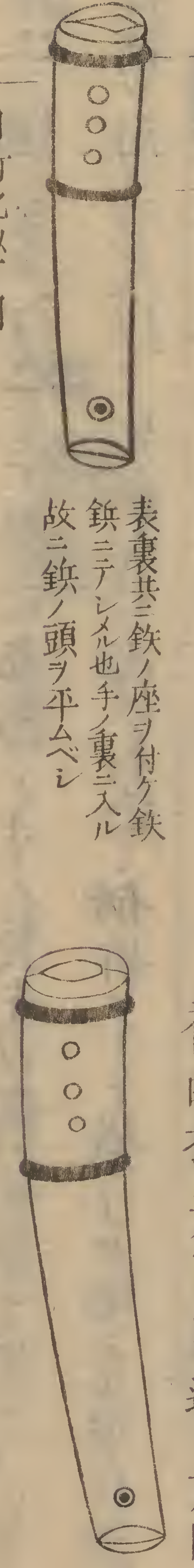
して錬締め此度ハ火加減程よく燒き水に淬きて打折
ぬれハそげる事味に打ても其缺目瑠璃色銭合ニ精密なる
る事玉の鉛口乃如し銭合細くして潤ひあると云ハ是也図より
銭ハ火に焼きたるときハ寛にいろくろのあれハ鎚を用て打堅
むる故に銭締りて精密ならざる也焔し物ハ鎚おさ為さば再三
素焼せしまでなまもえ用に立さるを推知る可し

○種乃事ハ諸書に詳にして用捨の論も又盡せり唯怖る
處きハ折易き金と柔かなる質なる金なれハよくよく辨知るべし

○截断柄之圖

附同仕懸之圖

柄木ハ樫ヲ用ヒ中心ノ櫃穴ヲ廣ク穿ツ凡ソ丈ハ八寸位長キハ壹尺二寸位ヨリ五寸ニ至ル双宗ハ壹寸七分ヨリ二寸二三分也柄先ヲ握ルモノナレハ先キノ歩合ハ其人ノ手ノ裏締リヨキ程ニ細ムヘシ



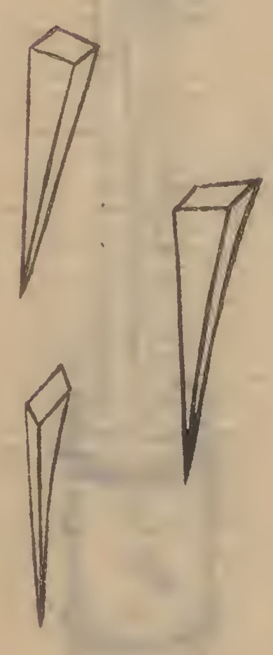
截断柄ノ大ナル圖造リ方同上

目釘



目釘ハ鋼ニテ造ル尤ナマレ鉄也

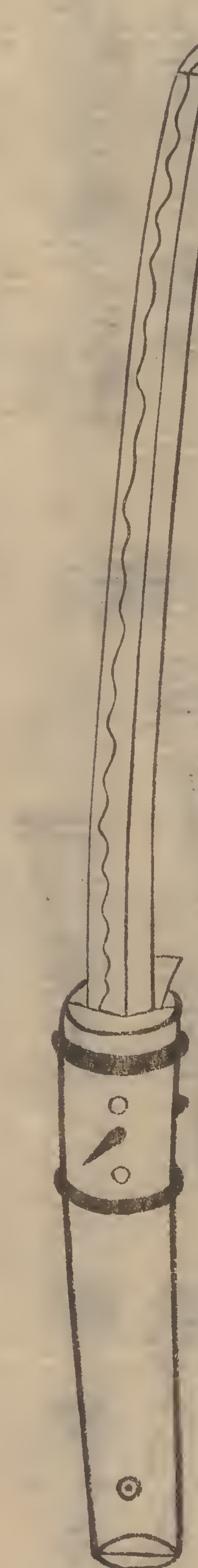
楔



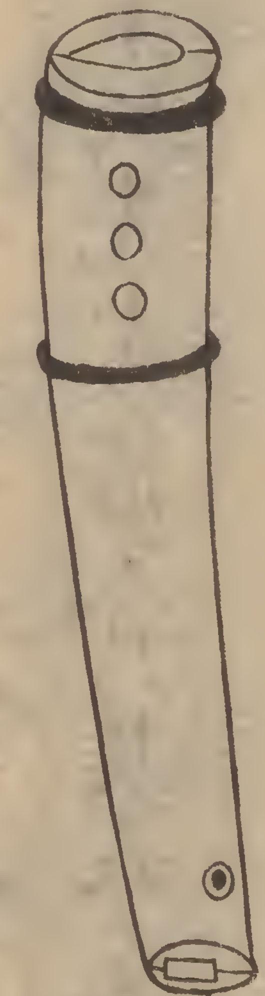
楔ハ檜ヲ用ユ大中小数多用意スベシ

刀剣仕ハメタル圖

如圖柄ノ目釘穴三ツノ内ヘ刀剣ノ目釘穴合フ所ヲ透シ視テ目釘ヲ打チ柄ノ鯉口ニ楔ヲ多ク打込ミテ堅ムル也都テ寸ノ長キ刀剣ハ短柄ヲ用ヒ寸ノ短キハ長柄ヲ用ユ壹尺以下ノ短劔ハ楔ヲ深ク打込ミ柄折レナキ様ニヨク堅ムル事口訣

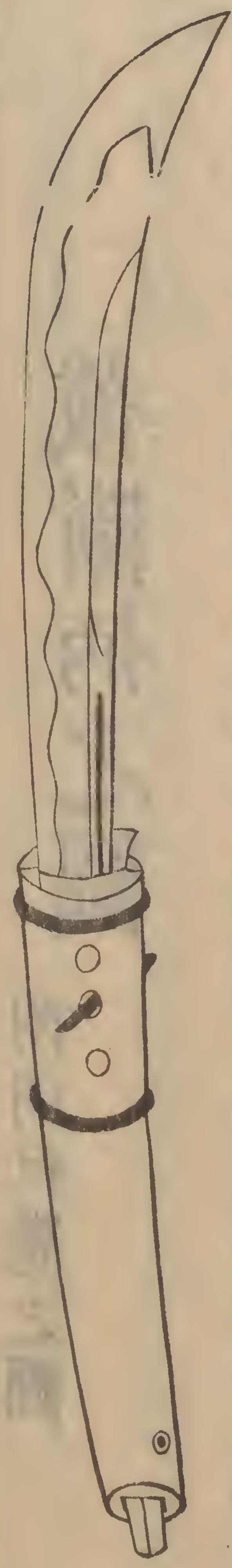


薙刀截断柄如圖
前ノ柄ニカワル事ナシ



薙刀ハ中心長キモノ故ニ
柄ノ先迄櫃ヲ穿ツ也

薙刀仕ハメタル圖



中心先柄先キ迄貫キ出ス故ニ鋲ヲ備テ打チ櫃穴ヲ除ク也

鎗據柄之圖 附同仕懸之圖

樫 上品ヲ用 丈九尺或ハ壹丈 太サ持鎗ノ柄ニ變ル事ナシ

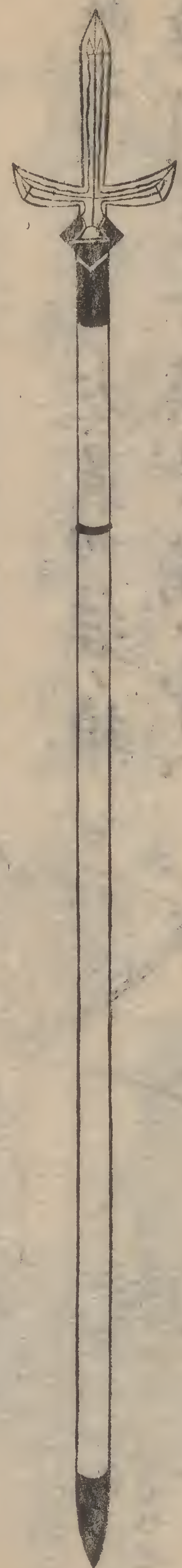
金物鉄也石突モ同

中心櫃長二尺余



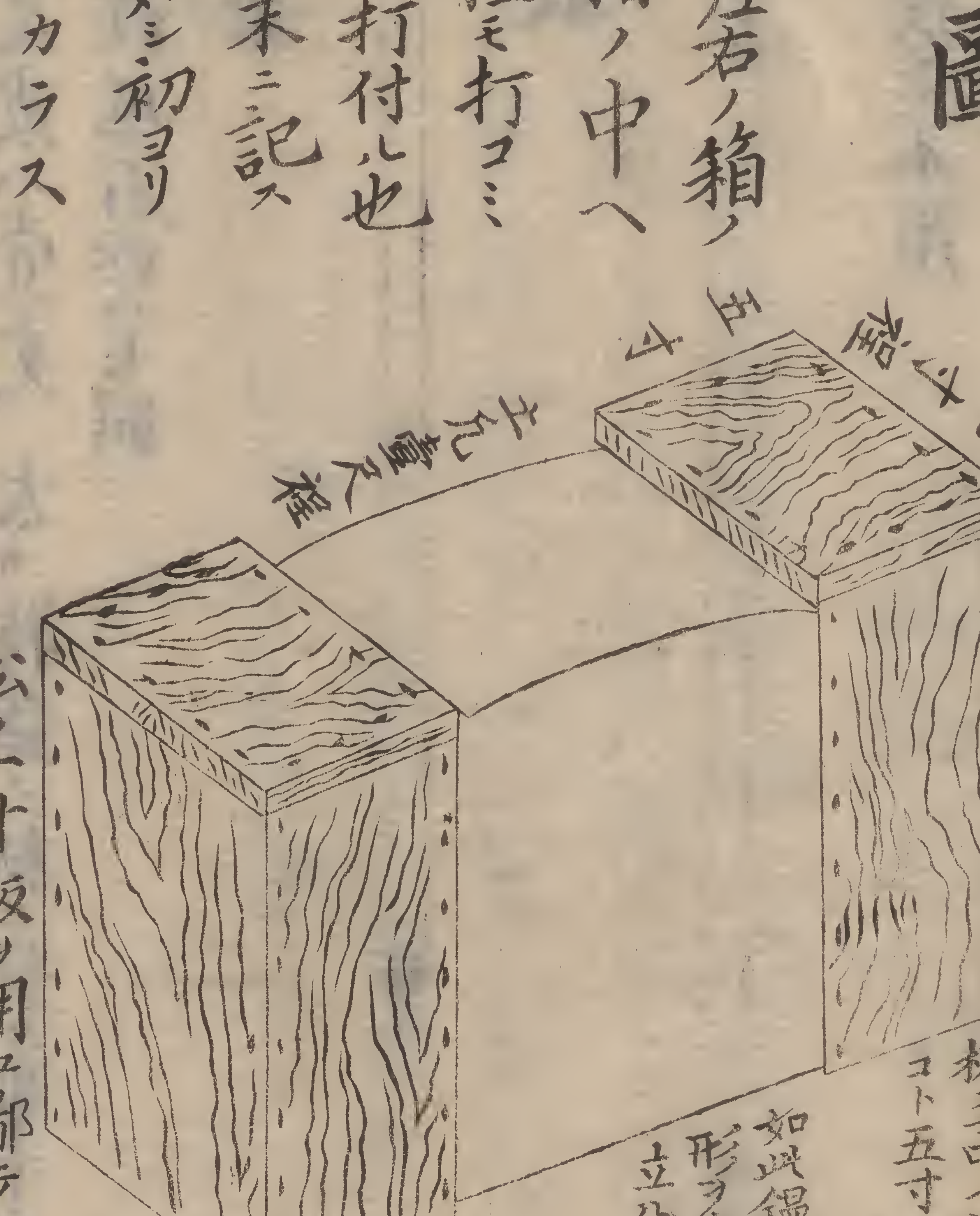
鐔 鉄

目釘無シ楔モ不用



稽古土壇之圖

此土壇ノ製シ方ハ最初左右ノ箱ノ蓋ハ打付ズニ土ヲ築立テ箱ノ中ヘ栗杉ノ類ノ丸木ヲ二三本程モ打コミ土ヲイカニモ堅ク詰テ後蓋ヲ打付ル也土ノ製シ方ハ本土壇ニ同シ末ニ記ス土壇刀ノ切刀モ柄モ前圖スルカ如シ初ヨリ手ニ合サル重キ刀ハ遣フヘカラス修行ノ募ニ従ヒ大刀ニセリ上クヘシ

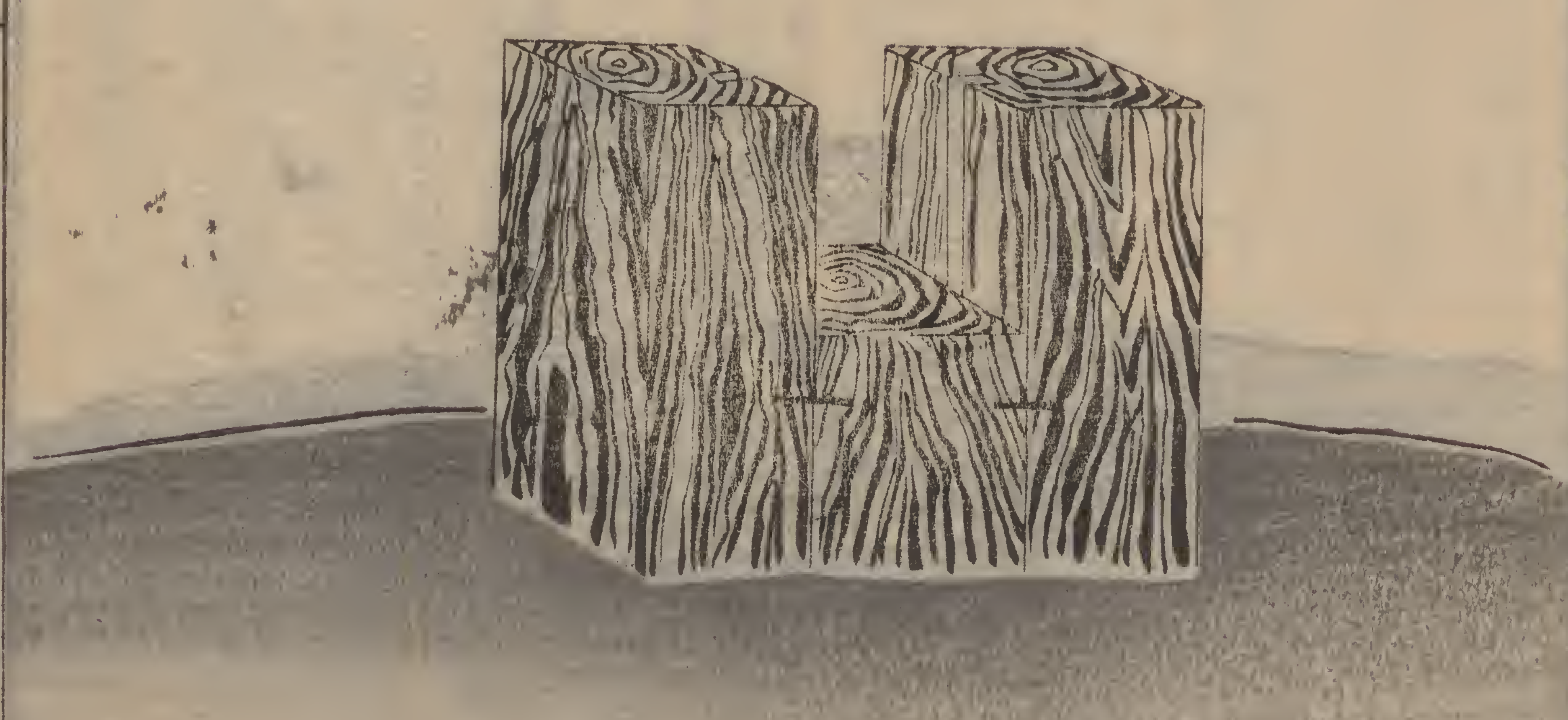


堅物据方之圖

臺ハ杉檜ヲ用ユ大サ規ナシ土中ヘイケ込ミ五寸ホト高サ本土壇ニ倣フヘシ

鋳ノ板カ子ヲ圖スル所ノ溝ヘ竪ニ仕ハメテ截断ナリ

兜ノ鉢ハ丸木ノ木ロフ鉢形ニ削テヨク馴染ヲツケ兜ノフレサルヤウニ結付テ截断ナリ都テ何ニテモ此法ヲ用テ考ヘ据スヘシ堅物ハワケテ動サルヤウニ仕掛ル丁肝要ナリ動クトキハ大ニ刃ヲ損サスユヘ念ヲ入ルヘシ



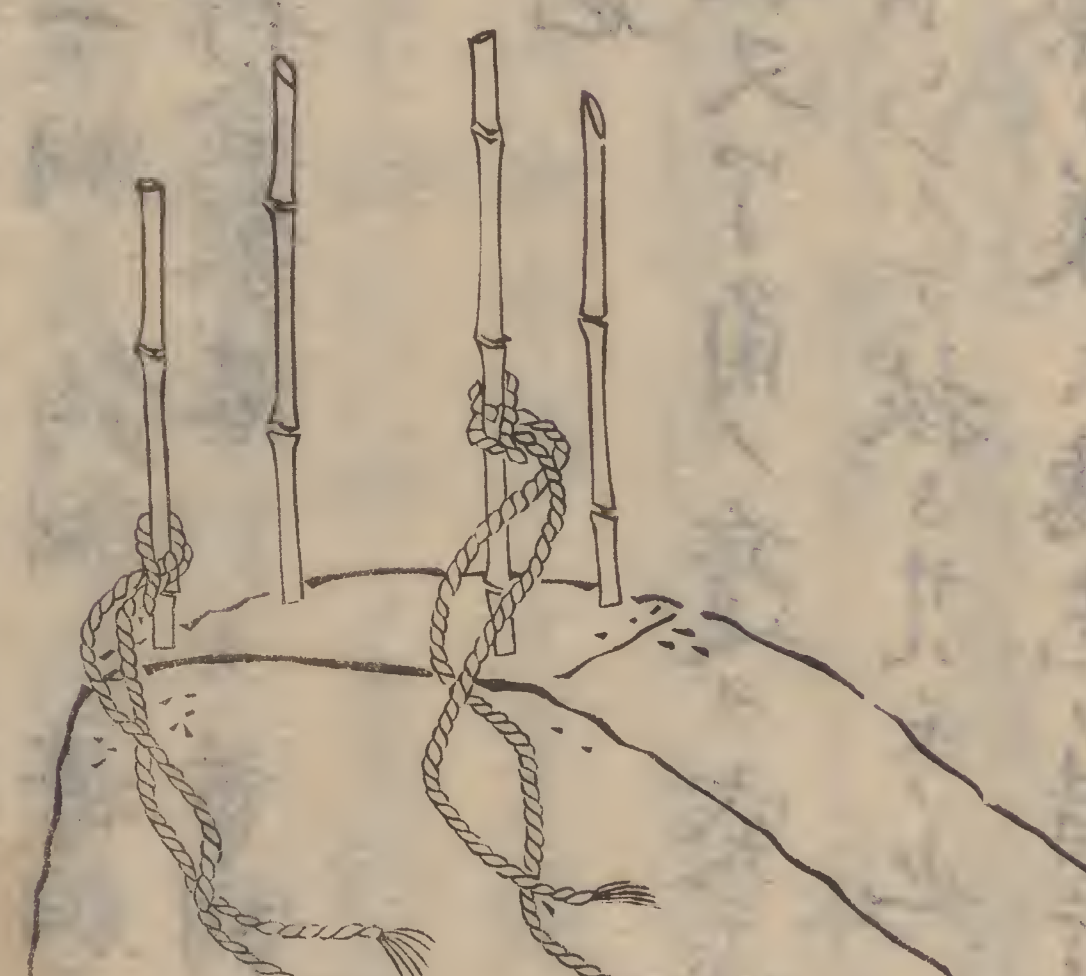
槍様ノ臺ナリ板鋳ヲ平ニシテ溝ヘ仕ハメ圖スル所ノクリ貫ヘ突通スナリ



土壇之圖

○砂ト眞土ヲ半分交ニシテイカニモ細カニスルヒヨク煉合セテ圖ノ如ク堅ク築立ルナリ偖据モノハ向ヒテ左ノ方ヲ首ニ為シ背ヲ正面ノ方ニ向ケ眞横ニシテ太刀ヲ打込ム箇所ヲ土壇ト透間ナキヤウニ仕カケ動サル為ニ圖ノ通竹ヲ前後ニ建ル是ヲ挟竹ト唱ヘ前ノ竹ノ縄ヲ後ロノ竹ニカラミ据モノヲシカト〆ルナリ大概此圖ニテ考フヘシ

○截斷スル名所ハ懐寶劔尺ノ附言ニ



録ストイヘトモ遺漏ヲ補テ再ヒ爰ニ出ス

太々　両車　雁金　乳割　脇毛　摺附
車先　一ノ胴　二ノ胴　三ノ胴　釣胴　拂胴
重胴（仕掛方口訣有）　袈裟　行合袈裟　首割
足袋形（踝ヲ片手打ニスルヲ云）等也

○小脇指ハ胸肋ノアタリヲ刺テ擬ス也

○素槍ハ首ヲ鍬ノ背ニテ押ヘサセ額又ア角ノ邊ヲ突テ返疾キヲ良トス肉置ノ悪キ穂ハ喰ヒシメテ抜ケサルモノ也

○十文字槍擬方直槍ニ同シ両鎌ヲ擬ニハ穂先ヲ持片手ニテ眉間左右ノ蟀谷ヘ打コムナリ

○前圖のぬく截断柄を仕ため先ッ土壇ニ向ハ其刀劔ハ長短ニ従て己ヵ體の居所の離間を究め向ハ八文字ニ肩幅位ニ足蹈して截断との箇所を見定め借柄を握るニ左右乃偏締りなく太刀を冠りて體を居り沈ミ肩を落し両肱をむつくりと張り貝売骨を合せ下腹を張り腰ニ力を入て氣海丹田ニよく精神を盈し先唾を呑ミ呼吸を定て口を結ひ息を詰め夫より氣と體と共ニおちつくと伸ひ上り十分満るとき踵まて上る是皮肉の伸也此上一締り上乃伸を神心の伸と云文鈎合の伸とも云也是ハ皮肉乃伸十分ニ満て體ニ伸る有餘をなすともきりくと締て一位上の神と氣乃伸る術の至り也其調子取ていつさくと穿なく真直ニ打落し太刀の土壇へ打込ミ截れ止りても氣體ともニ崩れぬ息の餘るニ第一也是を残心とも云哉と

太刀は落て物に中る時ぐつと息をつきて手體も共に崩る時ハ手の内狂ひ良刀も刃を損さし或ハ通る處も刃もかくるゝ截断鈍きと有是平吸と手體のおさまる處を知るべし武人云ることく有初め截断鈍かりし刀を後に刃を付直して截断しもよきには能通りて勝れる業合に成りし物あまたれど様と云ことハ其時宜によれど述ことを為し難しと云ハ此等の論居物の道理を辨へざる妄説にして大に初心の疑惑を發を媒也勿論鈍刀は良刀に變る理なく唯刃肉の善悪と其人の手體の盛ると盛ざるとの訳なり前にも云ごとく神心の直なる術にして其刃物は力量一杯にして截断るを旨てなすべし必疑惑を生ずべからず

薩州谿山郡波平橋口氏略系

薩藩　家村仲右衛門住堅　川南門　治盛行　挍

○**正國**　本國大和永延比又云兼元之比　薩州ヘ来リ波平ニ住

行安　正國子寛治比

行安　行安子父同銘ニ打

安行　行安子正和比　恐ハ兼安ノ誤カ

安行　安行子父同銘ニ打

安宗　永禄比○安行ヨリ安宗迄　系圖不詳

安張　橋口石見守入道壽菴文禄慶長中太守義弘公ニ随テ朝鮮国ヘ渡海シ刀劔ヲ造成ス

安行　稱橋口三郎兵衛延寳比大和守波平安行ト銘造法ヲ父安張ヨリ傳統シ又伊豆守正房門ト成相州正宗ノ造法ヲ得タリ延物或ハ三枚合ヲ造ル

伊兵衛　安行男乃非冶工

安周　稱橋口四郎左衛門造法ヲ伯父安国ヨリ受ク元文比

安正　安行二男始安吉ト打　稱橋口兵右衛門元禄比

安元　始橋口長兵衛後稱兵右衛門

安國 安行三男始橋口四郎兵衛後稱三郎兵衛波平大和守安國ト打享保比

安常 始安和ト打稱橋口四郎兵衛寶暦明和比

安在 安國二男稱橋口山助

安住 安行一男稱橋口助右衛門

行光 安周男稱橋口四郎左衛門寶暦明和比

行先 稱橋口助次郎

安廣 安正二男始安當ト打稱橋口清左衛門

安行 始安州又安氏ト打稱橋口勘之丞享和二年ヨリ薩州波平 安行ト打

安好 稱橋口勘助

安明 安元男始橋口伊兵衛後稱平覺安永天明比

行周 始行高稱橋口四郎右衛門

同國九田氏畧系 附門人

○**氏房** 九田備後守藤原氏房後入道シテ号道與薩州鹿兒府ニ住本國濃州若狭守氏房門人也自天正至慶長

氏房 稱九田惣左衛門慶長元和比

正房 九田伊豆守藤原正房始氏房ト打慶長寛永比有故相州正宗造法ヲ受ケ眞之延物ヲ造ル

氏房 稱九田休兵衛日州都之城ニ住慶長寛永比子孫代々刀匠也

備後守氏房門人

氏房 稱田中三右衛門鹿兒府ノ人

氏貞 初若狭守氏房門後備後守氏房門ト成隅州ノ人同銘四代初代大銘上手

氏房 稱田中休七隅州ノ人

重包 稱東與左衛門一代鍛冶隅州高限ニ住ス有故國人高限龍ト唱フ無銘多シ

正房 稱九田孝兵衛正房男

正次 稱九田平左衛門伊豆守 正房之傳斷絶

伊豆守正房門人

安行 稱橋口三郎兵衛大和守 波平安行ト打

正廣 稱涂川太郎左衛門鹿兒府ノ人後和泉守金道門ト成受領シテ河内守行廣ト打

正縄 稱岩元勘左衛門鹿兒府ノ人後丹波守吉道門ト成受領シテ丹波守則道ト打

善長 稱是枝善長坊隅州ノ人

安貞 稱中村一平受領シテ山城守安貞ト打薩州給黎ニ住ス初波平安行門人也

氏房 稱九田惣左衛門藤原氏房ト打元和比

氏房 稱九田傣右衛門藤原氏房ト打寛文比

正房 稱九田惣左衛門藤原正房ト打相州正宗傳ヲ平左衛門正次ニ受ク初正冬又正高ト打天和比

正峰 稱九田傣右衛門早世

正房 稱九田彦兵衛寛延比正峰弟

惣左衛門正房門人

國平 稱奥惣兵衛

正清 稱宮原清右衛門

元貞 稱奥孝左衛門

正盛 稱弓削藤作

正良 稱上原十左衛門

正永 稱元野彌太右衛門

正則 稱朝倉甚五兵衛

正房 稱九田惣左衛門安永比

正房 稱九田惣兵衛

同國喜入中村氏畧系

○**清友** 稱中村小二郎鹿兒府住佐滕清佐門ト成其比隅州ニ住ス

清常 清友男稱中村清右衛門

杢之丞　清常男

清則　稱中村杢之丞文禄四年乙未父清右衛門ト共ニ喜入ニ住

清貞　稱中村与七兵衛兼應　明暦比

家貞　清貞二男稱中村一平初甲伏ヲ作後波平一流相傳号玉置一平安貞

清盈　清行二男稱中村与三兵衛

清興　清行三男稱中村掃部兵衛自現坊快眞坊ト云薙髪清興入道ト　自現入道又山伏自現坊共銘ヲ打

清信　稱中村蜜右衛門又清右衛門後清方ト打延享三寅年四拾九歳時受領シテ　伊勢守清方ト打十六葉之菊ヲ切八拾餘歳迄造

義清　清房二男稱中村勘三郎　後号玉置一平安在

清右衛門　杢之丞男

清光　稱中村清右衛門　慶長比

清行　稱中村与七兵衛九田正房　門ト成貞享元禄比

清房　稱中村清右衛門　寶永比

清生　清方男稱中村兵三郎　又小兵衛

清庸　清方二男池島氏為　養子稱池島清八

清盈　清方三男稱中村小右衛門

清保

同國涂川氏畧系

○延行　稱涂川帯刀左衛門天正比　薩州住藤原房安ト打

正安　稱涂川弋兵衛薩州住　藤原正安ト打寛永比

正廣　稱涂川太郎左衛門伊豆守正房門人薩州住正廣ト打後上京シテ　和泉守來金道門ト成受領シテ河内守行廣ト打兼應明暦比

行廣　稱涂川喜右衛門薩州住藤原行廣ト打後國宗ト打正房流金道　手筋両派ヲ造ル自元禄至寶永

正廣 稱染川杢左衛門薩州住藤原正廣ト打又國次ト打元文寛保比

同國奥氏畧系 附門人

○**忠清** 稱奥次郎兵衛寛永之末自好業冶工至于宝永ノ首年

重國 稱奥八郎左衛門 不業冶工

國平 始奥次郎左衛門忠金又包善後惣兵衛國平ト改受業於伯父忠清造刀劍後為九田惣左衛門正房門人受相州傳自元禄中寶暦中薩摩国住国平ト打後ニ奥太郎国平ト打七拾余歳迄造成

國平門人

國貞 稱日高仲左エ門 隅州之人

國方 稱牧瀬畄郎兵衛 隅州種子嶌之人

國富 稱濱田仲八 薩州之人

忠安 稱奥孝左衛門不業冶工自承應至延宝比

善長院 爲是枝家養子隅州之人伊豆守正房門人ト成

忠重 稱奥主左衛門受領和泉守後改名秀興受業於父造刀劍後攝州住津田越前守助廣門人ト成自承應中至享保中鎗或矢根上手

元貞 稱奥孝左衛門初名忠寄繼父祖之業為劍工又九田惣左衛門正房學相州傳自貞享中至寛保中

元直 稱奥次郎兵衛受業於父造刀劍自元文中至安永中

元道 稱奥六郎兵衛 不業冶工

元武 稱奥正左衛門元直之次男為元道之養子受業於父造刀劍

元房 稱奥武右衛門受業於父造刀劍

元平 稱奥孝左衛門受業於父造刀劍初薩藩臣又薩陽士平元平ト打寛政元年受領大和守平朝臣元平ト打

元平門人

定安 稱村尾與市郎 薩州之人

正次 稱弓削公太郎 薩州之人

武近 稱三原林藏 薩州之人

親弘 稱東喜三八 隅州之人

祐平 稱横山覚治天明四辰正月入門初名祐定備前国長船住人寛政二年受領伊勢守祐平ト打

安吉 稱川口喜右エ門 薩州之人

武昭 稱染川作左エ門 薩州之人

安貞 稱嵜金次郎 薩州之人

安光　稱池田甚太郎　薩州之人

政永　稱廻源八　薩州之人

政照　稱廻源次郎　薩州之人

平規　稱松田藤之進　薩州之人

吉信　稱瀨戸山源左衛門　薩州之人

元興　稱角大八　寛政五丑八月入門　初名秀國　奥州會津之人

繼平　稱柏原仲左衛門　隅州之人

安盛　稱山元伊助　薩州之人

季寶　稱中馬十郎　薩州之人

安利　稱奥藤次郎　隅州之人

元長　稱青木喜兵衛　初名信直　享和三亥六月入門　尾州名古屋之人

清意　稱牧助太郎　薩州之人

元武　稱奥正左衛門　為伯父元道之養子

元安　稱奥次右衛門　受業於父造刀劍

元寛　稱奥六郎　受業於父造刀劍

同國法城寺畧系

○吉次　稱根元吉兵衛　東武之人　但馬守法城寺橘國正門人　寛文頃受領肥後守　法城寺橘吉次ト打　元禄年間薩州鹿兒府住

吉國　稱根元金右衛門　法城寺橘吉國ト打　後國武又国清ト改　延宝比

國照　稱根元平八　法城寺橘國照ト打　寶暦比

國代　吉國二男　稱根元與四郎　明和比

同國喜入玉置氏畧系

○安貞　稱中村一平同氏清貞ニ男初メ波平安行門ニテ延物造ノ傳ヲ受後
伊豆守正房門ト成寶永庚寅年上京シテ山城守ニ受領シ一ノ平
ト云号ハ
勅許奉　宣命夫ヨリ一平山城守安貞ト打後又玉置氏ヲ賜ル
貞享元禄比

安代　稱玉置小市幼ヨリ受業於父享保五年四十一歳ニシテ正清
ト共依　台命東武ニ至リ於濱　御庭刀劍ヲ鍛フ依其功
御紋葵一葉ノ御繪形ヲ拜戴ス故ニ勝レタル出来物ニハ鎺ノ元ニ
御紋ヲ打安代正清受領ノ事諸職人ニハ相替ル官名ハ無之故
御舊記御取調ノ處
後鳥羽院御宇京官ノ例アルニ任セラレ受領シ主馬首
藤原朝臣安代ト打同十三年四十九歳ニテ卒ス

安生 稱前田越右衛門薩州住安生ト打

安在 稱玉置一平初メ安治ト打中村清房ニ男ニテ玉置氏ノ養子トナル
寛延寶暦比

安村 稱玉置一平天明比ヨリ
刀劔造七十餘歳

安則 稱玉置一之進小一郎
文化中

同國宮原氏畧系

○**正清** 稱宮原清右衛門初メ清盈又吉景ト打後薩州藤原正清ト打
丸田惣左衛門正房門ト成鹿兒府住ス享保巳丑正月於東都
濵　御庭將軍
吉宗公ノ御腰物ヲ造仍賜葵一葉之御繪形一枚鈿下ニ可彫之ト
且白銀拾枚ヲ拜戴ス同年受領シテ主水正藤原正清ト打又
主水正藤原朝臣正清ト打物ニ勝レタルモ有也

門人 **正盛** 稱弓削藤作薩州住藤原正盛ト打鹿兒府ニ住

同 **清一** 稱科木太藏薩州住清一ト打鹿兒府ニ住

正近 稱宮原清兵衛ト正清嫡子薩州住藤原正近ト打元文寛保比

同國科木氏畧系

○**清次** 稱科木太藏薩州住藤原清次ト打關傳ヲ造元和
寛永比

清次 稱傳藏薩州住藤原
清次ト打明暦万治比

兼清 稱太右衛門薩州住藤原
兼清ト打元禄寶永比

清一 稱太藏薩州住清一ト打是ヨリ相州傳延物ヲ作ル
元文寛保比

同國伊地知氏畧系

○正良 稱上原十左衛門剃髪シテ圓達ト号初メ波平安周門後丸田
惣左衛門正房門ト成相州傳及鎗矢ノ根鏴傳方鉄炮ノ
細ユ代々ニ傳フ薩州出水ニ住シ後移于鹿兒府元文
寛延比

正良 稱十左衛門後伊地知八郎左衛門ト改為伊地知氏養子受業
於父寛保寶暦比

正幸 稱伊地知平覺見初メ薩州住平正良薩摩官ユ平正良共打
寛政元年受領ノ伯耆守平朝臣正幸ト打安永比ヨリ文化
中迄專ラ造ル八拾餘歳

正國 稱緒方強平太正幸ノ男也緒方氏ノ養子トナル初ノ正良ト打

正房 正幸門
丸田伊豆守正房六代孫父丸田惣左衛門早世故ニ丸田惣兵衛
幼少ヨリ外門人ト同ク引受後見ス

良一 稱十河平五正幸普代後
鉄炮鍛治成鹿兒府ニ住

正保 稱池野六郎隅州加治木
之人後正光ト打

良定 稱牧之瀬休治隅州種子
島之人

良道 稱中島十次薩州鹿兒府
之人

良包 稱竹迫庄左衛門吉時ト打後
貞宗ト改名ス隅州加治木ノ人

良元 稱田中嘉兵衛薩州阿久根ノ
人

良等 稱平瀬平兵衛隅州種子
島之人

良房 稱池田金八薩州鹿兒府ノ人
鑾細ユノ上手

良尚 稱上原新右衛門薩州鹿兒府ノ人

良則 稱福留政右衛門日州諸縣郡都城之人

良景 稱間政右衛門日州諸縣郡都城之人

良門 稱赤崎七郎右衛門隅州加治木之人

清輝 稱大槻專助肥後熊本之士慰作

正乘 稱矢竹房次郎武州江戸ニ住

良辰 稱新穂金左衛門薩州鹿兒府ノ人

良永 稱田代太郎八薩州日置之人

正峯 稱弓削藤作薩州鹿兒府之人正盛孫纏ノ上手

良助 稱永田金次郎薩州久見崎之人

良次 稱松元榮右衛門

良實 稱野崎次兵衛薩州鹿兒府之人

良國 稱頴娃太郎右衛門薩州宮之城ノ人

良近 稱川上源五右衛門薩州鹿兒府之士慰作

良氏 稱津崎惣次郎隅州鹿屋ノ人

良元 稱本田十郎薩州川邉之人

正永 稱元野次長太薩州平佐住元祖正永之子孫

良國 稱頴娃政右衛門薩州宮之城ニ住

國秀 稱田中壽助肥後熊本之士延壽ノ末

正國 稱小山右兵衛肥後同田貫ノ末

氏貞 稱武井貞吉肥後熊本之人

正保 稱池野欽之丞六郎正保男隅州加治木ニ住

良峯 稱仁禮五郎薩州加世田ニ住ス

良綱 稱須田孫兵衛薩州出水ニ住

良興 稱上原十左衛門薩州出水ニ住

重喜 稱井上惠吉肥後久摩人舎之人

良貞 稱猪之助薩州出水ニ住ス

助國 稱岡元次郎九郎伊豫ノ國ノ人

兼高 稱井口七郎右衛門薩州平佐ニ住

良信 稱麻生新藏薩州出水住

良宗 稱平瀬平右衛門隅州種子島ニ住

良元 稱平田源四郎薩州鹿兒府ニ住

同國弓削氏畧系

- 正盛　稱弓削藤作薩州住藤原正盛ト打鹿児府住元文寛保比
  - 正平　稱孝兵衛初メ盛國又正方ト打法城寺門人ト成
    - 貞盛　稱藤右衛門正平男奥元貞門ト成
  - 正次　稱藤次郎寛延寶暦比
    - 正峯　稱藤作天明寛政比正幸門ト成
  - 正常　稱藤五郎

薩州一代鍛冶不知系圖部

重次　薩州住重次ト打天文比

宗俊　薩州住宗俊ト打川内ニ住ス天文比

重行　薩州住重行ト打永禄比右ノ重吉一類

清右　佐藤一類永正比

清常　右一類

重信　右一類天文比

正次　薩州住正次ト打川内平佐住先祖正次日州ヨリ来リ代々平佐住隅州ニモ有

重吉　稱大山筑後入道天正比

清佐　波平清佐ト打稱佐藤清佐波平門人後備前清光門人ト成ル永正比

清長　右一類

清吉　右一類

清秀　右一類天文比

清助　右一類

重長　薩州住重長ト打天文比稱石神鉄炮ヲ造

重近 薩州住重近ト打 石神一類

清國 肥後菊池ヨリ来リ薩州 伊作ニ住元和比

重信 薩州住重信ト打時代不知 邪谷院柿川住ス

忠行 稱木場欽之助袋鎗ノ上手薩國住藤原忠行ト打 鹿兒府之人

重貞 薩州住重貞ト打石神一類 永祿比

安定 薩州安定ト打天正比

重正 右一類

國綱 稱野村藤之丞 鹿兒府之人

隅州一代鍛冶不知系圖

義重 安田紀伊助隅州ノ人関傳ヲ造 天正比同銘三代アリ

國清 稱平瀬石見天正文祿比

清定 稱金兵衛石見男也子孫 代々造慶長元和比

盛道 稱田代大八郎隅州之人 天正比

正弘 隅州住正弘ト打又正廣ト打 後國廣ニ改

重貞 隅州住重貞又波平重貞 ト打

重鑑 隅州住重鑑ト打應永比

貞陳 隅州ノ人寶暦比

家秀 隅州小谷住藤原家秀ト打 天正比

重吉 隅州住重吉ト打波平之傳ヲ造 禪門重吉又波平重吉ト云

日州一代鍛冶不知系圖

通吉 日州高岡法嶽藥師ニテ造 是ヲ藥師堂ト云永正比

通光 藥師堂一類

通明 右一類
通秀 右一類
末秀 右一類

正次 光信又月山正次ト云文亀比
寛安 薩摩國波平住或光寺ト打
兼清 寛安男

正祥 跡江一類天正比
音忠 日州綾住應永比
兼次 濃州関ヨリ来リ日州住シテ造ル元亀比

兼孝 所不知月山作ト云永禄比
兼重 濃州関ヨリ来ル兼次一類
兼房 天正比

家行 日州住天正比
宗吉 同上天正比
實世 日州綾住
實重 右一類

實行 右一類
實成 右一類
實昌 右一類
實忠 右一類

實勝 右一類
盛定 右一類
正勝 跡江一類濃州関ヨリ来リ後歸邑ス天正比

末次 日州住末次ト打跡江ト云天正比
軍勝 日州住月山ニ似タル物ナリ
國時 日州住寛永比

國儔 寛永比
久吉 日州住久吉後ニ栗田口門人久吉ト打 日州真幸院ニ住

久重 久吉一類同所ニ住ス應永比

○國昌 稱田中旅伯庵日州綾住ス後國政ト打タルモ有國廣カ父也 永禄ノ末比ヨリ天正比ニ至ル

國廣 旅伯庵ノ男田中信濃守藤原國廣ト打江州佐和山ニ住シ佐和山住國廣ト打其後京堀河ヘ移住シ埋忠明壽ノ門ト成洛陽一条堀川住國廣ト打慶長年間ノ作多シ

信國 稱野村休市左衛門 國廣門人
國信 信國男代々作ル

大化五	白雉五	齊明七	天智十	白鳳十四	朱鳥一	持統十	文武四	大寶三	慶雲四	和銅七	靈亀二	養老七	神亀五	天平二十
天平勝寶八		天平寶字八		天平神護二		神護景雲三		寶亀十一	天應一	延暦廿四	大同四	弘仁十四	天長十	承和十四
嘉祥三	仁壽三	齊衡三	天安二	貞觀十八	元慶八	仁和四	寛平九	昌泰三	延喜廿二	延長八	承平七	天慶九	天暦十	天徳四
應和三	康保四	安和二	天祿三	天延三	貞元二	天元五	永觀二	寛和二	永延二	永祚一	正暦五	長徳四	長保五	寛弘八
長和五	寛仁四	治安三	萬壽四	長元九	長暦三	長久四	寛徳二	永承七	天喜五	康平七	治暦四	延久五	承保三	承暦四
永保三	應徳三	寛治七	嘉保二	永長一	承徳二	康和五	長治二	嘉承二	天仁二	天永三	永久五	元永二	保安四	天治二
大治五	天承一	長承三	保延六	永治一	康治二	天養一	久安六	仁平三	久壽二	保元三	平治一	永暦一	應保二	長寛二
永萬一	仁安三	嘉應二	承安四	安元二	治承四	養和一	壽永二	元暦一	文治五	建久九	正治二	建仁三	元久二	建永一
承元四	建暦二	建保六	承久三	貞應二	元仁一	嘉祿二	安貞二	寛喜三	貞永一	天福一	文暦一	嘉禎三	暦仁一	延應一
仁治三	寛元四	寳治二	建長七	康元一	正嘉二	正元一	文應一	弘長三	文永十一	建治三	弘安十	正應五	永仁六	正安三
乾元一	嘉元三	徳治二	延慶三	應長一	正和五	文保二	元應二	元亨三	正中二	嘉暦三	元徳二	元弘一	正慶二	建武二
延元二	暦應四	康永三	貞和五	觀應二	文和四	延文五	康安一	貞治六	應安七	永和四	康暦二	永徳三	至徳三	嘉慶二
康應一	明徳四	應永卅四	正長一	永亨十二	嘉吉三	文安五	寳徳三	亨徳三	康正二	長祿三	寛正六	文正一	應仁二	文明十八
長亨二	延徳三	明應九	文亀三	永正十七	大永六	亨祿四	天文廿三	弘治三	永祿十二	元亀三	天正十九	文祿四	慶長十九	元和九
寛永廿	正保四	慶安四	承應三	明暦三	萬治三	寛文十三	延寳八	天和三	貞享四	元祿十六	寳永七	正徳五	亨保廿	元文五
寛保三	延享四	寛延三	寶暦十三	明和八	安永九	天明八	寛政十二	享和三	文化					

○元暦以前鍛冶銘寄之部

家利 山城国平治比 為吉同人と云

家時 三人 播州永延比栗宗権頭と号下の関ニ住ス権太夫家彤ともあり ○同二代目同所ニ住ス長和の比 ○伯州大原住長元比

家長 伯州大原住寛弘比

家安 伯州大原住天徳比

家持 伯州大原住永延比

家秀 備前長寛比

家 備前保元比 阿圓家作とあり

八幡 摂州和銅比○八幡宮○八幡山ともあり

日乗 伯州弘仁比一宮法師長沼乗あると在あり

寶幢 豊後和銅比○神息ーーとあり 宝幡宝壽ともありーーと云

友成 三人 備前長船物の高祖ゝ君 ○備前萬歳とあり事有永延比 友成の族一人天喜比と云 ○奥州永延比 舞草ーーとあり

友長 奥州舞草永延比義家の刀匠と云藤原ーーとあり

友則 備前延久比 二字銘ニあり

友國 和州和銅比

友安 備前長暦比

友清 奥州延久比

友行 豊前宇佐宮天仁比遠州ニても造る

友光 二人 和州和銅比文珠の大祖ゝ○剱所司剱可為祖神由被下宣旨 ○奥州長暦比三郎と号

友盛 山城大宮一派保元比二字銘ニあり

利成 筑後御井郡保安比後ニ豊後ニ住ㇲ
利延 筑後三池一派嘉保比後ニ豊後ニ住ㇲ
俊正 和州千手院かん祖と云仁平比

東大寺 和州正暦比法師と云
外藤（トフヂ） 濃州西郡物の祖保元比
鳥井 城州三条吉家同人也
近村 城州

三条万壽比備前ニも住ㇲ
近恒 備前兼暦比
近則 城州三条治安比和州ニも住ㇲ
親行 備前永久比
雄安

奥州天禄比舞草太郎と号
兼次 三人 太秦一一と打城州三条一派治安比 ○城州三条○永延比 ○伯州大原長和比城州ニも住ㇲ
兼永 二人 城州五条

長元比 ○豊後仁安比
兼則 城州永延比
兼安 太秦一一と打城州長元比伯州ニも住ㇲ
兼平 二人 秦一一と打包平

同人河内永延比同銘三代有と云 ○豊後寛治比
包友 備前大治比
包近 備前久安比
包次 二人 城州三条治暦比

○伯州永延比
包永 備前元永比
包重 播州小川永保比
包平 二人 秦一一と打兼平同人河内永延の比 ○

備前永延比或ハ寛弘比○秦包平同人と云々
景良 備前長兼比
景忠 備前永暦比
景安 備前康和比

勝一 和州大宝比勝石とも打
上一九 和州大宝比奥州玉造郡則常同人と有ハ相違なるべし
雁宇九 奥州舞草一派永暦比○雁田九○苅田九○我

里馬同人と云
吉家 城州三条長和比宗近子○小鍛○鳥井るとも打
吉包 備前治安比或ハ永兼比也
吉宗 備前延久比四郎左エ門

と号
吉氏 二人 河内長久比 ○備前天治比
吉則 城州三条長久比
吉廣 城州三条永兼比
吉盛 城州三条

天喜比
吉守 伯州大原永延比
義則 城州永祚比
義憲 備前正暦比
義國 城州永延比
義安

薩州天喜比
義行 筑後三池一派嘉保比吉行とも打
義 備前寛仁比
世安 奥州舞草一派五郎と号まと永延の比月小とも打

爲朝 河内永兼比
爲遠 備中保元比
爲利 二人 城州平治比河内有成在京の時如此打 ○伯州寛和比四劔之其一也
爲義 二人

城州天養比 ○備前仁安比或在所不知
爲吉 城州平治の比家利同人と云
爲成 河内長久比
爲氏 河内寛仁比

爲國 備前福岡永保比
爲清 二人 伯州寛仁比大原新太夫と号諸説多し ○備前永保比
爲助 伯州治安比

高包 二人 和州奈良天仁比 ○ 備前長暦比 高安 備前兼暦比 高光 備前永保比 高重

備前久安比 高平 備前永延比三ヒラの内 武保 伯州天平宝字比諸説多し未詳 武里 奥州宮城郡住秀衡の刀匠と云

大國 和州永延比或ハ天の文字の一腐するを誤りしとも云 大桊 太桊兼安又兼次等の銘腐残りたるものを取て云なるへし 恒遠

備前長久比奥州次郎と号 恒次 備前長久比 恒則 備前長治比 恒冬 備前天永比 恒真

和州寛治比 恒光 備前保元比 恒久 備前兼安比 恒本 備前長治比恒元とも云 恒末

藤沢ーーと云ふ三州中原刀匠の祖平治比本国遠州 經遠 備前康平の比難波二郎と号 經房 備前応徳の比難波三郎と号 常保

備前正治比四郎右エ門尉と号後正恒と改是二代目也 永富 備前嘉保比 永 筑後三池一泒保延比 長義 伯州平治比稲

九と唱ふ 長平 和州延長比 長基 濃州西郡物寿永比保左エ門と号と云 長圓 豊後永延の比大和又筑之前後州までも

造ると云 直家 備前嘉応比備前大夫と云 直綱 備前寛治比刑部四郎と号 直宗 備前嘉保比権頭ニ任も流泒後世ニさるゝ

成高 備前嘉応比紀藤次と号○成宝○成室と記す書有 成綱 備前長寛比 成恒 備前元永比 業景

備前永萬比 宗利 城州長和比後備前ニ任すと 宗近 三人 城州三条小鍛冶と唱ふ任信濃守橘性銘種々有○三条コカチーー○日本ーー○三日月○不動○少納言

入道鐔九○小狐丸○爲吉 伯耆国ニテ如此打ト云 ○有成 河内国ニテ如此打ト云 是等ハ不審之諸説多し薩州谷山へ左迁せられ居住の地と今の世三条野と呼ふと云く奥州へも下り舞草一類の師と成ありしと云亀文刃を媚婚む永延

比四剣の其一也 ○ 城州長和比と云後豊後ニ住す ○ 備前長寛比 宗岡 城州安元比平安城物 宗包 備前福岡住四郎右エ門尉と号平治比

宗吉 奥州長暦比新太夫と号 宗依 備前兼保の比 宗忠 城州三条康平比 宗次 播州永久の比

宗經 和州奈良天仁比 宗永 二人 城州三条永保比 ○ 備前康平比 宗仲 備前永延比 宗延 城州

三条康平比 宗則 城州三条長元比和州までも造と云 宗國 備前福岡保延比 宗安 城州三条治安比大宮ニ住し後河州へ移る

○備前永延比四劔の其一也 **宗貞** 備中大治比野田刑部丞と号 **宗秀** 備前兼保比 **宗弘** 野干劔と称す暗夜を照す

烱刃なしと云不審 **村守** 備前保安比 **右衛門三郎** 奥州八戸康治比右の字斗りも有 **運峯** 奥州舞草平治比 **則恒**

備前久壽比 **則經** 備前正暦比 **則延** 備前壽永比 **則安** 備前治兼比 **則末** 城州三条永兼比万

里小路ヨ住す **信房** 備前永延の比 **延眞** 備前福岡住安元比 **國利** 和州治暦比 **國包** 備前寛弘の比

國吉 三人 和州或ハ城州と云二字銘ヨ切神亀の年号有る物有 ○播州兼保比 ○備前寛治比 **國綱** 二人 備前保安比 ○豊後仁平比

國次 伯州永延比 **國繼** 備前永暦の比 **國長** 城州安元比 **國永** 三人 城州四条弥太郎と号長暦比○太秦ーーと

有二本三条源太郎と有 ○奥州兼保比○舞草ーーと有長暦の比ヨ ○筑後三池保安比 **國信** 城州大宮保安比 **國定** 和州貞観比

國眞 備前仁平比權守と号 **國光** 和州保安比幸王太郎と号 **國重** 平安城ーーと有大宮ヘ永延比 **國弘**

相州山内住瀧四郎太夫と号永万比爲貞同人 ○備前寛仁の比 ○備前安元比より造る後ヨ城州へ来り番鍛冶磨工を奉る **國盛** 二人 城州大宮弥六と号

安和比 ○城州永万比○大宮ーーと有銘裏御作と有或ハ公卿法侁ヒ有と云 **國助** 和州南都角振住保安比国久とも有 **國分** 備前国分寺物

あるへし **月氏** 河州永延比 **月乘** 伯州元慶比日乘子と云 **月國** 和州永延比或ハ星 **月明** 奥州永暦

比鬼王丸同人と云羽州ヨも住す王とのみ有 **月山** 奥州天智比元祖也 **月小** 奥州永延比世安同人と云 **月西** 筑後治安比同二代目日州ヨ住し

月西貞行と有 **月光** 和州安則同人 **安家** 伯州永延比 ○備前長船太郎太夫と号平治の比 **安利** 泉州久安比

安吉 奥州舞草長徳の比 **安忠** 伯州天平宝字比 **安綱** 伯州大原横瀬三郎太夫と号大同比鬼丸作者 **安次**

備前寛弘比 ○備中青江天徳比 **安則** 和州永延比清新太夫と号 ○備前永延比 **安房** 奥州舞草兼平の比 **安縄**

備前長徳比と云 **安行** 遠州平治比 ○薩州波平兼和比 **安守** 伯州大原寛和比 **安認** 備前永延比 **康次**

備中青江永延比 **保弘** 備前康和比 **八十手** 和州 崇神天皇御宇物部八十手所作祭神之物赤盾赤矛黒盾黒矛と見え 同御宇撃刀造りしるも見ゆ按ニ剱匠と物部との別ちあく皆刀剣も造りしあるへし **正家** 備後三原の髙祖と云天平比 **正世** 筑後三池康平比 **正次** 備前寛弘比

正恒 三人 備前永延比五郎左エ門尉と号 ○ 備前寛仁比奥州太郎と号 ○ 備前長久比以上皆二字銘 **正國** 薩州谷山の髙祖李国和州永延比八百年とも有

正真 備前治暦の比 **九房** 奥州舞草永延比望房猛房幡房舞草雄何れも同人○此説難用舞草猛房と四字銘ニ有物有證とすへし舞草ハ奥州の地名なり

圓 奥州保元比一字銘ニ有 **元壽** 奥州大宝比 **元仁** 奥州永延比兼任法師と号と云不審 **藤戸** 和州大宝比

藤澤 遠州保元比 **諷誦** 二人 奥州永延の比 ○ 諷誦作と有寿永の年号をと有奥州 **文壽** 奥州長和比是もフシエの族と云く

文安 遠州天平勝宝比 **分** 備前保元比是分同人と云 **是髙** 和州天仁比藤太と号 **是正** 城州保元比弥太郎と号

是助 備前天禄の比 **典太** 筑後御井郡三池と呼法名元真と云兼保比傳太傳田典田典なとゝも有光世同人也 **有忠** 獅子ーーと

有城州三条長和の比 **有綱** 二人 河内寛仁の比 ○ 伯州大原貞観比 **有縄** 伯州天徳比 **有經** 二人 河内正暦比泉州篠田又越後ニても造ると云

○ 備前康平の比 **有成** 河内永延比上京して三条宗近と改むと云 **有宗** 伯州長治比 **有氏** 河内長徳比 **有國** 三人

獅子ーー○左馬對法師ーーとも有と云城州三条寛弘比信濃小路ニ住す或ハ助友とも有 ○ 河内寛仁比右馬允と号 ○ 備前保元の比 **有正** 三人 河内長久の比 ○ 奥州永延比奥州太郎と号二代有とのふ ○ 備前應保比 **有清** 城州三条康平比 **有行** 六人 和州千手院仁平比後豊後峯庄ニ住を ○ 河内長久の比

○ 遠州平治比管次とも有と云 ○ 奥州長暦の比 ○ 伯州大原仁和比 ○ 備前保元の比 **有光** 河内長久比 **有元** 河内天喜比丹波ニも有住と云

有盛 河内天徳比 **天國** 和州宇多郡の人大宝比○御間城入彦五十瓊殖尊御宇六年新摸造鏡剱爲護身御璽或ハ 崇神天皇六年天目一箇神の裔令天國新剱造爲護身御璽是践祚之日所獻之神璽の剱也○文武天皇の御宇大宝中大和国宇多郡の鍛冶天国ハ 崇神天皇の御宇宝剱鑄造爲しける時より星霜八百二十年後也又云大宝の比 命令下りて中心ニ銘を鐫ゆすニ成りしりと云く或説云天国と云銘のるハ鍛冶の名ニ非ず剱の美称すく天国丸と云意也是天地人の三才を表し地人を国の文字ニむすとびく

天國と八号けしと云上古ハ皆無銘なりし良刀ハ必天国と云文字を鐫しとそ今の世金象眼を入るハ華美より發ると云く

天津眞浦 日本書紀曰神渟名川耳尊元年倭鍛冶部使天津真浦造真麛鏃　綏靖天皇元年天津真浦として真麛鏃造らしむと云く古事記にも此名見ゆ

天雲 継體天皇御宇和州と云

天座 和州宇多郡大宝比天平比とも云

天藤 和州神護景雲比

天原 奥州弘仁比或ハ伯州真守も如此あり云

天行 和州宇多郡大同の比

貞綱 伯州大原貞親比

貞縄 伯州大原寛和比

貞盈 備前保延の比

貞村 備前長暦比在京の時四条坊门ハ住す

貞房 奥州舞草治安比太郎と号

貞真 伯州治安比

貞行 月西ーーとあり日州長治比

貞平 伯州治安の比

定俊 城州大宮正暦比

定生 和州僧ーーとあり本国豊後康和比

定則 備前福岡鍛冶の祖永万比

真利 城州油小路本国備前長久比

真吉 備前兼安比

真依 備前大治比

真忠 備前康治比

真恒 備前應徳比経次ともあり云

◯ 備前仁平比直宗一類

真綱 二人 伯州大原天徳比傀ともあり

◯ 備前兼安比刑部四郎と号直綱も同名く不審

真直 二字銘ハあり在所時代不明元暦以前の作く

眞宗 伯州万壽比

◯ 備前元永比直宗一類

眞則 伯州保元比

◯ 備前安元比

眞國 城州三条康平比

◯ 奥州宮城郡住又伯州にも住すと云時代不明とも云く元暦以前く

眞房 奥州舞草治安比

眞定 備前長兼比又養和比一人有といふ

眞貞 備前安元の比

眞清 城州三条嘉保比

◯ 伯州治安比

眞守 伯州大原安綱子と云嘉祥比横瀬氏○月卿雲客○行忍○勝の字斗もあり諸説多

實次 二人 奥州寛和比○筑前土山ハ於く源満仲公の髭切を造ると云

◯ 備中青江の祖大同比

實成 備前永延比

實盛 在所不明伯州真守同人と云

清利 和州天永比

清眞 防州嘉應の比

清平 防州吉敷鍛冶の祖保延比

金山 城州三条長和比吉家同人と云

北安 奥州長和比

行恒 奥州永暦比羽州も同人也

行信 和州千手院の祖長兼の比

◯ 和州千手院一泒仁平比行延ともあり

行國 和州千手院一泒寛和比

行安 薩州谷山波平の祖本国和州正国と云永延比

行真 城州三条宗近同人と云

行心 和州千手院一泒仁平比

行光 和州永延比

◯ 備前嘉保の比

行重 奥州舞草長徳比七郎と号後豊後ハ住すと云

行秀 備前天喜比
行平 大和国ーーと打寛弘の年号切物有豊後山里も住すと云
光友 奥州舞草治安比七郎と号
光包

備前寛仁の比
光吉 和州宇多郡貞観比
光世 筑後御井郡三池典太と号法名元真美保比三家又三木
光永 和州十市住天禄比光長とも打

光長 月山ーーと打奥州應和比
光恒 備前永久比
光宗 二人 和州天徳比 紀州一人有 ○ 備前永保比
光信 伯州

永延の比
神息 宇佐住八幡ーーと打豊前○平城天皇第七之皇子御守刀ハ長銘上ニ記せし如く切と云志つる時ハ大同の比と云是なるへし○宇佐社説八幡宮神作と申傳へ社記有委ハ略す
又同社神宝の物有圖説云此神劔雖當宮之宝物既失没而沈海中不図嬰漁夫之網元和四年於石州銀山真平得焉以重奉　神納畢此銘も右の如く八字ニ打アも多く二字銘也神足神來宝幢剛国も同人と云

神氣 和銅比の物と云在所不明山内国綱も如此打と云
神來 奥州天平神護比と云
神子 伯州大原安綱同人と云
重利 二人

伯州延喜比 ○ 備後三原仁平比法華と号す
重永 三人 和州千手院仁平比 ○ 遠州天仁比本国豊前宇佐宮住し友行と打と云 ○ 伯州仁和比
重則

和州手掻大路天平宝字比
重安 遠州天平宝字比
弘次 城州三条治暦比信濃小路住孫太郎と号
秀重 備前保延の比

久 城州三条寛弘比宗近門
卅九 奥州宮城郡平治比
比氣 在所不明大同比と云
盛家 城州大宮養和比

盛吉 河内永延比
盛近 城州三条寛徳比
盛永 城州壽永比
盛國 城州大宮物の祖和銅比弥五郎と号と云

守家 三条弥太郎ーーと打城州時代不明
守包 備前長元比
守綱 伯州仁壽比 ○ 筑後三池保安比
守恒

備前寛弘比
守經 和州奈良住寛平比
守光 備前兼徳の比
守重 豊後大同比
森戸 奥州天禄比四

郎と号す
森房 奥州應和比次郎と号
森安 奥州長久の比
基近 備前保元の比
基包 備前天喜比

基行 備前天治比
基平 備前永延比
原南（モトヨシ） 伯州大原平治比
師宗 奥州長暦比○有波中納言と云其所錯

と不知
助友 二人 城州三条寛弘比 ○ 備前永延比
助時 播州永延比藤五郎と号
助包 備前永延比左近将監と号小鍛也

助高 備前康平比
助永 備前長元の比
助宗 三条コカチーーと打城州平治比
助則 和州保元の比

助平 備前永延比 三平の一人也

助秀 備前永延の比

友成 備前永祚の比

友光 備前天喜比

管恒 二人 丹波万壽比 三寅丸と云 ○備前久壽比

末行 城州永延比 ○備前永久比

椒林（セウリン） 推古天皇の御宇刀劔彫物の始祖と云

覺長 月山ーーと打 奥州長和比

鬼王丸 羽州月山 長和比

川上部 活目入彦

五十狭茅天皇三十九年作劔一千口因名其劔謂川上部從忍坂移之藏于石上神宮或喚鍛名河上今作劔一千口按備前国横山系譜云 崇神天皇御宇其先祖御劔造獻りしと云此事實 垂仁天皇の御宇に川上と八劔を置れける所の名にして鍛工の名に非すと知りて又鍛工と喚て劔一千口造りしとはれと正しく鍛工の名あるにあらず也諸国の鍛冶召れて劔を多く造らせ玉ふ此 御宇の事なりし但馬清彦出石刀も 同御宇の事也とぞ

右諸銘此爲元暦以往也悠矣久矣故其居里及相傳之說唯存人口耳因筆之如其所指摘乃我所未詳也後之君子取舍之可也

古今鍛冶備考卷之一畢

古今鍛冶備考卷之二

元暦以來銘寄之部

イ 家一

家春 △一人 播州住藤原ーーと銘と打近藤善兵衛と号時代延寶の頃 以下此文三傚へし

家俊 ○四人 ○平安城兼元比本國備前家利とも打二字銘よ切 ○駿州嶋田正應比二字銘よ打○嶌田家系云天文年中備前國より家俊家次兄弟當國へ來り義助一統へ鍛法を傳ふと云く或云備前家俊男家次共よ正應比駿州へ來る是今川関口の祖太功をあらはしたる此太刀なく又云備前一文字助宗末應永比の助貞駿州へ來り義助一族の師と成とええく未詳 ○加州住ーーと打應仁比 ○備州長船一派二字銘よ打寶治比則延流と云

家利 ○三人 ○城州綾小路定利門二字銘よ打永仁比 ○備前國ーーと打福岡一文字一派天福比備中よても造 ○波平ーーと打薩州谷山派天文比業物

家遠 ○一人 備中正恒流二字銘よ打文永比

家時 ○一人 △一人 ○奥州住應比二字銘多し羽州よても造 △播州宍栗住ーーと打寛永比

家包 ○二人 △一人 ○備州長船ーーと打暦應比家忠流 ○備州長船ーーと打永亨比業物 △駿州住ーーと打時代不明

家貞 ○一人

豊後國入田住｜｜と打永祿比 **家勝** △二人 近江守藤原｜｜と打國時代未詳 **家門** △一人 攝州住｜｜と打寛文比 **家吉** ○四人 ○越州｜｜と打千代鶴一派文明比業物

○加州住藤原｜｜或ハ二字銘ニも打永祿比 家義同人 ○備前國｜｜或ハ二字銘ニ打福岡一文字助吉門文應比 ○備前國吉岡住｜｜或ハ二字銘ニ打吉岡新三郎と号寶治比 **家義** ○一人

加州家吉同人 二字銘多し **家善** ○二人 △一人 ○常州住｜｜と打弘安比と云 ○家善作と打越前千代鶴一派加州ニても造る長亨比業物 △常州住｜｜と打寛永比弘安比の末 **家能** ○一人

了戒｜｜作と打文明永正の間城州より豊後へ移る **家榮**ヨシ △一人 肥前國住來源｜｜と打嶋原住す長崎住久次男亨保比父ハ藤姓 **家忠** ○一人 △三人 ○備州長船一派二字銘ニ打正應比

△加州住藤原｜｜○加州住吉兵衛尉｜｜とも打金沢ニ住す元和寛永の間後将監と号業物 △加州住藤原｜｜と打二代目四郎兵衛と号元祿比ニ至る **家隆** ○一人 日向二字銘ニ打天文永祿の間

家綱 ○一人 縄同人 備中國｜｜或ハ二字銘ニも打寛元比末ニも同銘有と云 **家恒** ○一人 備中国｜｜或ハ二字銘ニ打青江一派貞治比 **家次** ○十人 △三人 ○駿州嶋田正和比本国備前

○家俊の傳可考合 ○加州住藤原朝臣｜｜と打長亨比橋瓜一派此一類と加賀青江と唱ふ若州又越前ニても造る業物 ○同二代目加州住藤原｜｜と打亨祿比以下數代と云業物 ○備前國住｜｜と打應永比業物 ○備前國住｜｜と打永正比後雲州へ移る吉井の末也 ○備中片山一派二字銘ニ打兼久比本國備前 ○備中國住｜｜作と打青江一派文和應安の年号と打大業 ○同二代目同銘ニ打永和應永の間良業 ○備中國｜｜と打亨徳比三代目欤 ○備後鞆住｜｜と打三原一派貞治比と云 ○肥前国｜｜と打天文比 △城州住源｜｜○京都住人源｜｜とも打寛永比大和守任すと云 △加州住藤原｜｜と打金府住近藤利右衛門と号寛文比此次より業を止

△長州住鶴千代｜｜と打二王の風寛文比忠長門 **家長** ○三人 △一人 ○藤原｜｜と打和州手掻一派永亨比 ○賀州住｜｜○家長作とも打橋瓜一派永祿比業物 ○備前國長船住｜｜と打正安比 △肥前国｜｜と打寛文比

家永 ○四人 △一人 ○加州住藤原｜｜と打橋瓜一派天文比 ○備州長船｜｜と打應永比 ○備後國住｜｜と打鞆三原一派永正比 ○筑州住大石｜｜○藤原｜｜とも打亨祿比筑後之藝州ニてしも造

△攝州住｜｜と打延寶比 **家宗** ○三人 ○和州手掻一派二字銘ニ打正中比 ○和州千手院一派二字銘ニ打應永比康継門 ○備前國｜｜或ハ二字銘ニ打福岡一文字一派正元中師の助真と共ニ相州山内へ移住｜正應比ニ至ると云小袋太郎と号 一本猿部とあり

家村 ○二人 △一人 ○備前｜｜或ハ二字銘ニ打福岡一文字一派相州山内へ下り助真門と成正應比 ○備前正治比一人未詳 △筑前大掾｜｜と打元祿比在所不明

家則 ○三人 ○粟田口｜｜と打城州住正中元徳比の年号多し ○奥州玉造郡物二字銘ニ打建長比 ○備前吉岡一文字一派二字銘ニ打貞應比 **家信** ○三人 ○加州住藤原｜｜と打橋瓜一派永祿比 ○備前吉岡一文字一派二字銘ニ打永仁比 ○備州長船｜｜と打觀應比

家國 ○二人 ○越中住｜｜と打明德比宇津一派 ○長州住｜｜と打應仁比頸國一派

家安 ○七人 ○城州｜｜或ハ二字銘ニも打綾小路一派應安應永の間 本國河内とも云 ○駿州富次の末と云二字銘ニ打元應比本國備前 ○越州｜｜と打千代鶴一派應仁比 ○備前

國ーー或ハ二字銘ニ打吉岡一文字一派文永比 ○備中片山一派二字銘ニ打貞應比 ○波平ーーと打薩州谷山一派應永比 ○波平ーーと打薩州谷山一派永享比法師と云應永同人歟

家正 ○二人 △一人 ○藤原ーーと打加州橋瓜一派享禄比 ○越州ーーと打永正比千代鶴了戒と唱ふ業物 △肥前平戸住ーーと打神崎住とも打時代不明

家政 ○二人 ○加州藤原ーーと打浅古當ノ一派應永比業物 ○藤原ーーと打加州橋瓜一派弘治比

家舛 △一人 攝州住ーーと打延寶比太郎兵衛と号

家房 △一人 信州住藤原ーーと打寛文比関流

家舩 △一人 攝州住ーーと打寛文比

家真 ○三人 ○城州住ーーと打文明比 ○備州長船住ーーと打野田刑部丞と号嘉元比此姓名大治比の家貞も同名之不審 ○備中紀一派二字銘ニ打弘長比

家貞 ○二人 △四人 ○備州長船住ーーと打正中建武の間良業 ○備後國三原住ーーと打天文比 △攝州住ーーと打時代不明 △駿河國住人ーー作と打寛永比業物 △雲州住藤原ーーと打仁田住忠貞の末也安部仙七郎と号寛文比石州津和野ニても造る △薩州喜入住ーーと打清貞二男中村一平と号初メ甲伏造後ニ波平流を傳りて玉置一平安貞と改

家定 △三人 △攝州住ーーと打寛文比 △奥州ーーと打仙臺刀匠寛永比初代國包門後ニ倫祐門と成業物 △同二代目同銘ニ打木村清兵衛と号京伊賀守三代目金道門と成元禄比まて造る

家清 ○一人 加州住ーーと打天文比業物

家行 ○四人 ○備州長船ーーと打應永比 ○備後國ーーと打三原一派永正比 ○藤原ーーと打豊後高田一派大永比と云 ○日向天文比二字銘ニ打

家光 ○五人 ○大和國ーーと打尻懸一派應永比 ○備前國長船ーーと打将監長光門正中建武比 ○備州長船ーーと打明徳應永比大業 ○備州長船ーーと打明應比業物 ○了戒ーーと打豊前了戒秀乃能門長禄比豊後ニても造る

家道 △一人 上総守藤原ーーと打延寶比濃州関住後京丹波守吉道門と成

家重 ○七人 △三人 ○武州下原住ーーと打大永比業物 ○加州橋爪一派二字銘多し永正比 ○備前国長船住ーーと打安部一派建武貞和の間 ○備州長船ーーと打應永比 ○備中松山住ーーと打天文比 ○備州小田住ーー作と打備後鞆三原一派天正比業物 ○豊後紀一派二字銘ニ打建保比肥前平戸ニても造る △攝津國住太刀屋喜右衛門尉ーーと打兼應比太刀屋ハ和州の地名之 △加州住藤原ーーと打慶長比 △肥前神崎住ーーと打寛永比平戸ニても造る

家廣 ○三人 △一人 ○相州住ーーと打永禄比業物 ○加州住ーーと打永禄比二字銘も有 ○備後國三原住貝ーーと打文明比 △近江國ーーと打寛文比 △加州住藤原ーーと打六郎左衛門と号寛永寛文の間良業

家弘 ○二人 △一人 ○備州長船ーーと打天文比 ○肥前住文明比二字銘多し △加州住藤原ーーと打吉左衛門と号享保比國平子と云

家久 ○四人 △三人 ○和州住ーーと打千手院一派永正比 ○備州長船ーーと打永正比 ○備中片山一文字一派二字銘ニ打兼久比後次家と改む ○備中片山一派二字銘多し初ハ吉家と打正中一文字吉氏門應安比

△濃州関之住ーーと打 △美濃関得印ーーと打 △甲州住早乙女ーー於豆州尉 家秀 ○四人△一人 ◯備
寛永比得印一泒 △元禄比尾州犬山までも造 △作と打慶長比相州までも造る ◯前
國ーー或ハ二字銘も打 ◯備州長船ーーと打 ◯豊州高田住ー ◯隅州小谷住ーー △藤原朝臣
正應比後の守家門 應永比業物 ーと打永祿比 ーと打天正比業物 ーーと打在所
時代不知按ニ加 家平 △二人 △加州金澤住四郎兵衛尉ーー○藤原 △同二代目賀州住藤原
州打まて延寶比 ーーと打寛文延寶比業物なり ーーーと打元禄の比
家守 ○二人 ◯備州長船ーーと打家光一族の ◯豊後平高田一泒二 家盛 ○四人 ◯加州藤原
忠光父康暦應永の間大業 字銘多し弘治比業物 ーーと打天
文 ◯備前長船源ーー ◯筑前住ーー○源ーー も打 ◯豊後高田一泒家守父文
比◯ーと打應永永享の間 ◯金剛兵衛一泒文安比業物 明比平ーーーと打業物 家助 ○八人
◯相州住ーー ◯備前長船住ーー或ハ二字銘 ◯備州長船ーーと打建 ◯備州長船ーーーと打
ーと打天文比 も打畠田後の守家門弘安比 武比長光流業物 貞治比上の二代目と云
備州長船ーーと打二郎左衛門と ◯同二代目同銘ニ打少し鑚不利 ◯同三代目同銘ニ打文字
◯号永徳應永の間小銘也良業 也應永の中比より寛正ニ至る業物 大振也文明比業物
◯備州長船ーーと打明 家氼 ○二人 備州長船ーー 一文字 備前国福岡住刑部丞則宗
應永の間四代目欤 と打天文比 承元年中菊一文字紋

勅許てより以來子孫門葉ニ至る迄祖の元ニ一文字を切なと一文字斗と打て実名を打さる者多し其
後裔新刀ニ至つくも一文字と切刀匠數人あれど其名を挙るにいとまあらす又スリ一文字と云有り
是又一人 一王 ○一人 和州千手院一泒二字銘多し 一九 ○一人 遠州元暦比廿一九と 一峯 △二人
ニ限らすと 承元比金王門と云不明 も打と云秘銘なるべし
△江州佐々木住石堂一泒 △同二代目江州住人佐々木入道源ーー○江州住人佐々木
二字銘多し寛永比業物 善部源ーーとも打東武までも造る天和元禄の間実名不明業物 一法 △二人
△日置山城守源ーーと打本国近江城州 △對馬守ーーと打石一二 一乘 ○二人 ◯法華ーー○一乘作とも
ニ住すと云石堂一泒也宗弘と両作有寛永比 堂常光同人と云 打備後葦田三原一
泒俗ニ法華三原と ◯南無妙法蓮華經ーーと打 一虎 △一人 山城守藤原百國入道ーーと打國重ヵ老
唱貞治比末三族多し 嘉吉の年号有ハ三代目欤 後の銘也東武ニ住安國門明和比迄存
生す鎗 一則 訓カヅ △一人 王名住ーーと打肥後 一國 △一人 三州岡崎住ーーと打 一英 △一人 筑前國住
の上手 延壽国日出門文化比 元禄比本国濃州 ーーと打信
國一泒 一安 ○一人 隅州住波平ーー或ハ二字銘すも打 一清 ○一人△一人 ◯防州住ーーと打二王一 △
天和比 信安とも打と云文明比永正比迄存する欤 泒應仁比業物
山城住ーー○洛陽住石 一口 カツヒロ △一人 山城國山崎住ーー 一秀 △一人 羽州庄內住ーーと打池田清内
道ーーとも打寛文比 と打慶長比 と号水心子門文化比

八 春治玄張晴流泰繁蓮

春風 ○一人 下野國弘安比相州ニても造る二字銘ニ打

春次 ○二人 ○下總國二字銘ニ打時代不明 ○備中國住－－作と打南朝なん年号と打物多し文和比

春繼 ○一人 備州長船－－と打天文比

春國 △一人 攝州住山本孫右衛門尉－－と打寛文比治國とも打

春光 ○二人 ○備前國長船住藤原－－と打呼名打くる物多し享禄より天文の初迄ハ新二郎と打以後天正乙亥比の作ハ十郎左衛門と打治光なん男と云長壽なり業物 ○同二代目備州之住長船左衛門七郎－－作と打天正文禄比

春道 △一人 武州住石道－－と打貞享比

春盛 ○二人 ○下野國建長比二字銘ニ打相州又越後ニても造る者盛とも打 ○豊後高田一派嘉吉比平－－と打業物

△越前千代鶴－－と打寛永比

春詣 △一人 二字銘ふ打明暦比在所不明

春田 △一人 城州住－－と打時代不明甲鍛冶といふ

治吉 ○一人 肥前平戸住－－と打應永比三池一族後左貞秀門と成彫美也

治次 ○一人 備中國住－－と打元徳暦應の間

治國 △三人 △八幡比窗－－造○比窗－－とも打坂陽ニ住井上真改門惣兵衛と号寛文天和の間業物 △攝州住－－と打春國同人也 △肥前國住上總大掾藤原－－と打寛文比忠國門

治劔 ○一人 △一人 ○長州住－－と打至徳比業物 △長門國住－－と打慶安比二王流

治行 ○三人 ○豊州高田一派弘治比と云藤原－－と打 ○波平－－と打薩州谷山一派春行とも打と云正應比とのへとも未詳 ○波平－－と打薩州谷山一派弘治比業物

治光 ○一人 備前国長船次郎兵エ尉－－と打文亀大永の间次郎左勝光男父子両作多し春光の父良業

治守 ○一人 備州長船－－と打應永比

治盛 ○一人 平－－作と打豊後高田一派永禄の比

湟衛 △一人 肥後国住同田貫－－－と打慶長比文禄より造ると云

玄次 ○二人 ○備州長船－－と打應永比 ○備中青江一派二字銘ニ打弘長比

玄弘 ○一人 添上郡住－－と打和州千手院一派時代不明

張次 ○一人 備中青江一派二字銘ニ打寶治比真信同人と云

晴綱 ○一人 防州住－－と打二王一派永仁比

流綱 △一人 甲州府中住－－と打利兵衛と号享保比

繁慶 △一人 二字銘ニ打○清尭ニ如此打なるも有各彫銘也三州の産ニて東武へ來り胝氏の門と成鉄炮を張て野田善四郎清尭と号す後駿府へ移り此地ニて刀剣を造り始て繁慶と銘を彫る又東武へ帰り鉄炮町ニ住スと云慶長寛永の間今の世音ニ鳴ふれ共シケヨシの訓也とて良業

繁昌 △一人 駿州安西住－－或ハ二字銘ニ打繁慶門後東武へ移住ス師と両作有元和寛永の間

繁定 △二人 武州住ーーと打下原一派寛文比業物

繁宗 △二人 奥州津軽住ーーと打森宗の末左太郎と号始メ正繁門後水心子に学ぶ寛政比

繁利 △二人 武州ーーと打正繁門享和比

繁栄 △二人 藤田東作郎ーーと打丹波笹山の刀匠也正繁門寛政比

泰誦 ○二人 伯州貞治比○泰誦友安と打ハ治安比訓ハダスことなる故爰に出せ

蓮光 △二人 備州長船ーーと打利光門應永比訓未詳

二 日 入 仁

日光 ○二人 大和千手院一派高市住嘉元比の重光同人と云○但次文伯州にも日光と打者有不詳

日王 ○二人 ○和州奈良住正元比二字銘に打千手院當广両派の説未詳 ○和州千手院一派二字銘に打應永比重阿同人

日照 ○一人 伯州元暦比二字銘に打横瀬四郎と号真守の流

日乗 ○一人 備州住ーー打備後一乗三原一派明徳應永比

日則 ○一人 奥州舞草一派近則の秘銘と云日明とも打と云

杲一 ○一人 如此三字に打在所不明或云肥後同田貫正明同人天正比

日 ○一人 一字也 伯州大原重長同

人と云

入西 ○二人 ○金吾藤原ーー法師と打和州保昌貞宗子嘉元比 ○安藝國ーーと打本國筑前良西同人二字銘にも打正應永仁比法師と云

入鹿 二字銘に打紀州の地名也仲真此土に住せし一族實名を打ずして入鹿と斗打その多し末の物に入賀とも打有り

仁王 周防國吉敷住仁王一派應永比の刀匠數人仁王○二王と斗打○仁王の称ハ周防国吉敷郡吉敷住宗三郎清縄を祖とス其故ハ吉敷郡木崎（キサキ）と云る所の寺院兵火に罹る時仁王の尊像を助け出さんとて宗三郎が造りたる太刀を用て仁王堂の大鎖を切拂ひ己に仁王を助け出しけり是よりして二王と云名を自他となく通称となせり則仁王三郎と斗も銘せし今の世木崎の寺院の跡に仁王堂有り尊像古く見ゆれど斯時助け出しあるる像なるべし吉敷に二王屋敷といふ所あれども今ハ刀匠職の者ハ絶しと云々

ホ 寶 卜 堀

寶壽 ○八人 △一人 ○奥州玉造郡住文壽男と云二字銘に打元暦比嘉応比より作ると云 ○平泉住ーー或二字にも打二代目と云貞應比 ○同三代目二字銘に打弘長比よりと云 ○同四代目二字銘に打嘉元正和の間 ○同五代目二字銘に打貞和比より造ると云 ○同六代目二字銘に打永徳應永比初代より代々羽州にて造る物有り ○奥州三代目寶壽門始メ行光と打正應比筑紫へ移り師の銘を打此土に一派を興せ ○奥州五代目寶壽門同銘二字に打應永比備前備後にて造る ○と云此外數工有と見ゆれども未詳各字體と鑽振にて知るべし △寶壽九ーと打元禄

比奥州也 寳忠 ○一人 土州住――と打長禄比

寳榮 △一人 石州住藤原――と打寛永比水田の如し

寳 ○一人 一字 播州寛元比藤四郎と号一字銘ニ打

卜傳 △一人 常州水戸住坂東太郎鎮正入道――○前武藏守吉門号坂東鎮正入道――とも打濃州関善定兼吉曾孫武藏守吉門金兵衛と号延寶丁巳より卜傳と改む東武ニても造ル馬駒正

――とも打と云

卜扇 △一人 行高入道――と打寛文比在所不知尾州打なるへし

堀江 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打天文比

卜

友倫朝具知共鞆朋侖任才伴利俊

歳年壽時季刻辰豊富遠東虎同

友家 ○一人 △一人 ○加州住――と打藤嶌一派文明比業物 △石州住――と打寛永比

友俊 ○三人 ○和州當广一派二字銘ニ打應安比俊行流 ○備州長船――と打康暦比 ○讃州住――と打建武比二代目友利同人

友利 ○五人 ○播州小川物二字銘ニ打應永比 ○備州長船一派二字銘ニ打正安比 ○讃州二字銘ニ打正應比 ○同二代目二字銘ニ打建武比友俊とも打 ○讃州――と打三代目なり應安比業物

友近 ○一人 加州白津住――と打慶長比

友吉 ○五人 ○和州千手院一派二字銘ニ打建保比 ○遠州嘉元比二字銘ニ打 ○江州住――と打甘呂一派延文比 ○加州藤島――と打越中ニても造ル明應比業物 ○備州長船――と打應永比業物

友義 ○二人 ○和州住――と打貞治比 ○備州長船――と打應安比友吉と別人

友忠 ○二人 ○和州寛元比二字銘ニ打 ○備州長船――と打時代不明

友綱 ○五人 ○大和國左兵衛尉――と打當广一派貞治比良業 ○攝州中島來一派二字銘ニ打應安比 ○同二代目二字銘ニ打應永・永亨の間 ○遠州元暦比二字銘縄の字と切 ○備州長船――と打時代不明

友次 ○六人 △一人 ○泉州住――と打嘉吉比二字ニ打 ○加州住――と打藤島一派至徳比加ゝさき――とも打末二代有と云未詳 ○宇多――と打越中文明比二字銘ニも打 ○備州長船――と打時代不明 ○備中青江一派二字銘ニ打寛元比 ○二字大銘ニ打在所時代不明青江とも云 △加州住――於越前作之○越中國藤島――とも打寛永比東武ニも住ス

友常 △三人 △武藏守藤原――と打濃州関奈良太郎末流三代目政常門寛文比尾州又東武ニも住ス業物 △周防國住石堂――と打鈍藏と号ス亨和比

友成 ○二人 ○攝州中島來一派二字銘ニ打貞治比 ○備前國――と打嘉禎寛元比

友長 ○三人 ○菅原――とも打平安城物貞和比攝州ニても造ル ○大和国住――と打當广一派永和比業物 ○加州住――と打藤島一派文明比

友村 ○一人 備前國――と打建長比

友宗 ○一人 備州長船――と打康暦比

友氏 ○二人 ○攝州中島來一派二字銘ニ打貞治比本國和州 ○天王寺住――或ハ二字銘多し二代目也應永比

友則 ○七人 △一人 ○

大和國ーー或ハ二字銘ヲ打當广一派嘉暦比 ○遠州二字銘ヲ打寛元比 ○越中宇津一派二字銘ヲ打永亨比 ○同二代目二字銘ヲ打延德比加州へも造る ○越中則重流二字銘ヲ打建武比 ○備州長船ーーと打應永比業物 ○豊後二字銘ニ打文永比奥州へも造ると云 △濃州住ーーと打関左衛門尉兼永十四代の孫鈴木清右衛門ト号寛永年中羽州山形ニ於て保科家の刀匠と成後奥州會津へ倶に移る二代目ハ兼友也

友信 ○一人

加賀國ーーと打應永永亨の間

友國 △一人

筑之前州ーー造と打寛文の比

友安 ○八人

○來ーーと打城州永仁比 ○遠州元暦比二字銘ヲ打權守と号兼元比と云是也播州にも住す ○駿州住ーーと打嶋田一派大永比 ○江州ーーと打貞治比播州にも住す ○羽州建長比二字銘ヲ打奥州へも造ると云 ○奥州會津住二字銘ヲ打天正の比 ○備州長船ーーと打貞治比長義門 ○波平ーーと打薩州谷山一派應永比 元暦比一人有と云

友房 ○一人

備州長船ーーと打長享比

友定 ○二人

○出羽國ーーと打時代不明 ○豊後國ーーと打正和比

友貞 ○一人

備州長船ーーと打應永比

友清 ○四人 △一人

○大和國當广ーー○當广ーーとも打元應比 ○駿州住ーーと打永正比 ○加州藤島ーーと打應安比 ○二王ーーと打周防康永比 △加州住藤島和泉大掾ーー○藤島ーーとも打寛永比

友行 ○十一人 △三人

○和州千手院一派二字銘ニ打元暦比後ニ豊後峯の庄へ移住せしと云 ○大和國右兵衛尉ーーと打當广一派應安比 ○遠州住ーーと打文安比 ○越中宇津

一派二字銘ヲ打建武比 ○備州長船ーーと打明德比 ○三原住ーーと打備後時代不明 ○玄良入道信国ーーと打豊前嘉吉比 ○豊後高田一派二字銘ヲ打正和建武の間元暦の友[illegible] ○同二代目豊州ーー作○豊後州高田庄ーーと打南朝の年号打るゝもの多し貞治應安比 ○同三代目豊州住ーーと打明德應永比 ○讃州ーーと打文安比 △豊前小倉住ーーと打寛文比 △豊後國高田住藤原ーーと打寛永比業物 △豊州高田住藤原ーーと打高田幸助と号東武にても造る元禄享保ちん間

友光 ○五人

○大和國ーーと打當广一派應永比業物 ○遠州住ーーと打應永 ○越中宇津一派二字銘ヲ打貞治比 ○備州長船ーーと打貞治比兼光門にて後兼光ニ改む ○天國ーーと打豊後高田一派正和比と云

友道 △一人

紀伊國藤原ーーと打時代不明

友重 ○七人 △三人

○大和國ーーと打當广一派嘉慶比と云 ○加州住藤島ーー或ハ二字銘又藤島と斗も打本國越前正中比來國俊門と云良業 ○同二代目藤島ーー或ハ藤島と斗も打貞治比良業 ○同三代目同銘ニ打應永比二字銘も有 ○同四代目同銘ヲ打文明比以下數代有といへとも未詳 ○宇多ーーと打越中明應比 ○備州長船ーーと打貞和比 △和州南都住下總守ーーと打元禄比東武にても造る △加州住藤島ーー或ハ藤島と斗も打寛文比業物 △藤嶋ーー或二字銘にも打元禄比此外同銘有未詳

友弘 ○二人

○越中宇津一派二字銘ヲ打永和比 ○同二代目二字銘ヲ打應永比

友廣 △一人

攝州住ーーと打播州の産へ七兵衛と号享保比

友久 ○四人

○越中宇津一派二字銘ヲ打貞治比 ○越中宇津一派二字銘ニ打應

仁比

◯ 長船ーーと打備前天文比業物

◯ 友久作と打阿州貝府一派文安比

友盛 ○二人 備前ーー或ハ二字銘まも打大宮物時代不明

友末 ○二人 ◯ 城州粟田口一派二字銘よ打林左衛門と号承久比○林三同人と云ふ

◯ 備州長船ーーと打時代不明

友法師 ○一人 大和正應比ーーーと打

倫

倫常 △一人 藤原朝臣ーー造と打奥州仙臺倫祐門寛文比

倫宗 ○一人 備中國住雑賀太郎兵衛ーーと打永和比

倫國 ○二人 ◯ 來ーーと打城州徳治比來國俊門

◯ 二王ーーと打防州應永比

倫清 ○一人 二王ーーと打防州康永比

倫光 ○一人 備州長船ーーと打景光末男貞和應安の間良業

倫助 △一人 奥州國分若林住ーーと打余目清右衛門と号駿州島田義助門也慶長丙申の年國主の刀匠と成同所長俊の造法を得て倫祐と改む法名遊慶と号まと業物也

倫祐 △二人 △藤原朝臣ーーと打倫助 △同二代目藤原ーー或ハ初代同銘ても打余目五左衛門と号承應甲午の年ら後の銘也 △東武へ來て大和守安定門と成安倫と改む後歸在ーと明暦乙未の年卒以良業

朝

朝舎 ○一人 大石住ーーと打筑後左一派應仁比薩州まても造る永正大永比の同銘二代目欤

朝家 △一人 豊前中津住藤原ーーと打延寶天和比

朝忠 ○一人 作州堀坂住二字銘ふ打或ハ忠の字計りも打へ承元二年廿四人の内十月番ふ定めらる權守ふ任せらる本国備前なり

朝次 ○二人 ◯ 備中青江一派二字銘ふ打承久比

◯ 鞆住ーーと打備後三原一派應永比業物

朝宗 ○一人 備州長船ーーと打應永比

朝鄉 サト △二人 △ 奥州白川住ーーと打萬治比

△ 播州藤原ーー於南紀作之 ○紀州住ーーとも打寛文比

朝重 ○一人 備州長船ーーと打康正比

朝廣 ○一人 ◯ 山縣住ーーと打藝州延德太永の間大石左の派と云業物

△ 奥州白川住孫左衛門ーーと打万治比

朝助 ○二人 ◯ 備前二字銘よ打承元二年廿四人の内七月番ふ定らる

◯ 備州長船ーーと打康暦比

具

具次 △一人 二字銘よ打在所時代未明

具氏 △一人 濃州住ーーと打時代未明

具國 ○一人 筑州住ーーと打左一派時代不明

具衡 △一人 濃州関住ーー○平安城ーーとも打寛文比坂陽ても造る業物

具守 ○一人 豊州高田藤原ーー作と打文亀永正比

知 共

知遠 ○一人 備中元暦比二字銘よ打

知清 △一人 橘ーーと打加州陀羅尼一派欤時代も不明

共重 ○一人 備州住ーーと打備後三原一派應永比業物

鞆 明 侖 任

鞆重 ○一人 備州長船ーーと打文明比

朋光 ○一人 明光作と打在所時代不明奥州物と云

侖永 ○一人 二字銘ふ打在所時代未詳

任便 ○一人 和州物と云訓トモヨリと有時代不知○法便定真と打とも有法と任との誤りあらん任便と云もの未見

才 伴

才光 ○一人 和州當广一派二字銘よ打應永比建治比と云説有

伴平 △一人 豊後國藤原ーーと打佐伯住天和元禄の間

利景 ○一人 備州長船——と打長享比業物

利隆 ○一人 藤原——と打濃州関二代目兼定門永正比大業

利恒 ○一人 備州長船——或ハ二字銘とも打貞治比

利常 ○一人 波平——と打薩州谷山一派天文比俊常同人

利次 △一人 筑前福岡住——と打信國一派貞之丞と号寛文比

利成 ○一人 散位——と打肥前諫早住並慶比則末同人と云

利永 ○一人 備州長船——と打應安比業物

利長 ○一人 △一人 ○備州長船——と打時代不明 △武州下原住山本外記——○十五枚甲伏作と打享保比兵太夫歳長と打たゝも同人也

利宗 ○一人 波平——と打薩州谷山一派應安比吉宗同人

利延 ○五人 ○城州粟田口一派二字銘ニ打兼久比和州の住と云非也 ○備州長船——と打時代不明 ○筑後住——と打明應比三池の末 ○肥前國——と打文明比本國和州と云肥後ニても造る ○薩州谷山波平一派二字銘ニ打永和比

利信 ○一人 筑後三池一派二字銘ホ打建武比

利宜 △一人 二字銘ホ打濃州刀匠と云時代も不明

利安 ○二人 △二人 ○羽州月山——と打建永比 ○波平——と打薩州谷山一派天正比 △奥州會津住下坂——と打下坂兵右衛門と号利重ヵ男ヾ安永乙未卒 △肥前長崎住藤原——と打美利の男幸野吉次良と号寛保比

利康 ○一人 俊藏坊——と打濃州関住文明比

利正 ○一人 筑後住——或ハ二字銘ニも打三池の末大永比

利行 ○一人 △一人 ○備州長船住岩野——と打建武康永の間備中ニても造る良業 △豊後高田住藤原——○藤原——とも打時代不明

利光 ○四人 ○和州當麻一派二字銘ホ打應永比業物 ○大和——或ハ二字銘もホ打文安比業物 ○備州長船——と打貞治比長光流 ○備州長船——と打應永永享の間祐光の父と云業物

利重 △四人 △武藏守源——○大掾とも打城州西洞院初代久道門後攝州三田又ハ丹波笹山ホても造る寛文貞享の間業物 △同二代目出羽守源——と打丹波笹山ニ住と元禄享保の間金四郎久道門業物 △常陸大目源——と打益壽入道則利の男ゝ本國越前後ニ常州へ移る享保比 △奥州會津住下坂——と打為利門権之丞と号寶暦甲戌卒

利弘 ○二人 備州長船一派二字銘ニ打永仁比

利久 ○一人 豫州住——と打貞治比

利平 △一人 阿州住——と打元禄比とも云未詳

利守 ○一人 備州長船一派二字銘ホ打時代不明

利元 ○一人 高篠——と打讃州と云時代不明

利助 ○二人 ○伯耆國——と打長享比新三郎と号 ○備州長船——と打長義流應永比業物

俊家 ○一人 武州二字銘ホ打永正比

俊遠 ○一人 二字銘ホ打在所時代不明備前と云

俊兼 ○一人 備州長船——と打貞治比俊光門

俊吉 ○一人 谷池——と打羽州月山一派時代不明

俊忠 ○一人 備州長船——と打永享比

俊恒 ○二人 ○奥州月山一派元暦比二字銘ニ打 ○備州長船——と延文の比良業

俊常 ○一人 波平——と打薩州谷山一派天文比業物

俊經 ○一人 波平——と打薩州谷山一派天正比

俊藏 ○一人 濃州関一派嘉吉比 俊藏坊同人と云

俊次 ○四人 ◯相州住――と打天文比政俊門 ◯備州長船――と打應安比 ◯備中青江一派二字銘ま打又頼の字斗も打建暦比貞次門三郎と号ス ◯備中青江一派二字銘ま打延文貞治の間

俊繼 ○一人 二字大銘ホ打在所時代不明或備前一文字助宗初銘と云

俊長 ○一人 △一人 ◯江州甘呂――○甘露――とも打江州蒲生郡ま住越前越後ホても造ろ高木貞宗門 △阿州徳嶋住――と打天九郎と号ス元亨延文の間蒲生と斗も打 △慶長比歳長一族

俊宗 ○二人 ◯備前國長船――と打将監長光門刑部太夫と号ス正中 ◯備州長船――と打應安より比良業 ◯應永の初ホ至ろ良業

俊信 ○一人 城州粟田口一派二字銘ま打利延同人と云

俊安 △一人 豊後日出住――と打寛永比後如此打也

俊貞 ○一人 二字銘ホ打在所時代不明備前と云

俊實 ○一人 紀州粉川住――と打文安比

俊行 ○一人 △一人 ◯大和國――と打當广一派應長比 △豊後國藤原―― △と打高田一派天和比と云

俊光 ○二人 ◯備州長船住――と打将監長光門元亨比良業 ◯備州長船――と打天文の比利光の末と云

俊秀 △一人 野州鹿沼住――と打八木沢忠吉と号水心子門享和比

歳包 ○一人 濃州関一派二字銘ま打永享比

歳次 △一人 阿州安宅住――と打元禄比歳長門

歳長 △八人 △洛陽山城守二村左近藤原――○山城守藤原――とも打本國阿州徳島まて初名廣次 △同二代目堀河住藤原――○山城守藤原――と打万治寛文比儀左衛門と号左近ハ初名と云良業 △打二村右京進と号後東武ま住を貞享元禄比初名ハ歳信 △同三代目藤原――と打東武ま住ス業物 △陸奥守藤原――○裏銘ま洛陽二条堀河住とも打 △二村吉藏と号受領なし享保比 △とのも有二村儀左衛門ヵ弟彌三左衛門と号本國阿州なりしと洛陽又坂陽まも住し後勢州津へ移住を寛文延寶比子孫此地ま榮ゆ業物 △同二代目勢州八幡住――○洛陽堀河住二村左衛門尉――○陸奥守藤原――と打皆同人貞享享保なん間 △同三代目陸奥守藤原――と打寶暦比迄の作有 △武藏守藤原――と打本國阿州なりしと後洛陽堀河ま住を彌三左衛門ヵ弟元禄比ま至ろ △石見守藤原――と打洛陽ま住と武藏歳長の子と云寶永享保の間

歳信 △一人 城州住――と打二代目の山城歳長ヵ初銘あり

歳阿 ○一人 筑前左一派二字銘ホ打康安比國弘門と云

年次 ○一人 備中青江一派二字銘ま打文永比

年安 ○一人 波平――と打薩州谷山一派明徳比

壽吉 ○一人 △二人 ◯雲州道永昌則の初銘二字銘多し 本國備前 △尾州住――と打名古屋四代目占丼あり △壽命門傳七と号寶暦比 △備前國長船住横山――と打宅之進と号明和己丑卒を

壽次 △一人 備前國住長船――と打源八郎祐定子横山安次郎と号後父の銘ま改む安永の比

壽長 △一人 上野國住――と打因州壽格門大八と号師と同居ス寛政癸丑卒

壽格 △一人 因州

鳥取住濱部美濃守藤原朝臣ーー○美濃守藤原朝臣ーーとも打初め兼賀又願恵とも打ー也天明乙巳の年受領す天明又寛政中まても東武へ來りて造る權左衛門後丸左衛門と号す子及中興の上手

壽政 ○一人 長州住ーーと打文明比と云

壽實 △一人 因州鳥取住藤原ーー○眠龍子ーーと打濱部壽格の男初め壽國と打寛政中父と共に東武まても造る文化比の作

八丁子又父に比もと

壽行 △一人 紀州住吉川ーーと打永助と号す東武に住すと壽格門亨和文化比

壽光 △一人 備前國長船ーーと打七兵衛祐定の後銘之明和安永比

壽秀 △一人 土州住ーー○紫虹子ーーと打東武へ來り水心子門と成り永尾右太夫と号す下野まても造る文化中歸国す寛政比より造る

壽守 △一人 備前國長船住人横山ーーと打定次と号す壽光門後養子と成七兵衛と改安永比

壽命 ○△ ○濃州西郡住左衛門尉と号す二字銘にも打正應比本國大和也とも訓トシナガなとし ○同國二字銘にも打越中まても造る建武比業 ○濃州西郡住ーー或は二字銘にも打貞治比壽命宗吉 ○同國二字銘に打天文比○貞治より慶長比迄數人有と見ゆれとも未詳 ○と打も同人と云此頃より壽命何某と銘する欤良業物

濃州住ーー○岩捲ーー○丹後守藤原ーーと打近藤助左衛門と号す慶長中尾州清洲へ移り寛永戊辰の年同名古屋へ轉居す此頃受領すと云寛文癸卯の年卒八十五歳 △同二代目二字銘に打 △後○法橋弘安齋ーーと打近藤惣左衛門と号す天和癸亥の年叙法橋元禄癸未の年卒八十四歳 △同三代目二字銘に打同彦三郎と号す寛保癸亥の年卒七十歳 △同四代目二字銘多し同彦八郎と号す安永庚子の年卒八十 △同五代目同銘に打同彦五郎ーーと打惣歳 △彦吉と号す安永享和中 △左衛門か初銘也 △二字細銘に打慶長年号打丹後守と別人○濃州関住ーーと打寛文の年号打弘安齋と別人○濃州住ーーと打享保年号と打各不明 △美濃守藤原ーー○上野守藤原ーー○常陸守藤原ーー○濃州住ーー切石○美濃國清水住ーー○此外二字銘の物多し各時代も不明

後の高鑑と侯

壽徹 △一人 肥州之産住前越前守藤原國次法橋ーー○入道ーーとも打肥後の國次の傳に具さなり

時次 ○三人 ○備州長船ーーと打應安比 ○備中青江一派二字銘に打應長比 ○字銘に打九条殿銘と云兼久比○三日月○オモタカ○新御所ともおれーと云

時直 ○三人 備中片山一派二字銘に打兼久比

時信 ○一人 時信燒之

時眞 ○三人 ○伯州應安比二字銘に打遠州の南仲同人と云 ○備州長船一派二字銘に打建長の比 ○備中片山一派二字銘に打ヒカキ鈩の時眞と稱す

時行 ○三人 ○掃部ーーと打播州貞應比 ○筑前左一派二字銘に打建武比 ○豊後州高田庄住藤原ーー○豊前住藤原ーー○時行作とも打應安永徳比業物

時光 ○一人 備州長船ーーと打延徳比業物

時満 ○一人 備州長船ーーと打應永比備中まても造る

時基 ○一人 備州長船ーーと打文安比と云業物

時末 ○二人 ○大和國住今ーー作と打千手院一派文和比 ○肥後延壽一派二字銘に打國清子と云永和比良業

季次 ○一人 △一人 ◯備州住ーー○備後三原ーーとも打本国 備中にして備前にても造る文和延文の間 △備後國三原住ーーと打寛文比

刻國 △一人 平安城住ーーと打本國播州後因州鳥取へ移り忠国と改

辰次 △一人 武陽住ーーと打下谷住國吉の弟寛政比

辰成 △一人 越前國下坂ーーと打寛永の比筑前安藝にても造る辰中の父

辰仲 △一人 筑州住下坂ーーと打本國越前父と共に筑前へ来る寛文元禄の間

豊原 ○一人 備前國ーーと打則包同人と云弘長比地名也 ○備前福岡一文字國行も豊原と斗打と云

豊政 △一人 豊後高田住ーーと打寛文比改の字にも打

豊行 △一人 豊後高田住藤原ーーと打延寶天和の間

豊弘 ○一人 石州長濱住ーーと打應永比

豊 ○一人 一字銘 備前吉井物の内にて如此一字銘と打未詳

富次 ○二人 ◯駿州島田元應比二字銘に打富士と打も同人今川義忠より一字を授り義助と改と云 ◯相州住ーーと打天文比小田原鍛冶一派富廣門業物

富光 ○一人 備前國住長船ーーと打天文弘治比訓ヨシ

富廣 ○一人 相州住ーーと打文亀比末の助廣門と云

遠近 ○二人 備前元暦比二字銘に打正恒同派末に同名一人有

遠世 ○二人 ◯大和ーー或ハ二字銘に打千手院一派正元比行信同人と云 ◯備前寛元比二字銘に打正恒流

遠次 ○一人 備中青江一派二字銘に打貞應の比

遠也 ○一人 備前国ーーと打兼久比奥州四郎と号

遠政 ○二人 ◯相州住ーーと打文永和比と云 ◯備前国ーーと打文永比奥州五郎と号

遠壽 ○一人 丹波綾部住重利同人と云二字銘に打應永比

虎明 ○一人 駿州富士郡下方住ーーと打或ハ二字銘も有本国濃州関兼明の後銘ハ武田信虎より一字を授りしとも云天文比業物

東連 △一人 秦ーーと打東武初代守久ヵ後の銘寛文比○延宝丙辰端午の日より始て入道の二字を切副ると云業物

同田貫 ○ 肥後国菊池住ーーー○肥後州ーーー○九州肥後ーーーとも打文明比より慶長比に至るまで数人各實名あれども多く同田貫と斗打同田木とも打も同派なり何れも業物多し

千 近 親 周 至 及

近倫 ○一人 備州長船一派二字銘に打寛元比

近包 ○二人 ◯播州小川物二字銘に打建長比 ◯備州長船ーーと打吉岡一文字の流を正中建武比二字銘にも打

近景 ○一人 備州長船住ーー造○備前国長船住三郎左衛門尉ーーとも打近恒男と云文保貞和の間良業

近依 ○一人 備中国ーー或ハ二字銘に打青江一派文保比大業

近吉○一人 備州長船ーーと打時代不明

近忠○二人 ◯備前長船鍛冶中興の祖也二字銘多し兼久寛元の間 ◯備州長船ーーと打永正大永比兼久の後裔不非さと

近恒○一人 備州長船一派二字銘ま打正應比

近次○一人 備中青江一派二字銘ま打建治比

近村○三人 ◯備前福岡一文字一派近村造と打物多し嘉元比 ◯備前国長船住ーーと打建武比

近宗○一人 備前国長船ーーと打貞和比近景門

近則○七人 ◯城州来一派二字銘多し正應比 ◯奥州舞草一派二字銘ま打文治比○チカイリ○日明と打ゝ同人 ◯出羽国住人月山ーーと打永正比 ◯加州橋爪一派二字銘ま打貞治應永の間 ◯同二代目二字銘多し嘉吉比良業 ◯同三代目二字銘ホ打文明比 ◯備州長船一派二字銘多し嘉元比近恒の族とよふ

近範○一人 伯州住ーーと打貞治比本国備前元重門初名近則と打と云

近信○一人 二字大銘お打備州長船一派と云時代不明

近安○二人 ◯薩州谷山波平一派二字銘ま打元暦比 ◯波平ーー作と打明應比の年号多し薩州谷山一派

近正○二人 ◯泉州住ーーと打堺加賀四郎一派文明比 ◯二字銘ま打備後と云時代不明

近房○六人 ◯備州長船一派二字銘ま打兼元二年廿人之内四月番ま定る ◯備前国ーーと打長船一派左近と号建長比 ◯備州長船ーーと打貞和延文の間業物 ◯同二代目同銘ホ打應永比業物 ◯土州弘安比二字銘ま打 ◯肥前国住ーー作と打應永の比

近真○二人 ◯備前弘安比二字銘ま打 ◯備前国長船住ーーと打建武比

近貞○一人 備州長船ーーと打貞治比近真門

近里○一人 播州小川物二字銘ホ打建治比

近菊○一人 奥州舞草一派元暦比○チカキクとも打羽州にも住す

近霧○一人 奥州舞草一派元暦比○チカキリとも打と云羽州にも住さと

近重○一人 信州住ーーと打文安比

親依○二人 ◯備前国新田庄住ーーと打文保比 ◯備中国ーー或ハ二字銘にも打青江一派貞永比

親喜○一人 備前新田庄住ーーと打徳治比とよふ親依の一族

親次○五人 ◯備前国新田郷庄住ーーと打文保比大業 ◯備中国青江住藤兵エ尉ーー備中国ーーとも打寛元比 ◯備州住ーー或ハ二字銘にも打本国備前後ま備中松山住す貞和延文の間良業 ◯備後国三原住ーーと打貞治比 ◯備後住ーーと打三原一派永正比

親則○一人 備中青江一派二字銘ま打正中比

親信○二人 筑後柳川住下坂ーーと打享保比奥州會津の兼友門

親國○一人 肥後延壽の末二字銘ま打永禄比

親安○一人 薩州波平ーー作とも打應永比業物

親弘○二人 隅州住ーーと打薩陽元平門東喜三八と号寛政文化比

親光○一人 下野国得次郎住ーーと打永正比業物

周　至及　了　力　立

周吉 ○一人 波平ーーと打薩州谷山一派延徳比
周光 ○一人 備州長船ーーと打至徳比と云
周重 ○二人 △一人 ○但馬守ーー或二字銘にも打武州恩方
村住下原鍛冶山本 ○武州住山本内匠ーー○ △武州下原住山本外記
氏天文享禄比良業 ○武州住ーーとも打元亀比 ーーと打寛文比
周廣 ○一人 △一人 ○相州住ーーと打明應
一永正の間 △武州下原住ーーと
業物 打山本氏兼應比
至康 ○一人 出羽国ーーと打時代不明
及行 △一人 藤原ーーと打豊後高田一派寛文比

リ　了　力　立

了戒○ ○城州来国俊門二字銘に打左字大銘にも打始ハ来光重と打五郎と号後に綾小路定利門に成元徳庚午の年入道しゝて了戒と改む大業○延文比又康正比にも
了戒と斗打物見ゆ康正比
の了戒ハ薩陽にても造ると云
了戒宣 ○一人 城州了戒門三字銘にも打建武の年号を打
了一 ○一人 城州了信久門源五郎と号す二字銘に打明徳比より
信国に改
む業物
了阿弥 ○一人 城州来国吉門と云綾小路定利の道号なりと云ハ是なるべし
力王 ○一人 大和国住ーー或ハ二字銘にも打千手院金王門延慶比東大
寺乙太郎同人○
国永ともに打と云
力直 ○一人 和州力王同人二字銘に打或ハ力王ハ二代有と云
立光 △一人 甲州千手院ーーと打兼門同人なり

主　興　音　乙往

ヌ　主

主守 ○一人 了戒ーー作と打豊後寛正比

ヲ　興　音　乙　往

興次 ○一人 麻生住ーーと打越前天文比
興直 △一人 長曽祢ーーと打東武興里門延宝貞享の間
興正 △一人 長曽祢ーー○長曽祢虎徹ーー或
二字銘にも打武州下谷に居住し庄兵エと号興里が門人なりしが後に
養子と成寛文貞享の間最上大業物其次庄左エ門刀匠に非す
興里 △一人 長曽祢ーー○長曽祢虎徹入道
ーー○長曽祢ーー入道扁徹と打此外種々の銘振有といへとも前後大概の順を記す生国江州長
曽祢村の人なりして越前へ移り修行せし此地にその作ハ中心先尖り鉋も筋違へ後東武へ来り東台嶺かん
邉に居住ス万治延宝の間
彫物上手越州風ゝ最上大業物
興久 △一人 長曽祢ーーと打興里門東武に住む延宝比興正と両作有
興福寺 ○一人 和州定利同人と云諸説未詳興福寺ハ地名ゝ
音忠 ○一人 日州住ーーと打應永比
乙太郎 ○一人 和州力王同人と云三字銘に打
往阿 ○一人 濃州関二字銘に打應永の比法名なるべし

力

兼包勝景晩量和方上標加岩

兼家 ○三人 △二人
○濃州住ーー或ハ二字銘ニ打貞治比
○濃州関住ーーと打應永比兼吉門二郎三郎と号法名明阿良業
○濃州関一派二字銘ニ打永禄比
△摂州住ーーと打寛文比城州ニても造る
△越前園部住ーーと打寛永比兼則流業物

兼宅 ○二人
○濃州志津流二字銘ニ打六郎左エ門と号應安比
○濃州関住ーー或ハ二字銘ニも打天正比赤坂一派業物

兼舎 ○二人 △一人
○濃州住ーー或ハ二字銘ニも打信州飯田ニても造る源三郎と号明應比
○甲州住ーーと打本国濃州関天正比業物
△濃州関住ーーと打延宝比

兼宿 ○一人 濃州住ーー或ハ二字銘ニも打長享比

兼屋 ○一人 濃州住ーーと打天正比

兼石 ○一人 濃州志津流二字銘ニ打永和比

兼岩 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打永享比

兼春 ○三人 △二人
○濃州蜂屋一派二字銘ニ打三州ニ住後又帰在す四郎兵エと号應永文安の間大業
○濃州住ーー○関之住ーーとも打永正永禄の間
○濃州関住ーーと打天正比尾州犬山ニても造る
△摂州住ーーと打延宝比
△賀州住炭宮藤原ーーと打寛文比業物

兼治 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打文明比

兼晴 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打貞治比

兼流 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打文明比

兼花 ○二人
○濃州関一派二字銘ニ打三郎右エ門と号長享比
○同二代目二字銘ニ打大永弘治の間

兼洞 ○一人 濃州関一派寛正比兼洞作と打

兼友 ○四人 △六人
○濃州住ーー或ハ二字銘ニも打兼氏門久六と号本国和州動の産始め包友と打又正中比右エ門三郎ニ改む直江ニ住する故ニ直江志津と唱ふ法名敬阿大業
○同二代目二字銘多しー藤九郎と号延文比直江住す良業
○濃州関一派二字銘ニ打貞治比満吉門右エ門尉と号良業
○濃州関一派二字銘ニ打裏銘ニ散位奥太郎作と打太永比業物
△尾州犬山住ーーと打濃州関奈良太郎の枝葉ニ初め兼伴と打て関ニ住し天正比より造る後ニ福島正則の招ニよりて尾州清洲へ移り受領して肥後守輝廣と[illegible]む
△奥州會津住ーーと打濃州関左エ門尉兼永十四代の孫鈴木清右エ門友則の男同半兵衛と号同国近江大掾兼定門と成始め兼信中比兼常とも打寛文癸卯の年より造ると云享保己亥の年卒七十三才く業物
△同二代目奥州會津住ーーと打始め孫内後半兵衛と改初銘兼常又兼富と打享保宝暦の間
△同三代目奥州住藤原ーーと打始め孫内兼信中比清右エ門後半兵衛ニ改む宝暦天明の間
△同四代目奥州住藤原ーーと打二字銘も有始め兼信と打幸太郎と号寛政文化比
△加州住ーーと打寛文比辻村一派業物

兼具 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打文和比

兼朝 ○一人 濃州志津一派二字銘ニ打貞和の比

兼備 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打康暦比

兼等 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打永德比

兼伴 ○三人
○濃州志津一派二字銘ニ打延文比
○濃州住ーーと打志津流應仁比業物
○濃州住ーーと打天正比肥後守輝廣の初銘

兼知 ○二人 ○濃州直井志津門二字銘ニ打應安比 ○濃州住ーーと打兼清流明應比 兼同 ○一人 濃州関ーー或ハ二字銘も打享禄比 兼倫 ○一人
濃州関一派二字銘ニ打文亀比 兼供 ○一人 濃州赤坂住ーー或ハ二字銘ニ打天文比 兼刻 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打應永比 兼辰 ○二人△二人 ○濃州関一派一字
銘ニ打嘉吉比良業 ○濃州今市住ーーと打兼代門天文比 越後春日山ニても造る業物 △濃州上有知之住ーー○関住ーー作とも打赤坂関一派文禄慶長比良業 △常陸守ーー或ハ二字銘
ニも打三州岡崎ニても造る寛文元禄の間武蔵守とも打 兼時 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打延徳比 兼年 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打永徳比 兼敏 ○一人 濃州
関一派二字銘ニ打永享比 兼利 ○二人△一人 ○濃州直江住ーーと打志津一派永和比業物 ○濃州関一派二字銘ニ打永正比 △濃州関住ーーと打天和比 兼歳 ○一人 濃州
関一派亨徳明應の間兼歳作と打業物 兼俊 ○二人 ○濃州直江志津一派二字銘ニ打六郎と号貞治比 ○濃州住ーー或ハ二字銘も打三阿弥一派應永比法名寿阿 兼俊行 ○一人
濃州関金重流三字銘ニ打永徳比 兼豊 ○一人 濃州関一派二字銘多くー天文比 兼富 ○一人 濃州関住ーー或ハ二字銘も打次郎左エ門と号永禄比○文安比同銘有と云
兼達 ○一人 濃州関住ーーとも打永正比 兼取 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打文安比 兼周 ○二人 ○濃州住ーーと打長享比業物 ○濃州関之住ーー

と打永禄比業物 兼福 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打康應比 兼及 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打寛正比 兼近 ○二人△一人 ○濃州関住ーーと打太郎と号
嘉吉比業物 ○備後三原住ーーと打文明比 △摂津国住人源ーー○摂州住源ーー門平作とも打尼ケ崎の三品但馬守兼光の初銘之信州松本ニも住を 兼主 ○一人△一人 ○濃州
関住ーー作とも打永正比 △摂州住飛騨守ーーと打寛文元禄の間駿河守とも打と云 兼王 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打康安比奈良太郎と号す 兼雄 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打永
亨比 兼音 ○二人 ○濃州関一派二字銘ニ打彦四郎と号嘉吉比法名道宗良業 ○濃州関一派二字銘ニ打六郎左エ門と号明應比 兼興 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打
文正比業物 兼奥 ○一人△一人 ○濃州関住藤原ーーと打康正比 △東武兼房門二字銘ニ打安永比 兼乙 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打永正比業物
兼岡 ○二人△二人 ○濃州関善定一派二字銘ニ打永享比業物 ○濃州関ーーと打文禄比是如此打 △摂州住薩摩守藤原ーーと打薩州ニても造る貞享比 △加州住炭宮一
王ーー○兼岡一王とも打元禄比 兼若 ○一人△七人 ○濃州住ーーと打志津一派文亀大永の間四郎右エ門と号業物 △加州住ーーと打四郎右衛門兼若ニ孫ニ至く辻村四万助
と号慶長年中尾州犬山へ移住し後ニ加州金沢へ轉住して子孫此地ニ栄ふ大業 △同二代目加州住ーーと打辻村甚六と号寛永乙丑の年受領して越中守高平と改長男景平次男有平三男

と三代目兼若とあり四男八幡山清平也良業

△同三代目加州住ーーと打辻村又助と号寛永比より造る業物

△同四代目加州住ーーと打辻村甚太夫後ニ四郎右エ門ニ改む寛文延寶比

△同五代目加州住ーーと打辻村甚太夫と号元禄享保の間

△同六代目加州住ーーと打辻村助太夫と号此代より刀匠を止免て武夫と成

△肥前国住遠江守藤原ーーと打二代目兼廣か初銘也

兼涌 ○一人 濃州住ーーと打天文比といふ

兼分 ○一人 濃州関一流二字銘ニ打時代不明

兼一 ○一人 濃州関住ーーと打時代不明

兼勝 ○一人 濃州関一流二字銘ニ打文明延徳比業物

兼量 ○一人 濃州関一流二字銘ニ打文明比

兼貞 ○一人 濃州関住ーーと打弥五郎と号二字銘ニ打たるも見ゆ文明の比

兼和 ○一人 濃州関一流二字銘ニ打長禄比

兼計 ○一人 濃州関一流二字銘ニ打長享比

兼景 ○三人 △八人 ◯濃州住ーー或ハ二字銘ニ打孫次郎と号建武比良業

◯同二代目二字銘多し貞治比業物

◯濃州関住ーーと打長禄比

△甲州府中住ーーと打本国濃州関兼定末葉平井新左エ門と号慶長比

△同二代目甲州住ーー或ハ二字銘にも打平井長左エ門と号ス万治比業物

△同三代目甲府住ーーと打平井新左エ門と号貞享比

△濃州住藤原ーーと打元禄比

△但州弘原住藤原ーーと打元禄比

△作州津山住藤原ーー○作州住ーーと打濃州直井志津十七代の孫志津長右エ門と号寛文比先祖兼友の風を能く摸せり業物

△同二代目作州津山住藤原ーーと打文太夫と号三船と斗も打同人也享保庚子卒

年六十六七といふ

△同三代目作州津山住ーーと打茂一郎と号享保元文の間業物

兼門 ○三人 △三人 ◯濃州関一流二字銘ニ打応永比包門と打同人業物

◯同二代目濃州住ーー或ハ二字銘にも打嘉吉文明の間吉門とも打と云業物

◯濃州住ーー或ハ二字大銘にも打清四郎と号天文比

△美濃国善竜ーーと打善定共打ーーへ後受領して○備中守ーーと打三井惣右エ門と号尾州大山ニても造る寛文比

△同二代目濃州関善定ーーと打三井金左エ門と号元禄比

△同三代目濃州関善定ーーと打三井文右エ門と号後甲州谷戸村へ移住ー千手院立光と改免又再ひ兼門ニ復すと享保比

兼方 ○二人 ◯濃州志津一流二字銘ニ打清左衛門と号文安比

◯濃州住ーーと打明應永正の間

兼像 ○一人 濃州関一流二字銘ニ打寛正比

兼銅 ○一人 備前元暦比二字銘ニ打

兼包 ○三人 △二人 ◯濃州関一流二字銘ニ打左門四郎と号康暦比

◯濃州住ーーと打文明の比

△筑前信国ーー或ハ二字銘にも打元和比

兼頼 ○一人 濃州関一流二字銘ニ打貞治比

兼仍 ○一人 濃州関一流二字銘ニ打永享比

兼依 ○一人 遠州住ーーと打天文比業物

兼自 ○二人 ◯濃州関一流二字銘ニ打兵エ次郎と号長享比

◯濃州住ーーと打元亀比業物

兼集 ○一人 ヨリ 濃州住ーーと打寛文比

兼吉 ○四人 △四人 ◯濃州関住ーー一流善定と称す康應比迄造ると云

○濃州住ーー或ハ二字銘にも打本国和州直江志津清次郎法名善阿と号ス

◯同二代目濃州住ーー或ハ二字銘にも打嘉吉比迄造る業物

○濃州赤坂一泒二字銘よ打天文比業物
○備州住ーーと打備後葺田一泒應永比
△山城国住ーーと打寛文比
△濃州関住丹波守ーー○坂尾善定丹波守ーー或二字銘まも打小倉市作と号始先兼満と打寛文比摂州又尾州犬山ぅても造る業物
△但州出石住藤原ーー○但州弘原住ーーと打因州鳥取の兼先ヶ孫ヽ貞享比
△作州倉敷住ーーと打寛文比兼景一泒

兼義 ○三人 △三人
○濃州関一泒二字銘まお永正享禄の間業物
○伯耆国延住ーーと打應永比
○石州住ーーと打應永の末より寛正まで至る
△平安城住橘ーーヽ打寛文比坂陽までも造る
△藤原ーーヽ打甲州府中住小倉与次兵衛と号す兼茂の男享保比
△防州岩國住ーーと打濃州関金重兼流岩根六郎兵エと号元禄比

兼賀 ○一人 濃州住ーーと打文明の比

兼能 ○一人 濃州住ーーと打康正比

兼善 ○一人 濃州関住ーーと打天文比

兼辛(ユキヒ) ○一人 △二人
○濃州関一泒二字銘まお孫六と号永享比
△濃州関住ーーと打寛永比
△佐州河原田住ーーと打本国濃州関慶長比

兼良 ○一人 備州長船ーーと打兼光門應永比

兼令 ○一人 濃州関住ーーと打天文比

兼榮 ○二人
○濃州住ーーと打永禄比
○日向住ーーと打時代不明

兼實 ○一人 濃州関住ーーと打永正比

兼可 ○一人 濃州関一泒二字銘まお永正比

兼傳 ○一人 濃州住ーーと打文明比業物

兼代 ○二人
○濃州関一泒二字銘まお貞治比法名仙心と云
○濃州住ーーと打奈良太郎末流大永比業物

兼武 ○一人 △一人
○尾州犬山住ーー或ハ二字銘まもお永正比
△尾州住ーーと打寛文比

兼高 ○三人 △五人
○濃州志津一泒二字銘よ打應永比法名道仙と云
○濃州関住ーーと打天文比業物
○同二代目二字銘よ打天正比
△城州住橘ーーと打時代不明坂陽ぅても造る
△駿河国ーーと打本国濃州と云元禄比
△濃州関住三阿弥ーー○陸奥守藤原ーー裏銘よ濃州住人三阿弥と打寛文比越前北宅庄ろも住を金高とも打業物
△濃州関住三阿弥武蔵守藤原ーーと打寛永比
△越前住ーーと打寛永比三阿弥と別人

兼奉 ○一人 濃州関一泒二字銘よ打貞治比

兼伯 ○一人 濃州関一泒二字銘よ打應永の末より文安比まで至る

兼敬 ○一人 濃州関一泒二字銘よ打天文比

兼孝 ○一人 薩州住ーーと打月山流と云永禄比

兼位 ○二人
○濃州住ーーと打永享比業物
○濃州関住ーーと打天正比

兼宗 ○一人 濃州関一泒二字銘よ打文安比

兼公 ○一人 濃州関一泒二字銘よ打宝徳比

兼女 ○二人 濃州住ーーと打寛正比

兼梢 ○一人(是迄各タカヘ) 濃州関一泒二字銘よ打時代不明

兼種 ○一人 △一人
○濃州関一泒二字銘よ打嘉吉比七郎左エ門と号す
△濃州武義郡関住ーーと打越前までも造る寛文比

兼為 ○一人 濃州関一泒二字銘よ打應仁比

兼達 ○一人 濃州関一泒二字銘よ打文明比

兼竹 ○一人 濃州関住ーーと打永正比

兼谷 ○二人
○濃州関一泒二字銘よ打文安比
○濃州住ーーと打延徳比業物

兼但 ○一人 濃州関一泒二字銘よ打應永比

兼忠 ○一人 濃州住ーーと打明應比

兼常 ○五人 △八人
○左衛門尉

｜｜或ハ二字銘まも打濃州関一派應永比和州手掻より此国へ来れる兼永の跡なれど奈良太郎と号

◯濃州下有知住｜｜と打文明比業物

◯濃州赤坂関一派二字銘ま打福三郎と号ス兼定門明應永正の間業物

◯関之住｜｜源澤と打兵三良と号天文比

◯備前国｜｜と打寛元比と云ふ

△城州伏見住菅原｜｜○桃花山住｜｜○雍州伏見住｜｜とも打寛永寛文の間関まで流あり

△山城国住人藤原｜｜と打摂州まても造る延宝比

△武州神田住藤原｜｜と打辻助九郎と号ス上總介兼重の子也貞享の比業物

△濃州下有知住｜｜或ハ二字銘まも打助右エ門と号寛永比業物同銘外ま二人有と云

△奥州白川住善兵衛｜｜｜｜と打元禄比兼次門

△雲州住｜｜と打兼應比関兼辰末朝山今市住とも打と云

△越前丸岡住｜｜と打一乗住とも打と云慶長の比

△備中松山臣武藤｜｜と打勘次郎と号濃州関の産天明中東武へ移住｜｜寛政中濃州へ帰在す其比卒す

兼經 ○一人

濃州住｜｜と打明應比

兼恒 ○一人

濃州関一派二字銘ま打文明比

兼次 ○七人 △六人

◯濃州志津一派二字銘ま打貞和比信州まても造る

◯濃州関一派二字銘ま打應永比法名道正業物

◯関住｜｜或ハ二字銘まも打永正比業物

◯備中青江一派二字銘ま打正應比良業

◯備州住｜｜と打備後三原一派文和比

◯日州牛島住式部丞｜｜と打関の流と云貞治比

◯日州住｜｜と打薩州まても造る天文永禄比

△平安城住藤原下坂｜｜と打摂州又東武まても造る慶長寛永の間

△関住｜｜作と打濃州川戸一派寛永比

△奥州仙臺住｜｜と打七兵衛と号二代目安倫門寛文

貞享の間二字銘まも打業物

△同二代目奥州仙臺住｜｜と打治左エ門と号四代目国包門元禄享保の間業物

△同三代目奥州住｜｜と打三吉と号五代目安倫門寛延比

△但州出石住｜｜と打元禄比兼先一派業物

△因州兼先家督せする前を代々兼次と打

兼繼 ○四人 △一人

◯濃州志津一派二字銘ま打應安の比

◯同二代目二字銘ま打應永の比業物

◯石州住｜｜と打永享比出羽物あり

◯備州長船｜｜と打嘉慶比

△三河国｜｜と打関流あり万治比

兼綱 ○四人 △二人

◯濃州住｜｜と打長享比業物

◯濃州関住｜｜と打永正比

◯石州出羽住｜｜或ハ二字銘ま打延文の比業物

◯備州長船｜｜と打應仁比縄の字ま打

△粟田口藤原｜｜と打坂陽住忠三郎包綱の初銘なり

△肥州住｜｜と打肥前兼廣門享保比

兼縄 ○一人

濃州住右エ門｜｜或ハ二字銘まも打永和比

兼付 ○一人

濃州住｜｜と打文安比

兼貫 ○一人

濃州関一派二字銘ま打長享比

兼列 ○一人

濃州関住｜｜或ハ二字銘ま打天文比

兼辻 ○一人

濃州関一派二字銘多く永禄比業物

兼靍 ○一人

濃州関一派二字大銘ま打元亀比業物

兼積 ○一人

濃州関一派二字銘ま打弘治比

兼永 ○七人 △二人

◯和州手掻一派二字銘ま打左エ門尉と号後濃州へ移る建武比

◯武州住｜｜と打下原一派弘治比業物

◯濃州関一派二字銘ま打應永比

◯同二代目二字銘ま打文明比

◯濃州川戸関一派二字銘ま打永禄比

◯月山｜｜と打羽州天文比石州

雲州にても ○備前二字銘 △武州住万歳ーー作と打 △相模守藤原ーーと打 兼長 ○七人 △七人 ○濃
造ると云 に打安貞比 明暦比兼長同人と云 濃州関一派寛文の比 州
小山関一派二字銘に打六郎太夫 ○濃州関一派二字細銘に ○濃州関一派二字 ○因州住ーーと打小
と号法名道慶貞治比良業 打美々文明比業物 大銘に打天文比 鍛冶一派貞治比
○石州長濱住ーー ○備州長船ーーと打長義門 ○備州長船ーーと打 △泉州住ーーと打 △武州住
と打永正比 貞治比後兼貞と改大業 明徳應永の間業物 時代不明肌物 横山三
四郎ーーと打明暦比なる △濃州赤坂住ーーと打三阿弥 △濃州岐阜住ーー △丹波園部住ー △肥前国住ーー
也とも打兼永同人と云 一派坂陽にても造る寛文比 ーと打享保比 ーと打時代不明 ーと打嘉兵衛
と号吉信門正 △薩州住ーーと 兼命 ○一人 濃州関一派二字 ○濃州直江志津門二字銘に
徳享保之間 打時代不明 銘に打寛正比 兼直 ○二人 △一人 打左エ門次郎と号康暦
比業 ○濃州関一派二字 △兼元五代目ーー作と打 兼尚 ○一人 濃州関一派二字 兼猶 ○一人 濃州
物 銘に打文明比 濃州赤坂住慶長比 銘に打文明比 関一派
二字銘に打 兼仲 ○一人 濃州関一派二字銘に打 兼中 △一人 武蔵守藤原ーーと打越前一乗住天和比東
長享比 中の字にも打永禄比 武にても造る仲の字に打あるも有業物
兼作 ○一人 濃州関住二字 兼成 ○一人 △一人 ○濃州関住ーー △濃州関住ーー作と打 兼生 ○一人
銘に打大永比 と打天文比 坂陽にても造る寛文比

濃州関住ーー 兼得 ○二人 ○濃州関一派二字小銘に打 ○濃州住ーー或ハ二字 兼入 ○一人 濃州ーーと
と打時代不明 なり 左エ門と号永正比業物 大銘に打天正比 打永正比
兼也 ○一人 濃州関一派二字 兼並 ○一人 濃州志津一派二字銘 兼宗 ○三人 ○濃州関一派二字細鏨
銘に打文亀比 に打孫六と号文安比 に打應永比法名良
賢 現字打 ○同二代目二字銘に打 ○濃州関住ーー 兼棟 ○一人 濃州関一派二字 兼村 ○一人 △一人 ○濃州
業物 長禄比銘太し と打天正比 銘に打長享比 関一
派二字銘に △摂州住ーーと打寛 兼氏 ○六人 △四人 ○美濃国志津住ーー或ハ二字銘多し本国和州千手院一派
打延文比 △文比本國濃州也 動に居住し包氏と打是を大和志津と唱ふ元應比濃州
多藝郡志津へ移住し志津三郎兼氏と改め相州鎌倉へ来り ○濃州志津一派二字 ○同二代目
五郎正宗門に成て後金重の聟となる康永比迄造る大業 銘に打延文應安の間 二字銘に打
應永比 ○兼氏作と打濃州赤坂千手院 ○江州住ーーと ○土州吾河郡伊與木邑住 △摂州住
業物 一派文明比本国和州と云業物 打時代不明 ーーと打天文比と云 ーーと打
寛文比洛陽に △濃州大垣住志津三郎ーーと打兼氏廿三代の孫志津又左エ門 △濃州住志津三郎
ても造ると云 △と号享保己亥の年八拾歳是迄代々の銘時代不明故に脱を ーーと打又左衛門
の子治兵衛と号尾州 △奥州會津住ーーと打七代目兼定末男にして八代目 兼植 ○一人 △六人 ○濃
にても造る享保の比 兼定養子と成古川惣右衛門と号寛政文化 州

関一派二字銘或ハ兼植作△武州住ーーと打△越前住ーーと打慶長比△越前国住ーー○越之
とも打文亀比業物檜垣釘△寛永比業物△越前一乗住ともと云良業△前州常陸守ーーと打
寛文△越前国住ーーと△賀州大聖寺住ー△越後中條住ーーと打 **兼上**○二人 ○濃州直
比△大銘ヨ打元禄比△ーーと打貞享比と云△寛永比武州同人と云 井志津
一派二字銘ヨ打○濃州関一派二字銘ヨ **兼馬**○一人 濃州関一派二字 **兼則**○七人△八人 ○濃州関一派二
文和比業物 打六郎と号永正比 銘ヨ打延徳比 字銘ヨ打四郎
左衛門法名三阿弥と号本○同二代目二字銘ヨ打應安より○同三代目二字銘ヨ打長禄比越○濃州住ーーと
国尾州志賀建武比良業 應永の首年より良業 前へ移住を関業多し業物 打永正比細鐔
ヨ打○濃州川戸関一派二字○同二代目二字銘ヨ打天○越後国ーーと打天文比△濃州古関兼則五
業物 銘ヨ打天文永禄比 正比堀四郎兵衛と号 吉右エ門と号業物 代傳山城国伏見稲
荷住ーーと打慶長比△摂州住ーーと△信州住ーーと△越前一乗住ーーと打△越前国住ーー
文禄比より造ると云△打寛文比△打寛永比△寛永明暦の间業物△と打寛文比
△加州淀宮藤原ーーと打△越中富山住藤原△越後新発田住吉右エ門尉ー **兼法**○四人△三人
△貞享元禄の比大業△ーーと打承應の比△ーと打延宝天和比天文の末 ○
濃州関奈良太郎一派二字銘多し右エ門次郎○同二代目二字銘○濵松住ー作と打○同三代
法名仙心と号文亀比良業 兼代の法名仙心と号 未詳ウルマの横町住 遠州まても造る弘治の比業物 目濃州

住ーーと打天○越前国一乗住ーー作と打大永天文の间△濃州神戸住△越前一乗住ーー或
正の比業物 初代兼法门當国へ来り代々相續を△ーーと打寛永比 ハ二字銘ヨも打慶長
寛永の间大和大掾正則と両作あり天文△賀州金沢住藤原 **兼憲**○一人 濃州住ーー或ハ二字
の兼法四代目と云へとも此间の作未詳業物△ーーと打寛文比 銘ヨも打大永の比
兼紀○二人 濃州関一派二字 **兼由**○一人 濃州関一派二字 **兼順**○一人 濃州三阿弥関一派二
銘ヨ打天文の比 銘ヨ打明徳比 字銘ヨ打文亀の比
兼廻○二人 濃州関一派二字 **兼乗**○一人 濃州関一派二字 **兼徳**△一人 摂州住ーーと **兼延**○四人
銘ヨ打寛正比 銘ヨ打天文比 打寛文比
○尾州志賀一派志賀住ーー或ハ二字銘ヨ打文保建武の间濃州○同二代目二字銘多し生
関へ移住を山田関と唱ふるハ是ハ志津兼氏ヨ学ふ大業 国尾州後濃州ヨ住を
貞和延文○志賀住ーーと打尾州○濃州室屋関一派二字 **兼信**○三人△九人 ○濃州山
の间良業 住天文比二字銘も有 大銘ヨ打明應の比 田関一派
二字銘多し直井住ーーと打も同人なり左エ門次郎○濃州関善定一派二字銘ヨ打
と号ノ本国尾州二代目兼延の弟と云文和比業物 九郎右エ门と号もと應永の比
○備州長船ーー△摂州住ーーと△武州住藤原ーーと△濃州神戸住田代源一郎ーー○表銘濃
と打永享比△打延宝の比△打兼重门元禄の比△州神戸住源一裏銘大和守ーーと打

｜物有寛永比より造ると △濃州神戸住陸奥守藤原｜ △濃州神戸住田代角兵エ藤
云ふ世ニ源一大和と呼ハ是く ｜｜と打延宝の比雕物美あり 原｜｜と打兼應なん比
△濃州住大和守｜｜と △奥州會津住｜｜と打 △奥州住｜｜と打兼友 △陸奥国會津住
打寛文比源一と別人 初代兼友壮年の銘延宝比 門勘七と号貞享比 ｜｜と打七代目
兼定門 **兼信** ○一人 濃州直井志津一派 **兼宣** ○一人 ◯濃州関一派二字銘或ハ徳永 △摂州住｜｜
明和比 三字銘ニ打應永比 △四人 とも打又四郎と号應永比 △と打本国濃
州也寛 △濃州住｜｜○徳永｜｜とも打七郎兵エと号 △奥州會津住下坂｜｜と打 △豫州大洲住｜｜と打
文比 △慶長比以後同銘三代と云へとも未詳 △利安子文次郎と号寛政比 △本国濃州寛文比
兼言 ○一人 濃州関一派二 **兼國** ○五人 ◯大和住｜｜或ハ二字銘ニ打貞治比 ◯濃州住｜｜或ハ二
字銘ニ打文明比 △二人 當广後行流後濃州関ニ住を 字銘ニしも打三阿弥
一派右エ門尉法名常椿 ◯濃州関一派二字銘ニ打国の字 ◯同二代目二字銘ニ打国の ◯濃州関之
と号應安應永の間良業 長｜永享比法名道阿弥と号 ◯字短｜明應の比業物 ◯住｜｜ 裏銘
於播州別府作之と切とのもし大永天 △濃州関住｜｜○甚中山麓 △藤原｜｜と打 **兼邦** ○二人
文の間此代より以下三代播州ニ住をと云業物 △｜｜或二字銘も有慶長比 △播州寛永の比
◯濃州三阿弥一派二字銘ニ打 ◯濃州関住｜｜と打 **兼州** ○一人 濃州赤坂関一派二 **兼熊** ○一人 濃
郎の字ニ打も同人應永の比 天正比又四郎と号 字銘ニ打文明の比 州

関一派二字銘ニ打 **兼雲** ○一人 濃州関一派二字銘ニ打 **兼倉** △一人 奥州若林住｜ **兼安** ○八人 ◯
應仁の比業物 應永比のしの字ニ切 ｜と打享保比 △四人
城州三条末孫二字銘ニ打 ◯城州来一派来｜｜と打包の字 ◯濃州関一派二字銘ニ ◯濃州志津
嘉慶比後石州へ移住を も切文和比後重行と改むると云 打貞治比法名得阿 一派二字銘
ニ打應安比 ◯濃州関一派二字銘 ◯備州長船｜｜と打 ◯備州長船｜｜ ◯備州住｜｜と打備
妥如此切 ニ打又六と号大永比 基光流應永比 と打文明の比 後一乗一派延文比
業 △摂州住｜｜と打中河内の門長兵衛 △濃州関源一｜｜○相摸守藤原｜｜と打後藤七郎兵衛と
物 △と号寛文壬子卅歳康の字も切 △号東武へ来り大村加卜門と成甲州ニても造る二代有しと云
寛文比 △奥州住｜｜或ハ二字銘ニ △奥州住｜｜と打仙臺 **兼康** ○一人 ◯濃州赤坂関一派二字銘
業物 △も打慶長比天正比より造る △兼次門延宝比柾目鍛 △二人 ニ打文明比作州ニても造る
△摂州住｜｜と打長 **兼保** ○一人 濃州関一派二字 **兼泰** ○一人 濃州住｜｜と **兼正** ○四人 泉五郎
兵衛兼安同人 銘ニ打天文の比 打享禄の比 △四人 ◯｜｜或
ハ二字銘ニも打泉州加賀 ◯濃州直江志津一派 ◯濃州関一派二字銘ニ打又 ◯濃州蜂屋一派二字 △武藏国
四郎一派明應比業物 ◯二字銘ニ打延文比 ◯次郎と号應永比業物 ◯銘ニ打文明比良業 △住｜｜と
打元 △濃州関一派二字 △江州彦根住藤原｜｜○西本藤原｜ △下總大掾藤原｜｜と打越前一乗住服部言
禄比 △銘ニ打寛文比 △｜と打服部惣助と号貞享享保の間 △兵エと号濃州関兼法五代の孫と云後ニ

州彦根ニ住ス寛永比惣助兼正父ト云業物

兼政 ○一人 濃州住――ト打永正比

兼當 ○一人 濃州関住――ト打天文比業物

兼昌 ○一人 濃州関一泒二字銘ニ打文亀比

兼益 ○一人 濃州住――ト打天文比

兼舛 ○一人 △一人
○濃州奈良太郎一泒二字銘多シ天文比
△播磨守源――ト打濃州良賢末之摂州ニても造ル寛文の比

兼巻 ○一人 △六人
○濃州関三代目兼定門二字銘ニ打天正中加州金沢ヘ来リ子孫此地ニ栄ユ法名喜齋ト云
△加州金沢住藤原――ト打喜兵の男五郎右衛門ト号元和比より造
△同三代目加州住藤原――ト打清藏ト号寛文比
△同四代目同銘打物多シ清藏ト号兼應貞享かん間
△同五代目同銘ニ打享保比
△加州住――ト打五郎右衛門の子藤藏ト号万治比後越中高岡ニ住ス
△同二代目賀州住藤原――ト打治兵衛ト号延宝比此代限ニて絶ゆ

兼町 ○一人 濃州関一泒二字大銘ニ打天正比包尺切

兼待 ○一人 濃州関一泒二字銘ニ打元亀比

兼丸 ○一人 △一人
○濃州関金重一泒二字銘或八次郎ト斗も打左エ門次郎ト号永享寛正の間圓の字も切
△越前住宇多出羽大掾藤原――ト打兼○ト打元和比ト云

兼松 ○二人
○濃州関一泒二字銘ニ打四郎兵衛ト号至徳比兼綱ト改――とも云業物
○濃州関一泒二字銘ニ打永正比

兼房 ○四人 △七人
○濃州赤坂関一泒二字銘ニ打清左エ門ト号嘉吉比良業
○同二代目二字銘多シ○関之住――於勢州松坂作之ト打も同人長享の比良業
○同三代目二字銘多シ兼常門ト云氏房ガ父永正比大業

○濃州関之住――或ハ二字銘ニ打○犬山住――ト打も同人後尾州ニ住する故ニ氏房が天正の比業物
△三州吉田住藤原来――ト打兼應比
△常陸守藤原――ト打東武住寛文比
△武州住常陸守藤原――ト打享保比兼平が父
△常州東條下高田住――ト打元禄比
△陸奥守藤原――ト打濃州関住文右エ門ト号和州又摂州ニても造る寛文比二代目八森房ト云
△日州住――ト打時代不明
△肥後守藤原――ト打
△在所時代不明越前ト云

兼英 ○一人 △一人
○濃州関一泒二字銘ニ打天文比
△摂州住――○住吉――とも打寛文比

兼古 ○一人 濃州関一泒二字銘ニ打康正比

兼節 ○一人 濃州関住二字銘ニ打長享比

兼舩 二人 濃州山田関一泒二字銘ニ打孫右衛門法名良賢ト号應永文安の間業物

兼藤 ○一人 濃州墨股住――ト打文安比勝の字も切

兼是 ○一人 濃州関一泒二字銘ニ打時代不明

兼枝（タカエ） ○一人 濃州関一泒二字銘ニ打應仁比

兼輝 ○一人 濃州関善定一泒二字銘ニ打文明比

兼耀 ○一人 濃州関一泒二字銘ニ打文亀比翔と打

兼照 ○一人 濃州住――ト打天文比

兼金 ○一人 濃州関一泒二字銘ニ打明應比

兼阿 ○一人 濃州住――ト打長享比道号なるべし

兼在 ○二人
○濃州関一泒二字銘ニ打室屋左エ門五郎ト号善定門永享比
○濃州住――作ト打天正比業物

兼有 ○二人
○濃州志津一泒二字銘ニ打應安比
○濃州室屋関一泒二字銘ニ打天文の比

兼明 ○四人
○濃州住左エ門尉――或二字銘ニ打永和比
○

濃州善定関一派二字銘ヲ打應永比後遠州高天神ヘ移住ー高天神ト斗も打大業 ○同二代目遠州高天神ニ住ー父ト同銘ヲ打文明比業物 ○同三代目同銘ヲ打右エ門四郎ト号武田信虎より一字ヲ授くて虎明ト改む永正天文の間

兼日 ○一人 濃州関一派二字銘ヲ打寛正比

兼秋 ○二人 ○和州手掻一派二字銘ヲ打包の字ヲも打時代不明 ○濃州関一派二字銘ヲ打四郎左エ門入道ト号應安比業物

兼晩 ○一人 アイ 濃州赤坂関一派二字銘ヲ打天正比

兼青 ○一人 濃州関一派二字銘ヲ打時代不明

兼定 ○七人 △十三人 ○和泉守藤原ーーと細鏨ニて定の字を真ニ切ル多くハ小銘ニ二字ヲ打長禄長享の間濃州志津流赤坂ニ住ス○世ニ初代ハ信濃守ニ受領ーーて枝菊或ハ唯の菊も切ルと云々此受領銘の物未見大業

○同二代目和泉守藤原ーー○和泉守ーーと打明應の年号切比ハ定の字體真ニーて多くハ○関住ーー作と打永正の初名より如此定の字を切故ニ之定と唱ふ永正の末勢州山田ニおひて造りし有最上大業物 ○同三代目和泉守ーー或ハ二字銘多し初名寛近ト打享禄天文比世ニ之定ト唱ふ大業 ○濃州関住兼定と打三品角左エ門尉ト号二代目兼定門初名利隆と打天文弘治比大銘鏨卑し ○濃州清水住和泉守ーーと打此受領不審く三代目兼定男と云弘治天正の間○奥州會津ニ於て芦名家の刀匠と成しハ此冶工と云々是なり

○石州長濱住ーーと打文安比 ○奥州住ーーと打本國濃州関和泉守兼定男古川清右エ門と号弘治中奥州會津へ来り芦名家の刀匠と成り子孫此地ニ栄ふ良業 △同二代目

奥州會津住ーーと打古川孫四郎と号慶長年中蒲生家の刀匠と成主命ニより川ニて綱房と改む夫より二字銘多し業物 △同三代目奥州會津住ーーと打同孫一郎と号寛永比

△同四代目奥州會津住ーーと打同孫右エ門と号明暦乙未の年保科侯の刀匠と成寛文丙午卒 △同五代目近江大掾ーー○近江大掾ーー入道と打同孫右エ門と号元禄年中受領正徳癸未卒 △同六代目二字銘多し同数右エ門後ニ近江と改受領なしー宝暦丁丑卒 △同七代目二字銘多し同孫右エ門後治太夫と改天明丙午卒 △同八代目二字銘ヲ打同傳内後近江と改寛政文化比

△和泉守源ーーと打東武寛文比 △武州住ーー○神明住ーーとも打享保比 △常州住ーーーと打貞享比 △濃州住但馬守藤原ーーと打貞享の比 △上野守藤原ーー裏銘越前福居住人と打延宝比業物

兼貞 ○八人 △三人 ○藤原ーー或ハ二字銘ヲ打濃州関一派生国若州初名若狭五郎貞光と打後濃州へ来り七右エ門尉と改永享比法名貞阿大業 ○濃州蜂屋一派二字銘ニ打文明比 ○同二代目二字銘ニ打文亀の比 ○同三代目二字銘ニ打享禄の比 ○濃州住ーーと打二代目兼定門大永比良業 ○越後国住ーーと打本国濃州川戸関一派天文比業物 ○石州長濱住ーーと打天文比業物 ○備州長船ーーと打康暦比長義門初名兼長と打 △駿州住ーーと打寛文比 △信濃守ーー○左少将ーー○小将ーーと打濃州坂倉関一派天和寛永なん間 △薩州鹿児島住藤原ーーと打斜木太右エ門と号元禄享保の間清次より三代目兼清同人

兼真 ○三人 △一人 ○和州手掻一派二字銘ヲ打應永比包貞同人

◯濃州蜂屋一派二字銘ヲ打長禄比業物

◯濃州赤坂関一派二字銘ヲ打永正比

△濃州関住――と打寛文元禄なん間

兼實 ○二人

◯左近太郎――或ハ二字銘ヲ打濃州関一派永亨比

◯濃州関一派二字銘ヲ打弘治比

兼先 ○七人 △十六人

◯下坂――と打江州西坂本住濃州小山関廣長門天正比

◯濃州赤坂千手院一派二字銘ヲ打康暦の比

◯関住――と打濃州延徳比業物

◯兼先作と打濃州関一派大永亨禄比

◯濃州赤坂関一派二字銘ヲ打日置伊助と号備前へ移住す天正比業物

◯越後住――と打文禄の比慶長比迄関の風造ると云

◯丹波福智山住――と打天正比

△摂州住藤原――と打寛文比関流

△相模守――と打濃州関寛永比兼守同人

△但馬国出石住藤原――と打関善定兼吉末高橋谷衛門と号亨保比

△因州住――或ハ二字銘多く日置惣右エ門と号伊助ゟ男慶長比生国備前之業物

△同二代目因州鳥取住――と打同宗十郎と号寛永比

△同三代目因州住――と打同兵右エ門と号寛文比

初名兼次と云此代ゟ以下代々家督前ハ兼次と打

△同四代目因州住――と打同兵助と号貞享元禄の間

△同五代目因州住――と打同兵助と号延享丙寅の年六代限藤掛氏ニ改む

△因州住――と打日置九郎右エ門と号宗十郎之三男別家す貞享元禄の間

△因州鳥取住――と打九郎右衛門ゟ門人三次と号享保比

△因幡国住――と打四代目兵助妹智喜右エ門と号正徳の比

△因州住――と打兵右エ門二男源次郎と号享保比

△作州津山住――と打長田半助と号濃州赤坂関の末元禄の比業物

△同二代目作州津山住――と打和助と号享保の比

△美作霍山城下藤――と打川村五郎左エ門と号水心子正秀門安永天明比長田氏ゟ別家と云

△藝陽廣嶋住橘――と打今村半左衛門と号兼應寛文の間一代刀匠

兼前 ○一人

濃州関一派二字銘ヲ打永正の比

兼﨑 △一人

九州筑後柳川住下坂藤原――と打奥州會津下坂爲利门元禄比

兼里 ○二人

◯濃州関金重流二字銘ヲ打貞和比

◯濃州直井一派二字銘ヲ打太郎と号嘉吉比業物

兼坂 △一人

越後高田住――と打寛永比と云

兼白（キヨ） ○二人

◯濃州関一派二字銘ヲ打右エ門二郎と号貞治比

◯濃州住――と打太郎と号文明の比業物

兼清 ○四人 △三人

◯濃州関一派二字銘ヲ打信州まても造る延文比

◯濃州住――と打應永比二代目と云業物

◯濃州住源左エ門尉――と打法名玄祐ニ永正大永の比

◯――乗作と打備後葦田物一派應安比良業

△摂州住都筑五郎源――○摂州住源五郎――と打本国濃州神戸寛文比

△雲州住――と打時代不明

△日州住――と打享保比薩州斜木兼貞同人と云

兼井 ○一人

濃州関一派二字銘ヲ打永正比

兼心 ○一人

濃州関一派二字銘ヲ打文安比

兼玉 ○一人

濃州関一派二字銘ヲ打嘉吉比

兼研 ○二人

濃州関一派二字銘ヲ打弘治比

兼岸 ○三人

◯濃州関一派二字銘ヲ打康正比

◯濃州関住――或ハ二字銘ヲ打亨禄比

兼菊 ○一人

濃州住――○尾州清洲住清次郎――と打天文の比業物

兼鬼 ○一人

濃州関一派二字銘ヲ打時代不明

兼行 ○四人 △一人

◯濃州直井一派二字銘ヲ打孫左エ門と号正中比

◯濃州関奈良太郎関二字銘ヲ打

應永比奈良◯濃州住ーーと打◯一乗ーー作と打備後葦田物一派文和△下総守藤原ーーと打濃州関
五郎と号を◯文明比業物◯比後ニ三原住左近祭助国養子と成る△一派貞享比江州彦根ニても造る

兼床 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打天文比 **兼光** ○十六人 △四人 ◯和州住ーー或ハ二字銘多し手掻住平三郎包永の外孫と云
◯後濃州へ来り右エ門尉金行の聟と成老後七郎入道得印

と号建武◯濃州志津一派二◯濃州関善定一派二字銘ニ◯同二代目二字◯濃州赤坂千手院一派二字
比良業◯字銘ニ打貞治比◯打清次郎と号應永比◯銘ニ打康正比◯銘ニ打應永の比良業

◯越後国住ーーと打◯因州住ーーと打小鍛冶三代目景長備州長船へ移住し挙一派の◯同二代目因州住ー
◯文禄比関傳ニ業物◯门ニ入修行を此比より兼光ニ改むると云明徳比因州へ帰邑まで◯ーと打應永永享

比◯備前国長船ーー○備州長船ーー○備州ーーとも打景光の男孫左エ門と号相州鎌倉へ来りて
◯五郎正宗の门と成延元比足利尊氏ニ倶せられ九州ニても造る延文庚子までの作多し

最上大◯備州長船ーーと打明◯備州住ーーと打備後△摂州尼崎住三品但馬守藤原ーーと打
業物◯徳應永比因州と別人◯葦田物一派永享比△坂陽二代目丹後守兼道門後養子と

成初め兼近门平と打三品紋太夫と号享保△同二代目但馬守ーーと打△濃州住ーーと打裏銘ニ兼光
壬子の年東武へ来り無程帰邑同年卒すと云△三品久太夫と号寛延比△正涜と打くるも有得印の

末寛文貞△作州津山住藤 **兼満** ○一人 △一人 ◯濃州関善定一派二字銘△濃州住ーーと打丹波守
享子まん間△原ーーと打貞享比◯ニ打永享比清三郎と号△兼吉ら初めかん銘あり

兼道 ○一人 △四人 ◯濃州関住ーー○関住ーー作銘裏濃州具狀郡と打物有多くハ二字銘也志津兼氏九代の
孫と云享禄比より造り永禄中洛陽西洞院へ移住も三品伊賀守金道等の父

△平安城山中ーーと打慶△三品丹後守藤原ーー○丹後守藤原ーーと打寛永乙丑の年受領して菊一
長寛永の间小銘あり△文字と切京初代丹波の次男吉兵衛と号寛永年中直道と改摂州大坂ニ居

住し寛文壬子の年△同二代目丹後守ーーと打菊と藤原の文字切ある物ハ見受領前ハ△越前國住下
卒ス七十歳良業△稲荷丸ーーと打三品喜平次と号元禄年间東武へ下る業物△総大掾藤原

ーーと打寛文 **兼陸** ○一人 △一人 ◯濃州関一派二字△多丹國住ーーと打 **兼路** △一人 山城國藤原ー
比兼正同人と云◯銘ニ打文禄の比△寛文の比丹後ニ有り ーと打延寶比

兼見 ○一人 濃州住ーーと **兼峯** ○一人 濃州関一派二字銘ニして **兼宮** ○一人 濃州赤坂関一派二
打應永の比 必も本の字ニ打文明比 字銘ニ打天文の比

兼重 ○六人 △五人 ◯藤五郎ーー或ハ二字銘ニ打尾州山田◯濃州関善定一派二字銘ニ打應永の末◯同
◯関一派清洲ニても造る建武比良業◯より永享ニ至る左エ門次郎法名道玖と云◯二代

目二字銘ニ打又右衛◯江州住ーーと◯備州長船ーーと打◯薩州住ーーと打日州△和泉守藤原ーー
門と号文安比業物◯打時代不明◯長義門貞治の比◯ニても造る天文の比△○上総守ーー○上

総介ーーと打本國越前矢根鍛冶ニて辻助右エ門と号寛永中東武へ来り藤△濃州西田住ーー○濃
堂家の刀匠と成受領と憚らく薄任を勢州津ニても造る父子两作有良業△州住ーーと打慶長の比

△関末流ーーと打本國濃州ふーて坂陽ニ住し後ニ播州手柄山麓ニても造半太夫と号寛文比ゟ駿守ふ任さと云　△播州姫路住藤原ーーと打備後三原正近末流正春男黒田太郎左エ門と号元禄享保の　△同二代目播州住ーーと打黒田源三郎と号享保元文の間

兼茂 ○一人 △一人　○濃州赤坂関一派二字銘ニ打二代目兼元の初め銘あり　△濃州小倉野住ーーと打小倉吉廣男与次兵衛と号甲州府中へ移住さと享保比

兼城 ○一人　濃州関一派二字銘ニ打永享比

兼鹿 ○一人　濃州住ーーと打延徳比と云

兼平 ○二人 △二人　○濃州関一派二字銘ニ打法名道然と号應安比　○豊後紀一派天福比兼平作と打　△武州住ーー作と打安永巳亥の年兼房と改公平と打も同人　△濃州関末流二字銘ニ打元禄比

兼衡 ○二人 △一人　○濃州関一派二字銘ニ打文明の比業物　△濃州住ーー○兼衡作とも打寛文比

兼廣 ○一人 △十人　○濃州関一派二字銘ニ打文明比法名仙心と云○兼代兼法も仙心と有未詳　△常州東條庄下坂ーーと打元禄比　△濃州小倉野住ーー或ハ二字銘ニ打小倉市左エ門と号貞享比吉廣とも打と云　△越前国下坂ーーと打元禄比東武ニても造る受領後包廣ニ改　△越後高田住ーーと打寛文の比　△藝州廣嶋住ーーと打四代目冬廣三男高橋次郎太夫後公左エ門と号元禄比勢州津ニても造る業物　△同二代目藝州住ーーと打同勘右エ門と号享保比　△同三代目藝州廣嶋住ーーと号同新瓶と号宝暦比　△同四代目藝州住ーーと打同次郎太夫と号寛政比　△肥前佐賀住大和大掾藤原ーーと打大和守と打るも有六郎左エ門国廣男六郎兵エと号万治寛文の比業物　△同二代目肥前国住遠江守藤原ーーと打延寳

享保の向銘裏以瓢箪鉄造と切是ハ南蛮瓢箪形の鉄ニて造るなり

兼弘 ○二人 △一人　○濃州関一派二字銘ニ打貞和比法名金阿　○濃州関得印一派二字銘ニ打左エ門四郎法名得榮と号貞治比良業　△羽州米沢住ーーと打元禄比

兼宏 ○一人　濃州関一派二字銘ニ打三郎五郎と号文明比

兼外 ○一人　濃州関一派二字銘ニ打文安比

兼聞 ○一人　濃州関一派二字銘ニ打嘉吉比

兼戸 ○一人　濃州関一派二字銘ニ打宝徳の比

兼大 ○一人　濃州関一派二字銘ニ打明應比

兼寛 ○一人　濃州関一派二字銘ニ打永正之比

兼久 ○七人 △一人　○濃州直井一派二字銘ニ打應安比六郎左エ門法名道阿弥　○同二代目濃州住ーー或ハ二字銘ニ打嘉吉文安比良業　○濃州関一派二字銘ニ打洛陽ニても造る孫五郎と号文明の比　○播州住ーーと打屋形の御作と唱ふ政則かくのとく赤松氏の作なるへし文安比　○雲州住ーーと打永禄の比　○石州出羽住ーーと打天文比雲州同人と云未詳業物　○肥州住ーーと打肥後時代不明　△江州水口住ーーと打元禄の比

兼秀 ○一人 △一人　○濃州関一派二字銘ニ打文安比　△奥州會津住ーーと打元文比三代目兼友門

兼仁 ○一人　濃州関一派永禄比兼仁と二字ニ打

兼仙 ○二人　○濃州関一派二字銘ニ打應永比　○同二代目二字銘ニ打寛正比

兼基 ○一人　濃州関一派二字銘ニ打長享比本国越後道深ヵ男大業

兼元 ○六人 △一人　○濃州関一派二字銘ニ打嘉吉文安比太郎左エ門法名清関と号業物　○濃州赤坂関一派二字銘ニ打孫六と号初代兼定門ふーて二代目和泉守兼定と兄弟と約して修行さと云明應より永正迄の作多し最上大業

物 子と云
○兼基 ◯同二代目濃州赤坂住――或ハ二字銘多し初め兼茂と打大永亨禄比孫六と号大業 ◯同三代目濃州不破郡住――或ハ二字銘多し孫六と号天文永禄の間山田住と打も同人大業 ◯濃州関一派二字銘ヲ打永禄比孫六一族ヲ非を ◯備後三原住――と打鉏元ヲ一文字を切天文比 △濃州赤坂住田代源一――と打寛永比孫六の末と云是迄数工有へし未詳

兼本 ○一人 濃州関一派二字銘ヲ打永亨比業物

兼源 ○一人 濃州住――と打長禄比

兼下 ○一人 濃州関一派二字銘ヲ打文亀の比

兼体 ○一人 濃州関一派二字銘ヲ打應仁比

兼用（モチ） ○一人 濃州関一派二字銘ヲ打應永比

兼森 ○二人 ◯濃州関一派二字銘ヲ打應永比 ◯濃州墨股住――或ハ二字銘ヲ打長亨比

兼守 ○五人 △一人 ◯濃州関一派二字銘ヲ打文明比二郎左エ門法名清金と号良業 ◯濃州関一派永正比兼守作と打 ◯備前二字銘ヲ打安貞の比 ◯一乗――作と打備後葦田一派藝州同人と云嘉吉比業物 ◯藝州吉本住人――と打永亨比一乗同人と云 業物 △相摸守藤原――と打濃州関一派洛陽ヲても造る寛文比

兼衛 ○一人 濃州関一派二字銘ヲ打明應比

兼林 ○二人 ◯和州手掻一派二字銘ヲ打包の字ヲも切貞治の比清則同人と云 ◯濃州関一派二字銘ヲ打貞和の比

兼盛 ○四人 △一人 ◯濃州関一派二字銘ヲ打貞治比 ◯同二代目二字銘ヲ打應永比 ◯同三代目二字銘ヲ打文明比遠州ホても造る同銘又三人と云未詳 ◯濃州赤坂関一派二字銘ヲ打天文比業物 △武州住――と打延宝貞享の間

兼太 ○一人 濃州住――と打永正比

兼師 ○一人 濃州関一派二字銘ホ打文安比業物

兼持 ○二人 ◯和州千手院一派二字銘ヲ打應永の比 ◯濃州関住――と打大永の比

兼助 ○一人 △二人 ◯三州薬王寺一派二字銘ヲ打濃州ヲても造る或ハ本国とも云文明比 ◯濃州関住――と打寛永比弥右エ門と号 △同二代目二字銘多し貞享比

兼介 ○二人 ◯濃州関一派二字銘ヲ打應永比 ◯濃州関住――と打右エ門一郎と号亨禄比

兼貞 ○一人 濃州関一派二字銘ヲ打文亀比

兼輔 ○一人 濃州関一派二字銘ヲ打大永比

兼左 ○一人 濃州住――或ハ二字銘ヲ打應永比

兼右 ○一人 濃州関一派二字銘ヲ打延徳比

兼亮 ○一人 濃州関一派二字銘ヲ打永禄比

兼角 ○二人 ◯濃州赤坂千手院一派二字銘ヲ打應安の比 ◯同二代目千手院――或ハ二字銘ヲ打應永比業物

兼住 ○一人 △一人 ◯濃州関一派二字銘ヲ打文安比十郎と号 △濃州関一派二字銘又ハ兼住作とも打寛永比

兼杉 ○一人 濃州関一派二字銘ヲ打天文比

兼末 ○二人 ◯濃州住――或ハ二字銘ヲ打延徳比 ◯一乗――作と打備後葦田一派長禄の比業物

兼氏 ○二人 ◯尾州犬山住――と打文禄比 ◯濃州関一派二字銘ヲ打永正比

兼蘭 ○一人 濃州関一派二字銘ヲ打時代不明

兼印 ○一人 濃州関一派二字銘ヲ打文安比卯とも打

兼領 ○一人 濃州関一派二字銘ヲ打明應比

兼力 ○一人 濃州関一派二字銘ヲ打文亀比と云

兼析 ○一人 濃州関一派二字銘ヲ打天文比

兼消 ○一人 濃州関一派二字銘ヲ打大永比

兼姓 ○一人 濃州住――と打永正の比

兼關 ○一人 濃州関一派

文亀比
兼様 ○一人 濃州関一派二 字銘ニ打永正比 兼抄 ○一人 濃州関一派天文比 兼貫 ○一人 濃州関一派永亨比 兼龍 ○一人 濃州関一派長禄の比と云
兼枯 ○一人 濃州関一派弘治比 兼贇 ○一人 濃州関一派文明比 兼離 ○一人 濃州関一派時代不明 兼 ○二人 ◯ 濃州関一派一字銘ニ打得榮の子
右エ門四郎法名明榮と号永和比と云 ◯ 備前一字銘ニ打暦仁比 包家 ○四人 △一人 ◯ 大和国ーーと打手搔一派延徳比と云 ◯ 備前国ーーと打福岡
一文字一派建暦比 ◯ 備州長船ーーと打文和比業物 ◯ 備州長船ーーと打永正比業物 △ 武州住文珠藤原ーーと打元禄比包定門 包春 ○一人 和州住ーーと打手搔一派文
亀比業物 包治 ○一人 大和国ーーと打手搔一派徳治比 包利 ○二人 ◯ 和州手搔一派二字大銘ニ打二代目包永門平四郎と号正應比大業 ◯ 和州手搔一派二字銘ニ打
貞治比後包永と改大業 包俊 ○三人 ◯ 和州手搔一派二字銘ニ打永徳の比良業 ◯ 和州手搔一派二字銘ニ打應仁比業物 ◯ 和州手搔一派二字細鑽ニ打天文比 包歳 ○一人
大和国ーーと打長亨比と云 包友 ○三人 △二人 ◯ 和州住ーーと打手搔一派永亨比業物 ◯ 備前国ーー或ハ二字銘ニ打弘長比 ◯ 備前二字銘ニ打嘉元比 △ 城州住藤原ーーと打本国
和州寛永比 包遠 ○一人 和州手搔一派二字銘ニ打正中比 包倫 △一人 奥州仙臺住ーーと打四代目安倫門善八郎と号享保比 包近 ○一人 △一人 ◯ 備前長船一派二

字銘ニ打兼元中九四人の内五月雨ニ出る △ 摂州住藤原ーーと打包昌ゟ初の銘く 包門 ○一人 濃州住ーーと打應永かん兼門同人なり 包勝 △一人 武州住文珠ーーと打貞享比包
定門 包吉 ○四人 △三人 ◯ 大和国住藤原ーー○龍王ーー或ハ二字銘ニも打 ◯ 手搔一派文珠四郎と号貞治永徳の間大業 ◯ 同二代目二字銘ニ打後ニ濃州へ移住し善定兼吉と改 ◯ 播州小川一派二
字銘ニ打本国和州五郎太夫と号正應比 ◯ 同二代目二字銘ニ打元亨比 △ 和州手搔住藤原ーーと打後ニ播州源兵衛と号寛永比二代目八包元と云 △ 和州南都住文珠ーーと打後ニ播州姫路へ移住と包元男清左エ門と号す
享保比 △ 奥州仙臺住ーーと打本国和州南都文珠一派阿部甚右エ門と号慶長甲辰の年仙臺侯の刀匠と成 △ 夫より初代国包門ニ入子孫此地ニ榮ふ○二代目市兵衛包吉○三代目八之丞包吉○四代目同名○五代
目八包幸と打 包義 △二人 △ 越中藤原ーーと打越前ニても造る寛文比 △ 加州金沢住ーーと打仁助と号享保比二字銘も有 包善 △一人 薩州住ーーと打奥国平ゟ中頃の銘く
包幸 △代々 △ 奥州仙臺住ーーと打包吉五代目阿部治兵衛と号東武ニも住すと云寛保比○六代目八之丞包幸 △ 奥州仙臺住藤原ーーと打向部平吉後幸七郎と号ス
是七代目也初メ包藏門東武へ來り水心子正秀門と成寛政比 包依 ○二人 和州手搔一派二字銘ニ打應永比 包高 △三人 △ 豊後守藤原ーーと打本国和州手搔の末弘包
門文珠四郎兵エと号摂州池田ニても造る寛文の比 △ 同二代目摂州住文珠ーーと打文珠長兵エと号を貞享比 △ 讃州高松住東加賀守藤原ーー○石清尾八幡宮ーーとも打寛永兼應かん間

包忠 △二人
△摂州住文珠藤原――と打 △加州住――
△本国和州弘包门寛文比 と打元禄比
包足 △一人 二字銘に打在所不明慶長比
包次 ○五人 △三人 ○和州
手掻一派二字銘に打奈良に住セと文 ○江州住――と打 ○伯州住――と打播州に ○備州長船―― ○備中
珠の祖と云嘉暦比後包吉と打と云 ○時代不明 ○ても造る建武貞和の间 ○と打應永比 ○青江
沠二字銘に打四郎と △摂州住文珠――○甲割――○陸奥守――とも打本国和州包保 △因州鳥取住――と打兼先
号文治比二代有と云 门文珠六兵衛と号城州にても造る寛文比受領銘不審業物 七代の孫日置市郎と号初メ
兼次と打故有て文 △信国源――と打筑前福岡 栗田口藤原――と打摂州初代忠綱门忠三郎
字を改む寛政比 △刀匠重包子源兵衛と号享保比 包綱 △一人 と号後東武へ移住セと寛文元禄の间初メ兼
綱と打と云業物 包常 △一人 和州南都住藤原――と打元和比 包永 ○九人 △三人 ○城州末一派末 ○――と打時代不明 ○和州二字銘或ハ平三と計も打 手掻平三郎と号初メ當广に
住にと云又勢州へ往て造る○雲林院住――と打 ○同二代目二字銘多し平 ○同三代目大和国住人――或ハ
ウヂイと呼貞應比小有菴と云是なり大業 三郎と号弘長比大業 ○二字銘に打初メ包利と打
と云平四郎と号 ○同四代目大和国住――○大和――或ハ二字銘に ○同五代目藤原――と打物多し應安比
永仁比良業 打備中にても造る助三郎と号正中建武の比 ○此外應永比迄両三工有と云とも未詳
○加州住――作と打 ○備前二字銘に打天 ○土州住――と打四代目手掻包永同人にて建武の比 △摂州住
永禄元亀比業物 福比四郎左衛门と号 ○高知金子橋と云所に暫く住し無程帰在セと ――と打

甲割とも切物有右字包保 △肥後国千刀――○藤原――
门と云延宝の比業物 ――とも打熊本刀匠寛永比
包長 ○四人 ○和州手掻一派二字 ○同二代目大和――
銘に打貞治の比 ―或ハ二字銘に打
應永比 ○勢州雲林院住――と打和州 ○備州長船―― 包直 ○二人 ○和州千手院一派二 ○大和国住人
業物 手掻の末と云文亀太永の间 ○と打應安比 字銘に打建仁比 ――○中心宗包
直昌亮と打くる物も有手掻一派 包成 ○一人 和州手掻一派二字 包村 ○二人 ○和州千手院一派二字 ○大和
四郎兵衛と号享徳文明の间良業 銘に打時代不明 銘に打建保の比 国住
――と打手掻 ○大和住――と打手 △上野守菅原――○上野介菅原――とも打本国 和
一派應永の比 包宗 ○一人 △一人 掻の末天文比 △和州手掻の末摂州へ移住セと市右衛门と号寛文比 包氏 ○一人 州
千手院一派二字銘或ハ包氏作と打元應比 包信 ○二人 △一人 ○和州手掻一派二字 ○備前福岡一文字一派 △摂州住
濃州へ移住し兼氏と改む大和志津是なり 銘に打文明の比 二字銘に打文永比 藤原―
――と打伊賀守包道 包宣 ○一人 和州住――と打手 包則 ○一人 △四人 ○大和国――と打手 △摂州住藤原――
门本国和州貞享比 掻一派永正比 掻一派長享比と云 と打伊賀守包道
门天 △筑後守藤原――と打錙元二九の門牡丹花と切 △同二代目大和大掾藤原――と打 △肥前住藤原――
和比 △越前一乗住下坂市左衛门と号寛文の比業物 △後東武にても造る貞享の比 と打寛文かん比
包國 ○二人 △二人 ○藤原――と打和州當广一派 ○和州手掻一派二字 △和州手掻住――於駿府造之と打文珠
七郎右衛门入道と号元應比 銘に打永和比 九郎三郎と号後に紀州和哥山へ移

住し重国と改む南紀の初代是なり慶長の比良業

△摂津住｜｜○筒井越中守藤原｜｜○越中守｜｜とも打本国和州南都文珠の末右エ門と号輝邦紀充の父也親子両作有坂陽へ移住し同所初代丹波の門と成万治比より元禄甲戌比迄の作有業物○世に輝邦始名越中守包国と打と云ふハ非く父包国老成の後ハ代作多しと云く

包藏 △七代

△奥州仙臺住藤原｜｜と打本国和州南都文珠一派助右エ門と号初代国包門寛永の比△同二代三四五代とも同銘に打未詳△六代目同銘に打善六と号享保比△同七代目同銘に打寛政比に至る

包安 ○三人

○和州手掻一派二字銘に打應永比 ○如此打

備中二字銘に打弘長比瀬尾太郎と号 ○豊後高田一派二字銘多し時代不明

包保 △四人

△和州住於大坂｜｜作或ハ二字銘に打左文字に切和州手掻の末坂陽へ移住す慶長比文禄比より造る△同二代目陸奥守｜｜と打左文字に切故に左陸奥と称す坂陽に住し又東武にても造る寛永比より作ると云良業△同三代目陸奥大掾｜｜○陸奥守｜｜と打右文字に切本国丹後なりしが坂陽へ来り左陸奥の門と成包重と打後養子に成園九太夫と号無程包保に改め父子ともに信州松本へ移住すと云へとも父老て造成の物なりし寛文元禄の間○裏銘 甲割の二字と打業物△濃州住｜｜○江州住｜｜と打寛永比

包康 △二人

和州住｜｜と打中川氏坂陽又江州にても造る寛文の比

包政 ○三人

○𡵅磑｜｜と打和州手掻一派應永比 ○藤原｜｜と打和州手掻の末天文の比業物

包昌 △一人

伊賀守｜｜と打摂州住黒岡辰右エ門と号寛文比包近の後銘也

包房 ○一人

藤原｜｜と打和州手掻一派大永比

包英 ○一人

和州手掻一派二字銘に打康永比

包是 ○一人

和州雲林院住｜｜と打手掻一派永正比

包有 ○一人

伯州住｜｜と打時代不明

包明 △一人

大和国｜｜と打左文字にも切包保甥中川三九郎と号郡山に住始名正吉と打元禄比業物

包真 ○三人

○和州文珠一派二字銘に打孫四郎と号伊賀守にても造る應永比 ○同二代目大和国藤原｜｜と打嘉吉寛正の間手掻一派とも云 ○泉州住｜｜○キニア｜｜とも打享禄比一本三好二郎と有

包定 ○二人 △一人

○和州手掻一派二字銘に打永徳比 ○和州住｜｜と打手掻一派永正比業物 △和州手掻包永末葉河内守｜｜と打文珠又三郎と号延宝比洛陽にても造る元禄年中東武へ下り本所に住す始名大銘後小銘と知るべし業物

包貞 ○四人 △三人

○大和国藤原｜｜○南都住｜｜と打手掻一派貞和比 ○濃州関住｜｜と打天文の比 ○備州長船｜｜と打末の物 ○紀州粉川住二字銘に打本国和州手掻一派正應比 ○吉野山神楫法師○楫法師とも又ハ包吉とも打と云

△摂州住藤原｜｜と打慶安比○越後守藤原｜｜と打本国和州初代包道門山田平太夫と号延宝比迄△同二代目越後守｜｜と打寛文己酉比より延宝己未比迄の年号打る物有同庚申年照包と改造る良業

○坂倉言之進照包
越後守包貞隠居銘
ウラ 延寳八年二月日○坂倉言之進照包
ウラ銘 越後守包貞同作之
延宝八年二月日

○或人云初代包貞初名の銘摂州住藤原包貞と打受領して越後守藤原包貞と打也門人摂州五郎輝包と云者有後に坂倉言之進照包と改む師包貞老成の後ハ照包として代刀匠と為し名銘迄も照包に切しむ是を坂倉越後と唱ふ照包ハ生涯受領なし なまく坂倉越後守照包と打物有是ハ師の受領を借て切つる物く天和の比受領の禁制 仰出しか

こゝ以前ハ父師の受領を猥りに名乗しとぞ照包も此類なるべし初代包貞老後の子ニて岩松と呼
まる有照包後見して父の遺業を継しゟ功成受領して二代目越後守包貞となさ是照
包ヵ節義と云べし中心の仕立銘振弟一地鉄等すべて見分る時ハ越後守包貞と云ニその三代と見
ゆれとも其実ハ父子二代ニ限るへ照包ハ師の代作のミおゝく自己の銘ハ始終照包なりと云ゝ此説
未詳 △越後守‥と打初代包貞
太業 △男山田岩松と号貞享比

包清 ○三人 △一人

◯和州手掻一派二字銘ニ打藤左エ
門と号勝左貞治應安比業物
◯大和奈良手掻住藤原
‥と打永正大永比
◯讃州髙松住文珠‥
‥と打天文本国和州
△播州住藤原‥と打
貞享比陸奥將監号

包行 ○二人

◯和州手掻一派二字銘ニ打
文珠四郎と号延文永和の間
◯千手院‥作
‥と打濃州赤坂
一派康暦應
永の間良業

包光 ○四人 △二人

◯大和国‥と打手掻
一派應永比業物
◯大和国南都住藤原‥
‥と打手掻一派永正比業物
◯雲州住‥と
打時代不明
◯備州
長船
‥と打文
明比良業
△山城国伏見住文珠藤原‥と打本国和州手掻の末井道
△七郎兵エと号坂陽へ来り初代包貞門と成寛文貞享の間
△騰雲子‥と打常州の産東武へ来り
水心子正秀門と成寛政享和の比

包満 △一人

摂州住‥と打初代
越中守包国の初銘也

包道 ○一人 △二人

◯備前福岡一文字一派二字銘ニ打兼元中
廿四人の内正月番ニ定めらる隠銘永一とも打
△伊賀守藤
原‥と打
本国和州後摂州へ移住し左り包保
門と成黒田辰左エ門と号寛永比業物
△同二代目伊賀守藤原‥と打同
△辰右エ門と号初め包昌と打貞享比

包重 ○二人 △六人

◯和州手掻一派二字銘
ニ打播州小川まても

造る正
應比
◯大和国‥と打手掻
一派應永の比良業
△大和国住藤原‥○山城国文珠‥と打
延宝貞享の間陸奥守と八別人業物
△陸奥守‥と左文字ニ切
右包保の初銘業物
△甲州入
道‥
‥と打時
代不明
△奥州涌谷住‥と打初代国包門
△初め国茂と打寛文比ワクヤ也業物
△備中国水田‥
‥と打元禄比と云
△肥後隈本住藤原‥
‥と打貞享比業物

包久 ○三人 △一人

◯藤原‥
或ハ二字銘
ニ打和州手掻一
派永享比業物
◯和州南都住藤原‥
‥と打永正比良業
△武州住文珠‥と
打包定門元禄比

包平 ○一人 △三人

◯肥後二字銘或ハ山包平と打
銘裏八の字と切貞治比と云
△河
州
佐山住恭‥
と打享保比
△信濃守源‥と打
△元禄比在所不明

包廣 △四人

△若狭守藤原‥と打本国和州南都弘包門
文珠太郎兵エと号後洛陽又摂州ニ住ス寛文比業物
△駿州富士
郡‥と打
相州定廣末万
治寛文比業物
△加州金沢住藤原‥と打友重末仁
△助と号初め包義と打享保の比
△越前国近江大掾藤原‥と打下坂兼
△廣受領後の銘之享保ニいたる業物

包持 ○一人

和州手掻一派二字銘ニ打
暦應比検校了と打

包守 ○二人 △二人

◯和州千手院一派一
字銘ニ打文永比
◯備前国住‥或ハ二字銘ニ
打福岡一文字一派文應の比
△和州南都住
藤原‥○文
珠四郎藤原‥○豊後守藤原‥と打文珠弘
包門長兵エと号坂陽ニ住ゟ兼應寛文の間業物
△同二代目南都住藤原‥と打文珠
△清左エ門と号坂陽ニ住を貞享の比

包林 ○一人

和州
手掻
一派二字銘ニ打正應比
兼林と八別人なるへし

包元 △二人

和州南都住藤原‥○播州住‥と打
元禄比清左エ門と号二代目包守同人と云

包助 ○三人

◯和州手掻
一派二字

銘ょ有貞治の比 ○備前福岡一文字一派二字銘ょ有兼元中廿四人の内十一月番ょ定てる ○備前国ーーと有正和比

包末 ○一人 備前直宗流二字銘ょ有兼元中廿四人の内九月番ょ定てる

勝家 ○三人 △四人 ○加州二字銘ょ有文亀永正比良業 ○賀州住陀羅尼ーー○出雲守ーー或ハ二字銘ょも有元亀天正比松戸氏良業 ○備州長船ーーと有右京勝光の父と云嘉吉比 △賀州金府住橘ーー○陀羅尼ーーと有寛永明暦の間業物 △同二代目賀州住陀羅尼ーーと有寛文の比業物 △同三代目同銘ょ有貞享元禄の比 △同四代目同銘ょ有松戸七郎と号享保比

勝春 △二人 播州姫路住ーーと有関金重末流近藤半太夫と号宗重三代の孫也宝永享保の間始メ宗春と有

勝利 ○一人 二字銘ょ有天文比在所不明

勝臣（トミ） ○一人 長州住ーーと有二王一派時代不明

勝能 ○一人 了戒ーーと有城州天文比

勝吉 △三人 △勢州桑名住藤原ーーと有千子正重門重郎左エ門と号播州姫路ょても造る寛永寛文の間 △山本武蔵守源ーーと有元禄比在所不明越前の山本伊勢か一派ヵ

勝永 △二人 播州姫路住藤原ーーと有元禄比

勝村 △二人 摂州住ーーと有延宝比

勝宗 ○二人 ○豊州高田住ーーと有平氏ヘ永禄の比 ○波平ーーと有薩州谷山一派大永比業物

勝氏 △一人 播州住ーーと有寛文比坂陽ょても造る

勝國 ○一人 △五人 ○備州長船ーーと有大永比業物 △橘ーーと小銘ょ有慶長比初代受領なし良業 ○加州金沢住橘ーー○加州藤島将監陀羅尼 △同二代目加州金沢住人陀羅尼善三郎ーー○伊豫大掾橘ーーと有細銘也寛永比大業 △同三代目伊豫大掾橘ーー○伊豫大掾陀羅尼ーーと有銘太し寛文貞享の間良業 △同四代目賀州住橘ーーと有享保元文の間 △同五代目賀州住松吉善三郎ーー○賀州住橘ーーと号宝暦明和比

勝貞 ○一人 △三人 ○雲州住ーーと有石州ょても造る永禄比 △雲州住井上六郎右衛門尉源ーーと有寛永比 △防州岩国住藤原ーーと有阿部久貞か弟藤市と号京伊賀守門享保比

勝定 △一人 奥州仙臺住三左エ門尉藤原ーーと有万治比業物

勝清 ○一人 二王ーーと有防州永享比

勝行 △一人 豊後国高田住藤原ーーと有輝行子享保比

勝道 ○一人 △一人 ○濃州関一派二字銘ょ有天文比 △奥州二本松住ーーと有貞享比

勝光 ○四人 ○備前国長船次郎左衛門尉ーー○備州長船ーーと有左エ門尉と斗も有永亨の守元ヵ男と云良業 ○備州長船次郎左エ門尉勝光 ○於備中草壁作裏銘文明年号 ○備州長船勝光同宗光於平安城作之銘裏長亨年号 ○備州長船次郎左衛門尉勝光於美作国大原庄 ○備州長船勝光宗光裏銘長亨年号 ○於江州御陣作之 ○文明の中比より天文二三年比迄の作多し長寿なり ○同二代目備州長船太郎兵エ尉ーーと有弟太兵エ宗光両作有永禄天正の間業物 ○備州長船右京亮藤原ーーと有勝家男文明文亀の間大業 ○備前国住長船彦兵衛尉ーー或ハ二字銘ょも有明應天文の間銘弘くして卑し業物

勝峯 △一人 武州住藤原ーーと有兼應比

勝重 ○一人 △五人 ○雲州住ーーと有天文の比 △勢州桑名住藤原ーーと有千子一派寛文の比三河守藤原ーーと

打尾州名古屋住延宝の比 △三州住源ーー○岡崎住古今鍛冶ーーとも打元禄比 △武州住藤原ーーと打元禄宝永の比 △播州姫路住ーーと打近藤半太夫勝春ゟ後かく銘るう △同二代目

播州住藤原ーーと打同市太夫と号元文比 **勝廣** ○一人 △一人 ◯下野国得二郎住ーー○野州住ーーと打上州又武州にても造天文比業物 △藤原ーーと打在所不明鷹ノ羽釘元禄比

勝秀 △一人 羽州庄内住ーーと打昭秀門文化比 **勝盛** ○二人 ◯備州長船ーーと打天文弘治比業物 ◯平ーーと打豊後高田一派永禄比業物 **勝左** △一人

武州住法城寺越前守ーー○藤姓ーーとも打斉藤平兵エと号正徳比

景家 ○二人 ◯因州小幡住ーーと打文亀永正比 ◯備州長船ーーと打大永の比業物 **景利** ○一人 △一人 ◯備州長船ーーと打應仁文明の間業物 △賀州金沢住藤原ーーと

打寛文比業物 **景友** ○一人 備州長船ーーと打明徳應永比良業 **景兼** ○一人 筑前国樋口ーー作と打大永の比 **景依** ○一人 備州長船一派嘉元比景依造と三字銘

多ー左近と号良業 **景良** ○三人 ◯備前大宮一派二字銘にて打至徳應永の比 ◯備州長船ーーと打永享比 ◯備中国ーーと打正和比或正應比と云未詳 **景吉** ○一人 △一人

◯備州長船ーーと打應永比 △加州住ーー疋と打寛永比源ともに打 **景高** ○一人 備前吉井一派二字銘にて打貞治比弥七郎と号 **景忠** ○一人 備州長船一派二字銘にて打永徳比

景次 ○一人 備中国住人ーー或ハ二字銘にて打康暦比備後にても造 **景綱** ○一人 備州長船ーー○備前国吉井ーーと打雲州にても造應永比 **景長** ○六人 ◯山城

二字銘にて打平三郎太夫入道と号建長比粟田口景国一門と云 ◯因州小鍛冶の祖二字銘多し本国城州粟田口吉光流藤左エ門吉正と号後此国へ移住し景長と改む正應比一説二代目吉正因州へ来り景長に改むる

とも云 ◯因州住ーーと打藤左エ門の男初名清長と打正中比良業 ◯同三代目因州住ーーと打初名行長と打備州長船へ往て挙一派へ加り修行し同州吉井にても造る貞治比或ハ兼光と改しとも云業物

◯同四代目因州住ーーと打永徳應永の間備前にても造る ◯備中ーーと打天文の比 **景仲** ○一人 因州住ーーと打小鍛冶一派應永比 **景也** △一人 豊州高田一派二字

銘にて打寛文比と云 **景宗** ○三人 ◯備州長船一派二字銘にて打文應比 ◯入鹿ーーと打紀州実綱門貞治比 ◯讃州尾越住ーー或ハ二字銘にて打天福比 **景氏** ○一人

備州長船ーーと打應永比 **景則** ○三人 ◯備前国吉井住ーー或ハ二字銘にて打長船一派左エ門と号吉井の祖正應比 ◯同二代目備前国吉井住ーー或ハ二字銘にて打藤八と号文保文和の間

大 ◯同三代目備前国住吉井ーーと打正中一文字業 ◯氏則子と云雲州にても造る明徳の比業物 **景國** ○三人 △一人 ◯城州粟田口一派藤原ーーと打隠岐国番鍛冶に召れ左近将監に任そ

後備前へ移住すと云貞應比 ◯伯州檜原住ーーと打貞治應安比 ◯備州長船ーーと打元亨の比 △備州長船住左近ーー景長とも打ーーとも○久国門と云う 打元和比図如此打く

景安 ○二人 ◯備州長船一派二 ◯備州長船ーーと打景 景政 ○一人 備州長船住進士三郎ー
字銘ニ打永仁比 秀流嘉元比良業 ーと打正中元徳比の年号
打物多しー兄景光と両作も有 景和 マサ △一人 上野大乗平ーーと打同田 景貞 ○一人 入鹿ーー
播州完栗すても造る大業 貫一派慶長比と云未詳 と打紀州
粉川ニ住すと 景定 ○一人 加州住藤原ーーと打 景實 ○一人 入鹿ーーと打紀州粉川住 景眞 ○一人
應仁比業物 景平門寛文の比 すと生国和州と云應永比
備州長船住ーーと 景清 ○一人 二王ーー作と打防長両 景水 キヨ ○一人 備州長船ーー 景行 ○四人 ◯
打景光門正中比 州すて造る延文の比 と打文保比と云
作州石貫住ーー或ハ ◯同二代目二字銘 ◯備前福岡一文字一派二 ◯備州長船ーーと △豊後日出住
二字銘ニ打應永比 多しー文明比 字銘ニ打貞應の比 打景光門建武比 藤原ーーと打
永勝男高田槌右エ門と号享 景光 ○七人 △一人 ◯加州住藤原ーーと打橋爪一 ◯同二代目加州住藤原
保比誤て量の字ニ打物多し 派貞治明徳の間良業 ーー或ハ二字銘ニ打南
左馬助と号始免信国と ◯同三代目二字銘多 ◯備州長船左エ門尉ーー○備州長船住ーー○景光
切ーともと云應永比業物 ーー康正比と云 造或ハ二字銘すも打順慶の次男次郎左エ門と
号播州宍粟三方西ニ於て造るも有 ◯備州長船一派二字 ◯入鹿ーー作と打紀州粉
正應元徳の間大業○進士三郎景政の兄く 大銘ニ打應永比 川一派明應かん比業物 ◯

讃州香河郡住ーーと打 △因幡国住ーーと打 景重 ○四人 ◯泉州住ーーと打加賀 ◯泉州ーー
景宗同人と云寛元比 景長の末寛文比 四郎一派應永の比 と打永正比
加賀四郎 ◯上野国ーーと打長谷部の ◯備中片山一派二字銘ニ 景弘 ○三人 ◯相州住ーーと打同
一派と云 末と云越後ニても造天文比 打應永比末ニ又一人と云 州三代目助廣門
師と共ニ上總国へ移住し信廣と ◯備州長船ーー 景廣 △一人 平安城住ーーと打慶
改後帰国す永正比業物 と打應安比 長比文禄比より造る 景秀 ○三人
◯備前福岡一文字一派二字 ◯同国同一派二字 ◯備州長船一派二字銘ニ打 景久 ○三人 ◯
銘ニ打建長弘安の間 銘ニ打元徳比 右馬允と号正應比或ハ弘長比と云
城州粟田口一派二 ◯備州長船一派二 ◯備州長船ーーと打貞 景平 △一人 賀州住藤原ーーと
字銘ニ打正安比 字銘ニ打弘安比 治より應永の初免迄 打高平長男寛文
比花押至 景盛 ○二人 ◯備州長船ーーと打 ◯平ーーと打豊州高田一派平 景守 ○一人 景守
良業 天文弘治比業物 岡文次郎後六郎左エ門と号大永比 作と打
加州永正 景次 ○三人 ◯作州住ーー或ハ二字 ◯備州長船住ーー ◯肥後玉名住石貫ーー○若貫
大永比 銘すも打應永の比 と打貞治の比 ーーともと打文明の比業物
景助 ○一人 備州長船一派二 景 ○一人 備前正中一文字一派二字銘多し
字銘ニ打建保比 正中比後平安城へ移住す吉景同人と云

晩重　○一人　備中国——と打
青江一派貞治比

量重　○一人　備中片山一派二字
銘ニ打文安比と云

和貞　○一人　石州住——と打
永亨ノ長禄の間

和通　△一人　武蔵守藤原——と打延
宝比在所不明京物と云

方清　○一人　△一人　◯長州住二王——　△長州住玉井刑部左エ門——○萩住——○豊浦住——とも打防州二
◯と打天正比　△王清継嫡流と云実子ハ法城寺吉次と号薩州ニ住す元禄享
保の間

方言　△一人　武州住藤原——と打水心子正
秀門武藤勇二と号寛政の比

方士　○一人　豊後紀の行平上野
の国ニての秘銘と云

上野介　○一人　肥後同田貫——と打上野介と斗も
打実名國廣と天文天正之間

上基（タカモト）　○一人　因州住——と打
康正文明の間

標繼　△一人　石道——作と打東武
石堂一派貞享比

加卜　△一人　越後幕下士大村——造（裏銘）真十五枚甲伏作或ハ慰
作など切副る也生国未詳武家の牢人にて大森治
部左エ門義博又ハ義秀とも号れと云東武鉄炮丁
ニ居住す寛永寛文の間○大村——と斗も打

岩捲（カンマク）　濃州清水住——と打永
禄比より数代相續す末
の作ニ至てハ岩巻——と打物
多し○岩嶋と打も同派なり

ヨ
吉義善能良賀嘉賢堅慶克美祥膳如
懿養覺由珍栄頼依仍自歸馮夜女

吉家　○三人　△三人　◯備前福岡一文字一派二字銘ニ
打左兵エ尉と号ノ建長の比　◯備中片山一派二字銘ニ打後
家久と改應安比備前吉氏同云　◯加州住——
と打天文比　△賀州陀羅
尼藤原——と打松戸氏延
宝天和比業物　△賀州住松戸吉右エ門尉橘——○賀
州住陀羅尼橘——とも打享保比　△肥前佐賀住物右エ門尉——と打初代
忠吉門初免廣貞と打寛永の比

吉宿　△二人　△越前金津住肥後大掾——
と打東武ニても造元文の比　△賀州住——
と打元禄比

吉春　△一人　平安城住源——と打
坂陽ニても造天和比

吉友　○三人　△一人　◯備
前福岡一文字一派二字
銘ニ打弘安比大業　◯備州長船——
と打嘉慶比　◯備州長船——と
打文明比と云　△二字大銘ニ打元
禄比肥前と云

吉呂　○一人　波平——
と打薩州

谷山一派天
福比と云

吉利　○二人　◯備前正中一文字一派
源——と打貞和比　◯雲州住——と打
貞治比業物

吉辰　△一人　阿州海府住——
と打慶長の比

吉時　△濃州関住坂尾新五郎源——○坂尾上野介——○酒尾善定○江戸新五郎——如此
△種〻の銘有同銘数代とみへとも未詳初代ハ寛文比東武へ来り干今さかゆ

吉近　○二人　△一人　◯江州中堂来一派
二字銘ニ打貞治比　◯備前正中一文字一派
源——と打永和比　△上野介源——と打東
武ニと云吉正同人也

吉包　○四人　△二人　◯信国
——作

と打城州信国◯江州戸津来一派二字銘ニ打義の字を打るも有◯備前福岡一文字一派二字銘
門明應大永の間　坂本までも造ると云暦應比此冶工を粟津来と唱　ニ打左近将監と号建長の比◯
豊前国住一一○信国一一とも打△摂州住陸奥守一一と包の△筑前福岡住信国源一一と打
豊後までも造ると云延徳比　字斗左り字ニ打延宝の比　元祖豊前宇佐也寛文比

吉金 ○一人

二字銘ニ打在所
不明文明比と云

吉門 ○一人 △四人

◯濃州坂倉関一派二字△城州伏見住橘一一○城△武蔵守藤原一一○
銘ニ打文明比業物　州住一一とも打寛文の比　△濃州関善定家兼吉
曽孫前武蔵守一一と打金兵エと号後常州水戸へ移住し△同二代目濃州関善定家越前守一一○
入道しては○坂東太郎鎮正入道ト傳と改む寛永の比良業△越前守藤一一と打坂尾善定家十三
代目とも切正保△同三代目越前守藤原一一と打
延宝の間業物　後東武ニ住と元禄享保の間

吉景 ○三人

◯備前福岡一文字一派二
字銘ニ打正應の比◯
備前国住源一一或ハ二字銘◯備州長船一一と打
ニ打正中一文字一派貞和の比　守景門應永の比

吉勝 ○一人

信国一一と打豊
前永禄比と云

吉世 △一人

奥州
波岡
住一一と打元禄
比傳右エ門と号

吉忠 ○三人

◯備州長船一一と打将◯紀州住一一と打天◯土州住一一と打吉
監長光門建武の比　狗一派大永の比　光流應永の比

吉種 ○一人 △一人

◯信国一一と打豊△信国一一作と打筑
前々文安の比　前福岡住元禄の比

吉高 △三人

△摂州住一一△勢州山田住来一
と打寛文比　一と打享保比

吉武 △二人

△平安城住出雲大掾藤原妙一一と打城州三条吉則末流国武の男川手市太夫と号万
治比よりの作有後東武へ移住し老後出雲守法哲入道一一と打元禄甲戌国五月卒
業△同二代目出雲守藤原一一と打川手吉左エ門と号実ハ越前の
物△三代目国次々三男く東武芝土器町ニ住と元禄享保の間業物

吉次 ○十八人 △七人

◯平安城一一と◯同二
打應安比　代目
平安城一一或ハ二字◯城州鞍馬住二字銘ニ打本国濃州関なれど是を鞍馬関と唱ふ初メ城州二代目信
銘ニ打永亨比業物　国門後相州へ移住し秋廣門と成又濃州へ帰る明徳應永比法名慶定と云或ハ
別人とも◯同二代目二字銘ニ打城州鞍馬ニ◯同三代目二字銘ニ打濃州◯江州粟津来の末二◯加州住
云り良業　住すと永亨嘉吉の間業物　関までも造る文亀の比　字銘ニ打明應の比　藤原
一一或ハ二字銘◯越後桃川住一◯丹波綾部住一一或ハ◯備州長船一一◯備中青江一派二字銘ニ打
ニ打永正の比　一と打寛正比　二字銘ニ打應永比　と打永亨比　助右エ門と号貞永の比
◯同二代目二字銘◯同三代目備中国一一或ハ二◯同四代目備中国住人右エ門尉平◯備後国住一一
ニ打建長の比　字銘ニ打藤七良と号正應比　一一と打正和嘉慶の間大業　○一乗一一とも
打嘉◯筑前左一派二字◯信国一一作と打◯薩州住一一と打波△摂州住源一一と打上野守吉国門
吉比　銘ニ打永徳の比　豊前文明比　平一派天文比業物　宮下儀太夫と号寛文延宝の比
△總州佐倉住藤原一一と打△奥州南部住佐々木△筑前福岡住信国源一一と打△久留米住一一と打筑後
長谷川五郎次と号安永比　一一と打吉綱ゟ後の銘△七郎三郎と号東武までも造元禄比△刀匠筑紫信国門元禄

比△筑後久留米住ーーと打信国の末源太夫吉政男△肥後守法城寺橘ーーと打東武の住人なりしが法城
△加来源兵エと号東武へ来り水心子正秀门と成寛政比△寺国正门根本吉兵エと号寛文比受領す元禄壬
申の年薩州鹿兒府へ移住すと○一本　越前国住ーーと打下坂一派坂陽まても
二代目吉次ハ長州の方清子なりし養子也と云

吉繼　△一人

造る寛文比越前守ふ任ぜしと云未詳

吉綱　○四人　△二人

○摂州中嶋来一派二字銘ヌ打天王寺吉氏门河内ヌも住す永享比
○同二代目二字銘ヌ打寛正の比
○奥州津輕住ーーと打○ツカルテンシレヤノ越と打てる物有元德比津軽ヌ何の越と云地名ありし○舘ノ越堀越駒越大間越なと云ありこれともテンシレヤ越と云地名不知田舎舘と云ありり是を往古八戟と唱しや未詳
○備州長船ーーと打負和の比
△城州住藤原ーーと打初代忠綱门縄とぞし打寛文比
△奥州盛岡住ーーと打佐々木儀兵エと号八戸の産く寛政の首年東武へ来り七代目丹波守吉道门と成後帰住して吉次ヌ改

吉縄　△一人

城州住ーーと打吉綱同人と云

吉恒　○三人

○備前正中一文字一派源ーヌ打天福比正恒流と云
○佐渡ヌ一人有ーーと打應永比業物
○時代不明

吉長　○九人　△五人

○平安城一派錦小路ヌ住す建長比吉長作と打
○備前二字銘
○平安城住ーーと打和州南都ヌても造る文亀比
○菅原ーーと打城州鞍馬関一派三州ヌても造る應永比良業
○相州住ーーと打吉廣门延文比
○濃州小山関一派二字銘ヌ打天文比
○播州明石住ーー○藤原氏左エ门尉ーー或ハ二字銘ヌも打天文元亀の间本国備前長田吉長ゟ来りしと以下此国ヌ營ふ業物
○備前福岡一文字末流二字銘ふ打正慶比

○備前長船住長田兵エ左エ門藤原ーー
○備州長船ーーと打應永比良業
○備前国長船ーーと打天正文禄の比
△摂州住ーーと打兵右エ门と号慶長比播州同人と云
△藤原ーーと打東武国吉弟甚藏
△越前守藤原ーーと打慶長比
△肥前佐賀住藤原ーーと打雕物上手
△同二代目肥前佐賀住藤原ーーと号文化比
△播州明石の住と云是非不明
△宗長子五左エ门と号初代忠吉门寛永の比
△前佐賀住藤原ーーと打武左エ门と号影物と号す寛文の比

吉永　○一人　△二人

○平安城ーー○左エ门入道ーーと打永正の比
△羽州新庄住ーーと打長恒孫高橋與八と号東武へ来り七代目丹波守吉道门と成師没後水心子正秀门ヌ入文化丙寅の年より吉秀ふ改
△肥前佐賀住ーーと打五左エ门吉長同人

吉成　○一人　△一人

○源ーーと打備前正中一文字一派永和の比
△播磨守橘ーー○播磨守ーー入道と打奥州宇多中村住人坂陽へ来り初代大和守吉道门と成兼應寛文なん间業物

吉直　○三人　△一人

○備前国ーーと打福岡一文字一派正應の比と云
○備前正中一文字一派二字銘ヌ打
○信国ーーと打豊前負和比
○吉種门應仁の比
△長岡源ーー造と打信州上田刀匠水心子正秀门長岡吉次郎と号文化比

吉作　○一人　△一人

○波平ーーと打薩州谷山一派時代不明
△土州吉国の子森下三太夫と号二字銘ヌ打享保比

吉仲　△一人

津田備中守ーーと打在所不明延宝貞享なん间

吉宗　○七人　△一人

○来ーー○吉宗作とも打城州来の末流應永比と云
○備前福岡一文字一派二字銘ヌ打左エ门允と号兼久比
○備前国住吉岡左兵エ尉ーー或ハ二字銘ヌ打貞應なん比
○備前国長船住ーーと打文保比

○備州長船ーーと有應安比
○波平ーー或ハ二字銘ニ有薩州古谷山建長の比
○波平ーーと有薩州谷山一派貞治比利宗とも有
△奥州中村住す二字銘ニ有鑲銘相州大山ニ不動蔓想而作と有も同人元禄の比

吉村 ○二人

○備中青江一派二字銘ニ有時代不明末なん物

吉氏 ○七人

○河内元應比二字銘ニ有同銘前ニ一人有と云
○摂州天王寺住す二字銘ニ有明徳應永の間
○同二代目二字銘ニ有永亨文安の間
○同三代目二字銘ニ有文明比
○備前国岩名庄地頭源ーー○源ーーとも有正中一文字の祖左兵エ尉と号福岡一文字助吉流也正中建武の間
○備州長船住ーーと有應安比
○阿州住人ーー造と有海府一派天文比

吉信 ○二人 △六人

○備州長船一派二字銘ニ有貞治比
○薩州住ーーと有谷山波平一派天文弘治比
△山城国住埋忠ーー○山城国西陣住埋忠ーー○大和大掾ーーとも有明壽の一族寛永比雕物上手大和守とも有と云
△同二代目埋忠大和大掾源ーーと有元禄比雕物良す
△武州住坂尾善定家上野介源ーーと有享保比吉時の族
△於上州前橋源ーーと有坂陽初代大和守吉道門三品小兵エと号延宝貞享の間業物
△肥前国住藤原ーー○肥前国住人ーーと有元来中島某の三男ゆゑ弥七兵エと号初代忠吉門後ニ聟と成元和十年の春師と共ニ上京して埋忠明壽門ニ入寛永癸酉の初冬卒年六歳ゝ正廣行廣ヵ父
△薩州住ーーと有元平門瀬戸山源太左エ門と号文化比

吉延 ○一人

野州住ーー○下野国左近大夫ーーとも有享禄比と云

吉則 ○九人

○三条ーーと有城州建武比
○同二代目三条ーー作と有貞治比河内の国府ニても造る業物
○同三代目三条ーー○三条ーー於和泉国作○三条ーー泉国作とも有和泉又越前ニても造ると云應永康正なん間良業
○同四代目藤原三条ーー作と有延徳文亀の間
○平安城住ーー○平安城藤原冨施ーー作とも有長吉門明徳比
○三州住ーーと有明應比
○備前国吉井住ーーと有貞治比
○同二代目備前国吉井住ーーと有應永の比良業
○同三代目備前国吉井住ーー或ハ二字銘ニも有助七郎と号父存生中ハ清則と有後雲州へ移住して永亨文安比の作多し業物
○信国ーーと有豊前文明の比

吉教 ○一人

二字銘ニ有在所時代不明凡天文比

吉矩 △一人

奥州中村住橋ーーと有元文比

吉國 ○七人 △九人

○烏丸ーーと有山城三条一派文治比と云
○城州粟田口一派二字銘ニ有吉光門四郎兵エ尉と号弘安比
○宇多ーーと有越中宇津一派時代不明
○播州ーーと有本国和州當广一派と云永亨比
○備前福岡一文字の流二字銘多し應安比
○備州長船一派二字銘ニ有兼久比
○二字大銘ニ有在所時代不明
△関前城藤原ーーと有元禄比濃州く
△播州住神谷伊勢守藤原ーーと有姫路刀匠寛文の比
△阿州海部住人ーー○海府住ーーとも有慶長比
△上野大掾ーー○上野守ーーと有本国奥州中村ゆゑして播磨守吉成の男森下孫兵エと号ス一本横山弥五兵エと有坂陽へ移住し初代大和守吉道門と成同所住吉ニ居宅ハ後土州高知の刀匠と成土州へ薄居ハ故ニ爰ニ出ぞ万治貞享の間業物吉行ヵ兄なり
△筑後柳川住鬼塚ーー○久留米住鬼塚ーーとも有寛文なん比
△肥前国住上野大掾藤原ーーと有国廣男初代忠吉門寛永の比

△九州肥後同田貫ーーとホ兼應比上野介ともホと云 △薩州法城寺橘ーーとホ肥後守吉次男根元金兵衛と号後国武又国清と改しと云延宝比より造る △延壽ーー作とホ天明かん年号有八王子吉邦同人か

吉邦 △二人

武州八王子住ーーとホ天明享和の比

吉安 ○三人

○備州長船ーーとホ時代不明 ○波平ーーとホ薩州谷山一派應永の比業物 ○波平ーー作とホ薩州谷山一派長享比と云

吉康 ○一人

備前国ーーとホ福岡一文字一派應長比

吉保 ○一人

信国ーーとホ城州又豊前ニ住す天文比

吉正 ○五人 △七人

○城州粟田口一派二字銘ニホ吉光門藤左エ門尉と号正應比 ○同二代目二字銘ニホ後因州へ移住し景長と改小鍛冶の祖是なり ○文保比○景長の傳云正應比藤左エ門吉正因州へ来り景長ト改むるとあり按ニ二代目の吉正小鍛冶の祖と云説是なるべし ○信国ーーとホ城州享徳比 ○備後尾道住ーーとホ大永比業物 ○波平ーーとホ薩州谷山一派應永の比 △摂州住藤原ーーとホ初代大和守吉道門寛文の比 △三州岡崎士ーー○龍城臣源ーーともホ七代目 △丹波守吉道門礒谷重兵エと号初名吉清ホ文化比 △武州住田中源左エ門尉ーー作○上野介源ーーとホ濃州関善定家也東武へ来り後土州へ往しと云寛文比業物 △奥州中村住人信国源ーーとホ豊前守佐信国の末新藤平右エ門と号寛永比以後三代と云未詳 △越後新発田刀匠元禄比源ーーとホ本国濃州関ニて和州手播の流 △越後新発田住源ーーとホ正永の末と云 △小林源四郎と号水心子正秀門享和比 △肥前国住藤原ーーとホ武左エ門と号吉長の男天和比

吉政 ○三人 △五人

○了戒ーー作とホ豊後永正大永比 ○波平ーーとホ薩州谷山一派應永比吉正同人 ○吉政作とホ應永年号を切在所不知 △埋忠ーーとホ城州寛文の比 △讃州高松住ーー或ハ二字銘ニホ筑紫信国一派時代不明 △筑前国住信国源ーー作○信国平四郎ーーとホ新藤氏寛文の比 △筑後久留米住信国源ーーとホ勘左エ門と号本国筑前享保の比 △豊前守佐鳥越住ーー○信国源ーーとホ慶安比

吉昌 ○一人

波平ーー薩州谷山一派應永の比

吉抹 ○一人

土州ーーとホ永享比

吉房 ○七人 △四人

○平安城ーー○三条ーーとホ應永比業物 ○来ーーとホ摂州中島来一派應安比泉州ニても造 ○備前福岡一文字一派二字銘ニホ藤次良と号宗吉流と云天福比 ○備前福岡一文字一派二字大銘ニホ久五郎と号文永比 ○備前国ーーとホ左近三郎と号藤次良吉房孫と云弘安の比 ㊂備前直宗一派二字銘ニホ兼元中廿四人の内十月番ニ定らる ○備中国ーーとホ片山一派應安比後ニ家次ニ改ると云 △三州吉田住末ーーとホ寛文比 △丹波守藤原ーーとホ越前福井延宝の比業物 △肥前佐賀住藤原ーーとホ始名忠房とホ初代忠吉門茂右エ門と号寛永比 △同二代目肥前佐賀住藤原ーーとホ吉右エ門と号貞享比ニ至る

吉藤 ○一人

備前福岡一文字一派二字銘ニホ吉如此後相州へ下向され建武比

吉英 △二人

武州川越住郡壽ーー ○武藏丸ーーともホ真十五枚甲伏作と切安国門宮川清藏と号享保宝暦の間

吉船 △一人

摂州住ーーとホ時代不明

吉秋 △二人

△摂州荏本住ーーとホ時代不

明 △筑後久留米住信国源｜｜と打吉政男源太夫と号元文寛延の間

吉貞 ○六人 △九人

○石州出羽住｜｜と打應永の比 ○備前吉岡一文字一派二字銘に打又貞行とも打と云永仁比 ○備後国三原住｜｜と打貝一派文明比と云業物 ○筑前左一派貞和比吉貞作と打物多し ○波平｜｜と打薩州谷山一派文和比 △摂州住｜｜と打本国和州手掻の末ゝ洛陽へ移り又坂陽へ轉居金右エ門吉道門と成寛永比定の字も切 △同二代目肥後大掾藤原｜｜と打摂津守共打と云洛陽にても造る寛文元禄の間 △駿州利根住藤原｜｜○利根｜｜とも打元禄享保の間或ハ二代有とも云 △羽州新庄住藤原｜｜と打吉秀門富田理吉と号文化比 △豊後住｜｜と打時代不明 △肥前佐賀住藤原｜｜○肥前国｜｜と打橋本兵部左エ門と号元和寛永比業物○初代忠吉幼少して父に後れ長瀬一族に托せらる時先きの家の子有て行合兄弟となる其子ハ幼ナ吉貞ゝ △同二代目肥前国住藤原｜｜と打同権右エ門と号正保慶安の比業物 △同三代目肥前佐賀住藤原｜｜と打同内蔵助と号寛文比 △薩州住波平｜｜と打元和寛永比

吉定 ○五人 △四人

○和州住｜｜と打永正比業物 ○河州住｜｜と打永正の比和州なるへし ○備前岩名庄一派源｜｜と打貞和比 ○筑州住｜｜或ハ二字銘に打吉貞の門延文の比 ○信国｜｜と打豊前寛正比業物 △摂州住｜｜と打初代吉貞同人 △濃州関住坂尾｜｜と打後東武に住すと元禄の比 △筑州信国源｜｜と打福岡刀匠吉貞とも打寛文の比 △肥前伊勢五郎源｜｜裏銘大吉丸と打吉廣か二男にて後父の銘に改む

天和比

吉真 ○七人

○和州千手院一派二字銘に打延元比 ○越前敦賀郡｜｜と打永正大永比業物 ○備前国住人｜｜造と打福岡一文字一派正應比 ○備州｜｜或ハ二字銘に打備前福岡一文字一派建武の比 ○備中青江一派二字銘に打正慶 ○備後国三原住｜｜と打永正比 ○筑州住｜｜と打左一派永徳比業物

吉清 ○四人 △三人

○備州長船住｜｜と打應安比良業 ○二王｜｜○よしきよとも打防長両州にて造る文明比 ○阿州永禄比二字銘に打海府左近将監と号武に名ある人なり関と長船の両傳を受て慰に造る元亀中長曽我部氏の為に滅せらると云 ○薩州谷山波平一派二字銘に打正中の比 △摂州住藤原｜｜と打寛文の比 △岡崎住｜｜と打礒谷吉正の初銘 △肥前国藤原｜｜と打初代忠吉門千左エ門と号寛文比

吉廉 △一人

豊後日出住富田｜｜と打石見守吉盛男壽作後ニ鍛冶允と号東武へ来り七代目丹波守吉道門と成又帰邑す寛政比盛兄とも打

吉行 ○五人 △四人

○了戒｜｜と打城州永徳の比業物 ○和州千手院一派二字銘に打貞永比善行とも打 ○備州長船｜｜と打文明比忠光と両作多し良業 ○備後国住平｜｜と打時代不明 ○波平｜｜と打薩州谷山一派長享比業物 △羽州新庄住藤原｜｜と打高橋吉秀門山内喜助と号文化比 △陸奥守｜｜或ハ二字銘に打本国奥州中村播磨守吉成の二男森下平助と号父兄と共に坂陽へ来り初代大和守吉道門と成後土州高知へ轉住すと寛文貞享の間業物 △豊州高田住藤原｜｜或ハ二字銘にも打延宝比出雲守に任すと云 △肥前国｜｜と打初代忠吉門新兵エと号寛文の比

吉光 ○十三人 △三人

○城州粟田口一派二字銘に打藤四郎と号

生国越前にて城州へ来り国吉門と成業研徹しの美称あり弘安比
◯平安城ーー○信国ーーともに康正比業物
◯大和国住ーー或ハ二字銘にて奈良に住と暦応比
◯佐竹茶王寺ーーと云三州文安の比
◯備前福岡一文字一派二字銘に云相州山内へ下向せしと云応長比
◯備州長船ーーと云応永永享までの間
◯土佐国蒲原住藤原氏五郎左エ門尉ーー或ハ二字銘に云和州手掻の流也暦応比
◯同二代目二字銘多し貞治比
◯同三代目二字銘多し応永比
◯同四代目土州ーー或ハ二字銘に云文安文明の間
◯讃州住ーー或ハ二字銘に云徳治比
◯筑前左一派二字銘に云応永比
◯波平ーーと云薩州谷山一派文明比
△摂州住藤原ーーと云金右エ門吉道門寛文比
△越前国ーーと云寛永比業物
△土州住ーーと云元禄の比

吉満 ○二人

◯備前吉岡一文字一派二字銘に云吉光の子と云建武比
◯備州長船ーーと云吉光同人

吉道 △十五人

△丹波守ーーと云生国濃州関永禄年中父兼道と共に城州西の洞院へ来り文禄乙未の年受領寛永甲戌の年比迄造ると云兼道の二男ゝ良業
△同二代目丹波守ーーと云三品藤七郎と号寛永己卯の年受領此時十六葉の菊と紋勅許以後代々受領の後ハ中心銘の上に切之万治の比迄造る業物
△同三代目丹波守ーーと云同徳左エ門と号寛文壬寅の年受領短命故造る物少し
△同四代目丹波守ーーと云同吉之丞と号寛文癸丑延宝改元の年受領老後前丹波守入道宗鉄と云元禄中比迄の作有業物
△同五代目丹波守ーーと云同藤七郎と号正徳改元の年受領父と両作有
△同六代目丹波守ーーと云同藤吉と号宝暦壬申の年受領寛政の首年卒
△同七代目丹波守嫡子ーー○延陵士ーー○丹波守ーーと云同藤三と号壽格門と成天明戊申の年師と共に東武へ移住初名吉格と云父没後吉道に改寛政癸丑の年日州延岡侯の刀匠となる享和壬戌十月五日受領三十五歳同癸亥卒良業

△丹波守ーーと云摂州住す京初代丹波三男三品金右エ門と号正保比受領寛文丁未七十歳と云伏見にても造る良業
△同二代目三品丹波守ーー○丹波守ーーと云同五郎兵エと号万治延宝までの間良業此作は八類に優れ精鋼なり
△同三代目丹波守ーーと云元禄の比業物
△大和守ーーと云摂州大坂に住す金右エ門丹波の二男三品宇右エ門と号万治寛文の作多し業物
△同二代目大和守ーーと大銘に云物多し
△同四郎兵エ後に傳右エ門と号播州姫路にても造る故に姫路大和と唱ふ延宝比業物
△同三代目大和守ーーと云元禄比姓名未明
△越前国住渡邊治郎兵エーーと云福井に住と寛永比
△薩州住ーーと云時代不明

吉陸 △二人

山城国藤原ーーと云坂陽にても造る寛文の比

吉重 ○四人 △六人

◯城州鞍馬関一派二字銘に云濃州にても造る応永比業物
◯石州住ーーと云雲州にても造る天文の比
◯紀州熊野住ーーと云天文比
◯隅州清水住ーー作○吉重作と斗も云義の字にも切安田次郎左エ門と号天正比
△摂州大坂住ーーと云相摸守国維ら初の銘
△上野国厩橋住ーーと云吉信一族元禄の比と云
△播州明石住ーー○高橋ーーと云関善定末流高橋喜左エ門と号越前勝山又大野にても造る寛文比義のみとも云同人
△同二代目播州住ーーと云後国重と改元禄比
△筑前国住信国源ーーと云天和の比と云
△豊後国ーーと云慶長の比

吉廣 ○七人 △八人

◯平安城ーーと云応安の比
◯同二代目三条藤原ーー作と云応

永永亨了○大和国千手院住源ーー或ハ○河内永亨比二字○相州住ーーと书本国和州の人大井川九
かん间 二字銘ま书暦應の比業物 銘ま书泉州ヘても造 郎三郎と号相州へ来り廣光门と成延
文比始兎重宝又助○若州小濱住ーー或ハ○備州長船ーー△山城国住ーーと书時代不△近江守源ーーと
長ともおと云々 二字銘ま书永正の比 ○とお天文の比 明山城守ともおと云 お勢州山田住亨
保△濃州小倉野住ーーと书小倉△上野国厩橋住源ーーとお△奥州中村住ーーとお△雲州住ーーと书松江初代冬
比△市左エ门と号兼廣ともお元禄比△吉信了と云宝永の比△吉成の父寛永の比△廣上京ーして五代目丹波守
吉道门と成吉廣と改め帰△肥前国住伊勢大掾藤原ーーと书初代忠吉门△同二代目肥前国住伊勢大掾藤原ー
国ーして又冬廣ま改む亨保比△吉左エ门と号氏廣ヵ父兼應比良業 源トモおと云 △ーとお氏廣ヵ弟吉右エ门と号元禄の比
ま至る吉定ー

吉弘 ○四人

ともおーと云
○平安城ーーと○備州長船ーー○備州住ーーとお○筑州住ーー或ハ二字
お嘉慶の比 ○とお文亀の比 三原一派正中比 銘ま书左一派應安比
南朝の年号

吉寛 △一人

おをのゑしー
筑前国信国源ーーと书元禄の比

吉田 ヒロ ○一人

二字銘ま书在所時代不明古くゝゑ

吉久 ○九人 △三人

○信国ーーと书城州永亨の比
○越中国ーーと书○備前正中一文字一派○備州長船ーー○紀州住天狗ーー或ハ天狗とばも○阿州海
應安の比と云 源ーーと书永和比 ○と书應仁の比 书本国城州鞍馬と云永正の比 府一派二
字銘ま书○日州住ーーと书波平一派○隅州建長比二字銘○波平ーーと书薩州△勢州山田住△奥州
永亨比 ○薩州ゆうも造る天文の比 ○ま书栗田口流と云 谷山一派天正の比 ーーと书亨保比 △八戸

住ーーとお△肥前住ーーと书三代目吉貞ー
宝暦の比△子太郎左エ门と号元禄比

吉平 ○一人 △二人

○備前福岡一文字一派二字銘ま书紀四郎と号天福比△武藏住藤原ーーと书法城寺一派
貞亨△武州住石堂ーー
比△と书時代不明

吉秀 ○三人 △一人

○備前福岡一文字一派二字銘ま书建長比○備州長船ーーと书應永比○二字銘ま书在所時代不明△羽州新庄
住ーーと书高橋吉永
の後銘く文化戊辰卒

吉元 ○二人 △一人

○信州住ーーと书康正の比○備前吉岡一文字一派○長船ーー或ハ二字銘多しー喜
太郎と号相州ヘ来り助真门と成弘安徳治の间
良△泉州住藤原ーーと书久永治兵エ
業△と号東武又加州ヘても造る元禄比

吉本 ○二人

○信国ーーと书城州文亀永正の比○藝州住ーーと书時代不明

吉基 ○一人

備前江上入道ーー
と书時代不明

吉守 ○四人 △一人

○備前福岡一文字一派二字銘ま书寛元比○備前正中一文字一派源ーーと书貞和比○備州長船ーーと书應永の比業物
○薩州住ーーと书明應の比業物△城州住ーーと书時代不明

吉盛 ○三人 △一人

○三条ーーと书城州應永比吉則一派と云○筑前金剛兵エ一派○源ーー或ハ二字銘ま书貞和比
○豊後高田一派○平ーーと书永正比△豊後臼出住石見守源ーーと书上京ーして六代目丹波守吉道门と成天明丙午の年受領す富田吉廉 の父々

吉用 ○一人

備前福岡一文字一派二
字銘ま书城州四条ヘても造ると云建長の比

吉末 ○三人

○石州長濱住ーーと书永正大永の比○備州長船ーーと书應永の比○備中片山一派二字銘ま书弘長かん比良業

吉助 ○二人
○濃州関一派二字銘ニ有本国城州鞍馬と云永享比 ○備州長舩住ーーと有貞治比 ○信国ーーと有豊前明應永正の比 △筑前国住信国ーーと有天和の比

吉住 △二人
△摂州住ーーと有權右衛門と号延宝の比 △肥前住越中掾ーーと有享保比 △遠江守兼廣の男廣任ヶ後銘ス

吉十 ○一人
茨王寺ーーと有三州也享徳比と云

義家 △一人
播州明石住ーーと有高橋吉重門享保の比

義俊 △一人
伯州八橋住ーーと有寛永の比

義辰 △一人
下坂ーーと有越前福井後東武へ移住す元和寛永の間筑前まても造る業物

義景 ○二人
○備州長舩一派二字大銘ニ有正應比 ○備前国長船住ーーと有長義門應安永徳の間大業

義兼 ○二人
○備州長船一派二字銘ニ有義景門文保比良業 ○備州長船ーーと有明徳應永の間

義忠 △二人
和州添上郡手掻住文珠ーーと有左り釘左り文字ニも有元禄の比

義高 △一人
越前住ーーと有城州まても造此時尾州の正全と両作有り寛文の比

義登 △二人
菊池住ーーと有肥後延壽国日出門享和文化比

義綱 ○二人
○駿州嶋田一派二字銘ニ有慶金義助の弟へ相州へ来り綱廣門と成遠州又甲州まても造る天文の比 ○同二代目二字銘ニ有天正比慶長比を造ると云

義次 ○三人 △一人
○相州住ーーと有廣次門天文比 ○備前国ーーと有貞治應安比荒沸有物へ良業 ○備中片山一派二字銘ニ有應永の比 △越前国下坂ーーと有時代不明

義長 △一人
於摂州平安城源ーーと有寛文の比

義永 △二人
△加州金沢住忠兵衛尉ーーと有本国越中義永の男享保比 △越中今石動住ーーと有則重十二代の孫と云天和比二代目加州へ

義猶 △一人
冷泉津ーーと有筑前福岡光昌男寛政享和比

義智 ○一人
土州土佐郡神田村能茶山住ーー二字銘ニ有時代不明二代目ハ堀宗敬と云

義宗 △一人
常盤三郎ーーと有東武の武夫と云三呂直道門享和比

義植 △一人
河内大掾藤原ーーと有守とも切越前下坂一派天和比業物

義氏 ○一人
阿州住ーーと有海府一派時代不明

義則 ○二人 △三人
○城州ーーと有三条一派永正比 ○備前国ーーと有一文字の末と云貞治比 △摂州住ーーと有延宝比 △備前長船住右兵衛朝臣ーーと有慶長比文禄より造ると云 △安藝国ーーと有寛永比

義國 ○二人 △四人
○駿州島田住ーーと有天文永禄から間業物 ○越中二字銘ニ有淡路来重国同人と云或ハ善国子とも云ゝ貞治應安の比 △山城三条堀川ーー○堀河住ーー○豊後守橘ーーとも有寛永比業物 △奥州盛岡住源ーー○新藤次郎源ーーとも有国義男次郎兵衛と号寛保癸亥の年隠居して自休と改明和戊子の年没九十五歳 △奥州盛岡住源ーー○新藤ーーとも有六代目の孫へ直吉と号寛政比 △越前住ーーと有義重門高橋儀左衛門と号播州姫路の産と云元禄比

義安 ○一人
波平ーーと有薩州谷山一派應永の比

義正 ○一人
○備州長船ーーと有應永の末より寛正ニ至る △奥州盛岡住源ーーと有二代目義国の養子新藤治郎兵衛と号明和戊子の年養父と同月ニ没

義舛 △一人
摂州住七左衛門尉ーーと有寛文比

義房 △二人
丹波守藤原ーーと有越前吉房同人

義藤 △一人 日根甚助――と有在所時代不明

義照 △一人 紀州日光山住――と有池田権之助と号元和比

義明 ○一人 備前福岡一文字一派二字銘ニ有相州山内ニ下り修行す秋とも有建武かん比

義眞 ○二人 ○越前国橘――と有延文比 如此橘の字とあり ○越中松倉郷一派二字銘ニ有右馬允義弘養子と云越前ニても造る建武かん比

義貞 △一人 嶋田住藤原――と有於江戸作と云銘多し本国駿州義助一族元禄の比

義清 ○一人△二人 ○備州長船――と有貞治比義次一族 △備州長船――と有明徳應永の比 △薩州吉入住――と有清房二男中村勘二郎と号後玉置一平安在と改

義行 ○一人△二人 ○備前福岡一文字一派二字銘ニ有相州山内へ下り藤源次一派ニ入て修行す建武比良業 △豊後国高田住藤原――と有寛文比後国平と改む○山城大掾藤原 △豊後高田住藤原――と有元禄比

義光 ○一人△一人 ○備前国長船左兵エ大夫藤原――と云延文比迄 ○備前国長船――と有景光二男の作多し業物 △備前長船住横山五郎源――と有元禄乙亥の比作州津山ニて造る宗左エ門ヶ子仁左エ門と号後河内守源祐定ニ改む

義充 ○一人 備州長船――と有永和比善充とゝも有と云

義道 △一人 一平安城住相摸守源――と有本国日州飫肥なり洛陽へ出て大佛の邊ニ居宅し二代目久道門と成富田甚右エ門と号藝州廣嶋ニても造ると云元文寛延かん間

義重 ○一人△二人 ○隅州清水住安田紀伊守――と有天正比吉重同人と云 △駿州嶌田住源――と有 △東武ニても造る元禄の比 △播州住喜左衛門――と有吉重同人と云本国越前

義弘 ○二人 ○大和国添上郡千手院――或ハ二字銘ニ有初名善廣貞和比義弘ニ改む ○越中国松倉郷右馬允と号二字銘ニ有建武比○越中国松倉城主桃井家の侍臣と云自然刀劔造成の事を深く好て相州鎌倉へ下り五郎正宗の門と成傳を得て帰国ニて天然の名人ニして八ツの妙所有師ニ三ツ劣れり恨らくハ武夫たるゆへニ造る物稀なりと云ゝ在鎌倉の時も義廣又吉廣とも切と云是非不知

義廣 ○三人△二人 ○大和国千手院――と有文明の比 ○相州住――と有綱廣門永正大永の比業物 ○越中松倉郷一派二字銘ニ有貞和比義弘同人と云 △武州住伊賀掾源――と有守ニ任すとも云時代不明 △奥州盛岡住新藤源――と有正義の子宇八郎と号安永丁酉の年東武へ来り近江守継平門と成同戊戌の年没

義秀 ○一人△一人 ○備州長船――と有延文の比 △武州住――と有大村加卜の初銘と云

義久 △一人 奥州盛岡住――と有新藤国義一派久次より四代目なり寛政比

義平 △一人 東山住――と有美平同人ゝ

義守 ○一人 備州長船――と有良守同人と云應永の比

義助 ○六人△五人 ○駿州嶋田刀匠の祖二字銘ニ有相州正宗門元應比 ○初名富士又富次とも有今川義忠より一字を授りて義助ニ改ると云 ○同二代目二字銘多し延文比相州住――と有も同人業物 ○同三代目二字銘ニ有應永比迄造る業物 ○同四代目二字銘ニ有永享比○今川義忠氏親氏輝義元氏真都て五代の間義助七代の内嶌田ニ於て恩地を賜り子孫此所ニ榮ゆ慶長甲辰の年火災ニ罹つて免書を失ふと云ゝ業物 ○同五代目二字銘多し文明の比六代目ハ輝吉と有 ○同七代目二字銘多し五条

清兵エ法名慶金と号天文天正の間○備前国より家俊家次△同八代目二字銘にて同清兵エ法名宗△同九代目
父子此地へ来り義助一流へ鍛法を傳ふと云時代ゆるし△江と号元和丙辰八月卒甲州にても造△二字銘にて
同清兵エ法名慶閑と△同十代目二字銘多し同七左エ門法△同十一代目二字銘多し同七郎右エ門後清兵
号兼應甲午四月卒に△名玄他と号寛文甲辰四月卒△エ法名靜覚と号東武又備後福智山にて
も造る以南蛮鉄作の銘△同十二代目二字銘にて同清兵エ法名浄心と号寛保
多し正徳壬辰三月卒 癸亥十一月卒其子五条清兵エより業を止む

義末 ○一人 ◯備州長船ーーと云延文比△越前国下坂ーーと右馬允と号慶長比吉末と別人△二代目康継より初めの銘へ東武にても造る

善

善兼 ○一人 備州長船ーーと云貞治比後の義兼同人と云

善景 ○一人 備州長船ーーと云應永の比

善勝 △一人 摂州住藤原ーーと云延宝の比

善次 ○二人 ◯備前二字銘にて兼久比 ◯後備中万壽庄へ移住す ◯備中青江一派二字銘多し應永の比

善長 △一人 薩州国府住○山伏善長坊○是枝善長坊○善長院○隅州住ーーとも云奥忠清二男伊豆守正房門寛永比

善教 ○一人 城州正治比中河ーーと云中河と斗も云と云藤田権三郎と号とも云教字巌にて作るハ誤

善國 ○二人 ◯来ーーと云城州来一派重国の弟淡州へ移住す延文の比 ◯越中二字銘にて貞治比淡州同人

善明 ○一人 城州二字銘にて藤六左近国綱相州にての銘と云義明とも云同人

善行 ○一人 備前藤源治助真相州にて如此云と云或ハ建武の義行同人ともいえり

善光 ○一人 備州長船ーーと云永和比義光門く善光又義光とも云と云

善弘 ○一人 越中松倉郷一派二字銘にて元應比或ハ義弘同人と云

善廣 ○一人 大和国添上郡千手院ーーと云元應比貞和比より義の字に改むと云

能

能量 ○一人 了戒ーーと云城州文明比

能世 ○一人 筑前信国一派二字銘にて嘉吉文明の間業物

能次 ○一人 了戒ーー作と云豊後寛正比本国城州之

能直 ○二人 ◯信国ーー作と云豊前宇佐住明應の比業物 ◯了戒ーーと云豊後文安比

能信 ○一人 城州了戒一派二字銘にて應永比

能徳 ○一人 了戒ーーと云豊後永正比

能正 ○一人 了戒ーーと云豊之前後両所に住寛正比

能房 ○一人 源ーーと云筑前金剛兵エ一派嘉吉比

能定 ○一人 了戒ーーと云城州應安比後豊後へ移住す業物

能真 ○一人 了戒ーー作と云明徳比豊之前後両所に住すと

能光 ○一人 備州長船ーー延徳永正の間

能秀 ○一人 了戒ーーと云豊後永亨比

能守 ○二人 ◯藝州吉本住人ーーと云應永比 ◯了戒ーーと云豊後永亨比

能助 ○一人 信国ーー作と云豊前宇佐住永亨比藝州又筑前にても造ると云

良

良時 △一人 隅州住ーーと云薩州正良門明和天明の間

良包 △一人 薩州住ーーと云良時後にて如此改ると云

良一 △一人 薩州住ーーと云安永比

良忠 △二人 井上ーーと云摂州井上真改の長男同門兵エと号後井上奇山峯と改む延宝貞享の間○訓ヨシタダ也真改が実名を良次と云

良永 ○一人　筑州住ーーと打筑後三池の末康正比

良氏 △一人　薩州住ーーと打正幸门寛政中卒に

良順 ○一人　豊後紀一派兼元比[illegible]紀と唱ふ師行平と共[illegible]州ま於て造る或ハ定慶ら法名なりと云く

良國 ○二人　○備州長船ーーと打安部一派貞治比　○ーーま打仁治比一本正長比と有ハ非なり

良明 △一人　薩州住ーーと打天明比

良西 ○一人　筑前博多刀匠永仁比入西同人とも云或ハ良開同人氏豊後又薩州まても造る一説是以ら法名とも云り

良開 ○一人　筑前良西同人西蓮の師と云

良貞 ○二人　○備州長船ーーと打良国子永徳應永の间良業　○波平ーーと打薩州谷山一派弘治比業物

良久 ○一人　備州長船ーーと打良貞门永亨比業物

良守 ○一人　備州長船ーーと打應永の比

良助 ○一人　石貫ーーと打肥後大永比作州まても造る

賀信 ○一人　同田貫ーーと打肥後菊池住元亀比筑前まても造る良業

賀正 ○一人　泉州堺加賀四郎と号二字銘ま打越中越後まても造る貞治比

賀實 ○一人　入鹿ーーと打紀州永亨の比

賀貞 △一人　和州南都住藤原ーーと打金房一派慶長比業物

賀光 ○三人　○備前国長船ーーと打兼光流明徳應永比小銘く良業　○備州長船住藤原朝臣ーー○備州長船藤氏ーーとも打銘大振く長禄文明の间鎧九ハ上と取業物

嘉光 ○二人　○備州長船ーーと打康正文明の间細鑚　○備前国長船ーー作ーーと打亨禄天文の比

嘉重 △二人　△常陸守ーーと打摂州二代目宗重なん初銘と云多田三郎右エ门と号東武へ移住以元禄比業物　△武州住堀源左エ门尉ーー作と打吉武门後石州津和野ま住と元禄亨保の间

賢春 ○一人　九州肥後同田貫治部ーーと打元亀比業物

賢次 ○一人　肥後国同田貫ーーと打天正比

賢宗 ○一人　九州肥後同田貫ーーと打文禄比

賢信 ○一人　肥後王名住同田貫ーーと打天正比業物

賢國 ○一人　肥後国住同田貫ーーと打元亀比

賢行 ○一人　藤原ーー作と打豊後高田一派永正比業物

賢重 ○一人　了戒ーー作と打城州後豊後へ移住す明應比

賢廣 ○一人　了戒ーーと打豊後大永比

賢人 ○一人　肥後国同田貫ーーと打天正比

賢秀 △一人　出羽国一宮別當ーーと打水心子正秀门文化比

堅守 ○一人　豊後高田一派文亀比平ーーと打

堅白 △一人　二字銘隷書にて筆意正しく打武州の爲吉ら法名と云寛永比

慶隆 △一人　平安城東山住大江ーー○大江ーーと打美平老後の銘く法名宗雪と号

慶榮 △一人　安藝国住人ーー或ハ二字銘ま打寛永比常慶门と云

慶次 △一人　城州住ーーと打鞍馬重次の末と云慶長比

慶幸 △一人　藝州住ーーと打兼應比常慶门と云

慶定 ○一人　城州鞍馬住二字銘ま打或ハ慶の字斗も打三代目信国门應永比或ハ鞍馬関吉次の法名とも云

慶鎮 △一人　作州津山住ーーと打貴勝ら始免の銘なり

克一 △一人 震鱗子ーーと号上野国高崎刀匠正繁门寛政文化の间

克行 ○一人 豊州高田藤原ーー或ハ二字銘ニも打延徳の比

美利 △一人 肥前長崎住藤原ーーと号養利门幸野吉左エ门と号享保比

美高 △一人 東山住ーーと号美平同人と云

美平 △一人 粟田口住ーー○東山住ーー○梅忠傳三郎ーーとも号城州西陣住明真ニ门ニ入て同居す後洛の塔の檀へ別居し天和の初ニ私ニ越前大掾と唱ふ此罪ニよつて破门セらる牝縛住して祇園下河原菊水の井の邉ニ居住す或ハ建仁寺门前三年坂ニ住ぬとも云此頃より変隆と改名しともあ寛文天和の初名迄ハ美平と号以後慶隆と号正徳比迄造ると云九峯老の説是なりと云へし業物

祥弘 ○一人 祥弘作と号文明比石州物ニ備前の如し

祥末 ○一人 石州住ーーと号文明比末ニ同銘一人有と云

祥貞 ○一人 長濱住ーーと号石州天文比業物

祥光 ○一人 備州長船ーーと号永享比

如行 ○一人 藤原ーー作と号豊後高田一派天文の比

懿脩ヨシノリ △一人 作州住ーー或ハ二字銘ニも号播州宗榮门貞享元禄の比

養利 △一人 崎陽土圭エーー以南蛮鉄造江都と号肥前長崎の土圭エ幸野吉郎右エ门と号同所通事祖父平ある者江南国へ渡り南蛮鉄を携へ帰国す享保癸丑の春依台命東武へ来り同秋於濱 御庭以南蛮鉄 御刀を造す後帰国す二代目ハ利安と云

覺長 ○一人 長州住ーーと号顕国一派筑前ニても造る應永比

由政 △一人 城州西陣住徳田ーーと号寛永比

由光 ○一人 左近入道ーーと和州千手院一派恒次同人

榮泉 大法師法橋ーーと号和泉守二代目金道同人

榮進 △一人 藤原ーーと号東武内藤家の尉号と云天明享和大ム间

玢弘 △一人 日置越前守ーーと号東武石堂一派寛文比

頼家 ○二人 ◯ 城州粟田口一派二字銘ニ号嘉元比 ◯ 備前国長船ーーと号永正比

頼景 ○一人 備州長船ーーと号文安比

頼忠 ○一人 宇津左エ门尉ーーと号河内刀匠備前ニて修行すと云徳治比

頼次 ○一人 備中青江一派二字銘ニ号弘長比

頼繼 ○一人 石州出羽住ーーと号應仁の比

頼綱 ○一人 石州出羽住ーーと号應安比

頼宗 ○一人 月山ーーと号奥州應永比

頼國 ○一人 越中宇津一派二字銘ニ号康應比

頼安 ○一人 奥州舞草ーーと号頼の字斗号ともも有文和の比国平同人

頼正 ○二人 ◯ 城州来一派二字銘ニ号進士太郎と号丹波国光同人と云 ◯ 備前福岡一文字一派二字銘ニ号正應の比

頼實 ○一人 頼實作と号城州粟田口一派正安比と云

頼貞 △一人 源ーー慰作○源ーー武门暇日真鍛作○義山作とも号水戸公の佳作と云常光是一等相槌の銘有寛文延宝の比

頼光 ○一人 野州得二郎住ーーと号永禄の比業物

頼重 ○一人 備州長船ーーと号明應の比

頼 ○二人 ◯ 奥州頼安同人 ◯ 備中青江一派俊次同人

依利 ○一人 備州長船｜｜と号 明德應永の比

依景 ○一人 備前国長船｜｜と号應永比と云

依次 ○一人 備中青江一派二字銘ニ号建治ナん比業物

依宗 ○一人 備前福岡一文字宗吉一派二字銘ニ号兼久ナん比

依氏 ○一人 備前長船一派二字銘ニ号文應比

依眞 ○二人 ◯備前福岡一文字一派二字銘ニ号寛元 ◯備中国住｜｜作と号青江一派應安の比業物

仍次 ○一人 備中青江一派二字銘ニ号貞治比又應永比と云

仍房 ○三人 ◯城州住｜｜と号文安の比 ◯越中宇津一派二字銘ニ号應永の比 ◯豫州住｜｜と号至德の比

仍久 ○二人 ◯三条吉則子｜｜作と号城州文亀永正比 ◯越中宇津一派二字銘ニ号文安比

自珎 △一人 濃州住藤原小刑部｜｜と号慶長比

自國 ○一人 近江国住｜｜と号弘治比

自光 ○一人 備州長船｜｜と号應永比

自重 ○一人 武州住藤原｜｜と号元禄の比業物

自廣 △一人 濃州住摂津守藤原｜｜と号後ニ尾州犬山ニても造る寛永万治の间｜｜と号下原一派大永の比

自助 △二人 △濃州岐阜住｜｜と号寛文比 △賀州金沢

歸光 ○一人 備州長船｜｜と号寛正比

馮代 ○一人 濃州西郡物一派二字銘ニ号建武の比

夜宗 ○一人 備州長船｜｜と号應永比兄を盈宗と云ひ盈を宗として造り夜を宗として造ると云意ゝ

女家 ヨシイエカ ○一人 備中片山一派二字銘ニ号時代不明

女光 ○一人 備州長船｜｜と号長禄比

女廣 ○一人 二字銘ニ号北国打とこゆ天文比冬廣ニ比さと

夕

忠但亘督妙爲高貴孝香隆宮鷹尊武雄著竹種達竜龍瀧大丹

忠家 ○四人 △一人 ◯細小路｜｜と号城州粟田口一派藤五郎と号延文比 ◯相州山内藤源次一派二字銘ニ号本国備前正應比 ◯備後三原住｜｜と号應安比本国城州細小路忠家子 ◯河森田住｜｜作と号應永比長谷部の如しと云 △城州住谷山｜｜と号時代不明

忠近 ○一人 備州長船一派二字銘ニ号寛喜の比

忠利 △一人 摂州住｜｜と号寛文比

忠伴 △一人 肥前守｜｜と号在所時代不明

忠親 △一人 越前国下坂｜｜と号後ニ筑州柳川へ移住して○仲鍛冶下坂｜｜と号寛文比

忠香 ○一人 城州粟田口一派二字銘ニ号宝治比

忠金 △一人 薩州住｜｜と号奥国平兼住法師同人濃州ニても造ると云の初銘宝永四の年号打物有

忠吉 ○六人 △八人 ◯城州粟田口一派二字銘ニ号和州千手院一派二字銘ニ号宝治比 ◯備州長船｜｜と号弘治の比 △賀州住藤原｜｜と号延宝比 △肥前国新左エ門尉｜｜○肥前国住人｜｜作○肥前国｜｜或ハ二字銘ニも号家系曰元祖橋本平新太夫油小路住を建長比一説建武比と云

安国ハ 神武天皇の御宇新羅国より太宰府へ来り剱を造りぬる拳の大臣の末裔なりとぞ 安德天皇の御宇京師ニ召登せらる其男源太左エ門尉安信京五条坊門ニ居住す其男同名信景其男源太兵エ尉安久嘉禄

年中筑紫へ下向して少貳家の刀匠と成其男源太郎信久其男玄蕃丞盛房肥前川上村へ移住す其男
彦十郎盛安同国長瀬村へ溥住し少貳家より伊勢守に任し九州鍛冶棟梁と免許せらる其男善兵エ安
房伊勢守に任す其男治部少輔吉房伊勢守に任ス其男左京亮重房伊勢守に任す其男壹岐守盛定
後伊勢守に改む是より以下三代不明其子孫源太兵エ少貳家へ奉仕同家没落の時幼稚の曹子を凴乃ゝ
まふ其男内藏允盛弘龍造寺家へ奉仕天正甲申三月於島原戦死其男壹岐守道弘父と同月に没
す其男橋本新左エ門忠吉く幼ふして父に後れ一族長瀬鍛冶何某の家に養育せられ家職を
修行し亡父の功によりて今の俸禄を賜ハて慶長丙申の年上京して埋忠明寿の門と成同戊戌たん
年帰国して佐賀城下へ溥居す長瀬村よりまる故に此地と長瀬町と呼元和乙丑の年又上京
同二月十八日武藏大掾に任せられ忠廣と改む同年帰国 △同三代目肥前国ーー〇肥前国住陸奥大掾ーー
寛永壬申八月望に没す六十一歳最上大業物二代目ハ忠廣と云 〇肥前国住陸奥守藤原ーー〇陸奥守藤原
ーーとも打忠廣男同新三郎と号万治庚子十月廿七日受領寛文辛丑 △同四代目肥前国ーー〇肥前国住近江
八月十六日溥任す貞享丙寅正月二日没す六十歳最上大業物生涯忠廣と不打 △大掾藤原ーー〇近江大掾藤原ー
ー或ハ二字銘にも打裏銘に甲割の二字を打事有同源助後新三郎と号元禄庚 △同五代目肥前国ーー〇肥前
辰三月十日受領延享丁卯九月九日没八十歳良業生涯忠廣とハ打されども祖父の代作多し △国住近江守藤原ーー〇
近江守ーー或ハ二字銘にも打同新左エ門と号寛延庚午正月 △同六代目肥前国ーー〇肥前国
十日受領安永乙未六月十五日没八十歳業物父存生中ハ忠廣と打 △住近江守藤原ーー〇近江守ー

ー或ハ二字銘にも打新左エ門と号寛政庚戌六月廿四日 △肥前国ーー〇肥前国住人ーー作ともに打初代忠吉門師
受領享和壬戌の年六十七歳ハ初名忠廣と打 △八受領の時忠廣に改名前の名を此人に授く寛永の首年
没す故に造成の物稀く土佐守に任すと云へども其銘の △同二代目肥前国将監ーー〇肥前国源ーーとも打長崎へ
物未見一説に土州の産なれど土佐忠吉と唱ふと云ゝ △移住す寛永の末壯年にも至らずして没す弥五郎忠吉
と唱ふるもの
此作ハ未詳

忠義 〇一人 和州興福寺法師と云
二字銘に打元暦比

忠寄 △一人 薩州住ーーと打
元貞の初銘なり

忠依 〇一人 和州千手
院一派二
字銘に打建治比後
濃州赤坂へ移住す

忠次 〇四人 △三人 ◯城州粟田口流二字銘に打 ◯備前正安比二字銘に打 ◯備州長
正應比油小路に住すと云 大井川酒太夫と号すと云 船二字銘
に打徳治 ◯備中国ーーと打青 △城州住大和大掾藤原ーー〇下坂大和守 △信州住藤原ー △肥前国佐賀住源
比良業 江一派建武比大業 △ーーとも打本国越前寛文の比業物 △ーーと打延宝比 △ーーと打延宝比

忠繼 〇一人 △一人 ◯石州長濱住ーーと打 △粟田口藤原ーーと打坂 △山城国粟田口藤原ーー〇
永禄比雲州にても造る △陽貞右エ門忠行の初銘之 △粟田口近江大掾藤原ー

忠綱 △三人

ー〇粟田口近江守ーーとも打本国播州姫路にして粟田口国綱の △同二代目粟田口近江守ーー裏銘浅井氏
末傳と云洛陽へ移住し後坂陽へ溥住す寛永比浅井氏なり業物 △とも打る物もあり〇粟田口一竿子ー
ー〇一竿子ーー〇合勝軒ーーとも打浅井万太夫と号寛文宝永の間 △同三代目粟田口近江守ーーとも打
雕物の名人世に知る所く忠の字に逆鐙とも打是二代目の澄とし良業 △同政之進と号初名宗綱とも打享

保比東武まても造る三代とも
同銘ニ打といへとも各矩あり

忠縄 ◇三人

△播州住藤原ーー○山城国粟田口藤原ーー○粟田口ーー△肥前
播州作是とも打初代近江守忠綱同人なり△国住
ーーと打忠吉

忠經 ◇二人

摂州住ーーと打
忠綱门天和比

忠長 ◇一人

肥前佐賀住ーー或ハ二字銘ニ打吉長门雕
门元和の比
物上手寛文元禄かん间忠ニ永とも打

忠永 ◇一人

肥前国ーーと
打忠長同人

忠村 ○一人

相州山内藤源次一派
二字銘ニ打正應の比

忠宗 ◇三人

△肥前国相撲大掾藤原ーー
ー○相撲守藤原ーーと
打下總忠清男寛文乙巳十二月父と共ニ
受領宝永丁亥六月摂任ニて業物
△同二代目肥前国ーーと打久
△五郎後代右エ门と号享保比
△源矢野将監ーー造と
△打在所時代不明

忠則 ○一人 ◇二人

○

二字銘ニ打道永の如し
△肥前国ーーと
打時代不明
天文比在所不明

忠信 ○一人

備前国長船ー
ー作と打天文比

忠沓 ○一人

和州手掻一派天福比
或ハ恒利同人とも一説

天国门大
宝比と云

忠雲 ○一人

和州十市住ー
ーと打文保比

忠國 ○二人 ◇七人

○備前国長船ーー或ハ二字銘ニ
打福岡一文字流と云元應比
○二字銘ニ打在所
時代不明古く為

△信濃大掾藤原ーーと打因州鳥取の刀匠山本八郎太夫と号平安城ニ住し初代国路门ニて国勝と打中頃刻
△国ニ改め寛永の首年鳥取へ移住し忠国ニ改む寛永甲戌の年八月受領寛文丙午の年没ニて業物○
受領の年月不審△同二代目信濃大掾ーーと打同八郎太夫ト号
何れとも系譜ニ任ス△享保庚子の年十一月没す七十歳　業物
△同三代目信濃大掾ーーと打始め忠次郎後
△八郎太夫と号享保庚子の年三十三歳ニ

△同四代目信濃大掾ーーと打同八郎
△太夫と号安永の比より二字銘ニ打
△肥前国住播磨大掾藤原ーーと打小城の刀匠橋本播广と号相右エ
△门廣貞ニ二男明暦比よりの作有鈕元ニ十六葉の菊と切裏銘以南蛮鉄造
と打しも有業物老後
播广入道休鉄と打
△同二代目肥前国住播磨守藤原ーーと打鈕
△元ニ蟹牡丹又枝牡丹も打貞享の比業物
△同三代目播广大掾藤原ーーと打
△享保庚子の年四十八歳と云

忠安 ○三人

○備州長船ーー
○と打延徳の比
○波平ーーと打薩州
谷山一派宝徳の比

忠政 ◇三人

△肥前佐賀住藤原ーーと打織部
△丞と号初代忠吉门寛永比業物
△同二代目肥前国佐賀住藤原
ーーと打源右エ门と号元禄比忠正居打

忠正 ◇二人

伊州住ーーと打
寛文比伊賀之

忠房 ◇二人

肥前国ーーと打
吉房同人なり

忠貞 ○五人 ◇一人

○雲州住ーー○仁田郡ーー○安部ーー
とも打備前の流なり正長比業物
○同二代目雲州住ーー或ハ二字銘ニ打
明應比よりの作有石州まても造る業物
○同三代目雲州住ーーと打
天正の比まて造ると云

○作州住ーー
○と打建武比
○備前国ーーと打
長船一派延應比
△肥前国住ーー
△と打時代不明

忠清 ◇三人

△肥前国住ーー作と打初代忠
吉门新兵衛と号寛文比
△同二
代目

肥前国下總大掾藤原ーーと打寛文
乙巳十二月受領す始め治国と打業物
△薩州住ーーと打奥次郎
△兵エと号寛永の末より造る

忠行 ○一人 ◇八人

○備後尾道住五阿
弥ーーと打弘治比
△摂州
△住藤
原ーーと打初代忠綱门
太郎右エ门と号寛文比業
△同二代目摂津守源ーーと打
△新右エ门と号貞享比業物
△同三代目摂津守源ーーと打半左エ
△门と号東武まても造る正徳比業物
△粟田口摂津守源ー
△ーーと打橋ーーと打

も同人初代忠行の弟貞右エ門と号△豊州高田住大和大掾藤原ーー○大和守藤原ーー△同二代目豊州高田
忠継とも号二元文比迠造る業物△と号仲間伴平と号肥後隈本まても造る寛永比良業△住大和守藤原ーー
と号同新五兵エと号△肥前国住藤原ーーと号延宝比△薩州住ーーと号木場鉄之助と号時代不明
天和元禄の間業物

忠光 ○五人 △二人
○和州千手院一派二字銘ま号天和比○備州長船ーーと

号倫光門貞治比小銘く○備州長船ーーと号永亨文正の間家守子と云良業○同二代目備州長船ーーと号彦兵エと号文明永正の間二字銘も有良業○忠光宗光於児嶋海邉作之延徳の年号有り○備州長船
忠光於作州飯岡作明應の年号有○同三代目備州長船ーー或八二字大銘ま号物多し永正永禄の間業物△摂州住栗田口ーーと号一竿子門元禄比△肥後大膳大夫ーーと号同田貫一派と云慶長比業物

忠道 △二人
△越後守藤原ーーと号本国越前之坂陽まても造る延宝乙卯の年五十三歳業物△丹波国ーーと号時代不明

忠重 ○一人 △二人
○備州長船住ーーと号貞和比△摂州生玉荘井上藤原ーーと号
初代忠行門東武ゟてゟも造る寛文比△薩州住奥和泉守ーー○奥和泉守谷山波平ーー裏銘薩州住と号奥忠清三男主左エ門と号後ゟ秀興と改む大隅まても造る蒙主命坂陽へ出津田助廣門と成享保庚子の年六十余歳と云鍄の上手良業

忠秀 ○一人
和州元暦比法師といふ

忠廣 △七人
△遠江守嶌田住藤原ーーと号駿州寛文貞享の間△肥前国住武蔵大掾藤原ーー○武蔵大掾藤原ーーと号初代忠吉元和乙卯の春受領の時ゟり如此改む△同二代目肥前国住藤原ーー○肥前国住新左エ門尉藤原ーー○肥前国住近江大掾藤原ーー○近江大掾藤原ーー或八二字銘ま号橋本平作郎と号寛永辛巳七月廿二日受領す元禄癸酉五月廿七日没八十一歳大業生涯忠吉と号さるく△肥前国住藤原ーーと号四代目新三郎男延吉子丁丑秋父没後忠吉ま改む△肥前国ーーと号五代目忠吉男安永乙未冬父没後忠吉ま改む△肥前国ーーと号六代目忠吉男平助と号享和壬戌の年十三十二歳く△薩州住藤原ーーと号時代不明

忠弘 ○一人
摂州柱本住ーーと号柱本ハ淀川の邉の地名文明比と云

忠久 ○一人
備州長船ーーと号忠光門文明比業物

忠平 △一人
賀州住藤原ーーと号高平門寛文比

忠守 ○一人 △一人
○平ーー造と号豊後高田一派天文比と云△伯州倉吉住ーーと号時代不明

但次 ○二人
○和州千手院一派文永比本国奥州舞草と云○忠次○守継○日光とも号或八和州行正子又後正子とも云不審○備中青江一派二字銘ま号建久比

亘次 ○一人
備中但次同人と云

督正 ○一人
備後三原住貝ーー○貝ーーとも号天文比

妙光 ○一人 タゞ
備州長船ーーと号文明比と云

爲家 ○二人 △四人
○備州長船住ーーと号正中建武比○備中国呰部郡松山住ーーと号大永比河野与太郎と号青江爲次末と云業物△摂州住橘ーーと号爲康門貞享比と云△備中国呰部住河野理兵エ尉ーーと号三郎兵エ国重ゟ舎弟と云寛永比呰部(アサヒ)水田と唱ふ△同二代目備中国呰部住ーーと号河野与太郎と号寛文比△備中国呰部住河野与三郎ーーと号与太郎ゟ弟延宝の比

爲時 ○一人
相州山内藤源次一派一字銘ま号助真老成ゟ銘と云

爲友 ○一人
丹波国ーーと号時代不明

爲朝 ○一人
上總国の刀匠と云相州爲吉門建武比と云々

爲利 ○二人 △一人
○備前福岡一文字一派二字銘ニ打貞應比
○備州長船——と打爲吉門正應比
△奥州會津住下坂——と打下坂太左エ門後甚兵エと号爲勝男明暦丁酉の年家督宝永甲申の年没

爲遠 ○三人
○城州粟田口一派常遠同人と云
○備前国君河住人兵衛尉菅原——或ハ二字銘ニ打福岡一文字一派嘉元比
○上州住——と打時代不明

爲近 ○一人
備州長船——と打爲貞門暦應の比

爲勝 △一人
奥州會津住下坂——と打下坂爲康の男九藏後太左エ門と号寛永の末年保科家の刀匠と成元禄庚午の年没す業物

爲吉 ○五人 △一人
相州天文比爲吉作と打
○武藏国——と打本国相州鎌倉之竜次郎と号越後まても造る元弘比
○備前福岡一文字一派二字銘ニ打弘安比
○備前国長船——と打嘉暦比良業
○備中青江一派二字銘ニ打貞應の比
△武州長井住源——と打寛永比法名堅白と号一本徳白と有

爲頼 ○一人
城州建仁比飛騨まても造

爲依 ○一人
備前国長船——と打爲久門應長比

爲隆 △一人
奥州會津住下坂——と打爲精男大吉後甚左エ門と号天明乙巳没す

爲次 ○四人 △一人
○城州二字銘ニ打濃州爲次同人と云
○越中二字銘ニ打松倉郷門後ニ濃州不破郡へ移住ス爲継同人なり
○備中青江一派二字銘ニ打備前まても造る兼久比
○備中青江一派二字銘ニ打寛元の比
△奥州會津住下坂——と打爲利男太左エ門後甚兵エと号元禄甲戌の年家督享保庚子の年没ス業物

爲継 ○二人
○藤原——と打城州刀匠と云時代不明
○濃州住藤原——○濃州住四郎兵エ藤原——○濃州——或ハ二字銘も打本国越中松倉郷門或ハ則重門とも云始メ爲次と打越前まても造る貞和應安の同業物

爲綱 ○一人
濃州住——と打関一派永禄比

爲恒 ○三人
○備州長船——と打貞和比
○備中国住——と打青江一派應永比業物
○豊後国——と打紀一派弘長比

爲長 ○二人 △二人
○備前国——と打正和嘉暦之間
○二字銘ニ打在所時代不明西蓮の如し
△奥州會津住下坂——と打爲次男山三郎後甚兵エと号享保己亥の年家督延享丁卯の年没す
△奥州會津住下坂——と打兼宣男文吉と号享和比

爲直 △一人
奥州會津住下坂——と打爲隆男大吉後甚左エ門と号始メ爲信と打享和文化の比

爲宗 ○二人
○備州長船——と打延文貞治の間
○同二代目備州長船——と打至徳比業物

爲信 ○二人 △一人
○備州長船——と打貞和の比
○備中青江一派二字銘ニ打元暦比
△奥州會津住下坂——と打享和中爲直ニ改

爲則 ○三人 △一人
○備前国長船——と打刑部三郎と号元應比
○備前国吉井住——と打正和比刑部三郎同人と云
○備中青江一派二字銘ニ打初メの爲次門貞永の比
△備前国——と打天和比と云

爲範 ○一人
備後国三原住——と打永正比

爲安 ○一人
備州長船一派二字銘ニ打後備中ニ住ス建仁比

爲康 △三人
△奥州會津住下坂——○豫州松山住——と打も同人○越前の国朝倉家の臣真柄十郎左エ門直隆の末男なりしに直隆戦死の後幼年なれバ故ありて近江国西坂本ニ住せる下坂八郎左エ門康綱の許ニ養育せられ自然刀匠職を学び刀剣を造る後江州を立退き豫州松山へ移リ領主加藤家の刀匠と成下坂甚兵エ爲康と号寛永丁卯の年主君奥州會津へ國替の時同所へ移住ス子孫此地ニ栄ゆ業物二代目ハ爲勝なり
△紀州住土佐将監橘——と打錮元二十六

蓁の菊と切江州蒲生郡石堂の同族なり〻 △同二代目陸奥守橘ーーと号富田六郎右エ門と号 為是 ○一人 備州長船ー
紀州石堂の祖く富田将監と号寛永比業物 寛文延宝比坂陽へ移住す康廣か兄なり業物 ーと号嘉暦比
為貞 ○二人 ◯ 城州仁治比二字銘ま ◯ 備前国長船 為定 ○一人 備州長船住ー 為清 ○四人 ◯ 和州ー
号散位永昌同人と云 ーーと号元應比 ーと号建武比 人時代
不明或八伯 ◯ 伯州大原真守末孫横瀬三郎太夫と号二 ◯ 備州長船ーー ◯ 備中国住ーーと号
州同人と云 字銘ま号北条氏時頼の刀匠と云建長比 と号延文比 青江一派應永の比 為精 △一人
奥州會津住下坂ーーと号為長男始免 豊州高田住ー 中路住ーーと号備州長
清助後甚兵エと号明和甲寅の年没く 為行 △一人 ーと号寛文比 為通 ○一人 舩一派時代不明
為光 ○一人 備州長船ーー 為重 ○一人 二字銘ま号伯州 為久 ○一人 備州長船一派二 為廣 △二人
と号應安比 物と云時代不明 字銘ま号弘長比
△摂州住橘ーーと号本国紀州康廣门 △摂州住藤原ーー○相摸大掾源ーー○ 為守 ○二人 ◯ 伯州
福地多羅藏と号寛文の比業物 相摸守源ーーと号寛文の比業物 大原
一派二字銘ま 備中片山一派二字銘ま号
号天福の比 ◯ 備前まても造る應永の比

高友 ○一人 備前二字銘ま号 高任 △一人 摂州住ーー 高包 ○一人 備前高平流二字 高兼 ○一人
時代不明古く〻 と号延宝比 銘ま号元暦の比

備後国三原住ーー 高吉 ○一人 播州大明石住ーー作 高次 △三人 △甲州府中住ーーと号高輝男 △越前国住
ーーと号永正比 と号天文弘治の比 市川長左エ门と号享保比 ーーと号貞
享比 業物 高綱 ○一人 △一人 ◯ 備前二字銘ま号元久比後筑前秋月へ △藤原ーーと号元 高長 ○一人 ◯ 備州
移住す是金剛兵エの祖く此説未詳 禄比在所不明 長船
ーーと号應 高植 ○一人 △一人 ◯ 和州住ーー △出羽守ーーと号 高氏 ○一人 播州住ーー 高則 ○二人 △一人 ◯ 雲
永比良業 と号永禄比 和州住慶長比 と号天正比 州
二字銘ま号仁治比或六元 ◯ 播州明石住ー △摂州住ーー 高信 ○一人 備後国住ーーと号 高安 ○二人 ◯
應比とも云道永ま非す ーと号永禄比 と号天和比 三原一派時代不明
備前二字銘ま号後 ◯ 波平ーーと号薩州 高輝 △一人 甲府住ーーと号相州住彦三郎廣正の末葉同
備中へ移住す建仁比 ◯ 谷山一派明應の比 彦三郎と号元禄比○二代目高次○三代目市川
長左エ门高輝寛 高真 ○一人 雲州二字銘ま号寛元比 高寳 ○二人 ◯ 雲州二字銘ま ◯ 備前二字銘
保比同銘ま号と云 隠し銘 ⋈ 如此切と云 号元應の比 ふ号寛喜比
高清 △一人 和州南都住藤原ーーと号弘 高光 ○三人 ◯ 和州住ーーと号 ◯ 備州長船ーーと号明
包门坂陽かくし造る寛文比 元亀の比と云 徳應永の比業物
◯ 備後国三原住 高重 ○一人 △一人 ◯ 備前国住長船ー △上野国高崎住 高平 △二人 △加州住辻村越中
ーーと号永正比 ーと号嘉元比と云 ーーと号元禄比 守藤原ーー○

越中守藤原ーーと打〇押花如此金沢の刀匠三代目甚六兼若寛永乙丑の年受領後の銘之業物 △加州住ーーと打四代目兼若の二男傳右エ门と号延宝比

高弘 〇二人 〇遠州二字銘にて打弘安比 〇

近江国守山住ーーと打高木貞宗门建武比 △江州守山住日向守ーーと打建武の高弘か末と云勢州にても造る廣の字にて打寛永比

高廣 △一人 羽州米沢住ーーと打行廣か初銘之

高久 △一人

越前国ーーと打時代不明

高秀 〇一人 濃州関一派二字銘にて打時代不明

高基 〇一人 奥州ーーと打正應比羽州にても造

高本 △一人 越前住ーーと打時代不明元禄比と云

高資 〇二人 〇備州長船一派二字銘にて打寛元比 〇長州豊浦住ーーと打顕久门文明の比業物

高鉄 △一人 山城大掾法橋ーーと打越前福井刀匠大和大掾正則男山田七郎兵エと号始免山城大掾藤原国次と切寛永戊辰年二月於京都叙法橋夫より高鉄と打東武にても造る

高天神 〇一人 遠州ーーーと斗も打 兼明同人なり

貴

貴勝 △一人 多田ーーと打作州津山住多田荘七郎と号坂陽に出助隆门と成享和文化比

貴命 △一人 尾州住ーーと打元禄比

貴光 〇 ヨシ 備州長船平右エ门尉ーーと打永正天文の间

貴道 △六人 △大和守源ーーと打濃州関兼道の流尾州名古屋に住す明暦の比業物 △信濃守源ーーと打尾州刀匠寛文比 △阿波守平ーーと打尾州刀匠寛永比 △陸奥守橘ーー〇備中守ーー〇播磨守ーーと打各尾州刀匠之享保比迄の作有未詳

貴助 △一人 尾州住源ーーと打享保比

孝　香　宮　鷹　隆　尊　武

孝景 〇二人 〇城州栗田口住ーーと打應永比 〇備州長船日下部ーー〇清水寺日下部ーーと打左近長光と両作有嘉元比

孝満 〇一人 △一人 〇茉王寺久原ーーと打三州

文明比葯如此切 △城州愛宕郡住大江ーー〇大江ーー作とも打東山美平改名しと孝

吉光同人とも云 △満と打又改名く慶隆と打と云々或ハ美平一族之とも云未詳業物

香具 〇一人 タカトモ 備前国住ーーと打時代不明

香平 〇一人 備前福岡住二字銘にて打建仁比或ハ高平同人とも云

香 〇一人 香戸ー 備前福岡一文字則宗如此一字銘にて打と云

隆廣 〇一人 相州住右エ门尉ーー〇相州住ーー作と打助廣门奥州にても造る永正の比業物

宮行 〇一人 タカ 石州高津住ーーと打次弘门長禄の比

鷹諶 △三人 △摂州住黒田ーー造と打備後貝三原正近嫡流黒田助六正家六代の孫播州姫路住 △同二代目佐倉住黒田ーーと打同源三郎兼重男同源之進後左兵エと号坂陽に住す寛政の首年没す △源之進と号東武へ移住し正繁の门と成下總佐倉の刀匠文化比

尊輝 △一人 阿州住人ーーと打寛政享和の比

武近 △一人 薩州住ーーと打元平门三原林蔵と号文化比

武吉 △一人 下野国得二郎住千子ーーと打寛永比と云

武永 〇一人 △一人 〇筑後国河﨑住ーー〇藤原ーーーとも打大石左一派文明比業物 △筑後大石住ーー或ハ二字銘にて打寛文比

武宗 △一人 筑後大石の末二字銘にて打時代不明

武國 △二人 △筑州久留米住藤原ーー〇筑州久留米住

下坂ーーとす茂勝男太△同二代目筑後国久留米住下坂ーー兵エと号延宝宝永の间△ーとす下坂惣市と号正徳中清修ト改む

武雅 △一人　肥前国ーーとす四代目正廣ヵ初免の銘也

武昭 △一人　薩州住ーーとす元平门涂川作左エ门と号文化比

武清 △一人　後藤ーーとす本国播州後ニ惣州佐倉へ移住もと正繁门文化比

武廣 △一人　二字銘ニす城州刀匠と云時代不明

著永 ○一人 タケ　大石ーーとす筑後明應の比

竹霰 ○一人　豊州住人ーーとす豊後應永の比

種永 △一人　肥前長崎住茉師寺四郎右エ门ーーとす阿蘭陀鍛と専门とし行廣ヵ師ニ寛永の比

種行 ○一人　藤原ーーとす豊後高田一派元亀の比

種重 ○一人　二王ーー作とす防州文明比

種廣 △一人　肥前国肥後大掾源ーーとす市太郎と号始免ハ肥前佐賀住市太と斗もす寛文比

達磨 ○一人　城州綾小路正宗入道ーニ達ナと斗もす

達富 △一人　戸川ーー使武蔵太郎安国於武州麻布真九鍛作之とす元禄宝永比の作多ーー戸川家の慰すと云安国相槌の時ハ達富とす安貞相槌の時ハ松齋とすれしと云く

竜實 ○一人　備州長船一派二字銘ニす時代不明

龍王 ○一人　薩州波平一派文保比と云

瀧銘 ○一人　大和千手院一派伊豫房と号し瀧と斗もすと云フも見ゆ嘉禄比

大進坊 ○一人　相州鎌倉新藤五国光の男也幼年の時野州二荒山へ登山して出家す後下山なして鎌倉へ還りて刀匠と成ありれとも雕物を好んて刀剱ハ多く造らす正中比没すと云長寿の男へ世ニ知る所なり○大進法師祐慶とす二 花押大抵如此

大安 ○一人　二字銘ニす在所時代不明

大知 ○一人　濃州関住ーーとす安藤長左衛门と号大道の祖なり天文の比業物

大泉 ○一人　二字銘ニす在所時代不明

大吉 △一人　播州姫路住ーーとす享保の比

大重 △一人　播州住常陸守源ーーとす姫路住井上市左エ门宗重男善兵エと号元禄享保の间

大道 △数人　△濃州岐阜住信濃守藤原ーーとす寛永比濃州室屋関大知ヵ孫也○陸奥守ーー○相摸守ーー○伊豆守ーー○此外受領なき大道数人あり中ニ古くあるものハ大知の次なる多へー丹後もも同銘有天和の比△三陽額田郡藤原ーーとす延宝元禄の间

大明京 △代々　雲州住ーーとす高麗弥九郎と号寛文元禄の间ニ三代目同銘ニす同治兵エと号享保比以後同銘数代有といへとも未詳初代より以下各実名ハ国重と号と云松江白浮天神町ニ居住す寛政中遺跡を尋れバ今ハ意宇郡鍛冶坂ニ跡有と云く

大室 ○一人　城州大宮国盛同人と云室ハ宮の字の誤りなるへし

丹霞 △一人　入道ーーとす播州手柄山四代目氏繁の道号なり

古今鍛冶備考巻之二畢

古今鍛冶備考巻之三

ツ

次繼續綱恒經常貫鶴

次家 ○四人 ◯藤島ーーと打越前加賀両所ニて造る文明比 ◯備前福岡一文字一派二字銘ニ打寛元の比 ◯備州長船住ーー或ハ二字銘ニ打正應比 ◯備中国ーー或ハ二字銘ニ打青江一派兼元中卅四人の内八月番ニ定メらる始メ右馬尉後備中権守ニ任ず備前ニて修行すと云

次俊 ○二人 ◯備前福岡一文字一派二字銘ニ打宝治比 ◯備前国ーーと打長船一派建武の比 ◯備中青江一派二字銘ニ打又次郎と号ス仁治の比

次利 ○一人 備中青江一派二字銘ニ打建暦比

次親 △一人 越前国藤原下坂ーーと打寛永比

次兼 ○一人 濃州ーーと打関一派應永の比

次包 △一人 摂州住藤原ーーと打元禄比

次吉 ○七人 ◯若州小濱住ーーと打永禄の比業物 ◯桃川住ーーと打越後永亨比 ◯備前国ーーと打嘉元比 ◯備中青江一派二字大銘ニ打物多し寛元比 ◯同二代目二字銘多く左近将監と号す建治比 ◯同三代目備中国ーー或ハ二字銘ニ打徳治の比 ◯備中国ーー作或ハ二字銘ニも打建武の比より貞治四年比迄同仝四代目と云大業

次依 ○一人 備中青江一派二字銘ニ打寛元比

次頼 ○二人 ◯備前福岡一文字一派二字銘ニ打文永比助休同仝と云 ◯備中青江

一泒二字銘ヨ打正應比

次忠 ○一人 備中青江一泒二字銘ヨ打建永比

次恒 ○二人 ○備州長船ーーと打時代不明 ○備中国ーーと打青江一泒左近将監と号嘉暦の比

次直 ○二人 ○備中青江一泒二字銘ヨ打文應比 ○備中国住ーー作と打青江一泒貞和延文の間良業

次植 ○一人 備中青江一泒二字銘ヨ打正應ナん比良業

次信 ○一人 備前福岡一文字一泒二字銘ヨ打正嘉の比

次言 ○一人 備州長船ーーと打時代不明

次正 ○一人 備中国ーー作或ハ二字銘ヨ打貞治比業物

次有 ○二人 ○和州當广一泒二字銘ヨ打延文比有法師同人と云 ○越智ーーと打濃州住と云鐙鍛冶く時代不明

次真 ○二人 ○備中青江一泒二字銘ヨ打寛元比希遠共打 ○同二代目二字銘ヨ打弘長比

次貞 ○三人 ○石州住ーーと打雲州ヨても造る永禄比 ○備中青江一泒應永比 ○次貞作と打良業 ○波平ーーと打薩州谷山一泒文亀比

次定 ○一人 備中青江一泒二字銘ヨ打正和比

次清 ○一人 備州長船ーーと打時代不明

次光 ○一人 △一人 ○備州長船ーーと打永享比 △二字銘ヨ打在所時代不明

次廣 ○三人 △一人 ○相州住ーーと打明應永正の間業物 ○若州小濱住ーー或ハ二字銘ヨ打冬廣門永正天文の間業物 ○備中青江一泒二字銘ヨ打天福の比 △石州住ーーと打弘氏打寛文比

次弘 ○四人 ○石州住太郎左エ門ーー或ハ二字銘ヨ打永享の比 ○備前国長船ーーと打正中比 ○備州長船ーーと打應永の比業物

○備中青江一泒二字銘ヨ打建治比

次久 ○一人 △一人 ○備州長船ーーと打應永比 △奥州盛岡住ーーと打新藤国義門久次より三代目く宝暦の比

次秀 ○一人 備中青江一泒二字銘ヨ打寛元比

次盛 ○二人 ○備前大宮一泒二字銘ヨ打暦應比 ○平ーーと打豊州高田一泒文亀比

次助 ○一人 備中国ーー作と打貞和延文の間

次商 ○一人 備前国住ーーと打時代不明

繼

繼利 △一人 越前国下坂ーー○藤原ーーとも打東武へ移住す元禄比

繼冨 △一人 東武継秀門二字銘多し享和比

繼代 △一人 奥州仙臺住ーーと打国次男大友惣十郎と号東武へ来り継平門と成安永寛政の間

繼永 △一人 越前国下坂ーーと打東武ヨても造る長のまヨ打も同人元禄比

繼信 △一人 越前国住出羽大掾藤原ーーと打下坂又左エ門と号すと東武へ移住ス享保比業物

繼正 △一人 越前国下坂藤原ーーと打三代目康継門六兵衛と号東武へ移住ス上州舘林野州足利ヨても造る元禄比

繼政 △一人 越前国下坂ーーと打享保比

繼貞 △一人 越前国下坂ーーと打肥後永广郡ヨても造る寛文比

繼定 △一人 越前国下坂ーーと打東武へ移住す天和比

繼清 △一人 長州二王ーーと打玉井幸助と号清房男也宝暦の比

繼行 △三人 △越前下坂藤原ーーと打貞享比 △備前国長船住人ーーと打時代不明 △豊州高田住藤原ーーと打寛文ナん比

繼光 △一人 越前国下坂ーーとす延宝の比

繼廣 △一人 近江守藤原ーーラウ越前国下坂とす物多し福井ニ住ス江州膳所ニても造る東武へも来りしと云寛文元禄の間業物

繼平 △五人 △近江守藤原ーーとす越前下坂三代目康継门藤田与兵衛と号東武ニ住す寛文比業物 △同二代目近江守藤原ーーとす同与左衛门と号東武神田ニ住ス元禄享保の間業物 △同三代目近江守藤原ーーとす黄金鍛の副銘多し同与四郎と号宝暦比迄の作有東武ニ住ス △同四代目東都近江守藤原ーーとす同与四郎と号黄金鍛の銘父の如くす明和安永の作也 △隅州住ーーとす薩州元平门柏原仲左エ门と号文化比

繼秀 △一人 井近江守藤原ーーとす○萬歳ーーとすくるも同人く継平门源次し号東武ニ住ス天明文化の間

續吉 ○一人 越州桃川ーー○桃川住ーーともとす越後く永亨嘉吉の比

綱家 ○二人 ◯相州住ーー或ハ二字銘ニもす初代綱廣门平三郎と号小田原刀匠一派亨禄天文比業物 ◯奥州仙臺住ーー○奥州田村郡小野住ーー造とふす天正文禄比

綱俊 △一人 越前国住ーーとす下坂一派寛文比

綱能 ○一人 了戒ーーとす城州天文比

綱吉 △一人 摂津国住ーーとす寛文比

綱慶 △一人 於肥前唐津源ーーとす同州佐賀の産ふしく後藝州廣嶋の城下中嶋へ移住す五兵エと号す寛文の比

綱長 △一人 越前国下坂ーーとす天和比と云

綱宗 ○一人 △一人 ◯相州住ーー或ハ二字銘又総宗ともす小田原刀匠綱家门師と両作有天文比 △武蔵国於品川仙臺国司ーー作とす種々の銘有と云伊達家の慰作ニして相槌ハ安倫く寛文比内ーともすれしと云く

綱房 △一人 奥州住ーーとす會津住古川孫四郎兼定慶長年中蒲生家の命ニよりて綱房と改しく

綱貞 △一人 常州ーー作とす時代不明

綱行 △一人 豊後住藤原ーーとす時代不明

綱光 ○一人 相州鎌倉一派二字銘ニす行光门後五郎正宗门と成正和比

綱重 ○一人 △二人 ◯上野住ーーとす相州綱廣门天正比業物 △奥州住藤原ーーとす相州綱廣津軽ニての门人く寛文比○陸奥守藤原綱重とす同人か △加賀守藤原ーーとす元禄比在所不明

綱廣 ○二人 △十一人 ◯相州住ーー○相州住對馬守ーーとす初め正廣と云○小田原の北条氏綱雀岡八幡宮へ奉納の太刀を正廣ニ造らしむ此時一字を授けて綱廣ニ改め對馬守ニ受領す造刀かん爲褒美三百貫の地を賜ると云山村氏法名連向と号永正亨禄の間良業 ◯同二代目相州住ーーとす山村對馬法名宗臺と号永禄天正の間 △同三代目相州住ーーとす同宇右エ门と号此代ニ至て二百貫の采地ニ定めらるも鎌倉扇ケ谷ニ住居して奥州津軽ニても造りしす有慶長の比法名玉祐 △同四代目相州住ーーとす同勘右エ门と号寛永比法名永珎 △同五代目相州住ーー造○伊勢大掾源ーーとす十六菜の菊を切らふ物有万治年中受領す法名常縁と号業物 △同六代目相州住ーーとす山村弥右エ门と号元文戊午没法名観成 △同七代目同銘ニす同勘兵衛と号享保比法名宗観 △同八代目同銘ニす同宇兵エと号水心子正秀肥後の松村昌直等の師く寛延天明の間 △同九代目相模國住ーーとす同直三郎と号嫡孫兼祖く東武へ来り水心子正秀门と成天明文化 △城州住源ーー○近江守源ーーとす元禄比勢州吉廣同人と云 △

江州比良住阿波守｜｜と打享保の比〈越前国住藤原｜｜と打下坂一派寛文比〈南紀住傳右エ門尉｜｜と打石堂一派延宝比

綱助 △一人 樋口｜｜と打保則男也水心子正秀門享和比

恒家 ○三人 ○備前国｜｜と打時代不明 ○備中正恒流二字銘を打仁治比

恒利 ○三人 ○和州千手院一派元暦比兼住法師と号と云不審 ○備州長船｜｜と打應永比

恒遠 ○二人 城州洛北市原住二字銘を打建暦比

恒能 ○二人 備州長船｜｜と打至徳比

恒次 ○七人 ○和州千手院一派二字銘を打左近入道と号建治比由光が初銘と云 ○備前住左近将監｜｜或ハ二字銘を打時代不明 ○備州長船｜｜と打應永比 ○備中青江一派二字銘を打兼元中廿四人の内五月番を定られ備中守を任セらる當番の時の作ハ勝の字と打数珠丸の作く ○同二代目備中国｜｜或ハ二字銘を打貞永の比 ○同三代目備中国住｜｜或ハ二字銘を打弘長比○貞永の恒次ハ初代同人と云 ○備中万壽庄住左兵衛尉｜｜と打文保元徳比の年号打る物多し大業

恒永 ○三人 ○備中正恒流二字銘を打弘安比長の字も打 ○備中国｜｜と打青江一派文保比

恒氏 ○二人 備州長船｜｜と打貞和延文の比

恒則 ○三人 ○備中国｜｜と打青江一派正應比 ○阿州海府一派二字銘を打文安比

恒正 ○二人 備州長船｜｜と打貞治比

恒貞 ○一人 備州長船｜｜と打明徳比業物

恒真 ○三人 ○備州長船｜｜と打貞治比 ○備中正恒流二字銘を打太郎源太と号弘長比 ○備中片山一派二字銘を打永享比

恒清 ○一人 備中正恒流二字銘を打備前ニても造貞永比

恒光 ○一人 備州長船｜｜或ハ二字銘を打正應比

恒久 ○三人 ○甲州住｜｜と打時代不明 ○備前国住｜｜と打文暦比

恒弘 ○三人 ○備州長船｜｜と打長義門康永より應永の始に至る良業 ○同二代目備州長船｜｜と打應永の末より文安比の作多し

恒本 ○三人 ○遠州二字銘を打建長比本国備前と云 ○備州長船一派二字銘を打兼久比

恒末 ○三人 ○遠州住｜｜と打永享比 ○備中正恒流二字銘を打貞永比

恒 ○一人 備中弘長比の恒次同人と云

經家 ○四人 ○備前国住｜｜と打畠田一派正應比 ○備州長船｜｜と打弥次郎と号明徳應永の間良業 ○同二代目備州長船｜｜と打永享文明の間良業 ○同三代目備州長船｜｜と打長享永正の間業物

經遠 ○一人 備州長船｜｜と打應永比

經義 ○一人 鎌倉住｜｜作或ハ二字銘を打本国備前福岡一文字一派相州へ移住し藤源次一派と成弘安比

經能 ○三人 ○了戒｜｜と打城州大永比 ○備州長船｜｜と打應安比

經光 ○一人 備州長船｜｜と打延徳比

經孟 ○一人 大和国住｜｜と打時代不明

常遠 ○三人 ○城州粟田口一派二字銘を打天福比為遠同人と云 ○備中則高流二字銘を打元暦比 藝州廣嶋住｜｜或ハ二字銘を打長谷部国信九代の孫天正文禄比

常依 ○一人 備中二字銘を打正治比常遠門

常慶 △一人

常次 ○一人 備中国住佐兵エ尉｜｜或ハ二字銘を打青江一派兼元比

常永 △一人 兒玉｜｜作と打東武住す水心子正秀門

傳助と号寛政文化

常國 〇一人 二字銘ニ打在所時代不明

常清 〇三人 〇泉州住——と打加賀四郎一派文安の比業物 〇備州長船——と打永和の比

常光 △三人 △對馬守橘——〇對馬入道——と打生国江州蒲生郡の命して城州へ移住し後東武へ轉住す日置市之丞後三郎左エ門と号石堂一家にて光平か兄と云法名一法寛永寛文の間良業 △同二代目對馬掾橘——〇對馬守橘——と打東武四谷に居住す同名左エ門入道して智休と云元禄比至る業物

常秀 〇一人 二字銘ニ打天文比泉州打と云

常森 〇一人 備中正恒流二字銘ニ打貞應比

貫光 〇一人 備州長船——と打長享比

貫 △一人 野州烏山住一心齋——と打水心子正秀門儀右エ門と号文化

鶴重 △一人 尾州住——と打傳十郎と号坂陽にても造る後本重と改む延宝比

十

永長直尚成業仲中奈南

永家 〇一人 筑後国——〇大石住——とも打天文の比業物

永富 〇一人 備州長船——と打應永比

永侖（トモ） 〇二人 備州長船——と打永享比

永朝 △一人 二字銘ニ打羽州山形庄秋元家の慰造と云天明文化の間

永俊 △一人 奥州住——と打長俊五代の孫田代弥四郎と号始兄重清と打三代目安倫門元禄の比業物

永包 〇二人 〇大和国——と打手掻一派文明比 〇備前福岡一文字一派二字銘ニ打文應比

永勝 △一人 藤原——と打豊後日出住高田茂兵エと号元禄比

永吉 〇一人 △一人 〇備州長船——と打永正比業物 △摂津住——と打石道一派元禄比

永次 〇一人 △一人 〇備中国——と打青江一派正中比良業 △阿州福嶋住——と打時代不明

永恒 〇一人 備前福岡一文字一派二字銘ニ打文永比

永則 〇二人 △一人 〇備前国吉井住——或ハ二字銘ニ打後雲州へ移住す應永比 〇同二代目二字銘多し雲州ニ住す文明比 △備州住——と打備前吉井の末と云元禄比

永延 〇一人 和州宇多郡住——と打文和比と云

永國 〇一人 △二人 〇二字銘ニ打永正比在所不明延壽の如し △法城寺橘——〇法城寺河内守橘——と打東武住国正門梅山勘左エ門と号後羽州秋田へ移住す元禄の比 △河内守源——と打肥後隈本住寛文比有故離散し平安城越前等ニ假居す後又本国隈本へ帰邑すと云々

永保 〇三人 〇城州三条猪熊住し二字銘ニ打文暦比国實同人と云 〇房州住——と打時代不明

永安 〇一人 山住——作と打文亀の年号有在所不明

永昌 〇三人 〇三位——〇昌阿〇昌作〇昌とも打城州綾小路住又万里小路にも住す建長の比 〇奥州住——と打時代不明

永眞 〇一人 備前国住——と打長船一派元弘比

永行 〇一人 △一人 〇藤原——と打豊後高田一派永禄比業物 △豊州高田住藤原——と打寛永比

永光 〇二人 △一人 〇大和国——と打手掻一派文保比 〇備前国長船住——と打永正大永比 △摂州住——と打伊賀守ニ任す

と云寛文の比

永路 △二人 摂州住藤原ーーと云 永道の初免なん銘く

永道 △二人 武蔵守ーーと云坂陽住土井六兵エと号 始免永路と云東武ふても造寛文比

永重 ○一人 △三人 ○備前福岡一文字一派 二字銘ま云文應比 △摂津守ーー或二字銘まも云奥州仙臺長俊三代目田代所太郎と号兼應中受領菊一文字掌 勅許鉏本ま切之業物 △田代久右衛門ーーと云奥州仙臺 永俊門始免清俊と云宝暦年間依主命摂津守永重の苗裔を継き永重と改免菊一文字を云後永茂ま再ひ改免くり

永茂 △一人 奥州住ーーと云久右衛門永重ヵ後の銘之

永久 ○一人 備中貞應比 二字銘ま云

永秀 ○一人 豊後国ーー と云文安比

永弘 ○二人 △一人 ○和州住ーー或二字銘ま云嘉元の比 ○備州長船ーー と云藝州まて造大永比 △法城寺橘ーーと云 東武ま住を元禄比

永廣 △一人 摂州住ーーと云寛文比長廣ともも云

永守 ○二人 ○備前福岡一文字一派 二字銘ま云文永比 ○平ーー と云豊後高田一派天正比

永盛 ○四人 ○武蔵国ーーと云登 鯨と唱ふ貞治比 ○平ーー造と云豊後 高田一派康正の比 ○同二代目平ーーと云 文亀永正の比 ○金剛兵エりーーと云筑前 天文の比

永末 ○一人 備前国長船ー ーと云正應の比

永助 ○一人 備前国住ーー と云宝徳比

長

長治 ○一人 信州住ーー造と 云文禄の比

長俊 ○一人 △二人 ○濃州小山関一派二字銘ま云物多し越 中能登まても造明徳應永比良業 △奥州仙臺二字銘多し 田代久右エ門と号本国濃州関清宣門慶 △奥州會津住ーーと云本国豫州松山ん長国ヵ男なしら會津へ移住し三好政長門と成 長寛見永の间業物 △後ニ長道の後見と為し長道受領頃迄同居す後別家しら本性中条氏ま復れ始十藏 後十左エ門と号延宝乙卯の年没業物

長利 ○一人 △一人 ○備州長船ーー と云時代不明 △豊前中津寛永比二字銘ま云

長節 トキ ○一人 濃州小山関一派二字 銘ま云長享の比

長包 ○三人 △一人 ○濃州志津一派二 字銘ま云貞和比 ○備前福岡一文字一派 二字銘ま云文應比 ○同二代目二字銘ま云或ハ信 直同人とも云正應比

長勝 ○三人 △一人 ○濃州小山関一派二字銘ま 云尾州ふても造文明比 ○草道嶋ーーと云濃州赤坂関一派 坂倉氏也文亀大永の间良業 △豫州松山住ーーと云三好長国末 流享保比此末于今有と云未詳

長景 ○一人 備州長船ーーと云長 清門永享比良業

長吉 ○十人 △六人 ○京都住人菅原ーー或ハ二字 銘まも云暦應貞治の间 ○平安城ーーと云 應永長禄の间 ○同二代目平安城ーー作 ○平安城ーーと大銘ま 云文明延 徳の间 ○同三代目平安城ーーと云伊勢 三河まても造る文亀永正の间小鍛之 ○大和国玉行子龍门山本ーー と云奈良住建長比と云く ○濃州志摩物一派 二字銘ま云康正比 ○桃川住ーーと 云越後貞治 比甘呂俊 ○同二代目桃川住ーーと云 應永比月山風彫物有 ○備州長船ーーと云始免 是吉と云貞治應安比 ○備後国尾道住五 阿弥ーーと云弘治比 △平安城ーーと云美川 住六兵エと号寛文比 △奥州 長门 住ーーと云本国豫州松山長国 门後會津へ移住すと寛永比 △同二代目奥州會津住ーーと云 始免長善と云貞享元禄比 △播州姫路住藤原ーーと云 吉田治左エ门と号寛文比 △同二代目藤原ーーと云物 彦同忠兵エと号貞享

享保比△肥前国藤原ーーと打二代目是吉の間△房男ゝ嶋原ゞても造享保比

長善 ○一人　奥州住ーーと打　二代目長吉同人

長義 ○三人　○越後国住泰ーー○泰ーー或ハ二字銘も打甘呂俊

長門文和　○備州長船住ーー○備州長船ーー作とも打相州五郎正宗　○同二代目備州長船ーーと打始メ長

貞治の間　○門藤左エ門と号正中應安の間の年号打物多く大業　清と打五郎左エ門と号永徳嘉慶の比

長良 ○一人　従五位品榊原源ーーと打東　武榊原氏の慰造也寛政比

長依 ○一人　濃州小山関一派二　字銘ニ打天文比業物

長次 ○三人 △三人　○備中青江一派　二字銘ニ打弘

安　○備中国住ーー作と打　○佐伯住ーーと打　△加賀国ーー○賀州住　△備前国長船住ーーと打　△紀州住ーー

比　○青江一派應永比良業　○丹波貞和比　△藤原ーーと打寛文比　△壽次男源之進と号天明比　△と打石堂

一派天　和比

長綱 ○二人 △二人　○備州長船ーーと打　長義門康暦比　○筑前金剛兵エ尉藤原ーー作と打豊後ても造永正享禄の間　△摂州住藤原ーー○摂州住藤　原龔ーーと打初代忠綱門比

村市右エ門と号　寛文比業物　△豊州住藤原ーーと打　豊前之時代不明

長恒 △三人　△摂州住藤原ーー　ーと打寛文比　△羽州新庄住源ーーと打河内守康永　△門高橋市郎兵エと号享保の比

長充 ○二人　○備州長船ーーと打左　近将监と号貞和比　○備中国ーー作と打　青江の末永正の比

長成 ○一人　平ーーと打豊後高　田一派文亀の比

長永 ○一人 ヲサカ

二字銘ニ打在所時　代不明二王の如し

長長 ○一人 同上　長長作と打在所時代　不明長永同人乎

長宗 ○一人 △二人　○備州長船ーーと打将监　長光門建武比良業　△二字銘ニ打　東武小笠

原庄齋男同左兵エと号延宝比　後武州金澤へ閑居し鍛冶を止と云　△下野国皆河住　ーーと打享保比

長旨 △一人　小笠原庄齋ーー作○昌齋入道としも打東　武下谷池の端ニ住と左京と号元末武

家の浪人なりしが好て刀鍛　と造る寛永の比業物

長氏 ○一人　備州長船ーー　と打貞治比

長信 ○二人 △一人　○越中宇津一派二　字銘ニ打文正比　○石州出羽住　ーーと打嘉

吉比　△奥州會津住ーー　業物　△と打長道門貞享比

長則 ○六人　○和州奈良住二字　銘ニ打正慶比　○備前国福岡住人左兵エ尉ーー造或ハ二字銘　多し小龍長則と唱ふ将监長光と両作有

永仁　比　○同二代目備前国吉井住ーー或ハ二字銘ニ打弥左エ門と号　後雲州へ移住し入道して道永と云文保比是雲州道永の始祖　○同三代目備前国吉井住ーー○備前国　住左兵エ尉ーー○長船ーーとも打貞治比

○同四代目雲州ニ住し　二字銘多し應永比　○二字銘ニ打在所　時代不明物有

長國 △三人　△奥州會津住ーー○奥州住ーーと打○豫州松山住ー　ーとも同人之本国藝州廣嶋刀匠常慶か男三好藤

郎始メ宗左エ門安廣と云豫州松山へ移住し加藤家の臣と成文禄壬辰の年主君ニ従て朝鮮国へ渡　海し於彼地刀鍛を造て大ニ行はると云寛永丁卯の年奥州會津へ倶せられ子孫此地ニ繁ふ同辛未の年没業物　△越後国村山住ーー　△と打元禄比と云

△豊前中津住ーーと　打寛文比業物

長安 ○一人　備州長船ーー　と打應安比

長昌 ○一人　備州長船住ーー　と打延文の比

長正 ○一人　長州住ーーと打二　王一派享禄の比

長房 ○一人　備前福岡一文字一派○長房作と　打物多し初メの吉房同人と云未詳

長真 ○三人　○赤坂住左エ門尉ーー或ハ二字銘　ニも打濃州志摩物永享比　○備前福岡一文　字一派二字銘ニ

打文二應比

長清 ○一人 △二人

◯備州長船ーーと打五郎左衛門と号後長義と改永徳比 △豫州松山住ーーと打三好太郎兵衛と号長国門寛永和泉大掾国輝と改む

長行 ○三人 △一人

◯備後国尾道住五阿弥ーー作と打長行と號業物 ◯豊州住藤原ーーと打中鍛冶と唱ふ豊後高田一派天正比 ◯肥前国住ーーと打應永比 △豊後高田住藤原ーーと打寛文の比

長幸 △三人

△多々良氏ーー○長幸於摂津国作之○長幸於摂津国大坂鋳東以南蛮鉄作之とも打本国紀州ふしろく坂陽へ移住す河内守康永門四郎兵衛と号延宝貞享の間最上大業物 △泉州堺住ーー或ハ二字銘にも打石堂一派と云寛文比多々良とハ別人

長久 △一人

對州住ーーと打壹岐ふろくも造る慶長比

長光 ○十人

◯長谷部ーーと打城州元應比新藤五国光門三郎と号業物 ◯平安城ーーと打剃太郎と号應永比 ◯和州尻縣一派二字銘にも打延慶比檜垣鍔の長光と唱 ◯羽州月山一派二字銘にも打暦仁比奥州にても造 ◯雲州二字銘にも打寛文比 ◯備州長船一派二字銘多しー光忠男左衛門尉法名順慶と号建長比大業 ◯同二代目備前国長船住人ーー造○備前国長船住人左近将監藤原ーー○備前国長船住人左近ーー造又作の字も打或ハ二字銘も有弘安嘉元の間大業父子共鈍子の燗名人也 ◯備州長船ーーと打嘉慶應永の間 ◯備後住ーーと打三原一派康應比 ◯波平ーーと打薩州谷山一派應永比

長道 △五人

△奥州會津住陸奥大掾三善ーー○陸奥大掾三善ーーと打政長男三好藤四郎道長と云万治戊戌の年上京して津田助廣と同時に受領す此時三善長道と改む後東武へ来り造る事有貞享乙丑の年没最上大業物 △同二代目奥州會津住ーーと打同庄左衛門と号貞享戊辰の年没 △同三代目奥州會津住三善ーーと打同傳四郎後藤四郎と号元禄丁丑の年没是より奥州住三善ーーと打會津四代目政長男喜平治後藤四郎と号寛政戊午の年七十五歳と云政長長道同家なれとも如此号ハ家絶ゆ △同二代目奥州會津住ーーと打三善権藏と号享和文化

長重 ○一人 △一人

◯備州長船ーーと打長義門永和比眞房同人と云ハ非く △奥州會津住ーーと打長俊男中条作太郎後作兵衛と号延宝比より造る宝永庚寅の年没す

長秀 ○一人 △一人

◯筑前住ーーと打文安比と云 △豊後国臼杵住ーーと打高橋多平太と号肥後国出門享和

長廣 ○三人 △一人

◯草道嶋ーーと打濃州志摩物一派赤坂住寺太永比良業 ◯長州住ーーと打左一派文明比筑前長秀同人と云 ◯豊州住ーーと打高田一派嘉吉比 △近江守長曽祢ーーと打本国江州より坂陽に住す寛文比

長寛 △一人

紀伊国ーー○近江守源ーーと打長廣男坂陽より来る元禄かん比

長久 ○二人 △二人

◯出羽国ーーと打奥州にても造る寛元比 ◯備州長船ーーと打應安比 △羽州新庄住ーーと打長恒男高橋市郎兵衛と号寛保比 △筑後住源ーーと打筑前信國吉政一族久留米住次郎右衛門と号正徳亨保比無銘多し

長守 ○五人

◯濃州志广物一派二字銘にも打赤坂住永正比 ◯備前国長船住左近将監ーー○備前国長船住人ーーとも打将監長光門文保比 ◯備州長船住ーーと打長綱門永徳嘉慶の間良業 ◯備中万壽庄物一派二字銘にも打正中比 ◯平ーーと打豊州高田一派宝徳比

長盛 ○四人

◯濃州志广物一派二字銘多し赤坂住文亀比業物 ◯同二代目赤坂住ーー或ハ二字銘にも打天文比業物 ◯平ーーと打豊州高田一派嘉吉比細銘にも打 ◯同二代目平ーー造と打永正比銘太ぶり也

長元 ○三人

◯備前福岡一文字一派二字銘にも打寛元比 ◯備州長船住ーーと打一文字流と云嘉元の比

◯肥州住ーーと云肥前散位一派文明比 長基 ○一人 備州長船一派一字銘ヿ云順慶门弘安比 長季 ○一人 千手院ーーと云和州住藤次郎と号應永比 長末 ○三人 ◯

佐伯住ーーと云丹波元應比 ◯備州長船住ーーと云徳治比 長助 ○二人 ◯備前福岡一文字一派一字銘ヿ云兼元中二四人の内二月番ヿ定ゝる ◯備州長船ーーと云長義门應安比

直

直家 △一人 摂州住藤原ーーと云大道直秀男之後紀州へ移住して直茂と改享保比 直景 ○一人 備中二字銘ヿ云建長比 直勝 △二人 △上州住ーーと云東武直道

门享和文化 △紀州和歌山住藤原ーーと云直茂门享保の比 直吉 ○二人 ◯丹州宮田兵衛尉ーーと云丹後宮津住天文の比 ◯備前直宗流二字銘ヿ云正嘉の比

直能 ○一人 了戒ーーと云豊前豊後両所ヿて造永正比 直米 ○一人 石州長濱住ーーと云天文の比 直忠 ○二人 ◯大和国ーーと云千手院一派正中比

◯長州清原ーー○森長门清原ーーとも云時代不明 直尹 △一人 田中ーーと云肥後隈本吉昌直门寛政享和 直胤 △一人 久子 大慶ーー造と云羽州山形の産ゝ東武住す

水心子正秀门庄司箕兵衛と号文化 直次 ○二人 △二人 ◯備中国左兵衛尉ーー或二字銘ヿ云青江一派文保康永の间大業 ◯同二代目備中国住人ーーと云貞治比 △摂州住藤原ー

ーと云直道男三品貞右衛门と号後ヿ丹後直道と改播州へ移住も享保比 直綱 ○四人 △二人 ◯石州出羽住ーー或二字銘ヿも云縄の字すと云同人五郎正宗门久右衛门と号河内ヿても

造る建武比 ◯同二代目出羽住ーー或二字銘ヿ云貞治比良業 ◯同三代目出羽住ーーと云應永永享の间 ◯同四代目直四作と云物多し文明長享比 △摂州住ーーと云忠綱门延宝の比

△石州淀原住ーーと云元禄比 直經 ○一人 備前国ーーと云時代不明 直恒 ○一人 備前国ーーと云時代不明 直長 ○二人 △二人 ◯越州住石塚ーー○右衛门尉ー

ー作とも云越前明應文亀比業物 ◯備中国ーーと云青江一派應安比 △摂州住藤原ーーと云貞享比 △武州住水田ーーと云大月傳五郎と号元文比 直宗 ○三人 ◯城州来の末二

字銘ヿ云文明比 ◯大和国ーーと云千手院一派應永比 ◯備前直宗の末二字銘ヿ云建武比尚宗とも云 直信 ○一人 備中国住ーー作と云青江一派正和比 直國 △一人

越中国中条越前守ーーと云慶長比眞国同人 直正 ○二人 ◯摂州住ーーと云天正比 ◯備州長船ーーと云康暦の比 直房 △一人 但馬大掾藤原大道ーーと云濃

州岐阜刀匠後丹後田邉ヿ住すと寛永寛文の间 直冬 ○一人 播州住ーーと云時代不明 直有 ○一人 石州長濱住ーーと云弘治比 直貞 ○二人 △一人 ◯雲州道永

一派二字銘ヿ云文安比 ◯石州出羽住ーーと云貞治比業物 △紀州住藤原ーーと云石堂一派元禄比 直行 △一人 豊後国鬼鏡ーー造之○於肥前唐津ーー造とも云裏銘以南蛮鉄鍛之と

云銘多し尚行ゝ養子本行ゝ次男之老後有徹と号元文宝暦の间大和守ヿ任すと云 直道 △三人 △三品丹後守藤原来ーーと云菊一文字或ハ菊斗も切洛陽二代目丹波の次男三品吉兵衛と号坂陽

ヿ住ス後兼道ト改寛文比摂州〈於播州三品丹後藤原ーート打貞〈三品左兵エ源ーート打初代直道於城下生鍛作之ト打物有良業〈右エ門直次ヵ後の銘之享保比の作多シ〈より六代の孫ト云本国城州伏見天明中濱部寿格门ト成東武へ移住ス始ル難波ハ源直格ト打寛政辛亥の年直道ト改

直光 ○一人 備州長船ーート打享徳比

直重 △一人 城州住ーート打時代不明

直鎮 ○一人 平ーート打豊州高田一派天正比

直茂 紀州住藤原ーート打直家ヵ後ホん銘ス

直久 ○一人 備前直宗流二字銘ヨ打貞永比

直秀 ○一人 △二人 （）藤原大道ーート打本国濃州（）岐阜丹後宮津へ移住ス天正比〈同二代目藤原大道ーート打坂陽まても造る寛永の比〈同三代目摂州住藤原大道ーート打延宝の比

直廣 △一人 大和守藤原ーート打在所時代不明尾州とも云

直守 ○一人 高田住ーー作○平ーーとも打豊後天文比

直盛 ○一人 平ーー造ト打豊後高田一派文亀比

直元 △一人 平安城下坂ーーート打天和比

直助 ○一人 石州長濱住ーート打大永天文の间

尚勝 △一人 紀州住藤原ーート打直勝同人ト云享保比

尚宗 ○一人 備前直宗流直宗同人ト云

尚定 △一人 紀州住藤原ーー或ハ二字銘ヲ打元文比直茂男

尚行 △一人 豊後高田住藤原ーート打紀行平末流ト云延宝中より肥前唐津へ移住ス直行ヵ養父

尚光 ○一人 （）備州長船ーー或ハ二字銘ヨ打直宗流應安比

〈豊州住ーート打〈高田一派寛文比

尚茂 △一人 紀州和歌山住藤原ーート打直茂门とも或ハ同人とも云

成家 ○二人 （）備州長船ーート打安部一派貞治應安の间良業（）備中片山一派二字銘ヨ打弘長比

成近 ○一人 伯州住ーート打備前元重门貞治比

成包 ○二人 （）備前吉岡一文字一派二字銘ヨ打貞應比（）備州長船住ーーート打文保比

成高 ○一人 豊州住ーート打高田一派天文比

成忠 ○二人 （）備前二字銘ヨ打成高门丹藤次ト号文治の比（）備州長船住ーーート打建武比

成次 ○二人 △一人 （）備前福岡一文字一派二字銘ヨ打元應比（）備中青江一派二字銘ヨ打天福比〈丹後守ーート打元和比在所不明

成綱 ○二人 （）備前国住ーート打ヌ縄の字ヲも切暦應比（）備中正恒流二字銘ヲ打元暦比

成恒 ○一人 備州長船一派二字銘ヨ打貞治比

成宗 ○一人 備前福岡一文字一派二字銘ヨ打京六波羅ヌても造建暦比

成則 ○二人 （）備前吉井住ーート打正中の比（）備前吉井一派二字銘多シ後雲州へ移住ス應永の比

成國 △一人 赤松ーー作ト打播州鍛冶ト云菊一文字ト切時代不明

成當 △一人 肥前守ーート打元禄比在所不明

成定 △一人 常陸大目ーー○常陸大掾下坂ー○藤原ーート打越前福井住寛永比

成光 ○三人 （）備州長船ーート打文和比（）同二代目備州長船ーート打應永比（）備州長船ーート打明應永正の间

成重 ○三人 △二人 （）上野住ーーート打天

文比

◯備州長船ーーと打明徳應永の比

△羽州秋田住ーーと打相州綱廣门六兵エと号貞享享保の間

成繁 △一人

越前住藤原ーーと打下坂一派貞享比

成廣 △一人

城州堀川住ーーと打元和比国廣门弟

成盛 ◯一人

備前大宮一派二字銘ヲ打貞和比

成助 ◯一人

備州長船ーーと打永和の比

業高 ◯二人

◯備中正恒流二字銘ヲ打貞永比

◯備中松山二字大銘ヲ打天文比

業宗 ◯二人

◯三州中原物二字銘ヨ打文明比業物

◯讃州尾越ーーと打高篠三郎太夫と号ス建保比と云

◯讃州住ーーと打播州ヨても造永和比

仲國 ◯一人

紀州入鹿一派二字銘ヨ打永正の比

仲眞 ◯一人

大和国住ーー

◯和州住ーー或ハ二字銘ヨ打後紀州入鹿へ移住すと正應比

中川 ◯一人

大和国ーーと打善教同人山城ヨても造る

中光 ◯一人

和州千手院一派嘉元比中光坊とも打と云

波平

薩州谷山一派の刀匠波平と斗打事有

奈良太郎

濃州関正應比と云可追考

南無阿弥陀佛

雲州元應比或ハ筑前法師或ハ石州直綱の秘銘とも云ふ諸説未詳

南無大日観世音菩薩

備前守助同人

ム　宗統旨村

宗家 ◯二人

◯備前福岡一文字一派一字銘ヲ打寛元比

◯備前国ーーと打畠田一派文保比

宗春 △二人

△播州住ーーと打姫路の勝春ヵ初銘

△武州住宝正藤原ーーと打石堂与三左エ门と号ス明暦寛文の間業物

宗遠 ◯三人

◯城州来一派二字銘ヨ打文和比

◯備中則高流二字銘ヲ打元暦の比

◯備中片山一派二字銘ヨ打應永比

宗利 ◯三人 △三人

◯備州長船住ーーと打左近太郎と号正中比

◯備州長船ーーと打應永比

◯薩州住ーーと打宗俊同人也

△近江守藤原ーーと打濃州岐阜後尾州へ移住すと寛文延宝比

△同二代目對馬守藤原ーーと打元禄享保の間

△阿州士近藤ーーと打東武水心子正秀门左二郎と号寛政比

宗俊 ◯二人

◯備州長船ーーと打貞治比

◯薩州住ーーと打川内平佐住享禄天文の間

宗友 ◯二人

◯備州長船一派二字銘ヨ打文禄比

◯越中宇津一派二字大銘ヨ打天文比業物

宗時 ◯一人

了戒ーーと打豊前應安比

宗辰 ◯一人

備州長船ーーと打享禄天文比

宗近 ◯一人

阿拝郡住ーー或ハ二字銘ヨ打伊賀音羽住建武比

宗親 ◯一人

三條ーーと打城州時代不明

宗吉 ◯十七人 △三人

◯三条ーーと打城州文明比二字銘も有

◯城州埋忠ーーと打文禄の年号を切明壽同人

◯大和国ーーと打千手院一派延文比

◯壽命ーーと打濃州西郡物赤坂住貞治比

◯同二代目壽命ーー

◯赤坂住ーーとも打應永比

◯壽命

ーーと寸濃州赤坂住延徳比良業
○濃州赤坂住ーー或ハ二字銘ニ寸天文比
○若州住ーー或ハ二字銘ニ寸小濱住文明比
○越州敦賀住ーーと寸越前永享比
○越中紫原住ーーと寸應永永享比

○雲州住三郎兵衛尉ーーと寸石州ニても造る天正比業物
○備前国ーー作○宗吉作と太く寸二字銘の時大銘ハ福岡一文字則宗智始兇新太郎兼元中七月番ニ定られ左近将監ニ任さ兼久の後隠岐の国ニても番鍛冶ハ左近太郎又刑部丞とも号ルと云未詳
○備州長船ーーと寸永享比
○筑州住ーーと寸筑前左一派貞治比
○阿州貝府一派二字銘ニ寸文亀比
○薩州波平一派二字銘ニ寸文應の比

○日州住ーーと寸天文比
△摂津国源ーー○摂津守源ーーと寸常陸守宗重門寛文比
△越前敦賀住下總守藤原ーー造と寸慶長寛永の間業物

宗能 ○一人
了戒ーーと寸豊前豊後両所ニ住文明比業物

宗善 ○一人
備州長船ーーと寸左京宗光門天文比

宗賀 △一人
越前敦賀住横山藤左エ門尉藤原ーーと寸宗重同人寛文比

宗義 △一人
二字銘ニ寸在所時代不明

宗榮 △三人
△播州住鈴木右五郎ーー○播州宍粟住ーー裏銘千種丸○鈴木五郎左エ門ーー○右五郎○右作と斗も寸坂陽又備前岡山ニても造る寛文元禄の間業物
△播州住ーーと寸右作の末文化比

宗隆 ○二人
○伊賀国住ーーと寸音羽宗道子貞治比
○備前福岡一文字一派二字銘ニ寸兼元中廿四人の内七月番ニ定らる伯州ニても造る

宗伯 タカ △一人
濃州川戸住藤原ーーと寸壽命一派寛永の比

宗忠 ○四人
○和州二字銘ニ寸後丹後宮津ヘ移住ーー老ゝ○宮津入道ーーと寸永仁の比
○備前福岡一文字一派二字銘ニ寸兼久の比
○備中国ーーと寸正恒流平三郎と号徳治の比
○薩州谷山波平一派二字銘ニ寸永仁比

宗次 ○九人 △八人
○和州高市住ーーと寸時代不明
○遠州住ーーと寸應永比
○濃州西郡一派二字銘ニ寸嘉吉比業物
○若州住ーー或ハ二字銘ニ寸本国城州鳥羽ニて小濱ヘ移住ス永享比
○備前国分寺一派二字銘多シ文應の比
○備州長船ーー作と寸明應比業物
○備中青江一派二字銘ニ寸泰四郎と号寛元比
○備中住ーーと寸青江一派應永の比
○波平ーーと寸薩州谷山一派天文比
△三品但馬守藤原ーー裏銘於大江岸作と寸摂州住三品兼光門寛延宝暦の比
△相州住ーーと寸時代不明
△奥州二本松住ーーと寸古山東藏と号東武ヘ来り水心子正秀門と成始メ国秀と云享和中宗次ニ改
△越前住藤原ーー○上総大掾藤原ーーと寸下坂長三郎後九郎左エ門宗道と改洛陽又坂陽ニても造る寛永明暦の間宗房男と云
△越前国武藏守藤原ーーと寸下坂宗次門業物
△和泉守と寸も同人と云福井住寛文の比
△播州姫路住ーーと寸本国越前下坂一派慶長の比
△肥前諫早住源ーー○伊豫掾源ーー○伊豫大掾源ーーとも寸佐賀ニても造る慶長寛永の間
△同二代目肥前国住左馬丞源ーー○伊豫掾源ーーと寸貞享元禄比

宗繼 ○一人
石州長濱住ーーと寸天文比

宗恒 ○三人
○備前国分寺一派二字銘ニ寸宗弘門と云貞永比
○備前国住ーーと寸畠田一派法名道阿と云正和比
○備中正恒流二字銘ニ寸文暦比

宗綱 ○一人 △一人
○備前国ー或ハ二字銘ニ寸国分寺一派文應比
△粟田口政之進ーーと寸坂陽一竿子の男後忠綱ニ改む元禄比より造る

宗縄 ○一人
備後住ーーと寸親次流永和比

宗長 ○十人 △五人
○駿州嶋田住ーー或ハ二字銘ニ寸四代目義助次男後ニ久菴紫屋軒と号永正比より造る禄壬辰没
○若州

住管原｜｜と号す本国城州鳥羽より摂州中島来三代目国長門後小濱ニ住と明徳應永の比
○同二代目若州住｜｜○管原｜｜とも号す永享比業物
○同三代目若州小濱住｜｜裏銘同子次郎了焦と号す物有了焦ハ三代目とも云文亀比
○因州住｜｜と号す小鍛冶一派康正比と云
○備前福岡一文字一派二字銘ニ号す左衛門佐と号す貞應比
○備前国長船｜｜と号す定俊門弘安比
○備州長船｜｜と号す举一派貞治比
○備後国三原住｜｜と号す文明比
○与州住｜｜と号す土州よりても造る永禄比
△濃州清水住壽命｜｜と号す永の字ニも切寛文比
△奥州會津住｜｜と号す宝永比
△播州住藤原｜｜○宗栗住｜｜と号す永の字ニも切元禄比
△肥前国住｜｜と号す明壽門すて雕物と良く寛永比
△日州住｜｜作と号す慶長の比業物

宗永 ○二人 △一人

○城州来一派二字銘ニ号す建治比
○備州長船住｜｜と号す建武比と云
△摂州住藤原｜｜と号す宗重門貞享の比

宗成 ○一人 △一人

○九州住｜｜と号す薩隅両州ニ住と文明比と云
△常陸守｜｜と号す三代目宗重同人

宗壽 ○一人 △一人

○阿州貝府太郎の道号なり
△奥州會津住｜｜と号す皆川今右衛門と号始ハ子ナガ宗壽と改

宗仲 ○二人

○備前国｜｜と号す国分寺一派天福比
○備州長船｜｜と号す建武比

宗尚 △一人

与州松山温泉住｜｜或ハ二字銘ニ号す山内宗貞男享保比

宗氏 ○一人

備州長船二字銘ニ号す應安比

宗信 ○一人

城州五条二字銘ニ号す長谷部一派明徳應永比

宗延 ○二人

○城州大宮一派二字銘ニ号す後備前ニ移住国盛と改建寛比
○城州大宮一派二字銘ニ号す至徳比

宗則 ○四人

○和州住｜｜と号す尻掛一派貞治の比
○備前国分寺一派二字銘ニ号す安貞比
○備州吉井住｜｜と号す文明比
○五郎入道良｜｜と号す在所時代不明

宗國 ○二人 △二人

○相州住｜｜と号す應永比
○二字大銘ニ号す在所時代不明
△武州下原住｜｜○藤五｜｜○慈眼寺住｜｜とも号す山本藤五法名宗巴と号寛永寛文の間業物
△武州下原住｜｜○相摸守藤原｜｜と号す山本藤吉と号武蔵太郎安国門と成国正と改真十五枚甲伏造の副銘と切元禄享保の間

宗安 ○三人 △二人

○備前吉岡一文字一派二字銘ニ号す嘉禎比
○備前国長船住｜｜と号す正應比
○豊後紀一派二字銘ニ号す寛元比
△摂州住｜｜と号す宗重門元禄比
△肥前佐賀住源来｜｜と号す伊豫掾宗次門寛文比

宗正 ○一人 △一人

○備前長船住｜｜と号す徳治比と云
△肥前国源｜｜と号す諫早左馬丞宗次始名の銘へ

宗舛 △一人

摂州住五兵衛｜｜と号す延宝比

宗房 △三人

△越前敦賀住下坂｜｜と号す管谷久兵衛と号寛永比業物
△上總守｜｜と号す備中英賀郡新見住享保比

宗貞 ○一人 △三人

○備後国鞆住｜｜と号す永正比
△播州住藤原｜｜と号す津田助廣門延宝の比
△豫州温泉住入道｜｜と号す山内四郎右衛門と号金重流元禄比

宗定 ○一人 △二人

○津川住｜｜と号す越後時代不明
△山州住｜｜と号す城州国路門寛文の比
△豊州高田住｜｜と号す寛永比

宗清 ○三人

○若州住｜｜と号す二代目宗長門康正比業物
○備州長船｜｜と号す備後よりても造天文比
○防州二王一派宗清作と三字ニ号す天文比

宗幸 ○三人

○城州大宮一派二字銘ニ号す時代不明
○相州山内一派二字銘ニ号す寛元比

宗行 ○三人 △三人

○備前国分寺一派二字銘ニ号す宗助門文應比
○備州長船住｜｜と号す應安比
○波平｜｜と号す薩州谷山一派永禄の比
△羽州米沢住｜｜と号す行廣弟小林管右衛門と号水心子正秀門享和比
△豊州住｜｜と号す高田一派貞享比
△大隅守｜｜と号す元禄比在所不明尾州共とも云

宗光 ○七人 △一人

○濃州西郡物二字 ○若州小濱住― ○越前府中住来―― ○越前国住兵工尉来―― ○作州住―― ○作州塚谷住六
銘ヲ打永享ノ比 ――ト打永禄比 ○左兵工尉――ト打暦應貞和の間良業 郎左エ门尉――ト打長享ノ永
正の間 裏銘於伯耆烟嶋作 ○於播州作之 ○備州長船住――ト打 ○備州長船左京進――ト打守元の次男ヽ文明丁未の
業物 ○銘 明應年号 長享年号 ○将監長光门正中比 ○年号打ノ同銘を始ヽて永正庚午迠の同作有長享
比上京を兄勝光と共ニ ○備州長船左近――○備州長船太兵工尉――ト打太郎兵工勝光の弟ニて兄 △越前敦賀住藤原
諸国ニてヽの両作多ヽ比良業 弟両作多ノ大文永禄の間○備前国勒負郡長船――ト打物有郡名不審業物 ――ト打元和の比

宗道 △二三人

△越前国住上総大掾藤原――○上總守藤原――ト打 △同二代目越前住下坂藤原――ト打管 △越前
菅谷九郎右エ门ト号福井刀匠下坂一派始免宗次ト打寛文比 △谷勝三郎ト号元文丙辰東武へ来る △住上
総大掾藤原――ト打
天明比何代目ヵ未詳

宗重 ○八人 △五人

○武州下原住源朝臣―― ○若州小濱住――ト打越 ○賀州住藤島――
――ト打山本源二ト号天正比 ○前ヲそヽ造る永禄の比 ――ト打永正比業物
○播州住――○坂本住――ト打本国但州白山ニてヽ関 ○備州長船一派二 ○備後国三原住―― ○大嶋住仁――
金重流井上源次郎ト号永正比以下数代ヽ共不明 字銘ヲ打大永比 ――ト打鞆一派大永の比 ――ト打藝州也
康正 ○平戸住――ト打肥 △摂津住――○常陸大掾――○常陸守――ト打裏銘ヲ於摂州西成九条嶋作之ト打
比 ○前應永ヽ永享ノ比 △ヽる物有本国播州ニて多田宇兵エト号坂陽へ来ノ津田助廣门ト成寛文の比
業 △同二代目常陸守――○常陸守源朝臣――ト打多田三郎右エ门 △越前住横山藤左エ门尉―
物 △ト号後東武へ移住ヽ嘉重又宗成ヽも打貞享ヽ元禄の比業物 ――ト打宗賀同人寛文の比 △播州住藤原―
――ト打井上市

左エ门ト号寛永比 △尾張大掾――ト打
二代目大重ヽヽふ △寛文比在所不明

宗茂 △一人

埋忠七左――ト打明壽五代の孫
七左エ门ト号元禄正徳の間影物佳之

宗秀 ○三人

○備州長船一派二
字銘ヲ打 ○備州長船住 ○豊後紀行平秘
正應比 ――ト打貞和比 ○銘と云兼久の比

宗弘 ○三人 △一人

○仙臺住――ト打 ○石州長濱住― ○備
奥州天正の比 ――ト打時代不明 前
国住――ト打国分寺 △日置越前守源――ト打十六葉菊ヽ切本国江州石堂一派ニて
一派建治正安の間 △平安城へ移住又東武へ凕居ヽ光平の弟ヽ明暦延宝の间良業

宗廣 ○一人 △二人

○越前千代崔一
一派貞治比宗廣作 △摂州住――ト △常州東條住―
ト三字ヲ打弘の字も切 打寛文の比 △――ト打享保比

宗平 △二人

△肥前佐賀住佐渡大掾藤原 △同二代目肥
△――ト打廣貞三男延宝の比 前住藤原
――ト打与右エ门
ト号正徳の比

宗久 ○一人 △一人

○備州住――ト打 △埋忠――ト打城州
長船一派永正比 明壽门寛永の比

宗元 ○一人

備州長船一派二字銘
ヲ打将監長光门ト云
元徳
比

宗助 ○二人

○備前福岡一文字二 ○備前国住――或ハ二字銘ヲ
字銘ヲ打天福比 打国分寺一派建長の比

宗末 ○二人

○備前国長―
――ト打長船一
派左近五郎ト ○備中国住助左エ门尉― ○宗末作ト打寛正
号寛元の比 ――ト打正和比青江一派 年号有若州ト云

宗住 △二人

洛陽稲荷住――ト打摂州ニても
造る宗澄ト打も同人寛文の比

宗命 ○一人

濃州西郡物二字銘
ヲ打元久比といふ

宗入 △一人

日置――ト打武州石堂
一派とこは寛文の比

統景 △一人 豊後高田住藤原――と打正保寛文の間肥前そハ造りしや近江大掾忠廣と両作有
統種 △一人 豊後高田住平――と打寛文比
統行 △二人 △
豊後高田住中磨新五郎藤原――○同二代目豊州高田住藤原――と斗も打慶長比業物 △藤原――と打延宝比
統道 △一人 豊後高田住藤原――と打相摸守ヨ任さとといへとも未見時代不明
統久 △一人 豊後高田住藤原――と打時代不明
統盛 △一人 豊後高田住藤原―と打寛永比業物

吉國 △一人 奥州伊達郡住――と打佐野沢右衛门と号水心子正秀门亨和比
吉秀 △一人 奥州二本松住――と打増子忠左门と号正秀门亨和比

村吉 ○一人 江州蒲生住――と打文亀比
村長 ○一人 備州長船――と打近村流應永比
村宗 ○一人 備州長船――と打村長门左近太郎と号さと永亨の比
村正 ○四人 ◯勢州桑名住二字銘ヨ打五郎正宗门流仙五ヌ千子とも云法名妙臺延文比 ◯同二代目二字銘ヨ打應永比 ◯同三代目勢州住右兵エ允――或ハ二字銘ヨ打文安比 ◯同四代目勢州桑名住――と打文亀永正比二字銘もあり
村光 ○一人 備州長船――と打天文の比
村重 ○一人 勢州住千子――と打嘉吉比
村守 ○二人 ◯備州長船一汎二字銘ヨ打藤四郎と号正應比 ◯備州長船――と打應永の比
村上 仙五三代目村正の銘文字腐ふるを誤て云傳ふるなるべし

ウ 氏雲梅埋右瓜

氏舎 ○一人 阿州住――と打海府一汎家とも云長享比
氏俊 △一人 越後守源――と打濃州関の産ヌ洛陽ヨも住定道ヵ族貞享比
氏利 ○一人 備州長船――と打永正比
氏勝 △一人 紀州住――と打都筑久太夫と号羽揃橋住とも打時代不明
氏吉 ○二人 △一人 ◯阿州三好郡住二字銘ヨ打貝府太郎と号康暦應永の间 ◯阿州住海府――と打永正比 △阿州貝府一汎二字銘ヨ打享保の比
氏善 ○一人 △一人 ◯阿州貝府一汎二字銘ヨ打文明比 △若狭守藤原――と打本国濃州関氏房ヵ族尾州鳴海ヨ住万治寛文比
氏良 △一人 尾州住藤原――○若狭守藤原――と打氏善同人と云
氏依 ○一人 備前国住佑兵衛――と打建武の比
氏次 ○二人 △三人 ◯阿州海部住――○阿州住兵部――と打文明比 ◯阿州海部住――と打永禄の比 △大和守藤原――と打濃州関一汎角田九兵エと号丹後守とも打貞享の比 △阿州海部住――と打兵部とし号享保比
氏恒 △一人 尾州住越前守藤原――と打延宝比
氏成 ○一人 肥前国住――と打文明の比
氏也 ○一人 藤原――と打加州延徳比業物
氏命 △一人 大和守藤原――と打濃州大垣住尾州ふくも造る寛文比
氏信 ○一人 △三人 ◯濃州清水住岩捲――と打天正比業物 △濃州住――岩捲――と打寛文比 △濃州住岩捲石切――○尾州住藤原――と打元禄比 △越前住藤村――と打時代不明

氏宣 △二人 濃州住岩捲ーー○尾州住藤原ーー或ハ二字銘ニ有元禄比

氏則 ○二人 △一人 ◯備前正中一文字一派源ーーと有貞和比 ◯備前国吉井ーーと有明徳の比業物

△濃州関一派二字銘ニ有時代不明

氏國 △二人 尾州住藤原ーーと有貞享比

氏雲 △一人 長門守藤原ーーと有尾州寛永比

氏安 ○一人 阿州貝府一派二字銘ニ有永亨比

氏正 △一人 濃州住ーーと有時代不明

氏房 ○四人 △十人 ◯左エ門尉ーー○若狭守藤原ーー○若狭守ーー ◯或ハ二字銘ニ有濃州赤坂関一派永禄天正の間業物 ◯飛騨守藤原ーーと有濃州赤坂関一派若狭守氏房門天正文禄比尾州ニても造る業物 ◯奥州舞草一派二字銘ニ有乾元の比 ◯阿州貝府一派一字銘ニ有肥前ニても造る四国舞草と唱文安比 △駿河守ーーと有尾州元禄の比 △駿河国ーーと有慶長比天正比より造しと云 △備前守源入道ーーと有濃州善定関一派尾州ニても造る寛文比業物 △九田備後守藤原ーーと有本国濃州ニ若狭守氏房門後薩州鹿児府へ移住し入道して道与と号慶長比天正比より造る業物 △同二代目薩州住藤原ーーと有九田惣左エ門と号慶長元和の間 △同三代目薩州住藤原ーーと有同惣左エ門と号元和比 △同四代目薩州住藤原ーーと有同俵右エ門と号寛文比 △薩州住ーーと有鹿児府住備後守氏房門田中三右エ門と号寛永の比 △日州住ーーと有備後守氏房門日州都ノ城住九田休兵エと号慶長寛永の間子孫多し △隅州住ーーと有備後守氏房門田中休七と号寛永比

氏舟 △一人 尾州住ーーと有生国濃州関ニ元禄比同三代目ハ五代目信高養子と成信照と改

氏貞 ○二人 △四人 ◯左近少将ーー○権少将出雲守藤原ーー○出雲守ーーとも有本国濃州関後尾州へ移住初め兼貞と有天正慶長ニ間業物 ◯阿州貝府一派二字銘ニ有天正の比 △薩摩守法京院ーーと有尾州元禄比 △甲州住権現堂ーー○甲州住ーーと有忠次郎と号享保の比関流 △肥後隈本住ーーと有天明寛政比 △隅州横川住ーーと有初め若狭守氏房門後備後守氏房門と成薩州ニても造る慶長比同銘四代ニ初代大銘業物

氏定 △三人 △和泉堺住ーーと有寛永比と云 △摂州住藤原ーーと有文安比 △豊前守藤原ーーと有尾州享保比

氏真 △一人 加賀守藤原ーーと有尾州元禄比

氏光 ○一人 備州長船ーーと有文明比と云

氏重 ○一人 △五人 ◯雲州住ーーと有文安比 △尾州住ーーと有貞享比 △駿州嶋田住ーーと有時代不明 △大和守藤原ーー○大和大掾藤原ーーと有播州姫路住三木新兵衛と号始め守ニ任し明暦元年領主の受領と憚りて大掾ニ溥せしと云元禄辛未四月十八日没す法名和入と云業物 △同二代目大和大掾藤原ーーと有東武ニても造る △同新兵エと号享保戊戌十一月十日没法名宗和と云 △同三代目大和大掾藤原ーーと有同新兵エと号後領主の命ニより氏繁と改む元文の比

氏繁 △五人 △於播州手柄山麓藤原ーーと有三代目氏重の後銘ニ宝暦乙亥四月廿六日没法名宗珠と云 △同四代目播州手柄山麓藤原ーー精鍛作と有三木新兵エと号隠居して入道丹霞と有天明癸卯十二月廿五日没法名一法と云 △同五代目播州手柄山ーーと有同新兵エと号寛政庚戌八月十八日没法名宗固と云 △同六代目播州手柄山ーー○奥州白川臣ーーと有丹霞の男同朝七と号天明中坂陽へ移住し後白川侯の刀匠と成東武へ溥住ニて氏と手柄山ニ改初め実名を正繁ニ改む △播州手柄山ーーと有宗固男三木新兵エと号姫路ニ住ニて享和文化比

氏久 ○一人 九州宮井住ーーと有阿州貝府派の門肥前ニても造る後ニ見佛と有應永比

氏廣 △三人

雲

△讃岐守藤原｜｜と打尾州　享保比後盛廣ニ改む　△紀州住｜｜ト打氏　勝一派時代不明　△越前大掾藤原｜｜と打　肥前佐賀吉廣男貞享比

雲同 ○二人　○奥州舞草一派二字銘ニ打　嘉禎比雲頭同人とも云　○備前鵜飼庄一派　二字銘ニ打延元比

雲頭 ○一人　奥州雲同同人と云

雲藤 ○一人　相州山内

一派二字銘ニ打新四郎と号建長比

雲住 ○一人　備中二字銘ニ打弘安比

雲森院 △一人　○和州二代目手掻包永勢州ヘ来て造る時如此三字銘ニ打　△藝州廣嶋住今村政盛如此三字銘ニ打

雲次 ○三人　○備前国住｜｜或ハ二字銘ニも打長船一派の出にして鵜飼庄ニ住す又国吉ヶ後の銘と元亨建武の間改名の傳雲生の事書ニ記す　○同二代目備前国住｜｜或ハ二字銘ニ打貞和延文の間良業　○同三代目備前国住｜｜造或ハ二字銘ニ打應安應永の間業物

雲生 ○一人　平安城｜｜○備前国住｜｜或ハ二字銘ニ打建武比の作多し良業○備前国鵜飼庄物の祖始名長船一派にして国友と打弟と国吉と云り元亨年中上京して　後醍醐天皇の蒙　勅命兄弟御太刀を造る此時国友国吉天ニ祈て　叡慮ニ應する名剱を造り得ハやと玉へと一心ニ祈願す或夜浮雲を焼刃ニ摸して淬(ニラギ)ハと夢む覚(サメ)て後かれを語るニ兄弟相共ニ同し夢を平しく天の御告也とて御太刀を鍛え淬の時霊夢の如く土取を為して燗刃を渡すニ無比類出来たり則ち御太刀を捧け彼の霊夢を奏聞に甚　天氣ニ悦(カナヒ)兄ハ雲生弟ハ雲次と銘を鐫(エル)遂しと蒙　勅號是より雲生雲次と改名ありと云く

雲上 ○二人　○雲州二字銘ニ打後伯州小鴨ニ住す又或ハ生国越前法師とも云因如此も打貞和比　○權兵衛尉｜｜或ハ二字銘ニ打備前鵜飼庄一派文和比

雲重 ○一人　備前国住｜｜○字目住｜｜或ハ二字銘ニ打備前鵜飼庄雲生男始名守重と打文和康暦の间

梅　埋

梅利 ○一人　尾州住｜｜と打嘉吉比

梅忠 ○一人　尾州二字銘ニ打文明比

埋忠 △数人　城州西陣住明壽二字銘ニ打同一派の者如此二字銘ニ打ものなし

右

右衛門 ○一人　肥後同田貫｜｜と打馬加氏なり天正比業物

右衛門次郎 ○一人　濃州赤坂千手院一派也と五字銘ニ打貞治比仙心同人と云

右住(スケトウ) ○一人　隅州惣小河村佐藤

壹岐守｜｜作之或ハ二字銘にも打天文永禄の间

右弘 ○一人　備中国｜｜と打片山一派永和比

右作 ○二人　△一人　播州鈴木宗榮如此二字銘にも打右の字斗も切

瓜

瓜實 ○一人　筑前貞治比芿実と二字銘ニ打豊後安則末裔と云大和瓜実ハ延吉の事之

ノ

則教法範儀德順憲應意度信延宣江堪陳

則

則家 ○二人　△一人　○山内｜｜或ハ二字銘ニ打備前福岡一文字一派にして助真と共ニ相州山内へ移住す又新五郎と号弘長の比　○備後国｜｜と打三原一派文明比　△加賀国八郎藤原｜｜と打時代不明

則利 △三人　△越前住｜｜○常陸大目益壽入道｜｜と打則光の末元禄比利重一類と云　△越中国呉服山住｜｜○越中卿則重十六代末冨士太郎｜｜○藤太郎｜｜とも打常州水戸ニても造る天和貞享比

△同二代目武州城下冨士ーー○藤原ーー　則時 ○二人　備前福岡一文字末流二　則近 ○二人　○備前福岡
とお甚右エ門と号常州水戸住享保比　字銘ニ打明徳應永比　一文字一派二
字銘ニ打　○備州長船ーー　則兼 ○三人　○城州来一派二字　○城州大宮中納言作と云　○備州長船太
正安比　とお文安比　銘ニ打至徳比　一文字と切信兼同作とも云　郎兵エ尉ーー
と打永　則包 ○五人　○江州来ーー○来ーーと　○雲州道永一派二　○備前豊原万寿庄住左近太郎ーー或
享比　打粟津一派永和比　字銘ニ打至徳比　二字銘ニ打福岡一文字一派弘長の比
○備前國住ーー　○備州長船ーー　則景 ○三人　○備前福岡一文字一派　○備州長船住ー　○薩州波平
と打観應比　と打嘉吉比　二字銘ニ打天福の比　ーと打應安比　一派二字銘
ニ打徳　則吉 ○一人 △一人　○備前福岡一文字一派　△武州住ーーと打一文字則吉　則能 ○一人　備州長船ーー
治比　二字銘ニ打文永の比　末四郎兵エと号元禄比　と打應永比
則義 △一人　武州石堂一派二　則依 ○二人　○摂州ーーと打　○備前福岡一文字一派　○備
字銘ニ打貞享比　時代不明　二字銘ニ打正嘉比　則高 ○三人　前
福岡一文字一派二字銘　○備中二字銘ニ打瀬尾刑部允或刑　○備中国ーーと打片　則忠 ○一人　備後三原住ーー
ニ打建治比或建保比と云　部四郎とも本国備前正恒流元暦比　山一派寛元の比　と打時代不明
則常 ○三人　○和州二字銘ニ打建久比或ハ上一九と打　○備前吉岡一文字一派二字　○備州長船一派二字銘ニ打
奥州玉造住同人とも天延比と云　銘ニ打源大夫と号正應比　後備中へ移住すとも権太夫

と号貞應比或ハ　則恒 ○二人　○伯州二字銘ニ　○備前国吉井住ーー　則綱 ○三人 △一人　○備前福岡一文字一派二
文應比とも云　打寛喜比　と打則綱一族嘉吉比　字銘ニ打正和建武の間
○備前国吉井ーーと打　○同二代目備前国吉井ーー或ハ二字銘ニ　△藝州住源ーー或ハ二字銘ニ打坂原善助と号本国
明徳應永比業物　打後雲州へ移住すと嘉吉寛正の間業物　△肥前佐賀之則房と共ニ藝州廣嶋へ移住すと寛文
延宝比　則縄 ○二人　備前吉井二代目　則次 ○四人 △二人　○備州長船一派二字銘ニ打兼元中廿四人の　○備前国新田庄住
業物　則綱同人と云　内六月番ニ定る藤兵エ尉と号ス　ーー○備前国住ー
ーと打正和暦　○備州長船ー　○備中青江一派一　△常州藤原ー　△於南紀ーーと　○平安城ーー○或ハ二字
應の間良業　ーと打太永比　字銘ニ打寛元比　ーと打寛永比　打時代不明　則長 ○七人 △一人　銘ニ打綾小路住正安
比則永　○大和国尻縣住ーー作○大和ー作　○同二代目大和左近允ーー○大和国ーー○大和　○同三代目大和尻縣ーー　○同
とも打　と打太郎左エ門と号正應比大業　国尻縣ーーと打元徳暦應の間大業　作と打貞治の比　○四
代目大和国ーー或ハ二字銘　○加州住ーーと　○備州長船ーー　○備前国長船住ーーと打長次男
ニ打小銘也應永の比　打文明比　ーと打天文比　△横山安之進と号寛政文化の間　則永 ○一人　平安城ーーと
則成 ○四人　○大和国住ーー作と打尻　○雲州二字銘ニ打　○備前吉岡一文字一派　○備州長船ーー　打則長同人
掛一派建武比業物　○和州則弘門康元比　二字銘ニ打建治比　ーと打應永比　則直 ○三人
○大和尻縣住ーーと打　○備前国住ーーと打福　○備前国吉井ー　則宗 ○四人　○駿州島田住ー　○備前国
則長門應安比　岡一文字一派嘉元比　ーと打應永比　ーと打天文比　ーーと打

福岡一文字の祖備前大夫と号兼元中正月番ニ定メられ菊一文字ヲ蒙 勅許刑部丞ニ叙任ス四人の時十二月番之秘銘○香の字斗リ打或ハ行宗とも打と云

◯備州長船一派二字銘ニ打後相州山内ヘ移住弘安比 ◯長船一派則宗作と三字大銘ニ打亨徳比

則村 ○一人 備州長船一一と打文明比

則氏 ○一人 越前千代崔一派二字銘ニ打文禄比

則宣 ○一人 濃州上有知住一一と打天正の比

則國 ○四人 〈一人 ◯藤馬允一一或ハ二字銘ニ打城州粟田口国友男林氏ニ隠岐国ニ於テ番鍛冶ニ定メラル貞應比 ◯大和国一一作と打尻縣一派延文の比 ◯伯州小鴨住二字銘ニ打貞治比 ◯備州長船一一◯浦上経三郎一一と打則光と両作多シ康正延徳文明間業物 〈平安城一一〈と打寛文比

則安 ○三人 ◯藝州住一一と打左の末流文明比 ◯備前国一一と打長船一派寛元比 ◯同田貫一一一○道甲木と斗りも打肥後菊池天正比

則房 ○六人 〈二人 ◯濃州上有知住一一と打弘治比業物 ◯作州住一一と打建武比と云 ◯備前福岡一文字一派二字銘ニ打高津右馬允と号山城ニても造正嘉比 ◯同二代目二字銘ニ打同右馬允と号後備中ヘ移住又作州ニても造建治比 ◯備州長船一一と打文安比 ◯備中青江一派二字銘ニ打建長比 〈越中国藤原一一○富士摂津住一一○摂津住藤原一一裏銘於武州作之とも打土州ニてモ造る呉服御則重末流と云寛永万治の間 〈藝州住源一一と打坂原惣左エ門と号本国肥前佐賀則綱と共ニ廣嶋ヘ移住す慶安寛文の間業物

則耀 ○三人 ◯伯州小鴨住二字銘ニ打文永比 ◯伯州大原住一一と打應永比 ◯備前国一一と打福岡一文字一派元應比大業

則真 ○五人 ◯大和住一一作と打尻縣一派暦應比 ◯備州長船一派二字銘ニ打寛元比 ◯備前国住一一と打徳治比 ◯備中片山一派二字銘ニ打正應比 ◯二字銘ニ打在所時代不明

則實 ○三人 ◯備中青江一派二字銘ニ打兼元中廿四人の内十二月番ニ定メらる秘銘枝橘と鈕元ニ彫る ◯備中国一一と打片山一派弘長比良業 ◯紀州粉川住一一と打彦四郎と号嘉吉比

則貞 ○五人 ◯大和国一一作と打尻縣一派嘉吉比 ◯越中則重門二字銘ニ打貞和比 ◯備前国一一と打福岡一文字一派應長比 ◯備前国吉井住一一と打後雲州ヘ移住す應永の比 ◯豊後国朽網郷住人一一と打宝徳比

則定 〈三人 〈於洛陽藤原一一と打本国三州矢矧寛永比 〈同二代目平安城藤原一一○山城国藤原一一と打豊後住藤原一一と打貞享比 〈朽網の則貞末元禄比

則清 ○三人 ◯城州粟田口一派二字銘ニ打備前ニても造る弘安比 ◯因州住一一と打小鍛冶一派至徳應永の間 ◯備前国吉井一一と打後雲州ヘ移住ヲ文安比

則心 キヨ ○一人 備州長船住一一と打應安比

則來 ○一人 備州長船一派文暦比

則行 ○二人 〈一人 ◯備前福岡一文字一派二字銘ニ打文永の比 ◯肥前諫早住一一と打散位一派應永比業物 〈豊後高田住藤原一一と打元禄比

則光 ○十六人 〈三人 ◯平安城一一と打時代不明 ◯大和国住一一或ハ二字銘ニも打奈良動住嘉元比日光同人とも云 ◯加州住一一と打天文比 ◯伯州住一一と打石州雲州ニても造る永享比 ◯備前国長船住一一と打将監長光門後則宗とも打とも云正和比 ◯備州長船一一と打永徳比小銘ニ切く ◯備州長船一一と打助右エ門と号明徳應永の比良業 ◯備州長船左エ門尉藤原一一○備州長船一一或ハ二字銘ニも打五郎左エ門と号文明元年生年七十二と打る銘有應永の末より造りかくし良業 ◯備州長船一一と打三郎左エ門と号長享比より永正

二三年比迄の作多し業物

◯備州長船――と𪜈太郎左エ門と号ス天文永禄の間業物

◯備州長船――或ハ二字大銘ヲ𪜈物多し文明延徳の間

◯備州長船――と卑き銘振の者有り明應比惣て則光十七人有と云説有れど未詳

△越前住――と𪜈越中則重末流寛永の比

△丹後宮津郡住左近将監――裏銘於武州江戸作之と𪜈物多し時代不明

△備中国――と𪜈時代不明

則道 △一人

丹波守――と𪜈薩州鹿児府岩元勘左エ門と号ス始メ正房ニよて正縄と𪜈後上京してン丹波守吉道門ニ成受領の時改名す元禄比

則満 ○一人

備前国吉井――と𪜈寛正比

則重 ○四人 △二人

◯越中婦負郡御服住佐伯――○越中国――或ハ二字銘多し五郎三郎と号ス初メ同国義弘門後相州へ来り五郎正宗門ニ成此地ニてン相模国住人――と𪜈文保年中比の年号多し御服郷と唱

◯越後国住――と𪜈越中義弘門相州ニても造貞治比

◯丹後国住――と𪜈天文比

◯薩州波平一泒建治比

△尾州住藤原――と𪜈寛文元禄の間

△武州川越久保市住藤原――と𪜈寛永比

則弘 ○二人

◯大和国――○葛木山――と𪜈和州千手院一泒ゆしてン上ミ街道岸田村尻縣ニ住し尻縣太郎と号ス○大倭大明神の神事の時神輿此岸田村ニ休息す故ニ其場の名を尻縣と呼ミ敷石有りて廻りニ六字の名號の石碑有碑の頂上の形真の剱形なり尻縣一泒ハ此形を中心先ニ摸もと云ミ建長比

◯備州長船――と𪜈嘉吉比

則廣 △四人

△丹羽相摸守源――と𪜈本国紀州石堂一泒ゆしてン坂陽ニ住傳右エ門と号貞享比

△摂津住冨士藤原――裏銘於武州江戸作と云銘多し則房の族寛文比

△近江国高木住藤原――と𪜈廣吉とも𪜈寛永の比

△河内守――と𪜈寛文比

△在所不明越前𪜈の如し

則平 ○一人

備前国――と𪜈福岡一文字一泒天福比

則久 ○一人

備前国吉井一泒二字銘ヲ𪜈嘉吉比

則秀 ○一人

備州長船――と𪜈文安比

則守 ○三人

◯城州三条一泒二字銘ヲ𪜈後丹波移住と弘安比

◯城州来一泒二字銘ヲ𪜈建武比

◯備州長船――と𪜈康正比

則助 ○二人

◯備前福岡住――或ハ二字銘ヲ𪜈一文字一泒文永正應の間良業

◯備州長船――と𪜈永享比

則末 ○五人 △一人

◯備州長船住――と𪜈應永比

◯肥前伊佐早住人散位――○諫早住――と𪜈大村ニても造初名利成と𪜈貞和比

◯同二代目散位――と𪜈物多し應永比業物

◯同三代目諫早住散位――と𪜈文明比業物

◯肥後国住――と𪜈貞治比

△肥前増田住――と𪜈散位の末寛文の比

則商 ○一人

備州長船――と𪜈永正比高の字の誤れ

則方 ○一人

備前国住――と𪜈建治比文字不明

教景 ○一人

越前国――と𪜈享禄比業物

教永 ○一人

筑後国――と𪜈大石一泒藝州ニても造る文明文亀の間業物

教國 ○一人

筑後住――と𪜈大石一泒永正大永比

教光 ○一人

筑後国――と𪜈大石一泒文亀の比業物

教仁 ○一人

城州元暦比行吉とも𪜈と云

法安 △一人

藤原入道――と𪜈在所時代不明

法光 ○三人

◯備州長船――と𪜈小銘ヲ切應永比良業

◯備州長船――と𪜈寛正の比業物

◯備州長船――と𪜈文亀永正の間業物

法道 △三人

△城州住来――と𪜈銘太し坂陽ゆくも造る寛文比

△同二代目城州西岡住来――と𪜈向日明神の辺ニ住貞享の比

法廣 △一人

摂州住――と𪜈寛文比

法助 △一人

山城国来――と𪜈貞享比

範 儀 德 順 憲 應 意 度 信

範景 ○一人 備州長船――と号明德の比

範宣 ○一人 備前吉岡一文字一派二字銘ニ号貞治比

範行 ○一人 伊豆国――と号時代不明

儀重 ○一人 隅州住――と号天正の比

儀廣 ○一人 二字銘ニ号在所時代不明

德能 ○一人 了戒――と号豊後天文比

德綱 ○一人 平――造と号豊後高田一派天正文禄比

順行 ○一人 豊州三重住藤原――と号高田一派永正比

順慶 ○一人 二字銘ニ号備州長船初代長光の法名く

順城 ○一人 二字大銘ニ号城州住源左エ門信国の法名也

憲重 ○一人 上野住――と号天文の比

應代 ○一人 肥後延壽の末二字銘ニ号時代不明

意忠 ○一人 日州住――と号古屋ニ住天正比と云

意重 △一人 日州

住慶長比
意重作と号

度定 ○一人 二字銘ニ号天文比在所不明豊後とも云

信家 ○三人 △二人 ◯長岡住――と号城州時代不明 ◯備州長船一派二字銘ニ号文應の比 ◯備州住――と号備後三原一派應永比業物 △尾州住藤原――と号二代目信高門信屋ヵ初銘 △奥州盛岡住源――と号新藤信吉ヵ長男平八と号寛政文化の间

信舍 ○二人 △二人 ◯濃州住――と号岩捲一派永禄比 ◯信州諏訪住藤原――○藤原――とも号本国濃州三阿弥関一派河村源

太郎と号天正比業物 △常陸守――と号濃州関一派慶長比 △尾州住――と号五代目信高門兵藏と号安永比

信屋 △一人 和泉守藤原――尾州信家ヵ後銘慶安寛文の间

信春 △一人

摂州住――と号寛文比

信具 ○二人 ◯大和国――と号千手院一派正和比 ◯備州長船住――と号元弘比

信友 △一人 加州住藤原――と号信貞男太郎右エ門と号享保元文比

信利 △一人 山城守藤原――と号鈿元ニ十六葉の菊と切播州姫路住之黒田助六ヵ次男清左エ門と号天和元禄の间大和守とも号と云

信近 ○一人 △二人 ◯備前国住――と号福岡一文字一派

貞應比 △平安城住藤原――と号寛文比 △尾州住――と号六代目信高門前田定八と号よと坂陽稜住尾崎助隆门と成改之允助包と改寛政戊午の年没

信包 ○三人 ◯了戒――と号城州長禄比 ◯大和国――と号千手院一派德治比 ◯備前福岡一文字一派二字銘ニ号長原權四郎後左近将监右近と号兼久化

信兼 ○二人 ◯城州栗田口一派兼元比信兼作と号二文字と切則包同人とも云 ◯備州長船――と号應永比

信勝 △三人 △近江守藤原――と号尾州四代目信高門金右エ門と号正德比藤の字と切 △同二代目尾州住藤原――と号林藏と号宝暦比 △奥州盛岡住源――と号信国三代目新藤八と号安永比

信吉 ○一人 △八人 ◯備州長船――と号應永比 △洛陽住高井信濃守藤原――と号鈿元ニ菊と切寛永寛文の间業物 △同二代目信濃守藤原――と号後源ニ改銘ま高井金三郎と号坂陽ホろくも造る延宝宝永の间 △高井越前守源来――○越前守源来――と号鈿元ニ菊と切後○倫信 △入道源来――と号洛陽初代信吉三男く坂陽ニ住延宝元禄ホん间業物 △高井阿波守藤原――と

号洛陽初代信吉の弟市之丞　△相模守ーーと号阿波信吉か男なり　△尾州住藤原ーーと号二代目信高門
と号坂陽ニ住ス寛文延宝比　△市之丞と号坂陽ニ住ス天和比此説未詳　△作十郎と号後洛陽三条へ移住ス
金高と改む　△尾州住ーーと号五代目信高門　△奥州盛岡住源ーーと号信国
寛文の比　△忠八郎と号明和安永の比　△四代目新藤平八と号天明寛政比　【信良】○一人　備州長船ーーと号貞治比大宮
一派の　【信賀】○二人　○備州長船ーー　○肥後同田貫ーー　【信義】△一人　洛陽武田源ーー○摂州竹田
出と云　と号嘉吉比　と号永禄比業物　ーーと号同人く寛文比竹田
住と　【信榮】△一人　尾州住ーーと号四代目信　【信善】△一人　武蔵国住藤原ー　【信好】△一人　肥後同田貫
も云　高門助九郎と号享保比　ーーと号時代不明　ーーと号文化
【信仍】△一人　石見守藤原ーーと号　越前住寛文比　【信高】△八代　△伯耆守藤原ーーと号本国濃州上有知ニて三
阿弥兼則末葉河村左エ門と号天正辛丑の年於京
都受領慶長の初名尾州清洲へ移て同庚戌の年名古屋へ遷　△同二代目伯耆守藤原ーーと号河村伯
住まと寛永癸酉の年隠居しく慶遊と改同丙子の年没ま業物　耆と号寛永癸酉の年受領寛文壬寅
の年六拾歳ニなく入道なし○前伯州山月閑遊入道ーー○山月　△同三代目伯耆守藤原ーーと号同三之
居士と斗しも号元禄己巳の年没ま此作を世ニ初代と唱ふ　丞と号寛文乙巳の年受領ま宝永丁
亥の年没法　△同四代目伯耆守藤原ーーと号同三之丞と号初名信照と号正徳　△同五代目藤原ーーと
名道釧と云　△辛丑の年改名享保己酉九ん年没法名道勲と云受領の年不明　号同三之丞と号す

初名信照と号享保庚戌の其改名ま此代より　△同六代目藤原ーーと号実ハ濃州関氏卅男孫四郎と号養
受領なし天明癸丑の年没法名米布と云　△子と成河村三之助信照と改天明癸丑の年三之丞信高ニ改
名同年冬没　△同七代目橘井四郎ーーと号初名猪平と号　△同八代目尾張国住ーーと号六代目信高門甚之
法名宗堅と云　△天明癸丑の年家督く後有故退散ま　△進信直後見しく師の家を興ま文化
【信忠】△一人　加州金沢住藤原ー　ーーと号時代不明　【信郎】△一人　長州住藤原ー　ーーと号時代不明　【信次】○二人△一人　○備中青江一派二　字銘ニ号兼元比　○
備後国鞆住ーーと号　三原一派康正の比　△肥後国同田貫　ーーと号慶長比　【信繼】△一人　摂州住ーーと号本国尾州ニて三代　目信高門弥六郎と号貞享比　【信常】△一人　尾州住ーー　と号初代
信高門又右エ　門と号寛永比　【信綱】△一人　伊豆守藤原ーーと号奥州磐城刀　匠岡田氏城州ニても造る時代不明　【信長】○八人　○和州當广一派二字　銘ニ号貞治の比　○同二　代目
二字銘ニ号後越前浅古へ移住　浅古當广と唱應永比良業　○同二代目越州住ー　ーーと号長禄比業物　○加州藤島一派二　字銘ニ号應永比　○同二代目二字銘ニ号文安　比父子とも浅古と別人　○越　後
山村一派二字銘　ニ号至徳の比　○備州長船ーーと　号貞治比業物　○同二代目備州長船ー　ーーと号應永永享比　【信永】○一人　備州長船ーー　と号應安比　【信直】○二人△二人　○
備州長船一派二　字銘ニ号正應比　○備州長船ーーと号明　應永正の間業物　△清水甚之進ーーと号尾州六代目信高門ふしく八代目信高と後見　と後坂陽へ上り尾崎助隆の門と成又後ニ薩州へ行き奥元平門ニ成

元長と改文化比 ◯尾陽住ーーと号八代目信高門青木喜代二と号文化比

信作 ○一人

馬加ーーと号肥後同田貫一派と云天正比

信宗 ○一人 △一人

◯備州長船一派二字銘ニ号弘長比 △尾州住ーーと号四代目信高門清八郎と号正徳比

信続 △一人

奥州磐城住藤原ーーと号岡田氏時代不明

信氏 ○一人 △一人

◯備州長船一派二字銘ニ号或云昇住とも号と云貞治比 △尾州住ーーと号二代目信高門茂左ヱ門と号寛永寛文元間

信國 ○十七人 △四人

◯城州来光重男弥五郎と号二字銘ニ号信濃小路ニ住し後安条坊門へ轉居す建武比相州貞宗門と云法名清久 ◯同二代目平安城ーー或云二字銘多し源五郎と号貞治の比業物 ◯同三代目源左ヱ門尉ーー或云二字銘ニ号順城と切も同人應永の比業物 ◯園城寺ーー或云二字銘ニ号城州二代目信国一族ゆしく初名信光と号孫左衛門と号永和永徳の間業物 ◯城州二代目信国門二字銘ニ号初名了ーと号傳五郎と号明徳比信国ニ改 ◯信国祥雲入道と号城州應永永享比二字銘ニ号 ◯刑部尉ーー○刑部丞ーー或云二字銘ニ号城州應永比 ◯源式部丞ーーと号城州文安比業物 ◯城州三代目信国門ゆしく初名又八郎定光と号後筑紫へ移住し信国ニ改む○豊州宇佐住ーー或云二字銘ニ号應永の年号切物多し此子孫豊之前後両州ニ繁元信国其了戒某と号も同族と云以下歴代等未詳 ◯堀川住ーーと号城州至徳比と云此外同銘数人見ゆれ共未詳ハ除く ◯大和国ーーと号千手院一派正和比 ◯若州二字銘ニ号應永比城州了一信国此国へ來りての作と云 ◯越後二字銘ニ号山村正信の後銘應安比或ハ安信ヶ後銘共云 ◯備州長船一派二字銘ニ号嘉禎比 ◯備州長船ーーと号應永比 ◯備中国住ーー作と号青江一派應安比 ◯豊州宇佐住ーー或云二字銘ニ号定光後銘 ◯了戒ーーと号豊後嘉延比 △摂州住ーーと号信吉門元禄比 △筑前福岡住源ーーと号新藤氏寛文比 △同二代目筑州箱崎八幡境内住ーーと号物多し正徳比 △祖十代目ーー於奥州盛岡作之と号生国筑前信国一派ゆしく筑後久留米へ移住し天和辛酉の年東武へ下り直ニ奥州盛岡へ轉住し弟国義と共ニ業を励む新藤平兵衛と号元禄己卯の年没す

信安 ○二人 △一人

◯備州長船ーーと号應安永和の間業物 ◯波平ーーと号薩州谷山一派天正比 △加州大聖持住人ーーと号享和比

信正 ○四人 △一人

◯城州了戒一派二字銘ニ号貞和比 ◯和州千手院一派二字銘ニ号寛元比 ◯備前福岡一文字一派二字銘ニ号鈕元ニ文字と切延正とも号権三郎と号隠岐国ニ於て番鍛冶ニ成長原権守ニ任じと云貞應比 ◯備州長船ーーと号或ハ政の字ゆへも切應安比 △出羽大掾ーーと号摂州延宝天和比

信政 ○一人 △一人

◯備州長船ーーと号應安辛丑の年号有信正同人 △尾州住ーーと号三代目信高門清兵ヱと号元禄の比

信昌 △一人

濃州岩村住ーーと号尾州五代目信高門茂八郎と号寛保比

信房 ○三人

◯奥州岡部住二字銘ニ号法華經太郎と号建長比 ◯備前福岡一文字一派二字銘ニ号或ハ信房作とも切承元中廿四人の内九月番ニ定めらる長原権守ニ任さ久国と共ニ奉行たり俗ニ信房（シンボウ）延房（エンボウ）と唱 ◯備州長船一派二字銘ニ号時代不明

信英 △一人

日向大掾ーーと号濃州関一派貞享比

信照

尾州河村信高四代目より六代目迄家督前ハ三之助信照と云四代目伯耆守信照と打し物有

信秋 △一人

薩州住ーーと号鹿兒府田中国行八代の孫田中市左ヱ門と号享保比

信貞 ○四人 △五人
◯信国子ーーと号城州二代目の男應永比
◯平安城ーーと号永正比
◯備州長船一派二字銘と号文保比
◯防州湯井住ーーと号嘉元比
△山城国藤原ーーと号寛文比
△伊勢守岩捲藤原ーーと号濃州清水住寛文比
△越前国仲村陸奥守藤原ーーと号下坂一派寛文元禄の間
△賀州住ーーと号太郎左衛門と号元禄比
△防州住源ーーと号寛文の比湯井の信貞ゟ末と云

信定 ○一人 城州信国門二字銘と号嘉吉比

信真 ○三人
◯和州千手院一派二字銘と号中次郎と号文永比
◯和州千手院一派一字銘と号正和比
◯備州長船一派二字銘と号寛元比一文字流と云
△伊勢守藤原ーーと号
△奥州磐城住時代不明

信實 ○二人
◯備州長船ーーと号應永比
◯薩州波平一派二字銘と号正應比

信里 △一人 尾州住ーーと号二代目信高門忠左衛門と号天和の比

信清 ○二人 △一人
◯和州當广一派一字銘と号應永比
◯和州南都住藤原ーーと号金房延清男天正慶長の間
△尾州住ーーと号三代目信高門新左衛門と号貞享比

信心 ○一人 キヨ 備州長船ーーと号應永比

信行 ○四人 △一人
◯城州錦小路住二字銘と号長谷部国信門康暦比
◯備州長船ーーと号貞治比
◯了戒ー作と号本国城州にて豊前に住すと豊後にても造る應永比業物
◯藤原ーーと号豊後高田一派元亀比
△豊州高田住藤原ーーと号時代不明

信幸 ○一人 △一人
◯駿州嶋田住ーーと号義助一族永正比
△尾州住ーーと号五代目信高門権六郎と号宝暦比

信光 ○八人
◯城州信国一派二字銘と号源左衛門と号永和比信国ニ改
◯加州住藤原ーーと号康正の比
◯備州長船一派二字銘と号新堂刑部と号正應比
◯備州長船ーーと号貞治比
◯備州長船ーーと号信長一族應永比
◯筑州左一派二字銘と号藝州にても造延文比
◯了戒ーー作と号豊後永享比後宣光と改
◯薩州波平一派二字銘と号徳治比

信道 △一人 尾州住ーーと号二代目信高門九郎左衛門と号寛文比

信重 ○三人 △四人
◯山村ーーと号越後正信門應永比信果とも号
◯備州長船ーーと号貞治比
◯長州住ーーと号顕国一派應安比業物
△遠州掛川住下坂ーーと号出雲守貞重門寛永比
△同二代目大黒ーー作と号後東武へ移住天和の比
△尾州住藤原ーーと号二代目信高門杢右衛門と号万治比
△尾張国ーーと号信勝門源助と号元文比

信久 ○一人 △一人
◯了ーーと号城州了戒門應安比後信国と改むと云
△尾州住ーーと号五代目信高門甚八と号宝暦比

信平 ○二人
◯和州千手院一派二字銘と号正應比
◯和州住ーーと号奈良住貞和比江平同人と云

信廣 ○一人 △一人
◯相州住藤原ーーと号小田原刀匠天文比
△尾州住和泉守藤原ーーと号信屋の後銘也平安城にても造る

信弘 ○一人 △一人
◯備州長船ーーと号明徳比
△尾州住加藤ーーと号八代目信高門源之進と号文化比

信盛 ○一人 △一人
◯平ーーと号豊州高田一派永正比
△尾州住ーーと号二代目信高門傳右衛門と号寛文比

信守 ○二人
◯備州長船ーーと号貞治比
◯備後国三原住ーーと号貝一派時代不明

信元 ○一人 備州長船ーーと号應安比

信助 ○一人 馬加石見守ーーと号同田貫一派東武にても造時代不明

延家 ○二人　◯備前福岡一文字一派二字銘ニ有延房ノ门ト云建保比　◯備州長船——と有浅古當广より出ると云兼縄とも有應永比

延舎 △一人　藤原——と有尾州鳴海住寛文比

延利 ○一人　薩州波平一派二字銘ニ有貞治比

延俊 ○一人　肥後同田貫——と有天正比

延近 ○一人　備州長船——と有後延房ニ改應仁の比

延依 ○一人　備前吉岡一文字一派二字銘ニ有文保比　○備前国長船住——と有も同人と云

延吉 ○四人　◯平安城——○了戒—作とも有永正の比　◯和州千手院一派二字銘ニ有吉野郡瀧门住ㇾ大和氏實と唱目貫穴と瓜実の形ニ有故ㇾ文保比　◯備州長船一派二字大銘ニ有時代不明古　◯備州長船——と有永正比

延文 ○六人　◯尾州山田関一派一字銘ニ有貞治比　◯同二代目二字銘ニ有應永永享比業物　◯備州長船一派二字銘久ヒ備後ニても造應安比　◯備中青江一派二字大銘ニ有建永比　◯備中青江一派二字中銘ニ有弘長比大業　◯備中片山一派二字銘ニ有弘安比

延生 ○一人ナリ　備前福岡一文字一派二字銘ニ有貞應比

延命 △一人　羽州庄内住——と有元禄比と云

延國 ○二人　◯備前福岡一文字一派二字銘ニ有天福比　◯二字銘ニ有在所時代不明

延安 ○一人　薩州波平一派二字銘ニ有時代不明

延正 ○三人　◯備前福岡一文字一派二字銘ニ有隠岐国ニ於て九十月番ニ定めくれ長原権守ニ任れ延房男と云貞應の比　◯備州長船——と有應安比　◯備後国三原住———と有天正の比

延房 ○二人 △一人　◯備前福岡一文字一派二字銘ニ有嘉元中三月番ニ定めくれ長原権守ニ任ㇾ當番の時の作ハ月の文字を有と云○建保の年号有—物有　◯備州長船——と有應仁比初めん延近と切　△丹波守藤原——と有尾州元和比

延真 ○二人　◯備前福岡一文字一派二字大銘ニ有天福比　◯備前福岡一文字一派二字銘ニ有文永比

延貞 ○一人　備中国——作と有青江一派貞和比同銘三代と云代未詳

延定 ○一人　二字大銘ニ有天文比在所不明

延清 ○二人 △一人　◯藤原住——○藤原——或ニ一字銘ニ有和州金房一派永禄比　◯同田貫——と有肥後菊池元亀比　△南都住藤原——と有和州金房一派寛永比

延行 ○一人　薩州住人——と有深川帯刀左エ门と号房安同人天正比

延光 ○三人　◯城州栗田口一派二字銘ニ有藤一郎と号文保比　◯濃州蜂屋一派二字大銘ニ有文安比業物　◯備前国——と有福岡一文字一派嘉禎比と云

延秀 ○二人　◯城州大宮一派二字銘ニ有備前へ移住ㇾ天福比　◯備前大宮一派二字銘ニ有暦應比業物

延弘 ○一人　二字銘ニ有在所時代不明

延久 △一人　菊池住——と有肥後延壽国日出门守兵エと号文化比

延 ○一人　了戒—作と有豊前寛正比

宜屋 △一人　濃州関住三阿弥入道——と有信州松本ニても造寛文比

宜能 ○一人　了戒——作と有豊後文安文明の间

宜義 △一人　濃州関住——と有時代不明

宜明 ○一人　肥後限本住——と有同田貫一派文禄比

宜貞 △二人　△肥後限本住——○大和守藤原——と有寛永比　△薩州住——と有時代不明

宜行 ○三人 △一人　◯

江　堪　陣　國

備後国尾道住其阿弥ーーと号天文比 ○豊州住ーーと号高田一派元亀天正比 ○薩州波平一派二字銘ニ号時代不明 △豊後高田住藤原ーーと号寛文比

宜光 ○二人 ○了戒ーーと号城州後豊後へ移住ー族此地ニ栄ふ應永比 延文比と云ハ非なるへし ○了戒ーーと号豊後文安比

江平 ノブ ○一人 和州千手院一派貞治比 信平同人と云是非不知

堪貞 ノブ ○一人 石州長濱住ーーと号元亀比

陣直 △一人 参河守大道ーーと号丹後田辺住寛文比と云

ク　國邦軍月

國家 ○四人 △一人 ○城州粟田口住林弥九郎と号二字銘ニ号本国和州添上郡丹波市と云兼元中番鍛冶の奉行たり ○越中宇津一派二字銘ニ号時代不明 ○備州長船ーーと号後ニ備中へ移住もと天文比 ○肥後延壽一派二字銘ニ号国信男と云延文比 △備中山内住越前大掾ーーと号水田一派天正慶長の间

國治 ○二人 △二人 和州千手院一派二字銘ニ号千市住弘長比 ○肥州石貫ーー作と号肥後永正大永比業物 △尾州住来ーーと号武五郎と号東武ニても造正徳比 △奥州仙台住二字銘ニ号同国古川城主太衛将監の末裔太衛源太左ェ門と号岩城又東武ニても造元禄比

國春 △一人 摂州住源ーーと号祐春門市左ェ門と号貞吉子比

國友 ○九人 △二人 ○城州粟田口一派二字銘ニ号老後○藤林とも号国家男林藤左ェ門と号兼元中六月番又廿四人の時ハ正月番ニ定くる当番の作ハ上の文字を切 ○和州千手院一派二字銘ニ号時代不明 ○越中宇津一派二字銘ニ号應永比 ○備前国住ーーと号長船一派徳治比雲生の初銘之 ○備州長船ーーと号應永比 ○備州ーーと号備中天文比 ○肥後延壽一派二字銘ニ号国光男左ェ門尉と号貞和比業物 ○菊池住隼人ー或ハ二字銘ニ号肥後延壽国元男文安比 ○豫州住ーーと号文和比と云 △奥州津軽住ーーと号吉世男享保比 △土佐国藤原ーーと号時代不明

國倫 ○一人 来ーーと号城州来一派文和比

國儔 △一人 越後守藤原ーーと号生国日州飫肥ニて城州一条堀河ニ住と信濃守国廣甥く慶長寛永の间良業

國俊 ○六人 △二人 ○城州来国行男二字銘ニ号弘長文永比世ニ二字国俊と唱大業 ○同二代目来ーー○来孫太郎ーー○根本中堂来ーーとも号老後○源来ーーと号江州おくも造る正應建武の间太業銘の事諸説多し ○城州櫛笥ニ住ー○来ーーと号生国和州ニして来孫太郎門正中比銘尤異なり ○了戒ーーと号城州應永比業物 ○畠住来ーー○来ーーと号丹波元應比孫太郎門 ○豊後二字銘ニ号時代不明 △延壽ーーと号肥後延壽国日出男田中鉄之助と号文化比 △近江守源ーーと号在所時代不明

國年 ○一人 城州櫛笥国俊門康安比来ーーと号生国和州と云

國歳 ○一人 城州来国俊门正和比○来ーーと号

國利 ○四人 ○備州長船一派二字銘ニ号正安比或ハ弘長比 ○讃州高市住藤五郎と号二字銘ニ号嘉禎の比 ○同二代目二字銘ニ号弘長比 ○二字銘ニ号在所時代不明

國時 ○四人 △二人 ○和州當广一派二字銘ニ号文永の比 ○備州長船一派二字銘ニ号時代不明 ○肥後菊池住ーー或ハ二字大銘ニ号延壽三郎と号建治比大業 ○肥後菊池

住二字銘多し延壽二郎と号正徳比　△城州住ーー於南紀造之と有堀河国廣门寛永比　△肥州大寺ーーと有　△肥後之寛文比

國豊 △一人　河内守ーーと有坂陽二代目国助ゟ初めの銘と云

國富 △三人　△佐渡大掾藤原ーー○佐渡守藤原ーー後老佐渡守ーー元喜○源ーーと有後の銘長州萩の住又東武又奥州雲州にても造ゟ寛永万治の间　△日向住人ーー○日向国住人ーー於摂府師井上真改宅作と有ーその有天和比業物　△薩州住ーーと有奥国平　△门濱田仲八と号享保比

國任 ○一人　河州二字銘ゟ有時代不明古く見ゆ

國虎 △三人　△和泉守藤原ーーと有鎺元ゟ菊と切奥州磐城刀匠之井上真改门真亨正徳の间根本氏ゟ見え初代八菊字不有業物　△同二代目根本和泉守藤原ーー○奥州住和泉守藤原ーーとも有八三郎と号寛延比　△藤原ーーと有寛永の年号有在所不明国路の如し

國近 ○二人　○城州粟田口一派二字銘ゟ有五条坊门ゟ住を正應比　○波平ーーと有薩州谷山一派延文比助近とも有

國奥 △一人　摂州住ーーと有延宝比とミゆ

國門 ○三人　○和州千手院一派二字銘ゟ有弘安比検校同人と云　○三州中原一派二字銘ゟ有時代不明　○菊池住ーーと有天文比肥後延寿の末と云

國兼 ○三人 △一人　○泉州住貞治比○五郎ーーと有加賀越前にても造る　○加州住ーーと有永正比業物　○豫州住ーーと有享禄比と云　△二字銘ゟ有在所時代不明

國包 ○一人 △十代　○和州千手院一派二字銘ゟ有兼元比生国備前と云　△奥州仙臺住山城大掾藤原ーー○山城大掾藤原ーーと有鎺元ニ九曜の紋と切和州高市郡住　△保昌　郎貞宗末流ゟしミ本郷源藏と号慶長甲寅の年上京ーして越中守正俊门ゟ成寛永丁卯の年受領す老後用恵と改む最上大業物　△同二代目山城守藤原ーーと有本郷右エ门と号正保丙戌の年家督寛文丁未の年受領す同国長俊ようて修行すと云良業　△同三代目山城守藤原ーーと有同源次郎と号延寳癸丑の年家督す業物　△同四代目奥州住ーー或ハ二字銘ゟ有同源十郎と号　△元禄戊辰の年受領當代より受領あし　△同五代目奥州仙臺住ーー○奥州住ーーと有同三郎兵エと号元禄戊寅の年家督　△同六代目奥州住ーーと有同権十郎と号元禄癸未の年家督同国六代目国次门と成　△同七代目源次郎ーー或二字銘ゟ有正徳乙未の年家督す　△同八代目二字銘多し同吉右エ门と号寛保壬戌の年家督　△同九代目奥州仙臺若林住ーーと有同半藏と号始め包藏门後東武へ出国吉门と成宝暦乙亥の年家督　△同十代目奥州国分若林住ーー或ハ二字銘ゟ有同源之助と号宝暦癸未の年家督東武へ出水心子正秀门と成

國筭 ○一人　城州来一派二字銘ゟ有貞和比と云

國一 ○二人 △一人　○越中宇津一派二字銘ゟ有時代不明　○肥後菊池住ーーと有延寿の末天文比　△三阿弥ーーと有尾州　△慶長比と云業物

國勝 ○一人 △四人　○肥後住藤原ーーと有同田貫一派小山左馬助と号後正国ゟ改む天正比業物　△洛陽住ーーと有因州初代忠国壮年の銘なり　△紀州住文珠ーーと有四代目重国男九郎三郎と号初め重勝と有元文比　△同二代目二字銘多し文珠金助と号明和安永の比　△肥州住ーーと有肥前佐賀住万治比

國方 △一人　隅州住ーーと有種子嶋ゟ住す奥国平门牧瀬四郎兵エと号享保の比

國頼 ○二人　○左馬尉源ーーと有城州粟田口一派元仁の年号有物有　○武州下原住ーーと有天正文禄比業物

國依 △一人　二字銘ゟ有在所不明寛永の比

國吉 ○廿二人 △十四人　○右兵エ尉藤原ーー或ハ二字銘多し城州粟田口則国男建長弘安の间　○城州来の祖二字銘ゟ有寛喜比来太

郎ゟ父ト云一説来の性ハ○来｜｜と打城州○金王丸｜｜○金丸｜｜○金王と斗も打和○同二代目大和住｜或ハ二字
来目部より発もしと云○来一派應安比○州千手院一派嘉元比○若新と打も同人と云○銘ニ打正中建武の間良業
○茉王寺｜｜○中原｜｜とも○宇多｜｜と打○越後桃川住｜｜と○播州小川一派二字○備前直宗流ニて
打三州中原一派文安比○越中永享比○打應永比業物○銘ニ打貞應比○長船一派二字銘ニ
打藤兵工尉と号後蒙
勅号て雲次と改む事ハ雲生の傳ニ具之○備州住｜或ハ二字銘ニ打備後○備州｜｜と打備後三○但州住法成寺
茸田一派乗三原门嘉吉比○原一派文明比業物○｜｜と打天正比
城の字ニ○筑州住｜｜作と打○肥州菊池住｜｜或ハ二字銘ニ打延寿五郎左工○肥後国住｜｜と打延寿一派
も打業物○西蓮同人なり○门尉と号棟の関際ニ十文字を切建治正安の間○次郎と号應永比良業○
阿州西宇住｜○豫州住个｜｜と打○豫州住｜｜○豫州住｜｜と打○讃州二字銘ニ打或ハ○日州住｜｜と
｜と打延徳比○正應比照覚と号○と打永享比○明應永正の間○越前と斗も打正和比○打時代不明
△平安城｜｜○伊勢守源｜｜と打坂陽へ移住寸勢△同二代目和泉守｜｜○伊勢守｜｜△同三代目次助と号元禄比同四
州桑名ニても造寛永比異名を念佛次郎兵工と唱△と打坂陽住次右エ门と号延宝比代目善助と号元文比各造成の
物末一和州住越中守藤原｜｜と打△長友作之兼｜｜ニ下總守△尾州住武五郎｜△武州住法城寺橘｜｜○近江守
見△郡山住ニと元禄比包国一派と云△｜と打摂州の国義同人と云△｜と打元禄の比△法城寺｜｜と打正次门弥兵工後
宅太夫と号貞△於東叡山麓藤原｜｜と打東△濃州川戸住上野守寿命｜｜と△奥州波岡住相摸守橘｜｜と打
享比業物△武山城守国重门安永寛政の間△打後丹後守ニ溥住ニ寛文比△東武法城寺一派の门傳右工门と号

元禄△石州邑知郡高見△備後五日市住｜｜と打水△延寿｜｜と打肥後菊池住国△薩州住｜｜と打
比△住｜｜と打貞享比△田流吉左工门と号享保比△信次男田中右七郎と号享和比△国平门宝永比

國善 ○一人 △一人

○備州長船一派二△越後村松住｜｜と打板
字銘ニ打寛元比△垣善右エ门と号享保比

國賀 ○二人

○肥後菊池延寿一派二字銘ニ打国綱门貞治比○菊池住｜｜と打肥後延寿の末天文の比

國義 △八人

△高井豊後守源｜｜と打城州初代信吉ゟ弟寛文△摂州住藤原｜｜○下總守藤原｜｜と打
△の末若州小濱へ移住ニ江州彦根ニても造る業物△初代和泉守国貞门鈴木作之丞と号後日
州飫肥へ移住ニと云長友△和田弾正忠源｜｜と打坂陽井上弾右工门国貞门後日△摂州住源｜｜○備前守源｜｜
作之丞国吉同人と云寛文比△州飫肥へ移住ニ享保比近造ると云和泉守ニ任ニとも△と打二代目河内守国助门平右エ
门と号寛△奥州盛岡住新藤源｜｜と打本国筑前福岡住祖九代信国の二男治郎兵工と号延宝中東△豊後
文の比△武へ下て南部家の刀匠と成俸禄を給り天和辛酉の年盛岡へ移住｜元禄戊寅の年卒二代目ハ義国く△住｜｜
と打寛△隅州住｜｜と打妍川氏△和田駿河守平｜｜と打寛文の年号有
文比△日州国富门と云元禄比△在所不知といへとも弾正忠と同人なるへし

國慶 △一人

肥前国住佐々木平馬尉｜｜○於肥州唐津源｜｜造

と打長崎ニても造へ延宝の比

國良 △二人

△豫州大洲住源｜｜と打近江守△久道末傳と云寛政享和比△二字銘ニ打寛文比在所不明

國代 △一人

薩州住｜｜と打金右エ门吉国二男根本
与四郎と号明和の比

國高 ○二人 △一人

○越中宇多一派應永○長禄の間国高作と打○延寿｜｜と打肥後菊池住時代不明△摂州住｜｜と打仁兵工と号延宝比業物

國隆 △一人

山上播磨守藤原――と打豊後森住之坂陽中河内の门寛文比

國山（タカ）（△一人）奥州仙臺住――と打国包一派天和比と云

國忠（○二人）○備州長船一派二字銘に打弘長比 ○筑前左一派二字銘に打永亨比業物

國武（△三人）△平安城住藤原――○三条――とも打三条吉則末裔にして堀河国廣门寛永比業物出雲大掾吉武の父 △大和守管原――と打和州郡山刀匠之坂陽中河内门村田権兵衛と号始名上野守助包と打貞享元禄の间業物吉沢氏とも云 △薩州法城寺橘――と打根元金右衛门吉国中比の銘あり

國綱（○十人）（△十一人）○城州粟田口国家六男林藤六郎と号二字銘多し隠岐国にて番鍛冶と奉左近将監に任を老て藤六左近入道と打弘長比迄存生すと云善明と打事有○北条氏の執権なりし時自ら鍛煉の技ハ為されとゆへとも兼元の御鍛冶の遺風尚存して時頼か代に當り勞く宇内の鍛冶を召く天下の良工悉く鎌倉へ羣集す此時左近国綱を最第一とし ○山内住藤原――と打城州粟田口一派吉正の流にて初名真国と銘し相州山内へ下りて改名を正安徳治か间 ○和州二字銘に打建長比 ○左兵衛尉――と打伊賀音羽住建長比 ○三州住――○中原――或ハ二字銘に打薬王寺一派永亨比業物 ○遠州住――と打建長比藤六国綱此所にての作とも云 ○備前直宗流二字銘に打三郎国宗の末男にて太郎左衛门と号後信州善光寺の僧と成と云弘安比 ○備州長船――と打兼光门弥五郎と号貞治比国宗とも打 ○豊後紀一派二字銘に打文暦比 ○肥後左衛门尉――或ハ二字銘に打延寿一派延文貞治比愧の字にも打 ○肥後延寿国友男二字銘に打兵衛三郎四郎と号應安比 ○菊池住――と打肥後延寿三郎四郎と号文明比或ハ應永の比とも云 △山城粟田口住源――と打初代忠綱门寛文比 △大坂住藤原――○伊勢守藤原――と打篆書に切ることの有真改门天和の比 △来――と打元和の年号有源頼貞卿の始の御銘と云 △羽州永居住――或ハ二字銘に打国秀男享和比 △相摸守藤原――と打越前下坂一派東武にても造る寛文の比 △越前大掾藤原――と打向ひ隹と切越前下坂一派東武へ移住を貞享比業物 △備中足守住――と打勝兵衛国重门水田五兵衛と号延宝の比 △豊州住人大和守平――作と打行平とも打と云平安城備中山内にても造る愧の字にも切豊後之寛永の比 △阿州徳島住――と打時代不明 △薩州住――と打野村藤摩之丞と号時代不明 △横田作左衛门尉――と打在所時代不明

國次（○十七人）（△廿人）○城州来一派来――○来源――○裏銘三位とも打○長谷部来――と打国俊门三右衛门と号相州へ来り五郎正宗门と成故に鎌倉来と唱ふ正和比盛に造る大業 ○城州来一派二字銘多し建武比 ○和州手掻一派二字銘に打観應比 ○相州住――○藤原朝臣――と打藤左衛门と号永正比 ○濃州山田関一派二字銘に打國如此国次字と切故に民（タミ）国次と唱文明明應の间良業 ○同二代目二字銘多し文字同し躰やゝ少し異之永正享禄の间 ○藤島――或ハ二字銘に打加州橋爪一派此一族を加賀青江と唱ふ應仁比業物 ○宇多――と打越中宇津一派應永比 ○備中青江一派二字銘に打建永比 ○左衛门尉藤原――或ハ二字銘に打肥後延寿一派建武比良業 ○肥後菊池延寿一派二字銘にも打国末男頼母之助と号應安比 ○紀州粉川一派二字銘に打図如此国の字と打故に簀戸（スド）国次と唱ふ永享長禄の间 ○同二代目二字銘に打国の字躰異也明應永正の间 △平安城菅原――と打貞享比 △摂州藤原――○武蔵大掾――○武蔵守――とも打初代河内守国助三男小林八郎左衛门と号初名摂州住国

光と与寛文延△武州住来ーーと与奥州名取住之田代清貞门△奥州仙臺住ーーと与大
宝の間業物△智田山国助同人と云△東武へも来りしと云寛永比より造る延宝比休鉄と改△友傳三郎と号休鉄五
代の孫之四代目安倫△同子大友惣十郎正徳享保比其次大友△奥州津軽住ーーと与二代目丹後守兼道△山城大掾
门元禄宝永の比△藤助七代目国包门宝暦比二代共未閲△门三之丞と号東武ゆくも造る享保比△藤原ー
ーと与越前福井下坂一派大和大掾正則長男山田七郎兵衛と号菊を切事有寛△同二代目山城大掾藤原ーーと与菊を
永戊辰二月於京都叙法橋夫より高鉄と号翌己巳の年六拾五歳まて没すと業物△切同甚助と号寛永己巳七月受領平
安城東武信州松代ゆくも△同三代目山城大掾藤原ーーと与菊を切同七郎△相摸守藤原ーーと与越前福井下坂一派
造る万治比迄の作有之△兵工と号寛文辛丑九月受領東武まても造△宇多三郎太夫と号後東武へ移住し法城
寺一派か入る○相摸守△越前大掾藤原ーーと与越前松岡住之後肥後熊本へ移住し溥任して越前守ーーと
橘ーーと与元禄比業物△与老後○肥州之産法橋来ーー入道寿徹と与於肥後ともあり寛文比或八壽
徹八別人△越前住高田ーーと与△伊勢守藤原ーーと与越前松岡住権太夫と号△備中国住源ーーと与一文
とも云△東武へ移住を享保比△山城守国清门享保比数代有といへとも未詳△字を切備後福山へ移住
を寛文比○播磨守源△備後国福山住山城大掾源△肥前国住ーーと与△山城守藤原ーーと与十六菱菜の重子
ーーと与も同人と云て△ーーと与一文字を切上とと同人なれ△国廣门寛文比△菊を切肥後隈本住東武ゆくも造
延宝比寿△日向住人ーーと与娍川△薩州住藤原ーーと与△和泉守ーーと与鎺元に鶴の丸を切越前大
徹の次なれ△国富二代目也元禄の比△李左エ门正廣ら後の銘之△掾国綱なん次ゆくし元禄の比東武に住にとこ云

國繼 ○三人 全三人 ◯和州二字銘に与宝治比◯豊後紀一派二字銘に与正應比◯肥後菊池住ーーと与延寿の末天文比△摂州住ーーと与神力丸有續ら始えの銘なり△越前
住下坂ーーと与洛陽へ移住し○平安城藤原ーーと与寛永比

國亞 ○一人 ツグ 日州綾部住二字銘ふ与銘裏旅泊と与元亀比国昌同人とふ

國經 ○二人 ◯備前国ーーと与徳治
比◯肥後延寿一派二字銘に与應安比

國常 全三人 △上野守藤原ーーと与濃州岐阜住作之進と号万治寛文比業物△同二代目上野守藤原ーー与始えし下野守藤原ーーと
与貞△賀州住吉兵エ尉享保比△ーーと与時代不明

國恒 全一人 出羽大掾藤原ーーと与越前下坂一派始えし国宗とも与洛陽坂陽ゆくも造る寛文比

國長 ○壱人 全四人 ◯城州粟田口一
派二字銘に与孫太郎と号一本千貫太郎と有寛元比◯城州来一派来ーーと与南朝の正平比の年号を与物多し摂州中島に住す故に中島来と唱ふ◯同二代目来ーーと与備州長船ゆくし造る物八
○藤原ーーと与淡州よても造ると云永徳比◯同三代目来ーーと与銘小振之永享比◯京都住人管原ーー作と与城州長吉一派貞治應安の間業物◯和州千手院一派二字銘に与元暦比
濃州赤坂千手院一派二字銘に与道印と号正應の比正和トモ◯同二代目二字銘に与文保の比文和比トモ云◯同三代目濃州住藤原ーー作と与康應の年号を切◯越前金津権三と云二字銘に与延慶比嚴
浄と云も◯能州笠師住ーーと与同人と云◯宇多ーーと与宇津と同人なるへし◯越中文明比◯備州長船一派二字銘に与正應比◯豫州住藤原ーーと与生国濃州赤坂千手院一派康暦の比

△摂州住ーー△奥州住ーーと△肥後国同田貫藤△与州住ーーと
とす寛文比△す慶長比△原ーーとす慶長比△す寛文比

國永 ○四人 △四人

○城州来一派二字銘ニす孫
太郎門吉太郎と号生国
和州十市と○備州直宗流二字銘ニす○肥州菊池住ーー○二字銘ニす○豫州住ーーとす△摂州住源ー
云文保比○す太郎と号宝治比○肥後延寿一派至徳比良業○照覚門正安比△ー○河内守
源ーーとす△武州住源ーーとす武藏△奥州南部住ーーとす新藤国義△紀州住高木ーーとす後東武へ
天和貞享比△守とも切と云宝永比△門山内某と云享保辛亥の年没△移住す長の字にも切天和の比

國直 ○三人 △一人

○城州六波羅ニ住す備前○伯州住ーーとす○小川ーーとす△常陸国笠間住ーーとす中
国貞在京の銘といふ○本国備前貞和比○播州貞應比△塚国安門川田鉄兵エと号
東武ニ住さと
文化の比

國成 ○一人

宇多ーーとす
越中文明比

國宗 ○十六人 △九人

○城州来一派来ーーと○大和国ーー○安住ーー
○す文和の比業物○とす安住太郎と号應
永永亨○中原ーーとす三州茉○同二代目中原ー○宇多ーーとす越中之右○同二代目宇多○同三
の間○王寺一派嘉元の比○ーーとす建武比○衛門尉と号永徳比○ーーとす永亨比○代目
宇多ーー○光心宇多○伯州小鴨住二字銘ニす本国備前○備前三郎ーー或ハ二字銘多く備前直宗流
ーーとも文明比業物○老後○国宗入道とす嘉元比○かくく新田庄和氣住す後相州山内へ下り新
藤五国光ニ造法を授く城州油小路ニ○備州長船ーーとす長光○備前国長船住人ーー作とす○備中
ても造ると云正嘉弘安の間大業○門久太郎と号文保比○兼光門弥五郎国綱の後の銘く○青江

一派二字銘ニ○豊州住ーー作とす豊○肥州菊池住ーーとす肥後延○肥州住ーーとす肥後延寿一派△山城守
す元徳比○後く明徳應永の比○寿一派国綱男延文應安の間○国友男隼人進と号寛正の比△藤原ー
ーとす菊一文字と切越前福井住嶌田吉左エ門と号△越前住藤原ーーとす五代目国清△出羽大掾藤原ーーと
二代目の国清男かくく後国清ニ改む寛永の比△の初銘く島男九八郎と号享保比△す越前国恒ろ初銘△
越中国宇多ーー作○宇多ーー作とす△因州鳥取住ーーと△備前岡山住藤原ーーとす東正△林彦左エ門尉ー
後東武浄瑠璃坂ニ住延宝貞享の間△す延宝比とふ△成門茂右エ門と号寛文の比良業△ー○備前国長
船ーー氏す茂右エ門の△豊前守藤原ーー△薩州住ーーとす喜
男と云享保比業物△と号豊後寛文比△右エ門行廣ゟ後の銘く

國悚 △一人

越前下坂一派二字銘ニす洛
陽堀川かくくも造る元和比

國村 ○四人

○相州住ーーとす○肥後菊池住二字銘ニす棟国三十文字と切物有○不動と斗すろも同人く○
○時代不明○来ーーとす八来太郎の外孫なれとも延寿太郎と号弘長の比弘村男と云
○肥州住ーー或ハ二字銘ニす○同二代目肥州住藤左エ門尉ーー
延寿一派建武貞和の間○或ハ二字銘ニす永和應永の間

國延 ○二人

○城州粟田口一派二字銘ニす国吉
門藤二郎後五郎左エ門尉と号
相州山内へ移住さと○城州来の末二字
弘長建治の間○銘ニす文明比

國信 ○六人 △三人

○来ーーとす城州○長谷部ーーとす城州五条住す国重門
○了戒一派正慶比○也尾州熱田の宮へ参籠して造成之
太刀と奉納さと建武比本国○備州長船ーーとす○備中片山一派二字○肥前住ーーと○肥後菊池
和州千手院一派と云後国重ニ改む○国房門嘉吉の比○銘ニす時代不明○す文明比と云○延寿一派二

字銘ニ作国村門徳治比
△山城大掾――と作武州水田一派与左エ門国定男大月左エ門と号備中備後越後ゆきても造る元禄比
△奥州盛岡住源――と作新藤平兵エと号信国二代の孫也元禄比
△菊池住延寿――と作肥後菊池延寿国守五代の孫田中八左エ門初名生茂と作天明中国信ニ改む文化甲子六十四歳

國則 ○五人

○城州五条住二字銘ニ作左エ門と号嘉禎比
○備前国住――或二字銘ニ作時代不明
○備中片山一派二字銘ニ作延文比
○備中国住――と作松山水田の祖也大永比業物
○与州住――と作永享比

國徳 △二人

△城州住橘――○国徳作と作堀川一派寛永比
△与州宇和島住――と作源次郎と号寛永比

國法 △二人

摂州住源――と作延宝比

國蔵 △二人

平安城住――と作寛永比

國安 ○十二人 △五人

○城州粟田口一派二字銘多々―国家の三男林藤三郎と号兼元中廿四人の内四月番ニ定られ山城守ニ任ス當番の時八必○上の字と作梵三とも作と云播州ゆくハ◇如此切といふ秘銘あると
○城州来二派来――と作伯州ゆきても造る後淡州ニ立崎へ移住し老後淡路房と作建武比淡路来と唱ふ
○和州高市住○来――と作あ如此作應永永享比
○越州来――或八二字銘ニ作銘裏千代鶴と切物多し本国城州来国安之門ふして初名光忠と切本姓藤原之越前来と唱へ千代在丸と号貞治明徳の間
○同二代目越州住――或八二字銘ニ作應永永享比
○宇多――と作越中康安比初名国房と作
○同国宇多――と作永享比
○備前直宗流二字銘ニ作後相州山内移住ス四郎と号建治比
○但州住――と作法城寺一派貞治比
○豊後州住――と作文明比
○肥州菊池住――と作肥後延寿一派時末男刑部と号永徳應永比
○土州宇佐郷――と作應永比
△城州堀河住二字銘ニ作同所国廣の弟と云慶長寛永の間生国日州飫肥初名国政と作大業
△遠州横須賀住――作と作中塚初蔵と号も水心子正秀門初名三秀と切文化甲子改名ス東武の住なり
△奥州會津住――と作同国初代兼定門清太郎と号元和比
△越前国住――と作時代不明
△大明京――と作雲州住三代目高麗弥九郎と号

國泰 ○四人

○来――と作城州来の末永正比
○相州山内一派二字銘ニ作国光之三男新藤三郎と作徳治比或八大進坊同人と云
○肥州――作○南無天神――或八二字銘ニ作延寿一派延元比の年号作し物多
○菊池住――と作肥後延寿一派永享比

國康 △四人

△肥後守――と作摂州初代国助之三男小林源左エ門と号坂陽住ス万治延宝の間大業
△同二代目肥後守――銘裏以南蛮鉄作之と作物多し小林安之丞と号東武ゆきても造天和元禄之間
△越前住伊勢大掾藤原――○山本伊勢守――と作寛文延宝比
△肥後大掾――と作伊勢守国康の初名の銘といふ

國保 △二人

△出羽守藤原――銘裏和州包永末葉と作本国和州奈良後東武ニ住ス延宝比包保門と云
△武蔵住文珠藤原――或八二字銘ニ作貞享元禄の比二代目ある也

國正 ○七人 △十二人

○宇多――と作越中永享比政の字ふも切
○備後国三原住――と作應永比
○三原――作と作備後永正比
○肥州住――と作延寿一派正中比
○肥後菊池住――と作延寿一派應安の比良業
○豫州住――と作延文の比業物
○豫州住――と作明徳應永比
△武州住二字銘ニ作但州法城寺国光の後裔甚之丞と号葵御紋と鎺元ニ作元禄比業物
△同二代目二字銘ニ作甚之丞と号寶永比
△同三代目二字銘ニ作源兵エと号享保中藤原姓ニ改
△同四代目二字銘ニ作藤五郎と号元文比始名光正と作
△同五代目二字

銘ヲ打明和比△同六代目二字銘ヲ打源兵エと号文化比△法城寺但馬守橘ーーと打東武ヘ住す元禄比甚之丞と別人△近江守源ーーと打奥州中村住文右エ門と号東武ヘ出秀辰門と成元禄の比業物△豊後竹田住法城寺ーーと打八兵衛と号貞享比業物△同二代目豊後国住ーーと打法城寺十大夫と号享保比△駿河守藤原ーーと打与州宇和嶋住市兵エと号東武ヘ出安定門と成寛永比△同二代目藤原ーーと打市右エ門と号貞享比以下代々相続すといへとも未詳△与州今治住ーーと打斉友次と号水心子門文化比

國政 ○一人

肥州住ーーと打肥後菊池延寿一派正寿男権左エ門尉と号文亀永正の比

國改 △一人

一条堀川住ーーと打堀川国安壮年の銘

國昌 ○一人 △一人

○日州綾住二字銘ヲ打或八田中旅泊菴ーーとも打堀川国廣ヵ父と云元亀比又国亜と打裏銘旅泊叟△延寿ーー作と打肥後限本刀匠天明享和比

國益 ○一人 △一人

○与州住ーーと打正中比△上野大掾ーーと打土州高知刀匠木村平右エ門と号延宝甲寅の年より山口氏ヲ改本国摂州大坂か〻二代目丹波の門後土州吉国養子と成る

國増 △一人

濃州岐阜住ーーと打高橋惣助と号播州姫路住義国養子と成宝永比始免重舛と切

國舛 △一人

摂州住ーーと打寛文比重舛と八別人と云

國房 ○八人 △四人

○城州来一派二字銘ヲ打錦小路ヲ住すを應永比○越中宇津一派二字銘ヲ打康安比後国安と改む○同二代目宇多ーーと打應永比良業○同三代目宇多ーーと打應仁比業物○備州長船住ーーーと打應永比○備後国住ーーと打三原一派永正比○平戸左エ門尉ーーと打肥前〻本国筑前左の門貞和比平戸左と唱○肥後菊池延寿一派二字銘ヲ打兵エ三郎国綱門八郎と号永和比業物△豫州新ーー○石見守藤原ーーと打豫州宇和島刀匠豊州高田鎮政門寛永比△同二代目筑後大掾藤原ーー○筑後守ーーと打坂陽ヘ出初代大和守吉道門と成寛文比始免国林と切△同三代目筑後守ーーと打小市と号一竿子忠綱門貞享元禄比△薩州住藤原ーーと打時代不明

國船 △一人

城州住橘ーーと打時代不明

國維 △一人

相模守藤原ーーと打摂州二代目丹波門初免吉重中比道維と切源と打八前の作かり後与州今治へ移住寛文比

國英 △二人

△隼之進ーーと打小林国輝ヵ初免の銘也△河内守源ーーと打雲州松江刀匠寛文延宝の比銘八分の如く切あり

國輝 △七人

△小林伊勢守ーー○伊勢守ーーと打坂陽初代河内守国助の四男隼之進と号寛文辛亥の年受領伊勢大掾と打同壬子の春守ヲ轉任す貞享中より中心の形幣と模さ押形の如し元禄丁丑比阿州椿泊ヲ於て造る物有正徳比迄存生す業物△出羽大掾藤原ーーと打摂州住延宝比△和泉大掾藤原ーー裏銘豫州松山住と打物多し三好太郎兵エと号藤四郎長国門初免長清と打寛文の始免受領かん時改名し△同二代目和泉守藤原ーーと打同五郎右エ門と号本国摂州大坂の住小林国輝門陸奥守輝政と打元禄中豫州松山へ移住し太郎兵エ国輝の家名を継き改名し△同三代目和泉大掾藤原ーーと打同藤四郎と号幼年の時父ヲ後れ坂陽へ出小林国輝ヵ許ゟ〻修行すと正徳比△同四代目豫州松山住藤原ーーと打同藤四郎と号△洛陽二代目久道門元文比此代より受領なし△同五代目豫州松山住藤原ーーと打同庄右エ門と号初免長次と打明和比迄の作有以下未詳

國照 △二人

△伯耆大掾橘ーーと打武州法城寺一派延宝の比業物△薩州住法城寺橘ーーと打金右エ門吉国男根元平八と号宝暦の比

國明 ○二人 △一人
◯来ーーと号城州文和の比 ◯肥後菊池住ーーと号延寿の末天文の比 △奥州會津住ーーと号村田織藏と号享和比

國有 ○一人
二字銘ま号在所時代不明古く見ゆ

國定 ○五人 △七人
◯城州粟田口一派二字銘ま号中次郎と号後丹波綾部ま住せと弘安比以下二三代有と云 ◯来ーーと号城州末の末一派應仁比 ◯宇多ーーと号越中 ◯備州長船ーー或ハ二字銘ま号應永比 ◯兵工尉ーー或ハ二字銘ま号肥後延寿一派至徳の比 △河内大掾藤原ーーと号奥州會津の刀匠古川某と号孫四郎綱房の次田刀也正保乙酉の年より俸禄を受く寛文の末年没せと業物 △同二代目二字銘多ー古川孫太夫と号元禄己巳の年没業物 △越州住ーーと号越前寛永比 △越前大掾源ーーと号備中水田一派八郎左の門大月左次兵工と号摂州富田備後福山ゆくも造る寛文比 △同二代目越前大掾源ーーと号大月平九郎後ま与左工門ま改鎺元ま牡丹菊と切東武又備前ゆくも造る貞享元禄比 △同三代目源ーーと号備前ま住せと大月与五郎と号享保の比 △同四代目備前国住源ーーと号大月左七と号元文比

國貞 ○八人 △九人
◯城州住ーーと号文禄比 ◯大和国住ーーと号時代不明 ◯越中宇津一派二字銘ま号應永比 ◯備前直宗流二字銘ま号次郎と号国真弟兼久比 ◯備州長船ーーと号定の字ゆも切應永の比 ◯豊州住兵工尉ーーと号豊後暦應の比 ◯肥後菊池延寿一派二字銘ま号国資男刀明徳比 ◯豫州住ーーと号建武の比 △摂州住藤原ーー○和泉掾藤原ーー○和泉守藤原ーー○於大坂和泉守藤原ーー○和泉守ーーとも号本国日州飫肥ゆしく洛陽へ出堀川国廣門と成後ま坂陽へ移住せと慶長慶安の間法名道和と号大業 △同二代目和泉守ーー○井上和泉守ーーと号本国日州飫肥の武夫と云坂陽へ移住し道和国貞の養子と成明暦万治比ハ五字銘ま号鎺元ま菊と切菊の中㊉如此寛文五年比より井上の苗字と切花の中⊙如図寛文十一年の末より花たん中又始めのごとく切裏銘ハ寛文五六年より艸書ま号寛文十二年より井上真改ま改む実名良明と号熊沢先生の門ふーーく書籍を好むと云 △同三代目和泉守ーー○井上和泉守ーーとも号真改次男弾右工門と号元禄比の作多しー後日州飫肥へ移住し武夫とあり △但馬守橘ーーと号東武住法城寺次郎左工門と号元禄比 △奥州會津住ーーと号古川孫太夫と号寛文の中比より定の字ま改む業物 △同二代目奥州會津住ーーと号同次郎兵工後孫太夫と号元禄丁丑十月没 △同三代目奥州會津住ーーと号同三太夫と号後業と廃す △備中成羽村住水田ーーと号享保比 △隅州住ーーと号薩州国平門日高仲左工門と号享保比

國實 ○二人 △一人
◯城州粟田口一派二字銘ま号後三条ま住せと国友門と云安貞の比 ◯丹波布次住ーー或ハ二字も号嘉元文保の間国真同人と云 △於武州江戸源ーー○於尾州源ーーと号本国末洋元禄の比

國真 ○六人 △一人
◯来ーーと号城州末一派藤五郎と号本国和州徳治比 ◯越中宇津一派二字銘ま号文安比 ◯丹波布次住藤八郎ーー或ハ二字銘まも号嘉元比国実同人と云 ◯播州小川一派二字銘ま号和州流正中の比 ◯備前直宗流二字銘ま号権守と号建仁比 ◯同二代目二字銘ま号太郎と号兼元比 ◯在京六波羅ゆく八国直又国永と号 △備中水田住ーーと号延宝比

國里 △一人
濃州関住藤原ーーと号時代不明

國清 ○七人 △九人
○城州粟田口一派二字銘ニ有國家四男林藤四郎後四郎 ○城州粟田口一派二字銘ニ ○
兵衛と号城州九条岡の辻江州鎌田ニても造正治比 有左近国綱門弘安比
和州住ーーと有千 ○和州當麻一派二 ○越中宇津一派二 ○備中住ーーと有水 ○肥州菊池住ーーと
手院一派文保比 字銘ニ有貞治比 字銘ニ有正長比 田一派天文比と云 有延寿国次男右
馬之允と △常陸国北条住吉左 △山城大掾藤原ーー○山城守藤原ーーと有越前福井刀匠堀川国廣の
号應安比 衛門尉ーーと有享保比 門本国信州松代住嶌田彦八助宗ノ嫡男同吉右衛門助宗と号寛永
丁卯の年山城大掾ニ任し後守ニ轉すと先祖菊一文字の例ニ △同二代目山城守藤原ーーと有鈕元ニ菊一文字
よりて鈕元ニ菊一文字と切枝菊と切たる物も有慶長比より造業物 と切同吉左衛門と号洛陽ニても造寛文の比 △
同三代目山城守藤原ーーと有同菊一と切 △同四代目山城大掾藤原ーー○山城守藤原ーー入道
吉五郎後市左衛門と号寛文中早世すと 裏銘新兵衛尉作と有物有同新兵衛と号寛文辛亥の年受領菊一と切
業 △同五代目山城守藤原ーーと有同九八郎と号始ゟ助宗中比 △伊勢守藤原ーーと有越前吉田郡
物 △国宗と有菊一と切享保比以後数代有といへとも未詳 △松岡ニ住すと云国次同人とも云り △
越中国藤原ーーと有播す △薩州住法城寺ーーと有根

國行 ○十六人 △三人
○来ーー或ハ二字銘ニ有城州来
守ニ住れとも云時代不明 △元金右衛門吉国の末の銘く の祖国吉男西岡ニ住すと建長
比来の字と有物ハ老成の作 ○来ーーと有城州住初 ○了戒ーー作と有城 ○當麻ーーと有和州當麻
と云一説建仁元年ニ生とく 名来行と有文和比 州住明應の比 一派兵衛尉と号正應の比

當麻とも斗も ○和州當麻一派二字銘ニ有 ○濃州赤坂千手院一派二 ○同二代目二字銘ニ有左衛門二郎と号
有良業 或ハ當麻とも斗も有正中比 字銘ニ有貞治比業物 後信州へ移て又越中へ移住して宇
津国久門と ○越州住藤原ーー或ハ国行作とも ○備前福岡一文字一派二字銘ニ有或ハ豊原 ○備前豊原
成應永比 有越前ニ貞治應安すへ間 万寿長○豊原と斗も有正應正和の間 住左衛門佐
と号二字銘 ○備中国住ーーと有 ○菊池ーーと有肥後 △豊後府内住大和大掾藤原ーー○豊後國住
ニ有康暦比 水田一派天文の比 延寿一派永徳比 大和守藤原ーーと有高田一派寛文比業物
△日州住源ーーと有飫肥の刀匠日 △薩州住ーーと有田中
高治助と号真改門葉享保比 △休右衛門と号時代不明

國之 ○一人
相州住ーー或ハ二字銘ニ有本国備前福
岡一文字の流ニて相州山内へ移る正應比

國進 ○一人 ユキ
肥州住ーーと有肥前散
位一派永正大永比

國幸 △一人
摂州尼崎住藤原ーー○摂州住ーー○桂本住藤原
ーーとも有二字銘も有堀川國廣門寛永の比業物

國光 ○九人 △九人
○粟田左兵衛尉ーー或ハ二字銘ニ有 ○来ーー老後○来源ーーと有城州来國俊門或
城州則國門寛喜貞永の比 八子とも云次郎兵衛と号建武比迄の作有り
○同二代目来ーー ○大和住ーー或ハ二字銘ニ有高市住保昌五郎 ○濃州赤坂千手院一派 ○三州住ー
と有文和比 と号後貞光又貞宗ニ改名しと云弘長比 二字銘ニ有貞治比 ーと有中
原一派時 ○新藤五ーー○相模国鎌倉住長谷部ーー○鎌倉住新藤五ーー法名光心○新藤五ーー法師
代不明 作或ハ二字銘ニ有相州鎌倉山内住すと本國城州粟田口國綱ゟ男幼年ゟしろく父ニ後

也備前三郎國宗相州へ下向の時門人と成 ◯相州住――或ハ二字銘にも有新藤太郎 ◯宇多――と有越
と云長谷部ハ新藤五か姓と云て永仁正和の間 ◯國重か後の銘く元應建武なん比 中宇津古入道と
唱ふるもの是也本國和 ◯宇多――と有越中 ◯来――と有丹波畠住國俊の弟進士太郎と号頼
州宇多郡の人文保比 ◯宇津一派應永の比 ◯正と有も同人と云元亨文和の間城州の二代目國
光同人 ◯但州住――○宝庄住――○宝郡住――○隼人正――とも有但馬 ◯同二代目但州住隼
とも云 ◯朝来郡法城寺の祖相州貞宗門長刀なん名人貞治なん比大業 ◯人助――と有景安
又国安ともも有と云 ◯作州住二字銘にも有本國筑前左の安吉弟ふく ◯備州長船――と有 ◯備後三
應永の比良業 ◯藝州鳥濱へ移住し後作州へ㝵居きと延文比 ◯次光門文明の比 ◯原住―
―作と有 ◯豊後国住人――と有本 ◯菊池住――或ハ二字銘にも有肥後 ◯豫州住――と有 △粟田口
大永比 國豊前削宇佐貞治比 ◯延寿一派國村門六郎と号應永比 ◯長亨比とらる △源来―
―○来源――とも有 △山城國住人二村左近源― △山城住藤原――作と有大 △摂州住――と有武藏守 △摂津
城州寛文延宝比 △――と有嵗長一族延宝比 △銘の物多し元禄正徳の間 △國次か初の銘るし業物 △国天
満住――作と有本国備中荏原水田一派 △勢州三重郡伊勢守――○日本鍛 △武藏住水田――と有本国備
大月安左エ門と号後東武へ移住きと寛文比 △治宗匠来――とも有延宝比と云 中荏原く三郎兵衛国重門
大月左兵衛国重か後 △江戸住水田――と有天 △法城寺橘――○橘――とも有 裏銘越前住と
の銘ろく寛安寛文の間 △満水田同人國重ともも有 △有物多し 助左エ門と号東武住きと貞享比

國路 △二人 △

出羽大掾藤原来――と有城州 △同二代目出羽大掾藤原――と有 △出羽大掾藤原――と
堀川国廣門元和寛永の間業物 △東武ふくも造る寛文天和の間 有二代目國路同人 △

國道 △四人

山城守源――と有豫州吉田住く △土佐國住――と有久国か嫡流ふく △日州住川崎――と有飫肥の
洛陽ふても造菊を切時代不明 △木村久太郎と号水心子正秀門寛政比 △国平か末彦三郎と号亨保比

國重 ○十七人 △廿八人

◯長谷部――と有城州五条坊門猪熊ふ住し長兵エと号本国和州千手院一派ふしく相州へ下り五
郎正宗門と成長谷部ハ師の姓るれ仁授りて氏とあせしとの私正中比○國 如此有タル物ニヒタツラ及ナシ 国 如此有タル物必ヒタツラ也 ◯
同二代目長谷部――と ◯同三代目長谷部――○長谷部六郎左衛門―― ◯相州山内住二字銘にも有新藤
有初免国信と切貞和比 ◯と有摂州天王寺又伊丹ふくも造る應永比 ◯五の長男新藤太郎と号後
國光に改正 ◯武州下原一派二字 ◯濃州赤坂千手院一派二字 ◯越前清泉寺住―― ◯宇多――と
和比と云 ◯銘にも有長亨比 ◯銘にも有孫左エ門と号建武比 ◯と有應永嘉吉の間 ◯有越中永
亨比 ◯上野住――と有越後ふく ◯備州長船――と有本國 ◯備中國荏原住――○備中国井原住 ◯備中松
業物 ◯も造長谷部門應永比 ◯和州住新太夫と号文和比 ◯左エ門尉――○辰房―― 裏銘備中荏 ◯山住左
原住ともも有河野与太郎為家か子ふく初免与八郎と号別家しく大月三郎左エ門と改
松山水田の祖と云亨禄天文の間辰房ハ三原の祢く按に為家門ふく生国ハ備後あるへし
兵エ尉――と有永禄天正の間一本 ◯備中井原住拾助――と有 ◯備中後月郡荏原住大月又三
水田村よハ康安比より鍛冶居住いと云 ◯水田一派天正比慶長に至る ◯郎――と有元亀天正比業物 ◯

豊後州住人｜｜と ○肥後延寿一派二字銘ヲ书大銘多し ○肥後延寿の末二 △山城国水田｜｜と书
书應永の比業物 ○国家男兵部と号康暦永徳比 ○字銘ヲ书文亀比 △本国備中寛文比 △
摂州住｜｜○池田鬼神丸｜｜○鬼神丸｜｜と书本国備中水田一派長兵エと号二代目河内守国 △武州住｜
助门池田ニ住セし故ニ氏とすと云寛文天和の间一本東武奥の岩城羽州秋田薩州ヱても造ると云業物 △｜｜と书下
原一派山本市右エ门と △但馬守藤原｜｜と书東武下原一派 △江戸住水田源｜｜と书大月太兵エと号 △水
号時代不明業物 △山本六左エ门後外記と号元禄比業物 △享保の末蒙 台命造ルしるゆ有 △田
住源｜｜と书東武住大月 △山城守藤原｜｜と书東武下谷ニ住を平安城の吉廣か末 △同二代目山城守藤
傳五郎と号享保元文比 △孫かして武藏太郎门後入道して一亮と号寛延明和の间 △原｜｜と书明和
安永 △賀州住｜｜と书辻村五代目兼若嫡女の △雲州松江住｜｜と书高麗治 △石州住｜｜と书水田一
比 △子四郎三郎と号ちと元禄享保の间 △兵衛と号ちと大明京同人也 △派大月六太夫と号元
禄 △播州住｜｜○津田｜｜と书 △多田八郎兵エ尉｜｜と书播州姫 △播州住髙橋喜左エ门尉｜｜と书関の
比 △姫路住半兵エと号寛文比 △路住宗重一族貞享元禄比 △流く明石住吉重男初名吉重と书元
禄 △備中国水田住｜｜と书左兵エ △同二代目大与五｜｜と书三郎兵エか長男大 △同三代目備中水田住大月勝
比 △男大月三郎兵エと号慶長比 △月与五郎と号有明と唱寛永の比良業 △兵衛｜｜と书寛文比業物
△山城大掾源｜｜と书備中水田三郎兵エか次男初名市藏後 △山城大掾源｜｜と細キ銘く備中水田一派大月 △備
△八郎左エ门と号東武かくも造る寛永寛文まん间業物 △傳七郎と号作州津山ヱても造ル貞享享保の间 △中

国水田住｜｜と书三郎兵エ门大月左兵 △備中水田住｜｜と书八郎左の门大月 △備中水田住｜｜と书三郎兵エ门
衛と号東武へ下り国光ヲ改明暦の比 △喜兵エと号寛文比左兵エ国光子と云 △大 月市兵衛と号寛文比 △
備中国水田住大月治右エ门 △備中井原住水田｜｜と号 △備中茌原住大月 △備中国水田住茂右衛门尉｜｜
｜｜と书市兵エ弟寛文比 △大月太兵衛と号貞享比 △清八｜｜と书元和比 ○備前岡山住｜｜と书八郎左
の门寛文 △備中国水田住｜｜と书大月又七 △同二代目備中国水田大月八郎左｜｜と △備中国源｜｜と书
延宝比 △後八郎兵エと号元禄宝永比 △书後の八郎左エ门と唱ふ正徳享保比 △水田一派大月与八郎と
号享 △水田住大又太郎橘｜｜と书備 △備中国住大月新重郎｜｜と书初 △同二代目備中国住人与五右衛
保比 △中時代不明月の字不书也 △代三郎兵エ门後阿州へ移住ちと方治比 △门｜｜と书水田一派備後福
山阿州かくも △備中水田住｜｜と书八郎左の门大月善右エ门 △備後福山住水田｜｜○備州三好住｜｜
造る延宝比 △と号讃州髙松へ移住し子孫此地ニ栄ふ寛文比 △と书与五右エ门の子大月傳右エ门と号元
禄 △豊後住水田｜｜と书 △肥前国住源｜｜と书 △同田貫｜｜と书肥後隈本 △日州住｜｜と书庄
比 △本国備中時代不明 △佐賀住貞享の比 △住国日出门享和文化比 △太夫と号慶長比

國繁 △一人
石州邑智郡井原住｜｜と书貞享元禄比

國茂 △一人
奥州涌谷住｜｜と书二代目国包门初名包重と书寛文比涌谷ワクヤト訓

國弘 ○八人 △一人
○平安城｜｜と书廣の字かも书應安比 ○城州粟田口一派二字銘ヲ书左近国綱门後加州ニ住ちと寛喜比 ○大和国住｜｜と书千手院一派應永の比 ○山内｜｜と书相州藤源治门江间藤源治太

夫と号廣の字ふも切 ○宇多｜｜と云越中 ○備州長船｜｜と云 ○藝州住二字銘ニ云本国筑
徳治比日同とも云 ○應永嘉吉比業物 ○廣直门應永の比 ○前定行男と云康永比安
藝の左 ○筑州息濱住｜｜○筑前国住｜｜○筑州住｜｜作 △摂州住｜｜と云貞享比自信
と唱ふ ○ともに左一门延文比南朝の年号ニ物多し良業 △濃守四代目国廣と称ろ者と見ゆ
國廣 ○四人 △十人
城州来一派二字銘 ○長谷部｜｜○鎌倉住人｜｜或ハ二字銘ニ云銘裏鎌倉住人と云からも有 ○長谷部｜｜と
○ニ云時代不明 相州新藤五の次男新藤次郎と号正中建武比の作多し後国光ニ改む ○云永享の年
号と切来一派の国 ○肥後国同田貫上野介 △城州一条堀川住信濃守藤原｜｜○洛陽一条住信濃守藤原｜｜
廣同人とも云て ○｜｜と云天文天正の间 △とも種々の銘有日州住信濃守｜｜ともに云本国日州飫肥ふして同州宮
崎ふても造る埋忠明寿の门受領の後天正の末年故ありて野州足利学校ニ寓居し此所ふての作も有帰洛後
石田三成の招ニよりて江州佐和山ふても造る高麗征伐の時釜山海の湊ニ於て造成の物あり帰朝後ニ又洛陽ニ住す
是新刀鍛刀の祖なり △自信濃守四代目｜｜と云摂州住す △武州住｜｜之作 △奥州中村住｜｜○源｜｜或ハ二字銘
慶長の作多し大業 △洛陽ふても造る貞享比国弘司人兄 と云延宝比 △ニ云尾州二代目信高门三善勘七と
号寛 △同二代目源来｜｜○於武州源｜｜作とも云三善と斗云も △山城守藤原｜｜と云鈕元ニ菊或ハ葵の葉を
文比 △同人東武来り丹後守兼道门と成元禄比二字銘も有 △切越前福井下坂一派寛文延宝の比業物
△和泉守藤原｜｜と云越前 △豊後国古国府住源｜｜○豊後岩下住 △肥前国住｜｜と云相右エ门廣貞
△下坂一派寛文比因幡守とも云 △源｜｜と云城州ふても造る文禄慶長比 △男兼廣の父橋本六郎左エ门と号

正保慶安 △豫州松山住｜｜
比業物 △と云時代不明
國寛 △一人
国寛作と云東武
住貞享元禄比
國博 △二人
△越後幕下士｜｜作裏銘真十
五枚と云大村加卜の別銘く
△国博作と云越前下坂一
派東武ふても造元禄比
國久 ○六人 △三人
○城州粟田口一派○藤兵エ尉｜｜或ハ二字銘 ○来｜｜と云城
○ニ云有国流ニて初め又五郎と号弘安比 ○州住右馬允と
号信濃小路ニ住して正 ○宇多｜｜と云越中應永永 ○備中国住｜｜と云七 ○肥州高来住｜｜作と云肥前
慶比又光同人と云非く 亨の间二代有とくとも未詳 カキ釘時代不明 城戸治部少輔と号天文元
亀の ○豫州住｜｜と云国 △摂津住源｜｜と云二代目 △奥州若林住｜｜と云二代目 △友山入道｜｜と云
间 ○益流應永の比 △伊勢守國吉门貞享比 △国包门寛文延宝比業物 △在所時代不明
國秀 ○五人 △三人
○城州粟田口一派二字銘ニ云国 ○来｜｜と云城州住鎌倉来 ○越前府中住｜｜と云越 ○備前国住｜｜或ハ
吉男左近太郎と号嘉元比 ○国次门彦太郎と号正中比 ○中の宇津一派應仁比 ○二字銘ニ云備中
片山へ移住 ○備中青江一派二 △奥州二本松住｜｜と云古山東藏と号 △羽州永居住｜｜と云加藤 △肥後国延寿国
よと貞治比 ○字銘ニ云貞應比 △東武ニ住して水心子正秀门後宗次ニ改 △勘郎と号水心子门享和比 △村未孫｜｜と
云国信男田中寿助と号初め
国延と切水心子门後国日出と云
國出 △二人
東肥｜｜と云田中国
秀の後の銘文化比
國平 ○三人 △四人
○長谷部｜｜と云城州
猪熊住して初代国重
门建 ○千菜｜｜と云奥州 ○宇多｜｜と云越中 △摂州住藤原｜｜○藤原｜｜と云真改门河嵜作
武比 ○頼安同人文和比と云 ○文安比と云業物 △兵衛と号後日州飫肥へ移住して国義の父寛文

正徳の間△加州藤原ーーと号陀羅尼一派松戸△豊後府内住山城大掾藤原ーーと号ノ△薩摩国住ーー
業物△吉兵エと号家弘ヵ父貞享宝永の間△高田住とも号初め義行と切寛文の比○奥太郎藤原
ーーと号奥次郎左エ門後惣兵エと号初め忠金中比包善とも切奥忠清の従弟にして則ち門人
也後惣左エ門正房門と成元禄宝暦の間七十有余歳迄造る業物享保中正清安代関東へ　召れ
し時国平老功の者なれば後
見の心得にて附副出府せしと云り

國守 ○七人 △二人

○城州粟田口一派二字銘にて号久四郎○三州住中原ーーと
と号正應比一説建武比と云○号應永比国盛同
人と○山内ーーと号相州藤源治○宇多ーーと号○備前ーー或六二○肥州ーーと号肥後延寿一派
云○流梅藤太と号正慶比○越中永享比○字銘にて号正應比○國政男左兵エ尉と号太永比
○薩州波平一派二字△大和守藤原ーーと号△岩崎孫助尉藤原ーーと号紀州田辺
銘にて号文暦比△濃州関一派寛永比△住勢州津まても造る寛永兼應の間

國盛 ○二人 △一人

○
三州ーーと号中原と斗号も同人○備前大宮物の祖二字銘にて号本国城州△濃州関住ーー
中原平三郎と号應永比猪熊大宮弥六国盛の孫へ文應比△と号国守同人

國森 ○一人

宇多ーーと
号越中
嘉吉比

國林 ○一人 △一人

○相州住ーーと号△豫州住ーーと号宇和島
大永享禄の間　初代の国房か始めの銘

國元 ○一人 △一人

○肥州菊池住ーーと号延寿國安男
文太夫と号永
享の比業物△武蔵守藤原ーーと号摂州天和の比

國本 ○一人

豫州住人ーーと号應安比

國季 ○一人

城州粟田口一派二字銘にて号弘安なん比

國末 ○七人

○城州粟田口一派二字銘にて号建保比○末ーーと号城州末六郎と号相州に住し比企末と唱ふ文保比国行次男と云○大和住ーーと号時代不明○備中片山一派二
字銘にて号備前よ住せしと云應永比○肥後延寿一派二字銘よ号國時男四郎と号延文比○肥州菊池住ーーと号末の延寿一派天文比○波平ーーと号薩州谷山一派弘長比

國助 ○六人 △七人

○城州末一派二字銘よ号本国和州と云正中比○駿州島田住ーー或六二字銘にて号物后五代目義助二男文亀天文の間○山内ーーと号相州山内一派元應比○江州蒲生住二字銘にて号貞治比○
五郎三郎入道ーーと号備州長船一派備中にても造る明徳比○肥前ーーと号時代不明△河内守藤原ーーと号生国を尋ぬるに勢州亀山の城主関氏一政の騎士にして関家滅亡の後京師へ出堀河の国廣か門と成刀剣を造
る又坂陽へ移住す法名曳眼と云慶長慶安の間業物△同二代目小林河内守ーー○河内守ーーと号壮年の作ハ銘小振まて△中心も小肉宗之法名源佐と云万治延宝の間中河内と唱業物△同三代目河内守ーーと号小林六之丞
と号天和元禄の間法名浄耀と云業物△同四代目河内守ーーと号同藤左エ門△と号元禄享保の間法名玄英と云△石見大掾藤原ーー○石見守藤原ーーと号初代△河内守の舎弟にして堀川国廣門小林源之
丞と号坂陽よ住後勢州神戸へ移住せと寛文比業物△同二代目石見守藤原ーーと号同市之丞と号△東武又豊後杵筑にても造る貞享比△和田戸山住来ーーと号東武△高田外山よ住せと元禄なん比

國次 ○一人 △一人

○和州住ーーと号時代不明△奥州仙臺住ーーと号二代目國包門後同州△二本松へ移住せ寛文比助又佐の字なもち

國資 ○三人

○城州粟田口一派二字

銘ニ打時 ○備中住ーーと ○肥後延寿一派二字
代不明 打時代不明 銘ニ打應安比

國佐 ○四人 △源ーーと打常州 △源ーーと打或ハ左の
水戸住享保比 字斗も切藝州廣
嶋刀匠桒原六兵エと号則房门ふーて慶安中師の養子と成後離
縁し方治中坂原弥右エ门の门と成相州傳を専ら造る延宝比迄の作有業物 △同二代目源ーーと打桒原彦
四郎と号享保乙亥の年国
佐ニ改む宝暦壬申の年没すと △同三代目源ーーと打桒原金吾と号寛延己巳の
初ヨり慶栄と打し死未詳 △年上京して三代目久道门と成寛政比迄存在すと

國純 ○一人 城州粟田
口一派二字
銘ニ打吉光门丹波
石見ふとも造ニ嘉元比

國住 ○二人 ○奥州住ーーと
打時代不明 △豫州松山臣藤原ーーと打高橋長七と号東武
ニ住すと國吉门と云天明文化比鎗を多く造る

國分 ○一人 和州廣瀬郡国分寺の门前ニ住ーーて二字
銘ニ打嘉祿の比兼枝又瀧と斗打も同人と云

國拜 ○一人 来ーーと打城州
時代不明

國暮 ○一人

与州住ーーと打文
安比字體不明

國十 ○一人 五十山ーーと打在
所時代不明

國 ○一人 肥前住ーと
打時代不明

邦祝 ○一人 菊池住人ーーと打肥
後国日出门文化比

軍勝 ○一人 軍勝作と打奥州
月山一派永正比

月國 ○一人 尾州住二字銘
ニ打應安比

月光 ○一人 和州永仁比二字銘ニ打
安則同人と云尾州ふても造

月西 ○一人 尾州住二字銘ニ打應
安の比何れも訓不明

月山 ○ 奥羽ニ一门蔓リ同銘多し此銘の事を尋ぬるふ月山ハ今羽州の内ニある山の名あり高山ニ
て雲霧ふかし此谷间の霊水を汲て焠刄なん湯ニ用ゐ故ニ月山と銘を打といへり按ニ
天智比の元祖月山の代ふハいまた中心ニ自己の名ハ打さる比なれハ斯ハ銘セしとらゐ夫より末ニハ人
名の如く用ひし也遠州雲州丹波長州豊前薩州其外ふも同族多く栄ゐ○月山訊誦と銘せる
物ありれハ訊誦も月山一派の者と見へたり末の作ニ至てハ月山を姓氏の
如く用ひて月山某と銘せる冶工多し夫〻時代等一〻詳ならしれ

月入 ○ 奥州二字銘ニ打時
代不明二人有と云

月助 ○一人 羽州山形住ーーと
打建暦比と云

草家安 ○一人 薩州谷山波平一派法師と云
草安と打も同人延文の比

ヤ

安康泰保補

安家 ○六人 ○一人 ○備州長船ーーと打 ○備中片山一派二字 ○瀬尾刑部尉ーーと打 ○備中片山一派二
元安门應永比 銘ニ打建長の比 備中片山一派正和比 字銘ニ打應永
比 ○豫州住ーーと打松山住すと○高溪南○ ○波平ーーと打薩州 △武州住ーーと打
高津南とも打珠慶と号土州ニても造明徳比 谷山一派文亀比 △安定门寛文比

安張 ○一人 波平
ハ甘 ーーー

と打薩州谷山一派橋口石見守入道壽庵と号ス大守
義弘ニ俱セられ髙麗へ渡り造成の物有天正慶長の间

安利 ○三人 ○一人 ○城州粟田口一派二字 ○ ○豆州住ーー
銘ニ打正中の比 と打時代

不明 ◯波平ーーと号薩州谷山一派文明比 △武州住ーーと号安定門或ハ安俊同人と云万治比 △隅州住ーーと号元平門奥藤次郎と号文化の比

安俊 ○二人 △一人 ◯備州長船ーーと号元安門應永比 ◯波平ーーと号薩州谷山一派文明比 △奥州仙臺住ーーと号安倫門寛文比業物

安友 ○一人 △一人 ◯江州日野住ーーと号永享比 △豊後藤原住ーーと号髙田一派寛永比藤原と云地名未詳

安朝 ○一人 波平ーーと号薩州谷山一派永享比

安倫 △七代 △藤原ーーと号二字銘も有奥州仙臺住余目五左エ門と号遊慶倫祐男ナりーーハ初名倫祐と号承應甲午の年東武へ来テ飛田安定門と成改名すと帰邑の後明暦乙未の年没造成の物稀也 △同二代目藤原ーーと号五左エ門と号明暦丙申の年東武へ来り父の如く安定門と成後帰国す此作とせす初代と唱業物 △同三代目仙臺住ーー或ハ二字銘ヿ号仲兵エと号始め定廣又安廣と切同邑永重の子と云貞享元禄比 業物 △同四代目仙臺住ーーと号仲右エ門と号正徳享保比 △同五代目仙臺住ーーと号二字銘ヿも切清右エ門と号兼次門後永俊門と成寛保比 △同六代目藤原ーー或ハ二字銘ヿ号久吉と号宝暦比壮年ニて業を止む △同七代目仙臺住ーーと号仲兵エと号永茂門寛政文化の比

安儔 △一人 播州住ーーと号赤穂の刀匠岡本庄司と号初代鷹諶門後寿格門と成坂陽ニても造る寛政文化比

安辰 ○一人 波平ーーと号薩州谷山一派時代不明

安時 ○一人 波平ーーと号薩州谷山一派永禄比

安至 ○二人 チカ ◯豫州住ーーと号嘉吉比一本貞治比と云 ◯豫州住ーーと号松山住すと天文比

安周 △一人 波平ーーと号薩州谷山一派橋口四郎左エ門と号宝永元文の間

安興 ○一人 波平ーーと号薩州谷山一派時代不明

安勝 ○一人 豫州住ーーと号松山住す永禄比業物

安一 ○一人 波平ーー作と号薩州谷山一派文明比良業

安和 △一人 波平ーーと号薩州谷山一派安常ヿ初名の銘と云

安陰 ○一人 カケ 波平ーーと号薩州谷山一派文明比

安門 ○一人 波平ーーと号薩州谷山一派時代不明

安頼 ○一人 播州宍栗住権太郎後権守と号二字銘ヿ号本国和州寛元比

安吉 ○五人 △四人 ◯藝州小春住喜太郎と号二字銘ヿ号本国筑前ゆへ慶源左の門初名定行と号當所へ移りて安吉ヿ改む左の字ヿ斗りも号文和比業物 ◯長州住ーー○長州道元ーー作或ハ二字銘も有本国筑前左エ門尉安吉の子と云延文貞治の間今の世長府ニ道元鍛冶と唱ヿ遺跡あり業物 ◯豊後國𬒈新太夫ーーと号正應の比 ◯筑前隠岐濱住左エ門尉と号二字銘ヿ号慶源左の男長府ニても造る左の字斗も切建武の比大業 ◯波平ーーと号薩州谷山一派文明比 △遠州横須賀臣ーーと号国安男中塚松次郎と号東武ヿ住文化比より造 △藤太ーーと号銘裏真十五枚甲伏作と云銘多ーかトの門東武ヿ住すと寛永の比 △筑州住源ーーと号寛永比左の末と云 △薩州住ーーと号元平門川口喜右エ門と号文化比

安善 ○一人 入道平ーーと号薩州谷山一派貞治應安比

安義 △一人 武州住ーーと号大和守安定門寛文元禄比

安良 △一人 源ーーと号相州住元和比

安榮 △一人 遠州横須賀住ーーと号国安門大田錬藏と号東武住すと文化比

安好 △一人 波平ーーと号薩州谷山一派勘之丞

男橋口勘助
と号文化比
安世 ○一人 波平ーーと云薩州
谷山一派時代不明
安代 △一人 主馬首藤原朝臣ーー○主馬首一平ーーと云
薩州喜入(キイリ)住王置小市郎と号谷山波平一派安
貞ゟ男なりしく安行の門也享保辛丑の年東武へ来り依 台命刀剣を造る其功によりて葵一葉を賜ふ
是より銘元に葵の葉を云同年帰国の時於京都受領兼元の番鍛冶の旧例によりて 勅使姉小路殿を
以て従五位下主馬首に任ずる同年四十二歳也大業主水正正清の受領も同事也
安但 ○一人 下野足利住ーー
と云天文の比
安忠 ○一人 備前国ーーと云長船
近忠流と云建治比
安高 ○二人 ○備前二字銘
に云建永比 ○備州長船ーー
と云貞治比
安王 ○一人 波平ーーと云薩州谷山
一派王の字ゆも云天正比
安綱 ○四人 △一人 ○遠州住二字銘に云應永
比一本建久比と記せり ○奥州宮城郡住二字銘に云国
綱とも云羽州共も造建長比 ○備州長船ーーと云縄
の字ゆも切應永の比 ○波平ーーと云薩州
谷山一派時代不明 △越前国ーーと云縄の字
ゆも切東武へ移住と慶長比
安次 ○四人 △四人 ○江州住ーーと
云永享比 ○備州長船住ー
ーと云文和比 ○備中青江一派二
字銘に云建暦比 ○波平ー
ーと云薩州谷山一派本国
備中延文比業物 △大和守ーーと云本国越前後東武に住まと飛田
△安延も後の銘と云初名安継と云寛文比業物
△藤原ーーと云奥州仙臺住大友藤八郎と号
△東武へ来り安定門後河内守国次養子と成
万治寛
文の比 △隼人佐源ーーと云長州府中住藤島隼人と号
△天和辛酉の年東武へ下り同癸亥の年帰国まで
△波平ーーと云薩州谷山一派
涼川杢左エ門と号慶長比
安繼 ○一人 △一人 ○

波平ーーと云薩州
谷山一派明徳比 △大和守ーーと云寛文甲寅
の年号有安次の初銘なり
安恒 ○二人 ○備中正恒流二字
銘に云貞永比 ○備中国ーーと云片
山一派應永の比
安經 ○一人 波平ーーと云薩州
谷山一派時代不明
安常 △一人 波平ーーと云薩州谷山一派安国男橋品
郎兵衛と号初名安和と云宝暦明和比業物
安成 ○三人 ○備州長船ーー
と云康暦比 ○豊後紀一派二字
銘に云建永比 ○波平ーーと云薩州
谷山一派嘉慶比
安生 ○一人 波平ーーと云薩州
谷山一派應永比
安永 ○三人 △一人 ○城州二字銘に
云時代不明 ○備州長船ーーと云
安高門應永の比 △武州横山住人ーー或六二
字銘に云安定門寛文比
安長 ○一人 豫州住ーーと云天文
比一本永享比と記せり
安村 ○二人 ○大和国ーーと云千手院一派平
九郎と号康の字ゆも切寛元比 ○波平ーーと云
谷山一派時代不明
安宗 ○二人 △一人 ○伯耆国住人ーー
と云時代不明
○波平ーーと云薩州谷
山一派永禄比業物 △奥州波岡住ーーと云
安定門寛文の比
安氏 △一人 波平ーーと云薩州谷山一派安常男橋口
勘之丞と号享和辛酉の冬五十九歳の時
安行
に改
安則 ○六人 △一人 ○尾州二字銘に云本国和州
月光同人と云永仁比 ○伯州大原一派二字
銘に云天福比 ○備前福岡一文字一派二
字銘多ー正治の比 ○備前
国ーーと云長船一派
建長比二字銘も有 ○豊後紀一派二字銘に云瓜
實と唱安順とも切正治比 ○波平ーーと云薩州谷山一派与
左衛門と号文和應安の間 △奥州江刺郡水沢
住ーーと云平吉

と号五代目安倫门仙臺ゟくも造享保比

安順 ○二人

○城州二字銘ニ寺寛元比

○豊後安則同人

安儀 △一人

武州住——と寺大和守安定门延宝天和の比

安信 ○五人 △三人

○越後山村一派二字銘ニ寺後正信ニ改メ又信国ニ改む應安比

○備州長船——と寺安成门永徳の比

○備州長船——と寺二永享比外ニ又一人有と云

○了戒——作と寺豊後文安比

○波平——作と寺薩州古谷山一派元暦比と云

△城州住橘——と寺本国紀州石堂一派康信ともおと云寛文比

△奥州水沢住——と寺五代目安倫门喜助と号享保比

△羽州新庄住——と寺長久男高橋市郎兵エと号安永享和の间

安延 ○一人 △一人

○波平——と寺薩州谷山一派了戒信光门と成應永比

△武州住——と寺安定男飛田宗太夫と号父子両作多し万治庚子の年十七歳と云後安次と改む

安後 ○一人

波平——と寺薩州谷山一派後の字の誤れ永禄[illegible]比

安國 ○二人 △四人

○長州住——と寺左安吉门應安比

○二代目顕国ゟ後の銘と云ふ

○波平——と寺薩州谷山一派時代不明

△武藏太郎——と寺銘裏真十五枚甲伏作と云銘多し武州八王子住下原一派大村加卜の门享保己酉の年蒙台命刀劔を造る法名卜省と云相州康國ゟ末孫也とも云々

△同二代目武藏太郎——と寺幸藏と号初名安英又康国ともおと云元文比父子とも東武麻布ゆくも造る

△紀州住——と寺石堂一派貞享比

△波平大和守平——と寺薩州谷山一派安行三男橋口四郎兵衛後三郎兵衛と号元禄享保の间業物

安正 △一人

波平——と寺薩州谷山一派安行二男橋口六右エ门と号初名安吉と寺元禄比業物

安當 △一人

波平——と寺薩州谷山一派享保比後安廣と寺

安宗 ○一人

波平——と寺薩州谷山一派享禄比

安房 ○一人

備前福岡一文字一派二字銘ニ寺兼久比

安英 △一人

武州住——と寺幸藏安国ゟ初名の銘なり

安輝 △一人

大道藤原——○三河守大道藤原——と寺本国濃州峯山住室屋関の末丹後田邉ニ住と三州ゆくも造寛永比

安秋 ○一人

波平——と寺薩州谷山一派時代不明

安明 ○一人 △一人

○波平——と寺薩州谷山一派永和比業物

△波平——と寺薩州谷山一派安元男橋口伊兵エ後二平覚と改安永天明比

安在 △二人

△波平——と寺薩州谷山一派安国二男山助と号宝暦比

△○薩州喜入住玉置一平——○薩州住一平藤原——と寺清房二男義清ゟ後の銘之安永比

安貞 ○三人 △三人

○雲州住——或ハ二字銘ニ寺仁田郡忠貞一派永正比

○備前福岡一文字一派二字銘ニ寺康貞同人と云弘安比

○筑州住——と寺左の安吉男延文比業物

△武州住——と寺武州八王子住井出淺右エ门と号武藏太郎の门麻布ゆくも住と享保比松齋——とも寺

△薩州給黎郡住中村一平藤原——○一平山城守藤原——と寺初め波平安行门後伊豆守正房门と成貞享比ニ至る業物

△薩州住——と寺元平门嵜金次郎と号文化比

安定 ○三人 △一人

○備中住——と寺時代不明末の物

○豫州住——と寺天文の比

○波平——と寺薩州谷山一派永正の比又天正とも

△飛田大和守——○大和守——と寺本国越前ニ住と宗兵エと号仙臺ゟくも造寛永寛文の间良業

安眞 ○一人 波平ーーと打薩州谷山一派時代不明

安積 サ子 ○一人 波平ーーと打薩州谷山一派時代不明

安清 ○二人 △一人 ◯大和国ーーと打千手院一派と云延文比 ◯備州長船ーーと打長禄比と云 △武州住源ーーと打元文比

安行 ○六人 △二人 ◯江州住ーーと打應永比 ◯備中建暦比二字銘ま打備前ニても造 ◯筑前左一派二字銘ま打喜太郎と号後藝州小春へ移住ー安吉ト改暦應比 ◯豊後高田一派二字銘ま打天文比と云 ◯薩州住人波平ーー○波平ーーと打谷山一派正和比大業 ◯同二代目波平ーーと打正中ごろ比 △大和守波平ーー○大和守平ーーと打薩州谷山一派安張男橋口三郎兵エと号伊豆守正房门寛文比業物 △波平ーーと打薩州谷山一派安常男橋口勘之丞と号始名安州後安氏と切享和壬戌の年改名す

安光 ○七人 △二人 ◯奥州住二字銘ま打羽州ニても造る貞治比 ◯伯州住二字銘ま打應永比 ◯備州長船ーーと打光弘门明徳比 ◯天国ーーと打豊前ま住豊後ニても造文和比 ◯了戒ーーと打豊後嘉吉比業物 ◯薩州谷山郡波平ーー○波平ーーとも打延慶元弘比の年号打物多し ◯波平ーーと打薩州谷山一派應安比 △越前国ーーと打時代不明 △薩州住ーーと打元平门池田甚太郎と号文化比

安満 ○一人 △一人 ◯波平ーーと打薩州谷山一派應安比 △波平ーーと打薩州谷山一派時代不明

安充 ○一人 △一人 ◯薩州ーーと打谷山波平一派建久比 △波平ーーと打薩州谷山一派安周男橋品郎左エ门と号享保元文比

安重 ○二人 △二人 ◯濃州赤坂関一派二字銘ま打文保比 ◯波平ーーと打薩州谷山一派應永比

△奥州遠田郡中曽祢住ーーと打四代目安倫门喜左エ门と号元禄比 △紀州住ーーと打藤原とも切寛文比

安弘 ○六人 ◯越州住ーーと打越前千代崔一派永正比業物 ◯備州長船ーーと打嘉吉比 ◯備中片山一派二字銘ま打建保比 ◯備中国ーーと打片山一派建武比 ◯筑前左一派二字銘多く貞和比業物 ◯波平ーーと打薩州谷山一派時代不明弘治比とも云

安廣 ○二人 △四人 ◯平安城ーーと打天正比と云 ◯筑州住ーーと打左一派應永比 △奥州仙臺住ーーと打三代目安倫か初銘也 △紀伊国ーー○於紀州ーー○富田源藏橘ーー○備中守當一橘ーーとも打石堂一派初代康廣同人と云 △肥前国ーーと打寛文比 △波平ーーと打薩州谷山一派安正二男橋口清右エ门と号始名安當と打享保比

安秀 ○二人 ◯備州長船ーーと打太郎左エ门と号康秀とも打永和比 ◯波平ーーと打薩州谷山一派明徳比

安久 ○四人 ◯越中宇津一派二字銘ま打應安の比 ◯備州長船ーーと打元安门應安比 ◯肥前住橋本源太兵エ尉と号少貳家ま仕ふ本国城州嘉禄中筑紫へ移る ◯波平ーーと打薩州谷山一派永禄比行久同人

安元 ○三人 △一人 ◯江州住ーーと打文安比 ◯備州長船ーーと打後の康光门嘉吉比 ◯波平ーーと打薩州谷山一派應永比 △波平ーーと打薩州谷山一派安正男橋口長兵エ後兵右エ门と号初名安休と打享保比

安守 ○二人 ◯伯州大坂住ーーと打至徳比 ◯備州長船ーー○清三郎ーーとも打永亨比

安盛 ○三人 △一人 ◯平ーー造と打豊後高田一派文明の比 ◯筑前左一派二字銘ま打應永比

△薩州住ーーと打元平门山本伊助と号文化比 安認（モロ）○一人 備州長船ーーと打永亨比 安隅 ○一人 波平ーーと打薩州谷山一派長禄比と云 安住 △一人

波平ーーと打薩州谷山一派勘之丞二男橋口助右衛门と号文化比 安宛 ○一人 波平ーーと打薩州谷山一派永禄比 安梨 ○一人 波平ーーと打薩州谷山一派亨禄比と云

安 ○一人 備中青江貞次同人と云何代目か不詳

康家 ○三人 ○備州長船ーーと打康光门應永比業物 ○備中片山一派二字銘に打弘安比 ○備中国ーーと打應永比片山一派か

康春 ○一人 相州住ーーと打小田原刀匠康春とも打大永比

康利 ○一人 備中二字銘に打俊の字をも切文永比

康俊 △一人 紀伊国ーーと打石堂一派天和比

康富 △一人 紀州住ーーと打石堂一派貞享の比

康吉 △一人 摂州住ーーと打寛文比

康高 ○一人 備州長船ーーと打明徳比或ハ寛正の比とも云

康忠 △一人 摂州住ーーと打石堂一派延宝比

康恒 ○二人 ○備中片山一派二字銘に打本国備前貞永比 ○備中国住ーーと打片山一派永亨比

康連 ○一人 備中国ーーと打片山一派時代不明應永比とも云

康次 ○三人 △一人 ○濃州赤坂千手院一派二字銘に打應永比 ○備中青江一派二字銘に打康の字斗も切正應比 ○備中国ーー或ハ二字銘に打青江一派建永の比 △紀伊国ーーと打

元禄比

康繼 ○一人 △八人 ○和州千手院一派二字銘に打綱とも打至徳比 △肥後大掾ーー○肥後大掾藤原越前ーー○ーー以南蠻鉄作之とも打江州志賀郡西坂本の住下坂市之丞と号和州住廣長の男にして文禄年中受領してより肥後大掾藤原下坂と打物多し慶長の首年越前福井へ移住し裏銘に必ず越前国と切同癸丑の年於駿府葵の 御紋を拝領す東武にても造る初代ハ 御紋を猥りに離らざりしとぞ凡そ慶長甲寅比迄作る 本邦南蠻鉄を以て刀剣を造るハ康継を始とス良業 △同二代目○康継以南蠻鉄於武州江戸作之○越前ーー以南蠻鉄作之とも打下坂市之丞と号法躰して入道康悦 △同三代目○康継以南蠻鉄於武州江戸作之○越前ーー以南蠻鉄作之とも打同市之丞と打寛永比良業 △と号寛文比此三代目迄ハ越前福井に居住して隔年に東武へ出府し 公用を奉む故に於武州江戸作之と銘を打在邑の作にハ於越前作之と打又四代目より東武定居するによりて於何州作らと云銘なしともあるべし又三代迄ハ越前の紀内を同伴して往来せし故に葵の 御紋ハ紀内に彫らしむよりて美く四代目より自彫也と云々業物 △同四代目○康継以南蠻鉄作之と打同市之丞と号東武に定居すと貞享比 △同五代目同銘に打同市之丞と号享保甲寅の秋五十二歳にして没 △同六代目同銘に打初名ハ逸八元繼と打享保甲寅の冬市之丞康継に改 △同七代目同銘に打同市之丞と号延享丙寅の秋相續し明和戊子の春没すを △同八代目同銘に打初名ハ逸八元継と打明和戊子の冬、市之丞康継に改む

康綱 ○一人 △四人 ○江州西坂本住二字銘に打下坂八郎左エ门と号天正文禄比 △江州平住阿波守藤原ーーと打後坂陽に住す延宝

元禄の間 △越前守藤原――と打入道とも打下坂一派本国越前後東武ニ住ス元禄比 △大聖持肥後守藤原――と打於賀州作之とも切元禄比業物 △紀伊国――○紀伊国橘――と打

康廣門坂陽ニても造る寛文比

康永 ○一人 △二人

○備州長船――と打應永永享比業物 △摂州住――○河内大掾源――○河内守源――と打本国紀州石堂一派八左エ門と号坂陽ニ住ス羽州新庄ニても造る寛文天和の間業物 △越前国武藏大掾藤原――と打二代目康継門寛文比

康氏 △二人

△越前国下坂――と打万治比 △佐州住――と打関の流也貞享の比

康則 ○二人 △一人

○備中片山一派二字銘ニ打貞應比 ○備中国――と打安則とも切正安比又正長比一人有と云 △摂州住――と打紀州石堂一派貞享の比

康信 △一人

紀伊国橘――と打富田孫兵エと号初代康廣門後坂陽又洛陽ニ移住ス安信同人

康國 ○一人 △一人

○相州住――と打永正大永比雕物佳く大業 △武藏太郎――と打二代目安国ガ後銘之

康英 △一人

武州住――と打幸藏康英ガ中比の銘也

康貞 ○二人 △一人

○備前福岡一文字一派二字銘ニ打建長比 ○備州長船――と打永享比 △武州住下坂――と打三代目康継門元禄比

康定 △一人

摂州住――と打紀州石堂一派仁兵エと号延宝比

康清 ○一人

加州住藤原――と打天文比

康行 ○二人

○備前福岡一文字一派二字銘ニ打兼久比 ○備州長船――と打康光門應永比

康光 ○三人 △一人

○相州小田原刀匠二字銘ニ打康国門亨禄比 ○備州長船住長井左京亮――○備州長船左京亮――○左京亮――○備州長船――とも打修理亮盛光の弟ニして兄弟両作有應永永享比大業 ○備州長船右エ門尉――○備州長船――或ハ二字銘ニ打應永の末より文安比迄の作有銘細メ也業物 △紀伊国上村――と打康綱門延宝の比

康道 ○三人 △四人

○濃州赤坂住――と打千手院一派天正比 ○備州長船――と打義景流應永の比 ○備中片山一派二字銘ニ打貞應の比 △武藏守橘――と打本国紀州石堂一派土井七兵エと号寛文比洛陽ニても造る △大和守源――と打本国濃州関貴道の一族尾州ニても造寛文比 △権現堂――と打甲州府中住五郎左エ門と号享保元文の比 △越前国下坂――と打六兵エと号二字銘も有元禄比

康重 ○五人 △三人

○千手院――と打和州正應比 ○武州住――と打下原一派周重男永正の比業物 ○同二代目武州住――と打山本藤右エ門尉と号天文比 ○同三代目武州住――と打山本藤左エ門と号天文比 ○備州長船――と打應永比 △武州下原住――と打山本内記と号寛永比業物 △紀州住――と打安重同人 △土州住――と打時代不明

康弘 ○一人 △一人

○濃州赤坂千手院一派二字銘ニ打貞治比 △肥前国――作之と打鎺元ニ一文字を切行廣門天和比

康廣 ○一人 △五人

○相州住――と打小田原刀匠元亀の比業物 △備中守橘――と打裏銘鎺元ニ菊を切将監為康ガ二男冨田五郎左エ門と号ス本国紀州ニして洛陽又坂陽ニも住ス當一と副銘切物有寛文比業物 △同二代目備中守橘――と打冨田惣右衛門と号ス坂陽ニ住ス父のごとく菊

と切枝菊も△同三代目備中守橘ーーと打△駿河国ーーと△肥前国佐賀住源藏藤
切貞享比△菊父の如ーー正徳元文の间　打時代不明　原ーーと打初代行廣同人と云　**康久**○二人
○備州長船ーーと○備州長船一泒康久作　**康守**○一人　備前国ーーと打正安
打應永の比　と三字ヲ切永正比　比康の字斗も打長船一泒之
泰家○一人　備中片山一泒二字銘　**泰近**△一人　能登守ーーと打濃　**泰吉**○二人　○阿州住ーーと
ヲ打康家同人と云　州関刀匠時代不明　打貝府一泒
應永　○同二代目阿州住　**泰次**○一人　備中青江一泒二字銘ヲ　**泰綱**△一人　紀伊国ーーと打大和
比　ーーと打文安比　打次郎丞と号寛元比　守とも打と云延宝
比　**泰長**○一人　阿州住ーーと打　**泰永**○一人　阿州住ーーと打　**泰宗**△一人　泰宗作と打在所時
海府一泒大永比　海府一泒康正比　代不明相州ふゝ慶
長比　**泰信**△一人　紀州住ーーと　**泰之**○一人　若州小濱本郷住　**泰行**○三人　○豊後高田一泒二
とも云　打時代不明　ーーと打大永の比　字銘ヲ打天正
比　○阿州海部住ー　**泰幸**△三人　△相撲守藤原ーー○前相撲守藤原ーーと打本国　△同二代目能
ーと打明應比　濃州ふーゝ尾州名古屋ヲ住と延宝貞享の间　△登守藤原
ーーと打元禄比誤〻　**泰光**○二人△一人　○武州下原一泒二字銘多ー　○備後国三原住ー　△肥前国ーー
熊の字ヲ切物多ー　本国相州小田原天文比　ーと打文明比　ーと打肥後

守とも打と云　**泰重**○一人　藤島ーーと打　**泰平**○一人△一人　○和州住ーーと　△加州金府住ーーと打松
時代不明　加州天正比　打時代不明　戸七郎と号まて寛政比
泰久○一人　若州本郷住ー
ーと打天文比
保則○一人△一人　○二字銘ヲ打在△武藏国住ーー造と打樋口　**保房**△一人　文珠ーーと打左字　**保行**△三人
所時代不明　金左エ門と号明和天明の间　ヲ切和州寛文比
豊州高田住ーーと　**保光**○一人△一人　○備州長船ーー△文珠源ーーと打　**保弘**○一人　備前国左兵衛尉
打忠行门享保比　と打永享比　和州寛文の比　ーー造と打二字
銘も有　**保壽**△一人　武州住ーーと打金左エ門二　**保安**○一人　備州長船一泒二字
正和比　男樋口金次郎と号文化比　銘ヲ打時代不明

補吉○一人　二字銘ヲ打在
所時代不明

て

正政昌當将臣改剛増種九舞希又万松

正家○七人△五人　○勢州住ーーと打桑　○藤原ーーと打播州印南郡山中新村住黑田助六　○備中正
名千五一泒永正比　と号と備後三原正近末流と云天正元亀の比　恒流二

字銘ヲ切 ○備後住ーーと切三原中興の祖之 ○同二代目備州住ーー作或ハ二字銘ヲ切 ○同三代目備州
寛元比 ○右エ門尉と号徳治比大業 ○左兵エ尉と号初メ正廣とも切建武比 ○住ーーと切貞

治永和 ○同四代目備州住ーーと切左兵エ △播州姫路住大和大掾藤原ーーと切天正の △同二代目藤
比良業 ○尉と号應永比最上大業物 △正家男黒田助六と号後守ヲ溥を元和比 △原ーーと切

同仁左エ門と △同三代目藤原ーーと切同 △同四代目藤原ーーと切 △野州喜連川住ーーと切金子
号寛文比 △源右エ門と号元禄比 △同源左エ門と号享保比 △平太と号水心子正秀門享和比

正春 △一人

播州姫路住ーー○藤原ーーと切三代
目正家門黒田太郎右エ門と号享保比

正俊 ○六人 △六人

○勢州住ーーと切桑 ○駿州住ーーと切小田原の ○濃
名千五一派延徳比 ○政俊同人と云大永比 ○州

住ーー或ハ二字銘ヲ切坂 ○月山ーーと切 ○備後住貝ーー或ハ二 ○備州三原住ー △越中守藤原ーー
倉一派天文比業物 ○奥州時代不明 ○字銘ヲ切應永比 ○ーと切文禄比 △と切城州西洞院夫

川住本国濃州兼道四男父と共 △同二代目越中守ーーと切鈿元ヨ十六葉菊の △同三代目越中守ーーと切
ヨ上京を寛永比迄存生之業物 △菊と切寛永中受領寛文迄の作有業物 △父のごとく菊と切藤三郎

と号天和 △同四代目越中守ーーと切父のごとく菊と切 △平安城石堂ーー○石道ーーと △武州住ーーと切
元禄の間 △藤三郎と号伊賀守金道と同居ス正徳比 △切右近と号本国紀州寛文比 △相州流慶長比

正利 ○四人 △四人

○勢州仙五一派二字 ○濃州坂倉関一派二字 ○同二代目二字銘ヲ切 ○石州住ーーと切雲
銘ヲ切享禄比 ○銘ヲ切永正比良業 ○享禄天文比良業 ○州和州にても造る

應永 △武州下原住ーーと切 △濃州関住ーーと切 △羽州米沢住ーーと切元利男古 △備州住九兵衛尉ーーと切
比 △と切時代不明 △坂倉の末寛永比 △山文吉と号水心子正秀門享和比 △備前岡山刀匠万治寛文

比業
物

正壽 ○三人 △一人

○奥州月山一派二字 ○肥州住ーーと切肥後延寿一派 △羽州米沢住ーーと切吉沢氏
銘ヲ切貞應比 ○国宗男外記と号文明比業物 △也水心子正秀門天明文化

正友 △四人

△山城国粟田口源 △摂津守源ーー入道と切奥州中村ヨ住を △備前国住ーーと切 △豊後
ーーと切寛文比 △東武ニても造る伊豆守とも切と云元禄比 △正利門貞享の比 △高田

住藤原ーー
と切元禄比

正全 トモ △一ノ

豊後守源ーーと切本国濃州坂倉関一派ニてーー尾州
名古屋ヨ住を洛陽ニても造る寛文元禄の間手利也

正儔 △二人

武州住源
ーーと切

正繁門豊島岩
二郎と号享和文比

正辰 △三人

△勢州住千子ーー △武州住ーーと切
と切時代不明 △下原一派時代不明

正富 △一人

武州法城寺一派二字
銘ヲ切物多し寛文比

正近 ○三人 △三人

○備州住ーーと切備後木梨 ○備後国三原住ーーと切 ○備後国三原住貝ーー
三原一派貝治應安比良業 ○貝一派文明の比業物 ○と切黒田助六正家父享

禄天文 △上總国住高梨惣順源ーーと切 △薩州住ーーと切主人正の男宮原清右エ門
の間 △東武ヨ住を水心子門享和文化 △と号享保元文の間此代限にて鍛エと止

正興 ○三人 △一人

○貝藤原ーーと切物多し備後坂田 ○備後国三原住貝ーーと切 ○同二代目備後国三原住貝 △比
住木梨三原一派文明長享比業物 ○天文永禄の間業物 ○ーーと切元亀天正の比 △越

新発田住小林源ーー作と打正綱男小林俊平と号享和文化比

正奥 ○二人

◯備後国三原住貝ーーと打永正比業物 ◯備後国三原尾道ーーと打永禄天正の間

正景 ○三人

◯和州南都住藤原ーーと打金房左エ門太夫と号太永比 ◯備前国吉井ーーと打寛正比 ◯備後国三原住貝ーーと打木梨一派文明比

正包 ○二人 △一人

◯備中正恒流二字銘ま打貞永比 ◯豊後佐伯住二字銘ま打弘安比 △筑州住信国ーーと打葵一葉鉏元ま切東武ゆくも造る享保の比

正兼 ○一人

備後国三原住貝ーーと打應永比

正勝 ○三人 △三人

◯濃州坂倉関一派二字銘ま打天文比 ◯備後国三原住貝ーーと打大永比 ◯日向住ーーと打薩州跡江一派永正比 △大隅守藤原ーーと打坂陽ゆくも造る寛文比 △和泉守源ーーと打東武石堂一派時代不明

正員 △一人

△肥後大掾藤原ーーと打播州姫路住後越前へ移住ま下坂一派慶長寛文の間

豊後府中住日佐ーーと打慶長寛永の間

正方 △一人

野州住ーーと打下野鹿沼住正義男細川政蔵と号水心子門文化比

正吉 ○五人 △三人

◯和州手掻一派二字銘ま打時代不明 ◯濃州赤坂関一派二字銘ま打坂倉モロスケと唱ふ康正の比良業 ◯同二代目二字銘ま打太永比業物 ◯石州住ーーと打長濱物應永比 ◯備後国三原一派二字銘ま打應永比 △和州郡山住ーーと打包明ら初めの銘之 △陸奥国ーーと打時代不明 △備州岡山住ーー於廿日堀邉作と打正成四代の孫東庄右エ門と号安永比

正能 ○二人

◯了戒ーーと打城州後豊後へ移住ま康正の比 ◯備後国住貝ーーと打三原一派天文弘治比

正義 ○一人 △一人

◯備後三原住ーーと打文亀比 △野州鹿沼住ーーと打細川良助と号水心子門享和比

正賀 ○一人 △二人

◯備後三原住ーーと打木梨一派康正の比 △奥州津軽住紀ーーと打水心子門高橋吉次郎と号享和の比 △備後国貝五阿弥ーーと打元和比

正喜 ○一人

石州住ーーと打長濱物文安比

正嘉 ○一人

備後国住貝ーーと打弘治比

正善 ○一人

濃州坂倉関一派二字銘ま打天文の比

正祥 ○一人

薩州住ーーと打日向ゆくも造永禄比

正良 △五人

△東武染野ーーと打享和の比 △薩州住ーーと打出水住上原十左エ門と号惣左エ門正房門享保比 △同二代目薩州藤原ーーと打延享比 △同三代目薩州住ーーと打正近門伊地知平覚と号明和中より造成また寛政辛亥の年受領して伯耆守平朝臣正幸と改銘す △薩州住ーーと打平覚男也父改名の後正良より改文化比

正幸 △三人

△安穏寺三笠朝臣ーー裏銘真十五枚甲伏作と打奥州中村刀匠天和元禄の間 △伯耆守平朝臣ーーと打初名正良と打享和壬戌の年七十歳

正美 △一人

上野国高崎住ーーと打水心子門堤長五郎と号文化比

正榮 △一人

尾崎ーー造と打助隆養子源左エ門と号坂陽住ま文化の比

正龍 ○一人

二字銘ま打在所時代不明

正忠 △一人

武州住石道橘ーーと打貞享比

正武 △一人

於東武結城ーー作之と打本国羽州山形之喜代松と号水心子門寛政中壮年ゆて没

正恒 ○八人

◯新屋住ーーと打和州手掻一派貞和比 ◯備前二字銘ま打元暦比 ◯備前畠田一派二字銘

ヲ打元弘比 ◯備州長船一派二字銘ヲ打政の字にも切應長比 ◯備中二字銘ヲ打正治比 ◯同二代目二字銘ヲ打豊前にても造る兼久比 ◯豊後紀一派二字銘ヲ打兼久比行平子と云

◯紀ーー或ハ二字銘にも打豊後住と正中の比

正經 ○一人

備後国三原住ーーと打天文比

正次 ○十六人 △十八人

◯城州粟田口一派二字銘ヲ打国延门弘安の比 ◯城州達广一派二字銘ヲ打時代不明 ◯相州住ーーと打永正比 ◯同二代目相州住ーーと打弘治比 ◯濃州坂倉関一派二字銘ヲ打後正利ヲ改亨禄の比業物 ◯丹波綾部住二字銘ヲ打藤九郎と号ス本国城州粟田口一派弘安比国延门と同人ニ ◯備前新田庄住左近将监ーーと打嘉元徳治比の年号打物多し ◯備州長船住ーーと打貞治比 ◯備中青江一派二字銘ヲ打寛元比 ◯備後国三原住貝ーーと打文亀比 ◯日州住ーーと打明應比 ◯薩州川内平佐住ーーと打月山一派文亀比 △和泉守橘ーーと打東武住法城寺宅太夫と号長州二王方清甥也越後高田野州宇都宮にても造る亨保比 △武州住法城寺肥後守橘ーーと打時代不明 △武州住野濹丹波守ーーと打時代不明 △東多门兵エ尉藤原ーーと打備前岡山住正成男万治比 △豊後佐伯住藤原ーーと打享保比 △肥前国住伊豫掾源ーーと打宗次ゟ初ゑの銘也 △肥前国住ーーと打長崎住与右衛门と号正廣门寛文天和间 △同田貫ーーと打肥後同田貫上野介正国九代孫菊川仙左エ门と号文化乙丑の年東武へ来り水心子门と成又帰邑ﾊ △薩州住ーーと打初代正房二男九田平左エ门と号ス寛文比業物 △薩州住ーーと打元平门弓削八太郎と号文化比

正繼 △一人

江戸渋谷住源ーーと打東武住渋沢弥兵エと号水心子门寛政文化比

正綱 ○二人 △三人

◯石州住ーーと打長濱物延徳比業物 ◯二王ーー作と打防州吉敷住ヲ政の字にも打文明比 △粟田口藤原ーーと打摂州初代忠綱二男浅井重郎兵エと号寛文元禄の间 △越後新発田住源ーーと打小林吉正り後の銘く享和文化比 △伯耆国倉吉住弓削新三郎藤原ーー○播磨大掾藤原ーーと打初ゑ正廣と切元和万治の间

正縄 △二人

薩州住ーーと打鹿児府住人岩元勘右エ門と号伊豆守正房门後上京して丹波守吉道门と成受領丹波守行道と改寛文比

正長 ○四人 △四人

◯和州當广一派二字銘ヲ打正中の比 ◯和州住ーーと打手掻一派長太郎と号明應比 ◯泉州住ーーと打城州了戒の流文明の比 ◯備後国三原住ーーと打大永比業比 △奥州會津住三好ーー○平安城ーーとも打生国豫州松山にて長国ゟ子三好利左エ门と云壮年の比上京ーく埋忠明寿门と成寛永丁丣の年父長国と共ヲ會津へ移住ー以後子孫此地ヲ栄ふ同癸未の年藤四郎政長ヲ改む正保戊子の春没ス業物 △羽州秋田住法城寺ーーと打正照ヲ末梅山又八郎と号水心子门寛政比 △伯州住ーーと打寛文比 △肥前佐賀住藤原ーーと打正永とハ別人寛文比彫物美也

正永 ○三人 △七人

◯越前国敦賀住ーーと打鎚元ヲ二文字と切應永比 ◯石州住ーーと打長濱物文安比 ◯備後国三原住貝ヘーーと打弘治比 △武州住藤原ーーと打慶安比 △越州新発田住ーーと打和州手掻の末吉正男小林源四郎と号享保の比 △肥前国ーーと打左傳次郎と号寛永乙丑の年正廣ヲ改む △同二代目肥前国武藏大掾藤原ーー○肥前国住武藏守藤原ーーと打初代

正廣男弥七郎と号方治庚子十月受領寛文年 △同三代目肥前国住備中大掾藤原｜｜と号二代目正廣男傳兵
丑九月守ニ轉し同乙巳四月河内守正廣ニ改む 工と号初ハ廣永と号寛文乙巳の年父と共ニ受領す生涯正廣と
八不切宝永甲申十二 △肥前国佐賀住｜｜と号四代目正廣男佐傳 △薩州平佐住｜｜と号惣左エ門正
月没六十歳ゝ業物 △次郎と号寛延庚午の年正廣ニ改む △房門元野弥太右エ門と号享保比

正直 ○二人 △二人

○備後国三原住 ○備後三原住｜｜作 △石見守藤原｜｜と号 △阿州住｜｜と号岩倉住正守男右
｜｜と号永正比 と号元亀天正比 △備前岡山住寛永比 川分弥と号水心子門寛政文化

正宗 ○八人 △一人

○城州綾小路住二字銘ニ号入道して達磨と号生国和州 ○和州南都住藤原｜｜
と云初ハ重光又国重と切と云岡崎氏なり文和比業物 と号金房一派天正比
業 ○相州住｜｜或ハ二字銘多し相模国鎌倉ニ住し五郎入道と号同所行光の男也新藤五国光ゟ門と
物 云字内と周行しゝ其蘊奥を究ハ 本邦鍛冶中興の祖神と仰る十の妙所ニ十三種の
沸らり正應 ○相州山内住｜｜と号永 ○武州恩方村下原住 ○備後貝三原一派二字 ○同二代
建武の間 正比山内正宗と唱 二字銘ニ号大永比 銘ニ号延文の比 目二字
銘ニ号初ハ正 ○同二代目二字銘 △陸奥守藤原｜｜と号武州下
貞と号永徳比 ニ号文明の比 △原一派土佐守とも号慶長比

正村 △一人

城州住｜｜と
号慶長の比

正氏 △三人

△加州住竹下儀兵エ｜｜と号 △長州萩住石道藤原｜｜と号 △備後五阿弥大和
△金府住寛文の比業物 △正守族ゆゑ六兵エと号享保比 △守｜｜と号寛永

比

正則 ○六人 △十人

○和州千手院一派二字銘ニ号時代不明 ○江州高木住｜｜と号永享比 ○左エ門督｜｜或ハ二字銘ニ号雲州 道永一派本国備前吉井嘉吉比 ○雲州｜｜と号
石州正利同人應永比 ○備後国住貝｜｜○三原｜｜と号木梨一派弘治比業物 ○二字銘ニ号在所時代不明播州政則同人なるべし △摂州住｜｜と号時代不明 △大和大掾藤原｜｜と号越前
福井住も三条吉則末裔ゆゑ丹後宮津の産と云 △同二代目大和大掾藤原｜｜ヰと号東 △越前大掾藤
洛陽ゆゑにも造る山田氏慶長寛永なん間良業 武ゆゑにも造る寛文元禄の間業物 原｜｜と号
越前福井住も二代 △法城寺橘｜｜と号本国但州弘 △因州鳥取住｜｜ △備前国住｜｜と号 △肥前
目大和大掾同人と云 原ゆゑ東武ニ住まと寛文比 と号時代不明 吉井の末寛永比 佐賀
住｜｜○平戸住｜｜と号両 △播磨大掾藤原｜｜と号 △薩州住｜｜と号正房門
所ゆゑ造る土肥氏寛永比 △肥前佐賀ハ廣久門正徳比 朝倉甚五兵エと号享保比

正法 △一人

大和
大掾
藤原｜｜と号越前
寛文比正則同人なれ

正禮 △一人

大隅大掾｜｜と号
東武住寛永の比

正信 ○四人 △三人

○越中国｜｜と号 ○越後下
則重門貞和比 師山村
氏某と云○正信作と三字銘ニ号城州信国と呼下し ○同二代目二字銘ニ号初ハ安国と号 ○備州
刀剣の造法と学ゐ後信国ニ改むと云延文應安の間 老成信国ニ改むと云永和の比 ｜｜
作と号備後木梨三原一派嘉 △山城国｜｜と号兼應比 △武州住｜｜と △平井土佐掾藤原｜｜と号甲州
慶明徳の作多し菱垣鈩也 宗十郎政信同人 号時代不明 △府中住安積岩右エ門と号享

保甲辰の年和州郡山へ移住し後守る溥を

正宣 △一人

防州徳山住——と号正之ヵ孫月山代八と号水心子門享和比

正演 ○一人

備後国三原住——と号貝一派時代不明

正國 ○七人 △四人

○大和国住——○南京藤原——と号手搔一派波平の祖と八別人嘉元比 ○丹波綾部住二字銘ヲ号正次男藤五郎と号正應比 ○備前国——と号国宗流徳治比 ○備州——と号備後木梨三原一派貞治比 ○石州住——と号享徳比 ○典太——と号筑後三池の末永正比 ○小山左馬允——と号肥後菊池住同田貫一派始免国勝と号加藤清正より一字を授りく正国ヲ改む天正比業物 △武州下原住藤原——と号山本氏時代不明 △武州住法城寺橘——と号時代不明 △防州住源——と号時代不明 △肥後州木下住——と号慶長の年号と号左馬允同人とも云ふ

正安 ○二人 △一人

○金房藤原——と号和州南都住享禄比 ○日州住波平——と号薩州谷山一派永正比 △薩州住藤原——と号兵エと号日向ニても造寛永比

正保 △一人

隅州住——と号薩州正幸門天明比

正房 ○一人 △七人

○備後国住貝——と号信平とも号と云永正比 △東肥之騎士志水菅原——と号肥後隈本の藩士志水隼太と号水心子門文化比 △伊豆守藤原——と号薩州住備後守氏房二男始免氏房と号九田兵右エ門と号慶長寛永の間業物 △同男薩州藤原——と号九田孝兵エと号受領せし万治の比業物 △薩州住藤原——と号俵右エ門氏房男九田惣左エ門と号初免正冬又正商とも号天和貞享比 △同二代目薩州住藤原——と号二男又九田彦兵エと号寛延比 △薩州住藤原——と号正峰男九田惣左衛門と号安永比 △同二代目薩州住藤原——と号同惣兵エと号寛政文化

正英 ○一人 △一人

○和州二字銘ヲ号應永比 △羽州秋田住——と号正長男梅山八十八と号水心子門文化比

正輝 △一人

法城寺橘——と号東武住せと元禄の比

正照 △二人

△越前守橘——と号東武法城寺一派ゆゑ後ヲ羽州秋田へ移住せと正弘の門とも云大銘之天和貞享比業物 △同二代目越前守橘——と号秋田ヲ住せと上京受領の時伊賀守金道門と成鍛元ヲ菊と切元禄享保の間小銘也

正明 ○二人

○同田貫——と号肥後天正比業物 ○日本一——と号物多し肥後松倉住同田貫一派天正比と云

正貞 ○二人 △三人

○備後木梨三原一派二字銘ヲ号後正宗と切貞治比 ○備州三原住貝——と号天正比 △豊州府中住日佐——と号正保寛文の間正貞子と云 △播广大掾藤原————と号肥前正則同人 △薩州住————と号忠重男ゆゑ奥小左エ門と号元禄の比

正真 ○六人 △二人

○金房隼人佐——或ハ二字銘ヲ号和州南都住天文比正実同人と云 ○勢州桑名住千子——或ハ二字銘ヲ号平安城長吉此地へ来りて両作ゆゑ文亀比 ○藤原——と号三州田原住本国和州南都金房一派号もとく三河文珠と唱ふ本多家十方切の作人或蜻蛉切も天文比 ○相州住——と号大永比 ○備前直宗流二字銘ヲ号嘉元比 ○備後国三原住貝——と号明應文亀比 △和州南都住藤原——と号金房新次郎と号慶長比 △武州住源——と号時代不明

正實 ○一人 △一人

○南都住金房隼人佐——と号和州正真同人永禄比 △播州姫路住——○播州住藤原——と号二代目正家門黒田源右衛門と号正真ヵ号寛永比

正清 ○九人 △四人

○南都住金房——と号和州文亀の比 ○泉州和田住加

賀四郎一派二字銘多し本国備後安部郡也應永比
◯同二代目二字銘よ号文明比
◯相州住ーーと号明應比
◯加州住藤原ーーと号天文比業物
◯備後木梨住貝ーーと号貝三原の祖と云貞和比
◯同二代目備州住貝八ーーと号應安比
◯同三代目備後国住貝ーーと号永享比
◯二王ーーと号防州吉敷住應永比
△和泉守源ーーと号摂州寛文の比
△和泉加賀四郎ーーと号
△長州住ーーと号二王方清門寛永比
△玉井平右エ门と号享保比
△主水正藤原ーー○主水正ーーと号薩州喜入住宮原清右衛門後よ覚大夫と号惣左エ门正房门享保辛丑の年　安代と共よ東武へ下り依　台命刀剣を造成を以下恩賞給りし事ハ安代の傳よ同しかれバ畧を于時五十二歳と云○此作なん銘三品給り息正近の代銘ハ大振弓削正盛の代銘ハ小振自身銘ハ鑽𢱢しと知るへし

大業 **正行** ○五人 △三人
◯和州住ーーと号昌行ともと号と云時代不明
◯備州三原住ーーと号永禄天正の間
◯豊後高田一派二字銘よ号應永の比
◯筑州ーーと号筑前左一派嘉吉比と云
◯波平ーーと号薩州谷山一派永享比
△甲州住ーーと号正信の初銘といふ
△源ーーと号越後新発田住南沢弥右エ门と号まと享保比
△豊州高田住藤原ーーと号貞享比

正之 △二人
防州徳山住ーーと号月山藤吉と号正重ともと号と云享保比

正道 ○二人 △四人
◯筑州ーーと号筑前暦應貞和の比
△播ヶ守藤原ーーと号摂州
△武州住ーーと号越前下坂一派宗道男貞享比
△菅谷勝三郎と号初名宗道と号元禄比
△於武州相州ーー造と号八木彦八と号路の字ゆも切享和の比
△薩摩国ーーと号

弓削正盛り初の銘也

正通 △一人
羽州米沢住ーーと号水心子门寛政比

正光 ○六人 △一人
◯城州粟田口一派二字銘よ号吉光門ゆくく吉正ともと号法勝寺门前よ住し藤十郎と号嘉
◯城州綾小路達磨一派二字銘よ号後元比
◯同二代目二字銘よ号後濃州蜂屋へ移住を故よ蜂屋政宗よ改入道しゝ了阿弥と云永徳比
◯達ヶと唱ふ三州ふても造る應永嘉吉なん間
◯備前国ーーと号直宗流嘉元比
◯備後国佐兵エ允ーーと号三原一派文和比
◯貝ーーと号備後三原一派永正比
△法城院橘ーー以五鉄作と号ノ物多し東武法城寺一派天和なん比

正満 △一人
甲州住ーーと号東郡平井村正久男正徳比

正盈 △一人
奥州白川臣加藤ーーと号正繁門東武住文化比

正峯 △一人
薩州住ーーと号天和比の正房男九田俵右エ门と号早世をとし云

正岑 △一人
薩ヶーー造と号凄鍛冶と云安永比

正重 ○六人 △八人
◯勢州千五一派二字銘よ号永享比
◯同二代目勢州住ーーと号大永比
◯武州住ーーと号下原一派山本源八と号天正比業物
◯越後山村一派二字銘よ号天文比
◯備前国住ーー○備州長船ーーと号文明比
◯備州住ーーと号三原一派永和比
△摂州住ーーと号延宝比
△千子藤原ーーと号勢州桑名住寛永の比
△三州伊賀住藤原ーーと号時代不明
△武州住ーーと号下原一派山本八郎左エ门と号元和比
△同二代目武州下原住ーーと号同八郎左エ门と号そ享保比
△加州住藤原ーーと号よ至る
△藤島一派時代不明
△長州住ーーと号月山
△重右エ门と号享保比
△肥前平戸住ーーと号正則男土肥作左衛門と号
△延宝庚申の年坂陽へ出井上真改门と成て真了

と改名天和壬戌
の年帰邑ス

正成 ○一人 △二人

○濃州坂倉一派正成作と △東多門兵工藤原ーーと云 △妻木ーー
三字銘ニ云永禄比 △備前岡山住しと寛永比 作之と云

在所時
代不明

正繁 △一人

奥州白川臣手柄山ーー○手柄山甲斐守ーーと云本国播州姫路ニして丹霞氏
繁男手柄山朝七と号初名氏繁と云天明戊申の年東武ヘ移住し享和癸亥の
年四月於京都伊賀守金道の取
次ニて受領大亀文叉を専門とス

正久 ○一人 △三人

○備州住ーーと云 △甲州平井住ーー △越前住ーー
三原一派康安比 と云元禄の比 と云下坂一派

寛文 △肥前平戸住ーーと云垣見傳之丞と号初名土
比 △肥真了門ニて後肥後隈本の昌直門と成享和比

正秀 ○二人 △一人

○城州ーーと云大宮一派小二
郎又八椋太郎と号せしとも云

時代 ○二字大銘ニ云て △羽州山形住水心子藤原ーー○川部儀八郎藤原ーー○水心子ーー○正日出○
不明 ○在所時代不知一人 △正日天ともとも云必花押を切或ハ極印と云物有東武濱町ニ住し本国羽州
赤湯の産ニして明和比ハ鈴木三郎宅英銘裏真十五枚甲伏と切中比山形ヘ移住し英国と改名安永甲午かん
年正秀ニ改む後東武ヘ轉住ス相州備前の両傳を授りて復古刀を造る文化己巳の年六十一歳ニより
事也康正比
彫物多し

正廣 ○九人 △十五人

○相州住ーーと云九郎二郎と号二代目 ○同二代目正廣作と二字ニ云物 ○同三代目相州住
廣光門後廣光ニ改名しと云永和比 多し正の字真也應永比 ーーと云小銘美
○相州住ーーと云永正天文の間恐らくハ五代目位なるべし ○濃州坂倉関一派二字銘
○未詳小田原北条氏綱より一字を授りて綱廣ニ改む ニ云文明の比業物

○諷誦ーーと云 ○伯州住ーーと云 ○備州住ーーと云備後三原一派左 ○備州住ーー作と云備後
奥州時代不明 廣賀一派天正比 兵工尉と号後正家ニ改正慶比 尾道ニ住し明徳應永の
年号云物多し △金房兵工尉藤原ーーと云 △水心子藤原ーーと云正秀男 △越前国住ーーと云
二代目なるべし △和州南都住寛永比業物 川部熊次郎と号後貞秀ニ改 △下坂一派万治の比 △
相模守藤原ーーと云越前下坂 △越後高田住ーーと云 △源ーーと云越後新発田住吉 △伯州倉吉住
一派寛文比上々の正廣と別人 △兼廣甥と云元禄比 △正門一本杉与兵工と号享保比 ーーと云弓削
正綱ニ初 △備前国岡山住ーー △肥前国ーー○肥前佐賀住ーー○肥前国河内大掾藤原ーーと云吉信
銘と云ふ △と云慶長元和比 △男佐傳次郎と号元和癸亥の年十七歳の時造成の太刀国主ヘ達上
聞賜賞禄寛永乙丑の年十一月十九日正廣の二字を賜ふ夫迄ハ名乗不 △同二代目肥前国河内守藤原ー
云同戊辰の年四月廿七日受領寛文乙己の年二月五日没す五十九歳業物 △ーーと云初名弥七郎後佐傳次
郎と号初名の銘武蔵守正永と切寛文乙巳の年四月十三日 △同四代目肥前国河内大掾藤原ーーと云友之
河内守正廣ニ改む元禄己卯の年八月六日没七十三歳 △進と号初名武雄と切宝永戊子の年受領享保
癸丑の年五月廿五日没六十一歳 △同五代目肥前国河内守ーーと云佐傳次郎と号初名正永と云寛延庚
○三代目ハ始終正永と云 △午の年正月十日受領して正廣ニ改明和戊子の年五月廿五日没五十五歳
△同六代目肥前国ーーと云友之進と号幼年ニして父ニ後れ △薩州住ーーと云深川太郎左エ門と号伊豆守正
△六代目忠吉ニより造法を学ふ享和壬戌の年四十五歳 △房門後上京して和泉守金道門と成受領河

内守行廣と改む
兼應明暦比業物
△薩州住藤原ーーと号染川杢左エ門
と号元文寛保の间国次とも号也

正弘 ○四人 △四人

○三州田原住ーー或二字
銘ニ号正真門天文の比
○石州長濱住ーー作
と号文明長亨ノ比
○備後国住貝ー
ーと号文安比
○日州住ーーと
号延文の比
△大隅掾藤原ーー○大隅丞ーーとも号或ハ
守ニ任せとも云城州一条堀川住国改の男本
国日州古屋ゆゑく廣の字
も切と云へとも未見寛永比
△近江守法城寺橘ーーと号東武住三郎太夫と号万
治延宝の间本国但州弘原也常州水戸ゆゑくも造業物
△但馬守法城寺橘ーーと号
東武住以貞享元禄比
△法城寺ーーと号土州
高知住也時代不明

正平 △二人

△天然子ーーと号東武住常陸兼房男と云
薩州へ徃き正幸門と成天然子と斗も号天明比
△豊後国ーーと号高
△田莊太夫と号元禄
比後豊前小倉へ
移り政平と改め銘す

正盛 ○三人 △二人

○桒名住ーーと号勢州千
子一派文亀永正の比
○備後国三原住貝ー
ーと号天文永禄の间
○豊後国高田住
平ーー○平ーー
とみも号元亀
天正比業物
△東多門兵衛ーーと号備前
岡山住正次男貞享比
△薩州住ーーと号喜入住弓削藤作と号惣
左エ門正房門享保元文比初名正道と号

正守 ○一人 △二人

○三州田原住二字銘
ニ号正真門天正比
△長州萩住石道ーー○藤原ーーと号
初名東武ニ住し七兵エと号享保比
△阿州岩倉住ーーと号石川小平と号東武
へ来り水心子正秀門と成寛政文化比

正元 ○一人 △一人

○備後国貝ーー
と号大永比
△長州住ーーと号月山
藤吉と号享保比

正祐 ○一人

日後国波平ーー作と号本国薩
州谷山と云應永永亨の间

正助 △一人

武州住藤原ーーと号馬加
備前守とも号と云時代不明

正齋 △一人

塩田ーーと号本国江州まて
奥州播州ゆゑくも造寛永比

正毘 △一人

多門磨ーーと
号東武寛政比

政

政家 ○二人

○備州住ーー○備州住左京亮
ーーと号三原一派貞和比業物
○備州三原住ーー作
と号文明延徳の间

政俊 ○四人

○相摸國住ーー○相州住
ーーと号小田原住以永正
比定廣門
と云業物
○同二代目相州住
ーーと号永禄比
○長峯寺ーーと号
常州住也天正比
○備州三原住ーー
と号天文比

政利 △一人

尾州住藤原ーーと号政
常门寿八と号享保比

政暦 トシ △二人

△武州住藤原ー
ーと号寛永比
△因幡國藤原ーーと号伯
州黒坂ゆゑくも造寛文比

政辰 △一人

濃州関住ーーと号坂
陽ゆゑくも造寛文比

政勝 △一人

鬼
一
九源ーーと号在
所時代不明

政包 △一人

羽州住ーーと
号時代不明

政吉 ○一人

濃州坂倉関一派二字
銘ニ号正吉同文明比

政種 △一人

豊前小倉住藤原
紀ーーと号政平
門高田与七と
号以享保比

政次 ○ △三人

○南都住金房兵エ尉
ーーと号長享比業物
○和州子守住藤原ーー○南都住金房
右エ門尉ーーと号弘治元亀の间業物
△相州住ーーと
号元和比と云
△筑前濱田住ーー
と号時代不明

政綱 ○一人

二王ーー作と号多く八縄の字
ニ号防州吉敷住文明の比

政恒 ○一人

政恒作と三字ニ号
在所時代不明

政常 △七代

△相摸守藤原ーーと号濃州納土の産ゆゑく納土左助後ニ太郎助と号奈良太郎の末流ゆへく初め兼
常と号尾州小牧村へ移住し福島政則の刀匠と成同国清洲へ溥住し一字を授りく政常ニ改天正

辛卯の年受領慶長の首免同國名古屋へ溥居を同丁未の年隠居なし其男相摸守政常とす是二
代目ゝ不幸にして同己酉の年没すと同人に嗣子なき故に隠居政常再勤して○相摸守藤原政常
入道とす専ら業を勉む元和巳未の△同二代目相摸守藤原ーーとす納△同三代目美濃守藤原ー
年没すと七十余歳といふ業物△土太郎助と号す慶長巳酉の年没△ーとす納土太郎助と号ス
実ハ濃州岐阜の住大道の男ゝ元和巳未の年受領寛文△同四代目尾張國住左助尉ーー○美濃守
壬寅の秋没すと三代目なれとも世に二代目と唱ふ業物△藤原ーーとす寛文壬寅の冬受領元禄
巳己の春△同五代目尾州住藤原ーーとす納土秀之助後左助と号す元禄巳己の四月七歳にして遺
没すと△跡を継ぐ幼年なれバ濃州岐阜住近江守宗利の男何某姉聟となりて後見し
銘も政常とす正徳辛卯の年より後見無し△同六代目尾州住藤原ーーとす納△同七代目尾
寛保壬戌の冬没すと五代目以下受領ハせざる也△土左助と号す安永丙申の冬没すと△州住藤原ー
ーとす納土元治と号す実ハ黒崎石見三男也寛政比

政長 ○二人 △七人

○和州南都住藤原ーーとす金房一派永禄の比○備後国三原住ーーとす正長同人なり△尾州住ー
ーとす四代目政常門△奥州會津住ーーとす初名三好利右エ門正長とす寛永癸巳の△同二代目奥州會津住
名古屋に住すと元禄比△年藤四郎政長に改む正保戊子の春没すと国人瘤と呼良業△ーーとす三好利右エ門と
号す藤四郎が次男にして初名長富とす兄長道と同居し万治中より造る延宝△同三代目奥州會津住
の比三善政長に改む元禄丁丑の年別家し同巳卯の秋没すと彫物功者なり業物△ーーとす三善藤四郎と

号す享保丙午の夏△同四代目奥州會津住ーーとす三善岩之助後藤四郎△同子ハ長△同子奥州會津住ー
没し彫物父に比ス△ーと号す中条道辰になりて修行す明和丁丑の冬没すと△道とすへ△ーとす三善権瀬と
号す寛政文化比是政△山内金九郎ーーとす備前

政永 △一人

薩州住ーーとす元平門廻源八と号す文化比

政直 △一人

尾州住ー
長銘の五代目なり△岡山住すと関流之万治比
ーとす四代目政常門貞享正徳の間

政宗 ○五人

○城州綾小路達ナ一派二字銘にす初名正光と切○入道して了阿弥と号す至徳比一本蜂屋住と云
○備前直宗流二字銘にす後伯州小鴨へ移り
国宗入道と切備前三郎国宗の門と云正宗とも号す正應比
○備中国ーーとす嘉元比備前同人と云
○備後三原住ーーとす政家門康正比業物
○二字銘にす在所時代不明末一派の風有

政則 ○一人

○従四位左京大夫源朝臣ーー作とす播州御舘の作と唱ふ○赤松満祐の弟赤松二郎義雅の男にして
○長禄戊寅年足利家より加州半国を賜ふ其後　神璽を取る功よりて昇進す明應丙申年四月廿五
日没四十三歳△尾州清洲住ーーとす初代政常門元和比

政信 △一人

山城国住ーーとす宗十郎と号す万治比

政國 △三人

△平安城住ーーとす揚なくとも造る寛文の比
△石州邑智郡住ーーとす貞享比

政泰 ○一人

阿州貝府一派二字銘にす永享比

政安 △二人

常州長峯寺ーーとす政俊一門慶長比といふ

政房 △一人

二字銘にす在所時代不明

政照 △一人

薩州住ーーとす元平門廻源次郎と号す文化比

政定 ○三人

○大和国藤原ーー○金房左エ門尉ーーとす南都住と切るも有天正比業

物

○筑後三池典太｜｜と云時代不明

政清 ○三人
○備州住｜｜と云三原一派左エ門尉と号應安比
○二王｜｜と云防州吉敷住正中比

政青 キヨ ○一人
泉州加賀四郎一派二字銘ニ云永正比と云

政行 ○一人
○備州長船｜｜と云政光門應永比
△豊後高田住藤原｜｜と云寛文比

政光 ○二人
○備州長船｜｜と云兼光門正の字まも切嘉慶明徳の間
△羽州米沢住源｜｜と云時代不明

政道 △一人
常州水戸住坂東太郎卜傳同人と云

政重 ○一人
備後国三原住｜｜と云大永比

政廣 ○三人 △二人
○相州住｜｜と云小田原刀匠永正比
○左兵エ尉｜｜と云備後三原一派貞治比
○二王｜｜と云防州吉敷住應永比
△甲州住｜｜と云大石和筋住ス享保比
△若狭守源｜｜と云在所時代不明恐くハ廣政同人なれ

政平 ○一人
○豊後国紀｜｜或ハ二字銘も有天正比
△豊前小倉住紀｜｜○越前守紀｜｜と云本国豊後高田荘太夫と号宝永享保の間

政盛 △一人
今村武藏守｜｜○雲林院｜｜とも云藝州廣嶋住一代刀匠時代不明本国勢州と云

政助 ○一人
和州住源｜｜作と云金房一派永禄元亀の間

昌富 △一人
摂州住｜｜と云寛永比後東武ニ住ス

昌次 ○一人
駿州住｜｜と云相州の流弘治比と云

昌常 △一人
徳永｜｜作と云東武德永氏の尉造也寛政文化比

昌永 ○一人
和州住八郎｜｜と云手揆ニ住ス本国備前と云徳治比

昌直 △二人
△筑州柳川住｜｜と云貞享比
△東肥松村｜｜造と云肥後隈本の藩士松村永記と号ス初め遠明と云ス好んて刀剣を造ルを薩州正良門と成後東武へ来り水心子正秀或ハ相州鎌倉住十代目綱廣等によりて造法を談し其術を得たり天明文化比

昌宗 ○一人
昌宗作と三字銘ニ云駿州昌次一派と云天文比

昌則 ○一人
雲州道永一派二字銘ニ云本国備前吉井初め寿吉と切文明比

昌國 ○二人
○肥州住石貫｜｜と云肥後延德比
○石貫｜｜と云肥後の産ニて薩州谷山へ移住ス享禄比

昌貞 ○一人
石州住｜｜と云雲州ニても造永正比

昌行 ○一人
波平｜｜と云薩州谷山一派應永比

昌光 ○一人
二字銘ニ云天正比在所不明

昌廣 △一人
東肥藤原｜｜と云松村昌直門寛政文化の比

當國 △一人
越前国下坂｜｜と云東武ニて造元禄比

當行 △一人
豊州府内住藤原｜｜と云豊後高田一派寛文比業物

當光 △一人
武藏国藤原｜｜と云時代不明

當麻 ○
和州當麻の国行同人二字銘ニ云又ハ當摩とも云数人有ところ未詳

將長 ○一人
備州長船｜｜作と云正中建武比

將應 ノリ △一人
東武源｜｜と云源左エ門と号寛政比

匡房 ○一人
薩州住二字銘ニ云天文比

改行 △一人
豊州高田住藤原｜｜と云政行同人と云寛文比

剛彦 マサヒコ △一人
肥後上士｜｜と云肥後隈本の藩士関根俊外と号水心子正秀门と成慰ニ造る文化比

増守 ○一人
備後国尾道住｜｜と云貞治比

増盛 ○一人
平｜｜と云豊後高田一派天文永禄かん間

禮重マス △一人 播磨守藤原ーーと有元禄比在所不明

希遠 ○一人 備中青江一派二字銘ニ有次直同人と云

舞草丸 ○■ 奥州舞草一派三字銘ニ有一人ニ限らんと云

丸房 ○二人 ◯信州住ーー或ハ二字銘ニ有本国奥州舞草一派貞和比 ◯奥州舞草一派二字銘ニ有丸房の説區々なれハ不載

丸作 ○一人 奥州舞草ーーと有應永比といふ

又八 ○一人 同田貫ーーと有肥後菊池住天正比業物

又次郎 ○二人 ◯若州小濱住嘉吉比本国与州松山の城主ホーーく高橋左馬助國房と号没落後相州へ下ァ三二代目秋廣の门と成刀匠の業を学ひ又次郎冬廣と改ム其後若州小濱へ移住して子孫此地ニ栄ふ諸書ニ実名不知といへとも系図ニハ冬廣と書記せり ◯谷山郡ーーーと薩州波平の一派ニ亦次郎ともいふ切應永比

万寿 ○一人 備前福岡一文字一派則包同人と云備中ニ於てハ○万寿又ハ豊原とも有

松山 ○一人 備中国住ーー○石川左エ門尉ーーとも有片山末傳と云亨禄比松山水田一派なるへし

松齋 △一人 松齋作○松齋安貞作とも有戸川氏の慰造也安国或ハ武夫の慰有とも云下鍛の物ハ達富と有安貞下鍛せし物ハ松齋と有

古今鍛冶備考巻之三畢

古今鍛冶備考巻之四

ケ 源

源左衛門 ○一人 同田貫ーーーーと有肥後菊池住元亀比

源七 ○一人 濃州関住ーーと有兼行门と云文明比

フ 房英冬藤風諷浮フ不伏二佛

房吉 ○二人 ◯平安城ーーと有吉房门應永比 ◯阿州住ーーと有貝府一派應仁比

房則 ○二人 ◯相州住ーーと有天文比 ◯備州長船ーーーと有永亨比業物

房信 △一人 摂津国住源ーーと有貞亨比

房安 ○三人 ◯城州住ーーと有吉房一族永亨比 ◯奥州舞草一派二字銘ニ有天福比 ◯薩州住藤原ーーと有延行同人

房守 ○一人 平ーーと有豊後高田一派天文比

房盛 ○二人 ◯平ーーと有豊後高田一派長亨比 ◯筑前国金剛兵エ源ーーと有永亨比

房衆モト △一人 天正比

英俊 △一人 肥前長崎住藤原ーーと有美利か末男幸野吉郎七と号寛保辛酉の年十九歳と云

英利 △一人 河内守藤原ーーと有濃州関奈良太郎末流甲州まても造る宝永比

相摸守藤原ーーと打尾州名古屋住を元禄比

英景 ○一人 備州長船ーーと打永享比

英代 △一人 羽州米沢住古山子ーーと打正秀門天明比

英吉 △一人 上州住ーーと打伊藤大助と号正秀門寛政享和比

英次 △一人 河内守藤原ーーと打濃州関住を坂陽ニても造る英俊同人と云

英常 △一人 羽州米沢添川住ーーと打吉沢与七と号正秀門享和比

英法 ○一人 備州長船ーーと打應永比

英藤太 ○一人 三字銘ニ打在所時代不明

冬貫 △一人 豊後三佐住藤原ーーと打岡の刀匠と云明和安永比

冬國 ○一人 肥後住ーー或ハ二字銘ニ打延壽の末永正比

冬光 ○二人 ◯若州小濱住ーーと打冬廣一門天正比 ◯備州長船ーーと打文明比

冬重 △一人 播州宍粟住ーーと打氏重一族元禄比

冬廣 ○六人 △廿六人 ◯若州住ーー○相州住ーー或ハ二字銘ニ打又次郎の男相州へ来り二代目廣次門と成寛正比業物 ◯同二代目冬廣作と三字銘多し若州小濱ニ住を伯耆備前ニても造る延徳大永の間 ◯同三代目若州住ーー作○久右衛門尉ーー或ハ二字三字銘ニ打備中松山ニても造る天文元亀の間業物 ◯濃州関住ーーと打天正比 ◯雲州森山住源兵衛尉ーーと打永禄比 ◯同二代目雲州伊里庄森山与三郎ーーと打天正比 △若狭守ーーと打若州小濱住四代目也高橋五郎左衛門と号慶長戊戌の冬受領藝州ニても造る天正比よりの作有 △同五代目若州住ーーと打同五郎左衛門と号寛永比受領なし △同六代目若州住ーー或ハ二字銘ニ打同孫三郎と号を寛文の比

△同七代目若狭大掾藤原ーーと打同甚兵衛と号貞享享保の間 △同八代目若州雲濱城邉ーー造と打同甚兵衛と号享保元文の比 △同九代目二字銘多し同甚兵衛と号寛保宝暦の間 △同十代目二字銘ニ打同甚兵衛と号明和安永の比 △同十一代目二字銘ニ打同甚兵衛と号を寛政比 △若州住ーーと打七代目冬廣の弟三郎兵衛と号元禄享保の間 △若州小濱住ーーと打三郎兵衛の門長左衛門と号享保元文の間 △因州鳥取住ーー造と打享保比 △雲州住ーーと打本国藝州三代目冬廣末男高橋喜兵衛と号元禄中松江へ移住を後上京して丹波守吉道門と成吉廣ニ改免帰在の後再ひ冬廣ニ改む △同二代目雲州住ーーと打同喜兵衛と号後国助と改寛保の比 △同三代目雲州住ーーと打同善瓶と号宝暦比 △藝州住藤原ーーと打若州三代目冬廣二男高橋源治兵衛と号慶長丙午の年福島家の招ニより而て廣嶋へ移住し寛永已己の秋没以業物 △同二代目藝州住藤原ーーと打同源治兵衛と号を寛永戊寅の春没 △同三代目藝州住藤原ーーと打同八兵衛と号を延宝乙卯の秋没 △同四代目藝州住ーーと打同八兵衛と号享保乙巳の秋没 △同五代目藝州住ーーと打同茂八と号宝暦丙子閏ニ没 △同六代目藝州住ーーと打同与一と号寛政丙辰の秋没を △同七代目藝州住ーーと打同小十郎と号寛政丁巳の年冬廣ニ改

冬室 ○一人 備中住二字銘ニ打時代不明

藤戸 ○一人 和州住二字銘ニ打建武の比

藤原 ○一人 和州住ーーと打時代不明実名なるへし

藤村 ○一人 和州住ーーと打嘉元比

藤正 ○一人

来名住ーーと打勢州千子一派文亀永正比

藤島 △一人 ◯越前住二字銘ニ打加州ニても造る延文比此外数工有未詳 ◯加州住ーーと打永正比友重同人是亦数人といふ △越前国豊原住ーーと打寛永比

藤 ○二人 ◯阿州貝府殿の作と云二字銘ニ打嘉元比○貝府の文字ハ弘法大師疫邪を除く符と書て海中へ投しられしが其後此海中より符の文字の貝いづる故ニ其所の地名を貝符と唱ふるとあり後ニ文字変じて貝府或ハ海府又海部とも書也 ◯阿州貝府一派二字銘ニ打波平伝を専らとし応永比カヒフ、シト呼なり

風一 △一人 伴入道ーー 裏銘伊賀国住人と打物多し寛文比

風数 ○二人 奥州月山一派二字銘ニ打時代不明諸説區々なり

諷誦。

浮周。

フジユ。 訓各フジユと呼奥羽なん月山一派にもーーとて永延比より一族多諷誦何某或ハ諷誦作と斗も打文寿又風数も同族なるべし

不動 ○二人 ◯奥州光恒の替銘と云康安比 ◯備前管恒同人元暦比といへれとも時代不審

伏見 ○一人 奥州二字銘ニ打諷誦一派と云正応比

目貫 ○一人 駿州深津城山住寸無銘也目貫穴二ツ有徳治比

佛心。 和州住正中比法名なるべし濃州関鍛冶羽州月山一派にも同銘ニ打者有同人別人未詳

コ 是 惟 之 伊 小

是友 ○一人 備州長船一派二字銘ニ打弘安比

是一 △六代 △石堂佐近ーー○左近ーー○武蔵大掾藤原ーーと打川上左近と号本国江州蒲生郡の産なり東武へ移住し子孫此地ニ栄へ万治延宝の間良業 △同二代目川上左近ーー○石堂左近ーー○川上武蔵大掾ーー○武蔵大掾藤原ーーとも打甚平と号延宝庚申比より元禄比迄の作多し細鑚ニ切初名是長と打 △同三代目石堂左近ーーと打甚平と号享保比 △同四代目武州住石堂藤原ーーと打寛延明和の間法名是三と云ふ △同五代目六代目各同銘ニ打文化の比専ら鍛ふ

是勝 △一人 江州住石堂ーーと打初代是一同人と云寛永比の作有

是吉 ○一人 備州長船ーーと打長吉の後銘嘉暦比

是高 ○一人 和州千手院一派二字銘ニ打応永比

是次 ○一人 △二人 ◯備州長船一派二字銘ニ打備中にもーー造る応永比 △武州住石堂ーーと打是一門元禄比 △筑前国福岡住ーーと打守次の弟元禄比

是永 ○一人 筑後国ーーと打大石一派寛正比

是長 △一人 武州住石堂ーーと打二代目是一初銘なり

是宗 ○二人 ◯和州千手院一派二字銘ニ打応永比 ◯備前国ーー○備州長船ーー造と打元応比業物

是光 ○三人 ◯加州住ーーと打藤島一派建武比 ◯備州長船ーーと打応永比 ◯備州長船ーー或ハ二字大銘ニ打永正比

是重 ○九人 ◯千手院ーーと打和州正応比 ◯和州住ーーと打千手院一派貞治比 ◯和泉国住ーーと打永享比 ◯加州住ーーと打藤島一派明徳応永比業物 ◯伯州住ーーと打小鴨住ニ元重の流と云応永比 ◯備州長船ーーと打貞和比 ◯備中青江一派二

字銘ヲ打建武比
◯備中片山一派二字銘ヲ打文和の比
◯備中国住――と打寛正比

是平 △二人
△加州金沢住藤原――と打辻村高平の弟寛文比業物
△摂津守――と打寛文の年号と打在所不明

是助 ○二人
◯備前福岡一文字一派二字銘ヲ打助真流と云弘長比
◯周防富田住――○次郎太郎作と打文安比

是次 ○三人
◯備前福岡一文字一派二字銘ヲ打兼元中廿四人の内ヲ定る次の字斗切る〻も有
◯備州長船住――と打是吉門丹藤太と号貞治比良業
◯筑前二字銘ヲ打一良西ヲ実名と云

是分 ○一人
備州長船一派二字銘ヲ打是次同人貞治比と云

是 ○一人
備前住一字銘ヲ打時代未詳

惟善 ○一人
石州出羽住――と打應永比誤て性の字ヲ切

惟宗 ○一人
備前国住人――と打元暦比

惟増 ○一人
二字銘ヲ打在所時代不明

惟貞 ○一人
金剛兵エ尉源――と打筑前住と文亀永正比

之勝 △二人
信濃守石道橋――と打平安城東武ニても造ると云時代不明

之貞 △二人
薩州住――と打天和比正房門弐六国貞初銘と云

伊平 ○一人
遠州住――と打文明比と云

小治郎 ○一人
濃州住―――と打関兼家男康正の比

工
越

越前 ○一人
讃州住――と打国吉同人正和比

テ
照 輝 昭 鐵 傳

照門 ○一人 △一人
◯濃州関一派二字小銘ヲ打天正比業物
△丹波大掾藤原――○丹波守藤原――と打濃州関善定家也勢州桑名東武ニても造ル寛文貞享の間中心鈩荒

照包 △一人
坂倉言之進――と打摂州大坂住と二代目越後守包貞延宝庚申の年より照包ヲ改む貞享二元年の作ヲ坂倉越後守照包と打一物有権之進とも切受領の事包貞の傳ヲ記ス

照吉 △三人
△駿州嶋田住――と打輝助一派寛永比
△相州住――と打下総古河藝州廣嶋ニても造る
△駿州同人ならし
△武州下原住藤原――と打時代不明

照國 △一人
山本道運――と打武州下原一派時代不明

照道 △二人
△総州佐倉住――と打川越藤大夫と号寛政比
△羽州住――と打東武四谷ヲ住と享保比

照光 △一人
羽州住法城寺橘――と打秋田住永国男梅山幸左エ門と号享保比

照重 ○三人
◯武州住――と打下原一派山本源二郎と号享禄比業物
◯同二代目武州住――と打同源三郎と号天文永禄の間業物
◯同三代目武州住――○山本源二藤原――と打源二郎と号野州足利内小柴村と云所ニても造る永禄天正の間業物

照廣 ○一人 △二人
◯武州下原住――と打山本宗二郎と号弘治比
△武州下原住――と打寛文比
△津田越前守――と

作在所不明元禄比甚之丞
助廣の弟と云是非不知

輝景 △一人
豊州高田藤原||と作天和比

輝包 △一人
摂州五郎||と作言之進若年の銘

輝吉 ○一人 △一人
○駿州嶋田住||と作五代目義助男明應太永の △上州舘林住||同 △||と作元文比

輝邦 △三人
△摂州住||或二字銘に作和州の紀充ヶ初銘元禄の末より入道銘 △駿州嶋田住||と作 △寛文比紀充と別人

輝康 △一人
甲府住||と作高輝男市川源五左エ門と号和州郡山へ移住スと享保比

輝政 △一人
陸奥守||と作摂州大坂住ス小林国輝門五郎右エ門と号与州松山へ移り和泉大掾国輝に改貞享比

輝行 △一人
豊州高田住藤原||○石見守藤原||と作延宝比

輝廣 △十一代
△肥後守藤原||○肥後守||と作生国濃州関兼常ヶ末孫ふして藤四郎と号初名兼友又兼伴とも切福嶋家の招よりて尾州清洲へ移住して肥後守に住し輝廣と改慶長庚子の年藝州廣嶋へ移居し子孫此地に繁昌業物 △同二代目播磨守藤原||と作甚八と号初名兼久と切慶長の年号作物多業物 △同三代目藝州住藤原||と作長兵エと号寛文比此代より受領なし △同四代目藝州住||と作甚右エ門と号延宝比 △同五代目藝州住||と作長兵エと号貞享比 △同六代目藝州住||と作初名長四郎廣國と切元禄乙亥の年平左エ門輝廣に改 △同七代目藝州住||と作初名弥兵エ廣隆と切宝永中師の家を継き弥助輝廣にうつるし △同八代目藝州住||と作茂八と号正徳中家督す △同九代目藝州住||と作藤四郎と号初名廣光と作享保巳亥の年家督す △同十代目藝州住||と作長右衛門と号享保庚申家督 △同十一代目藝州住||○播磨守藤原||と作藤四郎と号寛延戊辰の年家督文化比迄存す

輝助 ○二人 △一人
○駿州嶋田住||と作五代目義助末男永正天文の間業物 ○伯州住||と作天正の比 △武州下原住||と作慶長比

昭壽 △一人
羽州庄内住||と作石井半助と号昭秀門文化比

昭秀 △一人
水生子||と作羽州新庄住高橋榮助後整治と号東武へ来り正秀門と成享和文化比

鉄正 △一人
和泉守千手院||と作東武住二代目守正同人元禄比

傳助 ○一人
駿州嶋田住||と作永禄比訓ヨシスケなるへし

ア

有在秋顯観鑑明章銘誠紹口敦篤天淡

有家 ○一人
城州粟田口一派二字銘に作有光門正安比

有利 ○一人
和州千手院一派二字銘に作寛元比

有俊 ○二人
○西京住長||と作三字銘も有和州當广一派長兵エ尉と号城州鳥羽にても造る建武比 ○府中住||と作越前千代雀一派明應比

有包 ○一人
伯州大原住||と作建武比一本嘉元比と云

有風 ○一人
豊後紀行平上野にての銘と云信州にても造る

有吉 ○四人
○和州當广一派二字銘に作正和の比 ○富田兵エ尉||と作丹後住へ天正比業物 ○備州住||と作三原一派嘉慶比 ○

阿伽住――と云阿州海府一派在吉とも云永徳比

有忠 ○三人
○油小路――或二字銘ニ云城州粟田口一派弘安比
○備前国――と云長船一派兼久比
○備中片山一派二字銘ニ云文和比

有隆 ○一人
城州粟田口一派二字銘ニ云建長比或八正安比と云

有高 ○一人
二字銘ニ云在所時代不明古くミゆ

有綱 ○三人
○泉州住――と云時代不明
○藤島――と云加州越州西所ニ住と云永正比
○備州長船一派二字銘ニ云建長の比

有常 ○一人
善光寺住――と云信州住と奥州舞草一派也貞治比

有經 ○一人
信州住――と云善光寺有国一門明徳の比

有次 ○一人 △一人
○備中青江一派二字銘ニ云弘安比
△城州住橘――と云天和比

有續 △一人
摂州住神刀九――と云下坂一派加賀守貞廣男高柳庄左エ門と号初名国継と切元禄比業物

有長 ○一人
和州千手院一派二字銘ニ云小二郎と号城州ニても造宝治比

有永 ○一人
城州粟田口一派二字銘ニ云油小路ニ住と五郎二郎と号正元比有長一族と云

有直 ○一人
備州長船一派二字銘ニ云建長の比

有宗 ○一人
備州長船――と云文和比

有延 ○一人
城州粟田口一派二字銘ニ云宝治の比

有信 ○一人 △一人
○備中青江一派二字銘ニ云正應の比
△城州住橘――と云延宝比

有國 ○七人 △一人
○城州粟田口一派二字銘ニ云國家五男林藤五郎と号寛喜比
○城州綾小路住く二字銘ニ云本国備前也宝治比
○江州住――と云鎌田住と高木貞宗門貞和比神次とも云
○信州善光寺住二字銘ニ云有常門應安比
○伯州大原住二字大銘ニ云貞治比
○肥前国住――と云天文比業物

○二字大銘ニ云在所時代不明天文比の嶌田の如し
△大和大掾橘――と云在所時代不明

有安 ○一人
遠州二字銘ニ云時代不明

有正 ○五人 △一人
○和州千手院一派二字銘ニ云元弘比
○遠州住――と云永享比
○江州住――と云高木貞宗門相州ニても造る貞和比
○丹波綾部住二字銘多し應永比
○伯州小鴨住二字銘ニ云貞治比
△但馬守――と云備前住時代不明

有真 ○一人
備州長船一派二字銘ニ云建長比

有清 ○一人 △一人
○城州粟田口一派二字銘ニ云永仁比
△城州橘――と云時代不明

有行 ○五人
○遠州住――と云永享比
○江州住――と云延文比
○備州長船一派二字銘或八有行作とも云嘉禎比といふ
○備中正恒流二字銘ニ云建久の比
○備中国――或ハ二字銘ニ云應安の比

有幸 ○二人
○城州綾小路住二字銘多し元弘比
○和州千手院一派二字銘ニ云奈良ニ住と有幸郎とも云同人正元比

有光 ○七人
○城州粟田口一派二字銘多し同国押櫛笥ニ住す弘長比其遺業を續く此地ニ鍛冶多し是を櫛笥と唱ふ
○和州當麻一派二字銘ニ云應永比業物
○伯州住――と云小鴨住と應安比
○同二代目伯州住――と云應永比
○備州長船五郎左エ門尉――と云應永比
○同二代目備州長船――と云嘉吉比
○豊前宇佐住二字銘ニ云豊後ニても造正應比

有重 ○三人
○河内住――と云寛正比
○備州長船――と云大宮一派ニく成盛とも云と云貞和比
○備後国三原住――と云尾道住と天文比

有弘 ○一人
備州万壽庄住――と云文和比備中也

有平 ○一人 △二人
○

豊後国紀ーー 越後守藤原ーーと号加州金沢 肥前国ーーと号菊 有元〇三人 ◯城州[illegible]一派二
と号弘長比 住高平次男慶安寛文の間 平の族元禄比 字銘ヲ号京華堂
前ヲ住ス五郎三 ◯奥州二字銘ヲ号寛 ◯越中藤島住ーーと号 有盛〇一人 下野国ーーと号越
郎と号天福比 元比舞草一派と云 加州までも造る時代不明 後までも造る應永比
有末〇一人 備中国ーーと号片 有法師〇一人 和州當广一派二字銘或八〇アリホウシ 有王〇一人 二字
山一派弘安比と云 〇アリホシ〇アリホウとも号次有同人 銘ヲ
号在所時代不 鬼鏡ーーと号肥前唐津
明和州物と云 有徹△一人 住直行老成の銘なり

在吉〇一人△一人 ◯阿伽住ーーと号阿州 阿波守藤原ーーと号城州一条 在光〇三人 ◯備州長船
海府有吉同人なり 堀川国廣門寛永の比業物 ーーと号後
の有光男文 ◯備前国長船新三郎ー 在弘〇一人 備中国ーー或八二字銘
明の比業物 ー作と号天文弘治比 多し應安比業物

秋義〇一人 相摸国住人ーー或八二字銘ヲ号鎌倉ヲ住秋廣門 秋國〇三人 ◯相州鎌倉住二字 ◯二
九郎五郎と号秋吉とも号應安の比彫物美し 銘ヲ号康暦比 字
大銘ヲ号在所 秋正〇一人 相州鎌倉住人二字 秋房△一人 上州厩橋住源ーー或八 秋盈△一人 播州姫路
時代不明 銘多し貞治比 二字銘ヲ号享保比 住丹治ー

ーーと号本国上州 秋廣〇三人 ◯相州住ーーと号鎌倉住九郎二郎と号貞治應安の年号有物多し貞宗
厩橋元文比 門人ヲして師の遺跡を継きてより弥其枝ヲ抽く乃祖の回明記の意を継き
二十四国の押形を造る ◯相州住ーーと号 裏銘於上總国真里
是を鋼廣の家ヲ蔵す 谷作之と切物有秋義男應永比 秋弘△一人 上州住丹治ーー或八二字銘ヲ号播州
姫路へ移住す元文比小菱垣鈩有り

顯吉〇一人 長州住ーー或八二字銘ヲ号 顯義〇一人 長州住ーー或八二字銘ヲ 顯長〇一人 長州二字銘ヲ号
二代目顯国門應永の比 号顯吉弟永享比 顯吉男と云文安
比 顯則〇一人 備州長船ーーと号 顯國〇三人△一人 ◯長州住ーーと号筑前左の ◯同二代目長州住ーー或八
近房門應永の比 安吉門貞和比二字も切 二字銘多し後安国と
改む應 ◯同三代目二字銘多し 日州住長尾新五郎平朝 顯久〇一人 三池住ーー作と号筑後
安の比 ◯應永永享の比 臣ーーと号時代不明 住と本国長州也文安比

觀喜〇一人 ノキヨシ 備前福岡一文字一派 觀依〇一人 備前直宗流二 觀喜太郎〇一人 和州千手院一派十市住四字
二字銘ヲ号天福比 字銘ヲ号康元比 銘ヲ号信平男と云文保比

鑑行〇一人 アキ 平ーーと号豊後 鑑重〇一人 平ーーと号豊後 鑑盛〇一人 平ーーと号豊後高
高田一派弘治比 高田一派永禄比 田一派天文弘治の比

明輝△一人 總州住落合弥重郎ーーと号初名隼之進と号下總住スと上 明行〇一人 備州尾道住ー
京しく伊賀守金道門人と成る東武ヲても造る明和寛政の間 ー之作と号天文

章　銘　誠　紹　口

弘治比 **明重** ○一人 明重作と有奥州と云時代不明

明壽 △一人 城州西陣住埋忠一一と有三条宗近二十五世の嫡流埋忠彦次郎宗吉叉重吉とも号ス城州埋忠作と斗も切天正

寛永庚午比迄の作有慶長以来鍛捶刀の祖也

明眞 △一人 埋忠法橋一一と有城州西陣住て明寿の男七左エ門と号家系ニハ家隆と有鐔の銘重義と有寛永比

章實 ○一人 備前吉岡一文字一派二字銘ニ有兼元中廿四人の内八月番ニ定る

銘長 ○一人 平一一と有豊後髙田一派元亀比と云

誠定 △一人 備前岡山住安藤德兵エ

尉一一と有寛文比

紹芳 △一人 彦坂一一作と有東武彦坂氏の慰造之水心子正秀門寛政比

口次 アキ △一人 城州西陣住藤原一一と有時代不明

口則 △一人

城州西陣住藤原一一と有時代不明

口人 アキヨ △三人 △城州西陣住一一と有肥前忠永在京の銘と云 △丹州住一一と有近藤勘兵衛と号丹波天田郡住て正德の比口人ハ村名といふ

敦　篤

口定 △一人 城州住一一と有時代不明

敦房 ○一人 筑州金崎住一一と有鐘崎とも筑前也天文比鷹の羽鈩也

篤倉 ○一人 薩州ニ一人古刀也

天

天原 ○一人 奥州舞草一派二字銘ニ有正治比

天狗 或ハ泃 ○一人 紀州熊野住一一造と有天正比と云

淡

淡路房 ○一人 淡州来国安同人建武比

貞

サ

貞 定 眞 實 左 西 山 散 サ

貞家 ○三人 ◯大和国住人一一と有保昌一派文保比 ◯備州長船一一と有應永比 ◯備後鞆住一一と有文明比

貞利 ○三人 △一人 ◯和州千手院一派二字銘ニ有時代不明古くう回 ◯備前福岡一文字一派二字銘ニ有弘長比 ◯備州長船一一と有應仁比 △備州尾道住藤原一一と有慶長比

貞俊 △二人 △加賀国一一或ハ二字銘も有寛文比

△肥前国一一と有誤て秡の字ニ有寛永比 △尭圓入道と有銘ニ裏ニ貞俊と二字銘ニ切在所時代不明

貞近 ○二人 ◯備前国住一一と有正中の比 ◯備後国一一一と有一永仁の比といふ

貞主 ○一人 豊後佐伯住一一と有貞正同人と云文亀比

貞興 ○三人 ◯大和国一一○大和一一○藤原一一或ハ二字銘ニ有保昌一派貞清男と云元應比奥の字ふも切 ◯同二代目二字銘

貞吉 ○四人 △五人 ◯大和国高市郡住人左エ門尉一一○大和国金吾藤原一一○大和国住人藤原一一或ハ二字銘ふも

一貞和比 ◯但州住一一と有法城寺一派奥と云業物 ◯の字ふも切應安の比業物

有老て入西法師と切 ◯薬王寺久原住一一○三河国佐作とも有保昌五郎門嘉元比 ◯筑前左の流ちれぞ三河左と唱應永比業物 ◯備前福岡一文字一派二字銘ニ有真貞の初銘といふ ◯筑州住一一一と有筑

前左安吉男安貞同人二字銘ふも切貞和比業物 △尾州住一一と有元禄比貞幸の一族ちるくし △加州住藤原一一と有時代不明 △越後髙田住一一と有貞享比といふ △肥前国一一と有寛永比

筑後守――と打在所時　貞休○一人　二字銘ヲ打石州　貞寶ヨシ○一人　丹州天田住――と打丹波
代不明尾州同人とも云　あり時代不明　あり永禄元亀の間業物
貞隆○一人　城州粟田口一派二　貞次○九人△四人　○大和国住――と打　○但州住――と打法　○備前国――
字銘ヲ打貞應比　保昌の末康正比　城寺一派應永比　と打康一永
一永徳の間左近將　○備中青江一派二字銘ヲ打守次男と云兼元中二月番ヲ　○備中国住青江大隅権介平
監と号と云未詳　定られ右エ門尉ヲ叙セ秘銘ヲ出ス又ハ安の字斗ヲ打勝れたる物也　――と打嘉暦比追六○右エ門
太郎平――と打秘銘也初代八　○備中国住人青江――作と打　○備州住――と打　○備州鞆住――と打三
守貞とも切と云延元文和の間良業　○大隅貞次と八別人永和比　三原一派應安比　原一派亨徳の比業物
○薩州住――と打元亀天　〈摂州住藤原――○伊賀守――と打井上真改門貞則弟　〈尾州住――と打元
正比長船丁子ヌ多シ業物　〈鈴木甚右エ門と号生國肥後と云寛文正徳の間良業　〈禄比河内守同人
あり　〈越前国作下坂――○日向大掾藤原――○日向守藤原――　〈河内守藤原――と　貞繼○一人　出羽―
〈下―銘裏越前国豊原麓とも打寛文比以下三代とのべとも未詳　打在所時代不明　―作と
打石州　貞綱○二人△一人　○石州出羽住――○出羽――作　○備前直宗流二字銘ヲ　○摂州住――○藤原――
應永比　とも打雲州にても造る明徳比　打三郎と号寛喜比　とも打貞亨比竿子門
貞經○二人　○作州二字銘ヲ打　○備前直宗流二字大銘ヲ打　貞常△一人　越後守――と打　貞直○一人
綱とも切正應比　貞遅男左近允と号正嘉比　天和比在所不明

備前国住――　貞長○一人　備州長船住――　貞永○二人　○備州長船――と打應　○備後国鞆住――と
と打延慶比　と打貞治比良業　安比貞長同人とも云　打三原一派長禄比
貞作△二人　法城寺橘――と打　貞命△一人　平安城橘――と打　貞宗○五人△一人　○大和国保昌――○保
東武住寸元禄比　法城寺一派元禄比　昌――作と打高市
郡住―保昌五郎と号初名国光又貞　○同二代目大和国――　○相撲国鎌倉住人――○相撲国住人――或ハ字
光とも打文永比柾目肌と顕ハるる始祖也　○と打嘉元比良業　銘も有生国江州野洲郡高木邑にして彦四
郎と号本国にてハ江州高木住――○江州佐々木住――とも打相州五郎正宗諸国周流の時師弟と約し鎌倉へ
移住――と既養子と成江州にてハ初名弘光又助貞とも打と云正和貞和の間濤ヌハ此作ヲ比するものなし
○越中宇津一派二　○肥前平戸住――と打　〈薩州住――と打隅州にても　貞村○一人　和州千手院一派二字銘ヲ打
字銘ヲ打建武比　与四郎と号天文比　〈造る良包初銘也安永比　弥三郎と号文保比定村同人
貞氏○一人　備州長船――　貞則○二人△二人　○備前福岡一文字一派　○備州長船――と打　〈摂州住藤原――
と打應安比　二字銘ヲ打嘉元比　定則門元弘比　〈―○加賀守――
○鈴木加賀守――○奥州磐城住加賀守――と打本國肥後菊池にして坂陽へ出井上真改門と成佐右エ門
と号後内藤家の刀匠と成奥州へ移住し菊と切寛文亨保の間老成の銘細鏨也子孫武夫と成奉仕ヲ業
物　〈越前福井住二字銘ヲ打下坂五郎　貞信○二人△二人　○備州長船――と　○備後国尾道住五　〈摂州生玉
〈兵エと号東武にても造る元禄比　打永正比業物　阿弥――と打明應比　〈住橘――

○法城寺橘｜｜於武江城下作とも打但馬守ニ任スとも云ふ寛文比業物 △肥前佐賀住藤原｜｜と打万治比

貞國 ○五人 △五人
◯相州山内一派一字銘ニ打本国備前建武貞和の間 ◯越中宇津一派一字銘ニ打貞宗门貞治比 ◯石州出羽住｜｜と打大永の比 ◯備後尾道住｜｜と打三原一派嘉吉比業物 ◯筑州住｜｜と打筑前左一派應安比 △摂州住藤原｜｜○田口次郎兵衛尉藤原｜｜と打寛文比 △尾州夕住｜｜作と打慶長比 △駿州嶋田住｜｜○駿府安西住｜｜とも打寛文貞享かん間 △法城寺但馬守橘｜｜と打東武ニ住す万治の比 △肥後藤原｜｜と打同田貫一派慶長比

貞安 ○二人
◯安藝国佐伯住｜｜或二字銘ニ打左一派應永比業物 ◯波平｜｜と打薩州谷山一派天文比

貞康 ○一人
豊後国朽網郷住｜｜と打則貞门康正文明の間

貞正 ○三人
◯濃州住｜｜と打若狭五郎门文安比 ◯備州長船｜｜と打良国门應永比業物 ◯備後尾道住五阿弥｜｜と打三原一派文明比

貞偶マス ○一人
薩州波平一派二字大銘ニ打永正比

貞房 ○二人
筑州住｜｜と打筑前左一派延文の比良業

貞明 ○一人
但州住｜｜と打法城寺一派康暦比と云

貞羅アヤ ○一人
出羽住｜｜と打石州也天文永禄の間

貞里 ○一人
備中青江一派二字銘ニ打張次同人と云

貞真 ○二人
◯高市住｜｜と打和州保昌一派元應比大業 ◯備前福岡一文字一派二字銘ニ打建治の比

貞實 ○一人
紀州入鹿一派二字銘ニ打文安比

貞清 ○四人 △一人
◯大和国住藤原｜｜と打高市住保昌一派嘉元の比 ◯石州住｜｜と打出羽住とも延徳の比 ◯濱崎太郎左エ门｜｜と打肥前時代不明 ◯薩州住｜｜と打隅州ともも造文保比 △法城寺橘｜｜と打東武住貞享比

貞行 ○八人 △六人
◯和州高市郡｜｜と打保昌一派元應比業物 ◯石州｜｜と打出羽住とも應安比 ◯備州長船｜｜と打兼光门永和比 ◯備州長船｜｜と打應仁文明の間業物 ◯備後国尾道住｜｜と打三原一派長享比業物 ◯筑前国｜｜或二字銘とも打左一派貞治比 ◯豊州｜｜と打高田一派應永の比 ◯日州住源｜｜と打永正比と云 △多田次兵衛尉藤原｜｜と打坂陽住す天和比 △法城寺橘｜｜と打東武住貞享の比 △越後高田住｜｜と打時代不明 △藝州廣嶋藩士坂原弥右エ门と号相州傳と専门とス○貞行作と三字銘ニ打或ハ五行○辨慶○西藤別當実盛なと〻戯の銘多し慶安延宝かん間 △豊後高田住藤原｜｜○大和大掾藤原｜｜と打承應比 △同二代目豊後高田住藤原｜｜と打天和比

貞幸 △二人
△越中守藤原｜｜と打尾州名古屋住万治寛文の比 △河内守源来｜｜と打尾州名古屋の住元禄の比

貞光 ○六人 △一人
◯城州来一派来｜｜と打鎌倉末の流徳治元亨の間 ◯和州住｜｜と打高市住保昌一派正和比貞宗と別人 ◯濃州住｜｜或ハ二字銘も有本国若州なと〻若狭五郎と号後兼貞と改永享比良業 ◯濃州関｜｜と打明應永正の間 ◯備州長船｜｜と打貞治永徳の間 ◯備州長船｜｜と打貞行门應永比 △摂州住｜｜と打貞享比在所不明貞改風也

貞道 △三人
△日向大掾藤原｜｜と打越前下坂一派貞次同人と云寛文比 △佐渡大掾藤原｜｜と打越後高田住す寛永の比 △防州住｜｜と打岩国住阿部甚太夫と号伊賀守金道门

享保元　**貞重** ○一人△五人　○備州長船ーーと　△對馬守藤原ーーと打尾州名古屋住さと　△法城寺備中守橘
文の间　打時代不明　坂陽かくも造万治延宝の间良業　ーーと打本国但州
弘原かーく東武へ　△出雲守下坂ーーと打越前福井住也遠州掛川　△越後高田住ー　△播国住ーー○藤原
移住さと寛文比　江州西坂本奥州會津ヨても造慶長寛永の间　ーーと打正保比　ーーと打播州之寛
文延　**貞廣** ○一人△六人　○備後三原住ーー○備後国尾道住ー　△高柳加賀守藤原ーーと打本国越前下坂一派かーくて
宝比　ーー○備後国鞆住ーーとも打文安比　△坂陽ヨ住さと平安城ゆても造る寛文享保の间業物
△摂州久保田住源ー　△尾州犬山住ーー　△武州住法城寺橘　△羽州米沢住ー　△備後守藤原ーーと打在所
ーーと打時代不明　ーと打貞享比　ーーと打元禄比　ーと打時代不明　時代不明尾州同人とも云
貞弘 ○一人△一人
○安藝国住ーー筑前左　△尾州住藤原ー　**貞秀** ○三人△二人　○備州長船ーー　○筑州住ーー或二字銘ゝ打左の
弘安门應安比業物　ーと打享保比　と打文明比と云　字斗も切筑前左貞吉门薩州ゟ
ても造る後肥前平戸へ移住す是と　○筑後国ーーと打大石一派　△水心子ーー造と打正秀男川部　△加賀守ーーと打
平戸左文字と唱應安の比大業　一永徳比平戸左の门と云　△熊次郎正廣ゝ後の銘之文化比　△越前下坂一派寛
文　**貞久** ○一人△一人　○三州茉主寺久原住す貞久　△伊賀大掾藤原ーーと　**貞平** ○一人△一人　○備後三原一派二字
比　作と三字銘多し嘉吉比　打豊後高田一派寛文比　銘多ーし永仁比　△
東奥磐城住ーーと　**貞盛** ○三人△一人　○備中国大原住人ー　○冷泉ーーと打筑前左一派貞治　○平ーー造と打豊
打貞則门元禄比　ーと打永正比　比博多の津と冷泉津と唱ふ　後高田一派天文比

△城州住陸奥守ー　**貞守** ○六人　○和州千手院一派二　○石州出羽住ー　○備州長船ーーと打安部一
ーと打時代不明　字銘ヨ打正應比　ーと打應永比　派新三郎と号ゝ應永比
○同二代目備州長船　○青井住ーーと打備　○平ーーと打豊後　○備前国長船ー
ーーと打長禄比　中應永比と云　高田一派文明比　**貞元** ○二人　ーと打嘉元比　○
石州長濱住ーーと　**貞末** ○四人　○大和国ーーと打高市　○和州千手院一派二　○長濱住ーーと　○備州
打文亀永正の间　住保昌一派貞和比　銘ヨ打嘉吉比業物　打石州應永比　長船
ーーと打應安　**貞助** ○一人△二人　○相州小田原住ーーと打定　△参河守ーーと打駿州　△同二代目三河大掾末ー
明徳の间　廣门天文比二字銘も有　島田一派寛永の比　ーと打貞享かゝ比
貞資 △一人　東奥磐城住ーーと　**貞澄** ○一人　城州粟田口一派二　**貞住** ○一人　越中佐伯杤原住ーー○杤
打貞則门元禄比　字銘ヨ打寛元比　原ーー作とも打文亀比業
物多　**貞隅** ○一人　薩州波平一派二字　**貞材** ○一人　高市住ーーと打和州保昌一派弥三　**貞** ○二人　○備
し　銘ヨ打永正の比　郎と号後越中へ移住す元應比　州
長船ーと打　○日州住源ー作と打　**定家** ○四人　○平安城ーーと打　○城州綾小路定利门字
至徳の比　永正比貞行同人銘　光長门正中比　銘ヨ打藤五郎と号延
元　○高麗ーーと打武州下原一派高　○越中住ーーと　**定春** ○一人　豊後紀一派二字銘ヨ打　**定利** ○六人
比　麗郡ヨ住をれぞく享禄比と云　打時代不明　行平门兼久比と云

○城州綾小路住二字銘多シ弥太郎法名了阿弥と号弘安徳治の間 ○城州綾小路一派二字銘ニ打定利門初名定俊と切弥五郎と号建武比 ○和州千手院一派二字銘ニ打奥福寺の辺ニ住す正應比兼住法師乙友忠光坊同人と云 ○備前福岡一文字一派二字銘ニ打片山の風之正和比 ○備前国長船ーーと打定俊男法名道阿と号正安比 ○備後三原住ーーと打元亀比

定俊 ○六人 △一人

○城州綾小路一派二字銘ニ打後の定俊同人文保比 ○城州信国一派二字銘ニ打應安比 ○越中宇津一派二字銘ニ打時代不明 ○備前福岡一文字一派二字銘多シ正中比 ○備前国住ーーと打長船一派弘安の比業物 ○備州長船一派二字銘多シ應安比 △越後守源ーーと打定道同人と云

定時 ○一人

了戒ーーと打城州より豊後へ移住し大永比

定景 ○一人

城州油小路住二字銘多シ正應比

定勝 ○一人

薬師寺ーーと打下野得二郎村住文亀永正比業物

定吉 ○五人 △一人

○相州住ーーと打小田原刀匠天文比 ○備前福岡一文字一派二字銘ニ打片山流と云正應比 ○備前国ーー造と打長船一派定俊門嘉元比 ○備後尾道住ーー作と打三原一派天文比 ○筑前左一派文明比宗吉作と二字ニ切 △二字銘ニ打在所時代不明

定慶 ○二人

○奥州住左近将監ーーと打時代不明 ○豊後国ーー作と打紀行平門人ゆへに師と共ニ上野へ移住し法名良順と号すと云後帰邑以兼元比

定能 ○一人

了戒ーーと打豊後弘治比

定次 ○五人

○城州綾小路一派二字銘ニ打定家門三条孫太郎と号と云應安比 ○加州住ーーと打弘治比業物 ○備前福岡住二字銘ニ打片山流と云文永比 ○備州長船住人ーーと打建武比 ○備中国ーー作と打青江一派應永比

定綱 ○一人

備州長船ーーと打應永比

定業 ○一人

城州錦小路住二字銘ニ打定利門貞和の比

定宗 ○一人

和州千手院一派二字銘多シ藤五郎と号す正長比

定村 ○一人

和州千手院一派二字銘ニ打弥三郎貞村同人

定信 ○一人

備後国尾道住ーーと打大永比と云

定延 ○二人

○城州大宮一派二字銘ニ打建暦の比 ○備前大宮一派二字銘ニ打應永比といふ

定則 ○三人 △一人

○城州綾小路住二字銘多シ正中の比 ○福岡住ーーと打備前元亨比 ○備州長船ーーと打延文比 △奥州磐城住ーーと打鈴木貞則同人別人未詳

定順 ○一人

筑前二字銘ニ打法師なりと云建武比

定國 ○二人

○城州五条住二字銘ニ打後信国と改むると云應永比 ○備州長船ーーと打時代不明

定安 ○一人 △一人

○城州綾小路住二字銘多シ康應比 △薩州住ーーと打元平門村尾与市郎と号文化比

定行 ○三人

○備州長船ーーと打貞和比 ○備後尾道住其阿弥ーーと打天文比業物 ○筑州住ーー○藝州住ーーと打左の門南朝の正平比の年号多シ良業

定光 ○二人

○備州長船ーーと打亨禄比 ○豊前宇佐住二字銘ニ打本国城州三代目信国門後信国ニ改是筑紫信国の祖なり應永比

定道 △二人

△越前守源ーーと打三品氏と切るも有尾州名古屋ニ住すと本国濃州関三阿弥兼則末裔也洛陽へ来り伊賀守金道門と成寛文天和の間 △遠州掛川住ーーと打元禄比

定重 ○二人 △二人

○和州千手院一派二字銘ニ打文永の比といふ ○千手院ーーと打和州也後濃州赤坂へ移住すと康暦比業物

△濃州関住源ーー於大坂作之○源ーー於摂州難波津作之と号重虎の族寛文か比 △播州住ーーと号姫路住津田市郎兵エと号正徳享保の比

定貞○一人 法便ーーと号在所時代不明按ずに印本和州の部に住便(ヨリ)とあるもの八恐く八此作の事なるべく法と住と誤りたるなるらん

定弘○二人 ◯城州一条住二字銘にて号宝治比と云 ◯能州住ーーと号永正比 ◯筑州住ーーーーと号左一泒永享比

定廣○三人△一人 ◯相州住ーーと号小田原刀匠之○駿州冨士郡下方住ーー作と号も同人ニシフヤと唱明應大永の間 ◯備後尾道住ーーと号天文享禄比といふ △近江大掾藤原ーー○近江守藤原ーーと号本国濃州なく尾州名古屋に住と享保比

定久○三人△一人 ◯備前福岡一文字一泒二字銘にて号寛元の比 ◯同二代目二字銘にて号備中なくも造る弘長比 ◯備州住ーー作と号尾道三原一泒文明比業物 △摂州住ーーと号寛文比

定秀○一人 豊後国ーー作○豊後国僧ーー作或ハ二字銘にて号必表銘に切彦山三千坊学頭賢正坊と号好て刀剣を造紀行平か師之元暦比迄存生すといふ

定守○二人 ◯備後三原住ーーと号天文の比 ◯豊後平高田一泒二字銘にて号大永比業物

定盛○三人△一人 ◯平ーーと号豊後高田一泒文明比 ◯源ーーと号筑前金剛兵衛一泒弘治の比 △近江守来ーーと号城州住と天和比

定基○二人 ◯備前福岡住二字銘にて号片山一泒文永比 ◯備州長船ーーと号正和比

定助○一人 備前福岡一文字一泒二字銘にて号建永比

定次○一人 備前福岡一文字一泒二字銘にて号正嘉比

定祐△一人 山城国鞍馬住ーーと号寛文比

真

定○一人 備州長船ーーと号貞和比同国又一人ありと云

真家○三人 ◯和州千手院一泒二字銘にて号藤五郎と号正中比 ◯備前国ーーと号直宗流宝治比

真屋○一人 二字銘にて号甲州と云時代不明嶌田の流とも云へり

真利○四人 ◯城州五条坊门住と粟田口一泒と云二字銘にて号建久比 ◯備前福岡一文字一泒二字銘にて号備中片山へ移住し則房養子と成右馬允則房と改寛元比 ◯備前福岡住ーー二字銘多く弘安嘉元の間 ◯備前国長船ーー造と号貞和比と云

真友○二人 石州長濱住ーーと号應永比

真近○二人 ◯和州千手院一泒二字銘にて号時代不明 ◯備前直宗流二字銘にて号貞永の比

真景○九人 ◯和州住ーーと号千手院一泒至徳の比といふ ◯加州住藤原ーー作或ハ二字銘にて号越中則重门く泉州伯州なくも造る老成越後まても造るもの有と云貞治應安比の年号切物多し良業 ◯同二代目加州住ーー或ハ二字銘にて号應永比業物 ◯宇多ーーと号越中時代不明 ◯備州長船一泒二字銘にて号寛元比と云 ◯備州長船ーーと号應永比 ◯備中片山一泒二字銘にて号貞和の比 ◯備後尾道住ーーーと号延徳比 ◯二字銘にて号在所時代不明因州小鍛冶の一泒ともいふ

真包○一人 石州長濱住ーーと号明徳比

真方○一人 豊後高田一泒二字銘にて号天文比

真吉○四人 ◯伯州住ーーと号大原一泒應安比 ◯備前福岡一文字一泒二字銘にて号左助と号弘長比 ◯

同二代目備前国――とま正應比
〇備州長船――とま應永比

真能 〇一人
了戒――とま豊後應永正長の比

真慶 △一人
真慶作とま越中の住と云元禄比の作多し

真依 〇一人
備州長船――とま應永比

真忠 〇三人
〇和州千手院一派二字銘よま大井川太夫弘直同人正和比
〇備前直宗流二字銘よま天福の比
〇備前国――とま長船一派元弘比実の字ふも切

真隆 〇一人
城州粟田口一派二字銘よま国延门弘長比

真高 〇一人
備州長船一派二字銘よま貞應比

真恒 〇二人
〇備中真恒作と三字よま嘉元比と云
〇豊後佐伯住――とま三池流と云弘安比

真經 〇一人
備州長船一派二字銘よま綱の字も切元應比

真綱 〇二人
〇石州出羽住―――とま明徳の比
〇備前国吉井住――とま永亨比

真次 〇四人
〇備州長船――とま貞和比
〇備中青江一派二字銘よま番鍛冶貞次门次郎と号貞應比
〇備中国――或ハ二字銘よま正和比と云
〇備後国住――或ハ二字銘よま三原一派文和比

真長 〇四人
〇越州石塚――とま越中也右エ门尉と号明應比
〇越後住――とま應永比業物
〇備前国長船住――造或ハ二字銘よま順慶门紀次郎又平九郎とも嘉元比業物
〇備中万寿庄住新左エ门尉――或ハ二字銘よま延慶比一本二代有と云

真永 〇一人
備州長船――とま應永の比

真宗 〇四人
〇城州粟田口一派二字銘よま正應比
〇和州千手院一派二字銘よま弘安比
〇大和国――とま千手院一派永亨比
〇備前福岡一文字一派二字大銘よま建保の比

真則 〇五人
〇備前直宗一派二字銘よま文暦の比
〇備州長船一派一字銘よま弘安比
〇備州長船一派二字銘よま後雲州へ移住と元應比南無阿弥陀佛ともま
〇備前国吉井住――とま文和貞治の间業物
〇備中片山一派二字銘よま應永比

真度 △一人
二字銘よま在所不明寛文比

真延 〇一人
備前国住――とま長船一派時代不明

真信 〇二人
〇備中青江一派二字銘ふま張谷同人貞里ともまと云
〇備後尾道住五阿弥――とま明應比

真國 〇三人 △一人
〇城州粟田口一派二字銘よま後相州山内へ移住―国綱と改正應の比
〇宇多――或ハ二字銘よま越中宇津一派文正文明の间
〇備前直宗流二字銘よま貞永比
△中条越前守――とま越中直国同人

真安 〇一人
薩州住――とま谷山一派時代不明

真政 〇一人
備州長船――とま延元比正の字ふも切

真房 〇二人
〇備前直宗流二字銘多く兼元中廿四人の内五月番よ定らる
〇備州長船――とま元應建武の间

真有 〇二人
〇石州長濱住――とま永亨比
〇同二代目石州住―――とま文明の比

真阿 〇一人
二字銘よま在所時代不明法名なるべし

真定 △一人
信州住――とま寛永比と云

真貞 〇三人
〇雲州道永一派二字銘よま文亀比
〇備前福岡一文字一派二字銘よま初名貞吉とま嘉元比
〇備州住―――とま備中片山一派應永の比業物

真里 〇一人
備中片山一派二字銘よま量重とも切永亨比

真清 〇一人
藝州三入住三王――とま本国防州之天正比

真行 〇四人 △一人

◯備前福岡一文字一派二字銘ニ打貞應比 ◯備前国――ト打長船一派西大寺行長門正中比 ◯備中片山一派一字銘多ク瀬尾刑部四郎ト号文和比 ◯備後國三原住貞――ト打永正比 △豊後国高田住藤原――ト打延宝比

真幸 〇一人 相州山内一派二字銘ニ打宗幸同人寛元比

真光 〇五人 △一人 ◯和州千手院一派二字銘多ク動ニ住ト延元比 ◯大和國――ト打手掻一派貞和比 ◯濃州関一派二字銘ニ打應安比 ◯備前福岡一文字一派二字銘多―長光門ト成元應ナル比 ◯備州長船――ト打光家門長享比 △二字銘ニ打在所時代不明

真重 〇一人 紀州住根品車――ト打應永比実重同人ト云

真平 〇二人 ◯備中正恒流二字銘ニ打貞應比 ◯備中片山一派左エ門尉――ト打真行門明徳の比

真廣 〇二人 二字銘ニ打在所時代不明備前ト云

真秀 〇一人 備州長船――ト打應永比

真元 〇三人 ◯大和――ト打千手院一派正慶比 ◯越中砺波郡住――ト打本国石州正利門能州ナレとも造ル應永比業物 ◯二字銘ニ打在所時代不明人

真守 〇四人 △一人 ◯三州小原住――ト打小原ト斗切あるも有文亀永正比 ◯備前国長船住人左近允――造〇備州長船――或ハ二字銘ナルも打畠田弥次郎是ハ正應比 ◯備中片山一派二字銘ニ打正治比 ◯平――或ハ二字銘ニ打豊後高田一派文明比 △伯耆国住――ト打横瀬助七ト号享和壬戌の年真森ニ改む

真盛 〇二人 ◯備州長船――ト打應永比 ◯平――ト打豊後高田一派真守同人ナルへし

真森 △一人 伯耆国住――ト打横瀬助七真守の後の銘ニ文化比

真助 〇三人 ◯和州千手院一派二字銘ニ打寛元比 ◯二字銘ニ打在所時代不明

真末 〇三人 ◯大和国住――或ハ二字銘ニ打京末の傳ト云奈良住藤太夫ト号貞治比 ◯石州出羽住――ト打文安比 ◯備州長船――ト打應永の比

真澄 △一人 薩州住――ト打時代不明実澄ト別人

真改 △一人 井上――ト打坂陽住ニと和泉守國貞寛文壬子の年真改ニ改む菊の中の心⊕如此切天和壬戌年十一月九日卒葬于坂陽重願寺碑ニ井上真改居士ト誌ニと大坂正宗ト唱

真了 △代々 △土肥――ト打肥前平戸住土肥作左エ門正重ト号延宝庚申の年坂陽へ来り井上真改門ト成天和壬戌の年帰邑ニと貞享の中頃迄の作多し業物 △同二代目土肥――ト打同作之丞ト号享保巳亥の年ニ四十八歳業物 △同三代目土肥――ト打同重助ト号宝暦比の作多し △同四代目土肥――ト打同大六ト号安永寛政の間

實

實家 〇一人 備後葦田三原一派二字銘ニ打或ハ表ニ葉銘裏ニ実家ト打一物有草土一乗ト唱永享比葉八乗の誤なるへし

實勝 〇一人 日向住――ト打実昌父トいふ應永の比

實吉 〇一人 △一人 ◯日向住――ト打嘉吉比といふ △播州明石住――ト打寛文比

實能 〇一人 了戒――ト打城州文明比ト云

實義 〇二人 備後三谷住―〇備後楹野――ト打應永比俗ニ塩(シホ)の実義ト唱ふ按ニ楹字まてミユあるし

實可(ヨシ) 〇一人 紀州住――ト打入鹿一派文亀の比

實世 〇一人 △一人 ◯紀州住――ト打入鹿一派時代不

明〈日州住｜｜と打古屋住とも時代不明
寶高 ○二人 紀州入鹿一派二字銘ニ打永正比
寶山 タカ ○一人 二字銘ニ打在所時代不明入鹿物といふ
寶忠 ○三人 ○
備州長船住｜｜と打 元弘比眞の字ニも打 ○土州住｜｜と打 古光流應永比 ○日州住｜｜と打古屋住とも天正比
寶次 ○三人 △一人 ○備中青江一派二字銘ニ打永仁比 ○
紀州入鹿一派二字銘ニ打建保の比 ○熊野住｜｜と打紀州入鹿一派應永の比業物〈筑前福岡住｜｜と打元祿の比
寶續 ○一人 豐後国｜｜と打時代不明

寶繼 ○二人 ○紀州入鹿住｜｜と打文明の比業物 ○入鹿｜｜作と打紀州永正比
寶經 ○四人 ○作州二字銘ニ打兼元中廿四人の内十月番ニ定らる或八月番とも云 ○備前ニても造ると云 ○作州｜｜と打正應比良業 ○備前国長船住｜｜と打一文字流と云元應比 ○入鹿｜｜と打紀州貞應比
寶綱 ○二人 ○
入鹿住藤原｜｜と打紀州文和の比 ○同二代目名草郡住｜｜或ハ二字銘ニ打應安比
寶永 ○一人 筑後住｜｜と打大石一派大永比
寶成 ○一人 △一人 ○城州粟田
口一派二字銘〈日向国｜｜とニ打永仁比〈打時代不明
寶就 ○一人 紀州入賀住｜｜と打應永比
寶宗 △二人〈播州姫路住｜｜と打黒田正家四代の孫太郎左エ門と号
享保〈同二代目播州姫路住｜｜と打久兵エと号元文比
寶則 ○一人 二字銘ニ打雲州道永一派なるへし時代不明
寶安 ○一人 波平｜｜と打薩州谷山一派文和の比

寶正 ○一人 △一人 ○備州長船｜｜と打應永比〈武州住藤原石道｜｜と打明暦比
寶昌 ○一人 日州住｜｜と打文安比正の字ニも切
寶丸 ○一人 日州住｜
｜と打二○とも切時代不明
寶阿 ○二人 ○城州二字銘ニ打寛元比法名なるへし ○筑前国宇美｜｜作或ハ二字銘ニも打 ○平嘉暦の年号切物多し西蓮門と云
寶貞 ○一人
備後三原住｜｜と打嘉吉比といふ
寶清 ○一人 二王｜｜と打防州永祿比
寶行 ○五人 △二人 ○濃州関一派二字銘ニ打貞治比 ○作州｜｜と打應安比 ○豐後高田
一派二字銘多 ○入鹿住｜｜と打紀州應永比 ○波平｜｜と打薩州谷山一派應安比〈豐後高田住藤原｜｜と打寛文〈天和の間以下数代とのへとも未詳〈日州住｜｜と打時
代不明
寶光 ○一人 備州長船新左エ門尉｜｜○備州長船｜｜と打應永文安の間
寶重 ○五人 △一人 ○備州長船｜｜と打應永比眞重とも切 ○備後三原住辰房｜
｜と打嘉吉比業物 ○備後尾道住｜｜と打明應の比業物 ○紀州入鹿住｜｜と打根品車眞重同人とぞ ○波平｜｜と打薩州谷山一派時代不明〈日州住｜｜と打時代不明
寶鎭 ○一人 豐後高田一派藤原｜｜と打元龜比
寶秀 ○三人 ○城州粟田口一派二字銘ニ打寛元比 ○備州長船｜｜作と打建武比 ○日州住｜｜と打古屋住とも天正の比
寶久 ○二人 ○波平｜｜と打薩州谷山一派文和比 ○二字銘ニ打在所時代不明
寶弘 ○一人 石州住｜｜と打享祿天文なとの間
寶守 ○四人 ○

三州小原住ーーと号す應永比より以下三代有といへとも未詳真守一派なるへし 〇備前国ーーと号長船一派正應比真守同人と云 〇豊後高田一派二字銘す號應安比 〇紀州へ鹿住ーーと号す應安比と云

實盛 〇一人 備州長船ーーと号天文比と云

實元 〇一人 日州住ーーと号す永禄比

實澄 △一人 薩州児玉ーーと号す宝暦安永の間

左 〇

〇筑前国住ー〇筑州源ー〇相摸国鎌倉住ー〇銘表一字銘裏銘筑州住と号するも有多く一字銘す号く筑前国隠岐濱す住ー左エ門三郎法名を慶源と号く相州鎌倉へ移住ー正宗门と成文保貞和の间大左と唱ふ一説ニ左エ门 〇藝州長州す左と斗号とのゑるー〇肥前伊尉源安吉と号くと云く左と斗号との子孫门葉す多し 〇佐早庄住左と号との有平戸左の门人記各其刀剣を相らくりうち分るへし應永の年号 〇左初左ニ左應永比

左衛門尉 〇一人 肥前平戸住ーーー〇佐衛门と号すくるハ筑前す多し〇左と号す平戸左と唱ふ慶源左の门実名国房と号貞和比〇筑州左の貞秀平戸へ移住ー是を平戸左と呼と云時代不合可追考

左馬助 〇一人 肥後国住小山ーーーと号す同田貫国勝同人後正国と改天正の比

西京 〇一人 大和国ーーと号す建武比有俊同人

西蓮 〇一人 筑前国博多住人談儀所国吉法師ーー或ハ二字銘す号す正應文保の间左文字の父といふ

山蓮 〇一人 讃州住ーー或ハヨウレンと横字ても号す文永比と云法名乳

散位 〇一人 肥前伊佐早庄住二字銘す号す則末同人といふ

サノリ 〇一人 和州當广一派三字銘す号す友長同人應安比

サツクワ 〇一人 筑前左一派四字銘す号す貞治比越前金津へ移住すと

キ

清淨氷神金菊奇紀喜鬼休

清春 〇三人 〇防州住二王ーー作と号す吉敷住すと正應比 〇防州住ーー〇長州住ーー〇二王ーー作と号す両州にて造る宝徳比 〇阿州住ーー或ハ二字銘す号す貞府一派房吉同人と云應仁比

清利 〇一人 和州手掻一派二字銘す号す貞治比兼林同人といふ

清俊 △三人 △奥州仙基住ーーと号す田代清貞男金十郎と号永重の番代と勤む寛文比 △同二代目奥州仙基住ーーと号す田代作左エ门と号永俊门元文比後ニ本家相續ーーと久右エ门永重す改名又永茂す改む △對州住藤原ーーと号す薩州にても造る寛文比

清友 〇一人 薩州住ーーと号す鹿児府す住中村小二郎と号佐藤清左の门く隅州ゆくし造る永正大永比といふ

清近 〇一人 二字銘す号す在所時代不明

清興 △一人 薩州喜入住ーーと号す清行三男中村掃部兵エと号薙髪ーー〇清興入道〇自現入道〇山伏自現坊〇快真坊と銘を切享保比業物

清包 〇一人 大和國ーーと号す手掻一派亨徳比

清景 〇三人 〇備州長船ーーと号す逆足乱奇るり應永の比業物 〇二王ーー作と号す防州吉敷住貞永の比 〇二王ーー作と号す防州吉敷住應永の比

清一 △一人 薩州住ーーと号す斜木太藏後す傳右エ门と号其清门享保比

清方 △二人 △

長州住二王ーーと号継清養子玉井兵作と号又寛政比△薩州喜八住伊勢守藤原ーーと号十六葉の菊を切清房男中村登右衛門後清右エ門と号延享丙寅の年四拾九歳の時受領す八拾余歳迄造ると云

清吉 ○三人 △一人
○備州長船ーーと号應永亨の同業物○二王ーー作と号防州吉敷住文安の比○波平ーーと号薩州谷山一派元亀比△摂州住ーーと号寛文天和の間

清忠 ○二人 △一人
○防州住ーーと号吉敷二王一派元徳比○防州ーーと号吉敷二王一派文明比△長州府住二王ーーと号継清が実子玉井用三郎と号故ありて別家す寛政比

清種 ○二人
○長州住ーーと号二王一派長禄の比○波平ーーと号薩州谷山一派文亀比と云

清次 ○三人 △五人
○関住ーーと号濃州永正比業物○備中青江一派二字銘ニ号播州三木にても造る文應比○長州住ーー作と号二王一派天文比△相摸国住藤原ーーと号貞亨比△長州豊浦住二王ーー○長州住ーー○二王戸祐とも号清実男玉井戸助と号京伊賀守金道門と成元文比△肥前国ーーと号時代不明△薩州住藤原ーーと号時代不明△北陽内記ーーと号北陸七州の刀匠なりし時代不明

清繼 ○一人
石州長濱住ーーと号天文比

清常 ○二人 △一人
○和泉住ーーと号加賀四郎一派長禄比○波平ーーと号薩州清友男中村清右エ門と号天文比△尾州住藤ーーと号藤原とも号天和比

清綱 ○四人 △二人
○大和住ーーと号當麻一派應永の比○防州吉敷郡吉敷住二字銘多し同州木崎の仁王堂の鎖を切るよう二王三郎とも切事ハ仁王の部に具に録す縄かん字にても号建仁の比○同二代目二王ーーと号丑三郎と号寛喜比○二王ーーと号防州吉敷住正應比縄の字ニ号物多し○有世○青井とも号と云△山城国藤原ーーと号寛文の比△周防国二王三郎ーー朝臣と号寛文比於安藝国作と号さらに有同人く此時代迄同銘相續せし家詳

清長 ○六人 △三人
○大和国住ーー作と号文和の比○濃州関一派二字銘或ハ清長作と号天正比○因州住ーーと号小鍛冶一派應安比○二王ーーと号防州吉敷住正應比○同二代目二王ーーと号建武の比○波平ーーと号薩州谷山一派天正比△濃州岐阜住新古ーー○藤原ーーと号元禄比△雲州住ーーと号時代不明△豫州松山住ーーと号時代不明

清永 ○一人
防州住二王ーー作と号長府にても造る應永の比

清修 △一人 ナガ
越後守源朝臣ーーと号十六葉の菊と切筑後久留米住下坂惣市と号初名武国と号正徳甲午の年上京して伊賀守金道門と成受領の時清修と改む其男丹治業をかくして医とする

清尚 ○一人
二王ーーと号防州吉敷住明應の比

清直 △一人
長州萩住ーーと号二王一派時代不明

清作 ○一人
波平ーーと号薩州谷山一派大永比業物

清生 △一人
薩州喜入住ーーと号清方男中村兵三郎後小兵エと号文化比

清宗 ○三人
○和州千手院一派二字銘ニ号後濃州赤坂へ移住とも兼久比○和州添上郡千手院ーーと号貞治比良業○二王ーーと号防州吉敷住文明比

清則 ○五人 △一人
○和州住千手院ーーと号清宗門清利或ハ兼林とも号と云應安比○石州出羽住ーーと号永亨比○備前国吉井住ーーと号應永比○備前吉井住二字銘ニ号三代目吉則男助七郎と号雲州へ移住と又没後改名永亨比○同二代目藤

原ーーと号雲州住す文安寛正の間業物
〈薩州喜入住ーーと号四代目清左エ門男中村杢之丞と号文禄乙未の年父と共ニ喜入住と慶長至ル

清庸 △一人
薩州住ーーと号清左エ門男池嶋氏の養子と成清八と号す文化比

清意 △一人
薩州住ーーと号元平門牧助太郎と号文化比

清信 ○一人△三人
○防州住ーーと号二王一派長州ニても造明徳比
〈足田太兵エ尉ーーと号坂陽ま住清光ともと云寛文比業物
〈薩州住ーーと号清方ゝ初銘也

清延 ○一人△一人
○石州住ーーと号永正比
〈近江守藤原ーーと号関の清宣同人と云

清宣 ○一人△三人
○濃州関一派二字銘ま号文禄比
〈近江守藤原ーーと号濃州関徳永一派寛永比
〈同二代目備中守藤原ーーと号寛文元禄の間鈩目粗し

清國 ○二人△一人
○二王ーー作と号防州吉敷住永正比
○肥後国同田貫ーーと号菊池住天正比加藤家より清の字を授る良業
〈肥州住藤原ーー〇薩州伊佐住ーーと号本国肥前金屋と云慶長比

清安 ○一人
波平ーーと号薩州谷山一派永和比

清保 △一人
薩州住ーーと号清生男中村清左エ門と号文化比

清正 ○四人△一人
○和州千手院一派二字銘ま号藤二郎と号貞應比或貞治比と云
○泉州加賀四郎一派一字銘ま号延徳比
○備後国三原住貝ーーと号文明比
○肥州住ーーと号菊池延寿一派文亀比
〈長州住二王ーーと号本国防州元禄比

清政 ○一人
二王ーーと号防州吉敷住暦應比正の字ふも切

清房 ○四人△二人
○奥州舞草一派二字銘ま号法華経太郎の男と云天福比
○二王ーー作と号防州吉敷住藝州ニても造嘉暦比
○讃州高市住二字銘ま号佐渡守と号せしと云貞應比按ニ隠岐の國番鍛冶の部ま八班れとも受領を考ふれだ

岐州へ召れかもゝし
○讃州住ーーと号高市住と弘安比
〈薩州喜入住ーーと号清行男中村清右エ門と号宝永比
〈河内守藤原ーーと号在所不明美濃尾張の治工と云元禄比

清輝 △一人
熊府番士大槻ーーと号肥後熊本の藩士大槻専助と号薩州正良門安永天明の比

清有 ○一人
防州住二王ーーと号長禄比在の字ふも切

清定 ○二人△一人
○長州住ーーと号二王一派文明比と云
○源ーーと号筑前金剛兵エ一派天文比
〈山城大掾藤原源一ーーと号加州大聖寺住時代不明
〈長州住ーーと号二王一派寛文比と云

清貞 ○四人△三人
○雲州住ーーと号永正比業物
○石州長濱住ーーと号康正比
○二王ーー作と号防州吉敷住末二代有と云貞治比
○隅州種子島住ーーと号神崎金兵エと号天正比
〈武蔵守藤原ーーと号濃州関住貞享比貞の字ふも切
〈奥州仙台住ーーと号長俊男田代源七郎と号二字銘まも切元和寛永比
〈薩州喜入住ーーと号清光男中村与次兵エと号兼應明暦比

清真 ○三人
○防州吉敷二王一派二字銘多ー元弘の比
○同二代目二王ーーと号貞治明徳の間筑前ニても造る
○長州住二王ーーと号防州吉敷住永正比

清實 ○一人△一人
○長州住二王ーーと号本国防州吉敷也永享比
〈長州豊浦住ーーと号清盈男玉井城左エ門と号享保比

清行 ○四人△一人
○藤原ーーと号加州藤島一派文明比
○二王ーーと号防州吉敷住應永比
○高田藤原ーーと号豊後天文比と云
○波平ーーと号薩州谷山一派元應比
〈薩州喜入住ーーと号清貞男中村与七兵エと号正房門貞享元禄比

清之 ○一人
二王ーーと号防州吉敷住宝徳比

清雪 ○一人
二王ーーと号防州吉敷住永正比行

と〻る有と云

清光　○十五人　△八人

○大和国——と有千手院一派文保正中の間　○寿命長左エ門尉——と有二字銘也有濃州西郡関の末太永天文の間良業　○加州藤島一派二字銘多——辻村氏應永文安の間

○同二代目二字銘ゟ有應仁明應の間業物　○同三代目加州泉住——或二字銘ゟ有之永正大永比以下数代未詳　○丹州宮田住——と有丹波之永正天文の間　○備前国——と有小銘ゟり正和比　○備州長船——と有細キ銘也嘉吉文安の間業物　○同二代目備州長船勝兵エ尉——と有勝光の兄と云文明文亀の間業物　○同三代目備州長船五郎左エ門尉——と有永正天文の間業物　○同四代目備前国長船孫左エ門尉——と有天文天正の間　○二王——と有防州吉敷住宗六と号正應比　○同二代目二王——と有正中建武の間　○同三代目二王——と有宗七と号初名清貞と有貞治比　○薩州鹿児島住——と有佐藤氏永禄比業物

︿加州金沢住二字銘ゟ有辻村五左エ門と号慶長寛永の間　︿同二代目播磨大掾藤原——と有辻村長左エ門と号寛文延宝比業物　︿同三代目加州住藤原——と有辻村長兵エと号元禄比以下数代とゟ未詳　︿越中高岡住——○又左エ門尉——と有加州五左エ門清光の弟元和寛永の間　︿同二代目越中国住藤原——○越中国——と有弥六兵エと号寛文宝永の間　︿播州明石住——と有又五郎と号享保比　︿豊後日出住——或二字銘ゟ有本国越中之辻村弥六兵エの男弥助と号享保比　︿薩州喜入住——と有清則男中村清左エ門と号慶長比

清盈　△三人

︿長州住二王——作と有萩の産玉井九郎左エ門と号方清門元禄正徳の間　︿薩州喜入住——と有清行二男中村与三兵エと号宝永比　︿薩州住——と有清方三男中村小左エ門と号文化比

清道　△一人

平安城住——と有時代不明

清重　○二人　△七人

○加州小松住——と有文禄比　○二王——と有防州吉敷住延文の比　︿近江守藤原——と有坂陽住本国濃州関也権兵エと号秀辰ゝ父寛永比　︿遠江国藤原——と有時代不明　︿石州住——と有元禄比とゟ　︿石州龍蔵山麓——と有清繁の弟寛政文化比　︿備前国住二王——と有本国長州萩也寛永比　︿長州萩住二王——と有元禄の比　︿長州住藤原——と有宝暦明和比

清鎮　○一人　△二人

防州住二王——と有清綱と共ゟ藝州ゟくも造寛文比

清繁　△一人

石州濵田住龍蔵山——と有吉井清則の末八左エ門と号寛政癸丑の年東武へ来り手柄山正繁門と成同甲寅の年帰邑以文化ゟ至る

清久　○一人

二王——と有防州吉敷住文明比

清平　○二人　△四人

○二王——作と有防州吉敷住文明比業物　○豊州国住——と有豊後永享の比

︿八幡山住藤原——○辻村——○辻村相摸守藤原——と有加州金沢住辻村高平ゟ四男五郎左エ門と号万治己亥の年東武へ移住し又相州小田原へ轉居以元禄癸酉の年七十五歳の作有業物　︿同二代目八幡山——と有辻村清兵エと号東武ゟ住すと宝永享保の間業物　︿長州住二王——と有玉井新左エ門と号萩住と享保比　︿波平——と有薩州谷山一派天和比

清廣　○一人

相州住——と有小田原刀匠一派永正天文の間

清秀　○一人

薩州住——作と有佐藤氏波平一派天文弘治比

清盛　○二人　△一人

○雲州道永一派二字銘ゟ有康暦の比　○源——作と有筑前金剛兵エ一派天文ちん比

︿長州住——と有二王一派享保比

清元　○二人

○二王——と有防州吉敷住長州ゟくも造る應仁比　○波平——と有薩州谷山一派時代不明

清助　○一人

薩州住—

一と号佐藤氏波平一派永正比 清仌 ○一人 二王一一と号防州古敷住宝徳比 清左 ○一人 薩州鹿児島住一一と号波平一派佐藤氏文亀永正比良業 清右 ○一人 薩州

住一一と号波平一派永正の比 清佐 △一人 波平一一○佐藤入道と号す也 号薩州谷山一派天和の比 清澄 △一人 大和菩提山住一一と号時代不明 清 ○一人 二王一作

と号防州古敷住時代不明 浄長 キヨ △一人 於紀州藤原一一と号本国時代不明 浄久 ○一人 信国一一と号城州住文安比 涙貝 キヨ ○一人 雲州住一一と号清貞同人と云文亀比

氷行 キヨ ○一人 備州長船一一と号應永比 神吉 キヨ ○一人 二字銘有所時代不明 神次 ○二人 ○遠州住二字銘有時代不明備中住とも

云 ○江州住一一と号貞宗門有国同人と云建武比 神見 ○一人 二字銘有在所時代不明 神氣 ○一人 相州由内国綱同人二字銘有北条家の宝器鎰切の作人といふ

神息 ○一人 豊後高田一派二字銘有文明比戯作有る銘と云 神部 △一人 勢州神戸国助如此二字銘切物有

金宿 イヘ △一人 摂州住一一と号寛文比 金辰 △二人 △因幡守藤原一一と号濃州関住東武にても造る兼應比細鐔也 △同二代目因幡守藤原一一と号三州にても造る延

宝元禄の間 金周 △一人 濃州関住二字銘有時代不明 金吉 ○一人 濃州住一一或八二字銘有元禄なん比 金義 △一人 美濃国藤原一

○伯耆守一一と号洛陽又東武にても造る土橋氏元禄比吉の字にも切 金田 ○一人 遠江国一一と号文明比 金高 ○一人△三人 ○濃州関一派二字銘有天正の比 △摂州住橘

一一と号延宝の比 △豊後守藤原一一と号 △濃州岐阜住寛永比 △濃州岐阜住藤原一一と号元禄比○播磨守伊賀守薩摩守等各金高と号時代未詳 金種 △一人 美濃国一一と号

元禄比 金次 ○三人 ○濃州関金重流二字銘有建武比 ○備州住一一と号備前備後にても造る明徳比 ○備中青江一派二字銘有建治の比 金常 △一人 城州

住一一と号寛文の比 金長 △一人 豫州松山住藤原一一と号時代不明 金宗 △一人 美濃国岐阜住一一と号時代不明 金蔵 △三人 △大和守藤原一一と号濃州関

一派東武にても造る天和の比 △同二代目常陸守藤原一一と号東武にても造る享保比 金房 △一人 摂州住一一と号貞享の比 金英 △二人 濃州関住下總守藤原一一と号洛陽東

武又甲州にても造る元禄の比 金阿弥 ○一人 濃州関兼弘の道号なり 金定 △一人 野田五郎藤原一一と号濃州関一派尾州名古屋にても造金道とも号と云享保比 金行 ○三人△三人

○和州千手院一派二字銘有康永比 ○濃州住右衛門尉一一或八二字銘多し関金重子と云正中比 ○一乗一一作と号備後葦田一派兼行門應永の比 △濃州関末流一一或八二字銘にも号寛文比 △越後

村上住一一○近藤太郎一一或八二字銘にも号関末流の半太夫と号後播州姫路へ移住と元禄比 △豊後高田住藤原一一と号寛文比 金光 ○一人△一人 ○濃州関金重流二字銘有後備後へ移住も延宝比 △

長州住ーー或ハ二字銘ニ有ス元禄の比

金道 ○一人 △十三人

○伊賀国住人ーーと有天正比 △越後守藤原来ーーと有慶長の年号有物多し城州三条堀河の住と云伊賀和泉等の同族ニ非すと云ことあれとも藤原来と切しとこれを初代の和泉和兌越後守ニ任せしかも初代ハ文按ニ伊賀国住人金道の受領銘なれ △伊賀守藤原ーーと有本国濃州関兼道の長男なり父と共ニ城州西の洞院夷川へ移住して子孫此地ニ繁昌ス文禄中受領寛永比迄存生ス此来の作ニ至てハ必銘の上ニ十六葉の菊と切業物 △同二代目伊賀守ーーと有 裏銘日本鍛冶惣匠と切三品勘兵衛と号寛文の初ニ受領菊大ぶりなり業物 △同三代目伊賀守ーーと有 裏銘日本鍛冶宗匠と切同勘兵工と号十六葉の菊又枝菊も切享保壬寅の年依 台命東武へ来り御刀を造同甲辰の年帰洛ス其頃の銘○伊賀守藤原朝臣ーー 裏銘日本鍛冶惣領宗匠と有業物 △同四代目伊賀守ーーと有同勘兵工と号享保辛亥の年受領ス菊同上 △同五代目伊賀守ーーと有同右膳と号菊と銘の間ニ雷除の二字を切宝暦辛未受領 △同六代目伊賀守ーーと有同勘兵衛と号明和中受領菊と雷除の字と切事如父 △同七代目伊賀守ーーと有寛政庚申の年受領菊同上 ○禁裡御元服の時御筝刀を造る二代目よりの例と云こ △和泉守来ーーと有城州西の洞院住ス初代伊賀の弟ス寛永中受領銘の上ニ裏菊と切万治比迄の作有業物 △同二代目和泉守来ーー○老後の銘法橋藤原来ーー○大法師法橋来ーーと有寛文辛丑の年受領ス枝菊或ハ裏菊も切延宝の末より貞享の間の銘ハ○大法師法橋来榮泉と有業物 △同三代目和泉守藤原来ーーと有又ハ来の字斗刻るも有延宝中受領父と両作多し菊同上金四郎久道の兄との業物 △同四代目和泉守来ーーと有三品長四郎と号正徳比菊同上此作稀なり △伊豆守藤原ーーと有城州西の洞院ニ住ス二代目伊賀の弟也寛文中受領表菊を切

金重 ○四人 △二人

○濃州関住二字銘多し本国越前敦賀清泉寺の僧侶なりしと云相州五郎正宗門越中越後ニても造る正應正中の間老後道阿弥と号 ○同二代目二字銘ニ有こ貞治比の年号切物浅し ○濃州関一派二字銘ニ有天文の比 ○石州富田氏ーーと有丹波丹後ニても造天正文禄比 △上州権田住ーーと有高崎領時代不明 △匡陽国衙住ーー○金重丸と斗も有本国濃州岐阜ニ住して播州国府ニ住国衙ハ国府也多田与三左エ門と号平安城ニても造り正徳比東武ニても造る延宝享保の間業物

金弘 ○一人

濃州関金行門二字銘ニ有應永比

金衛 ○一人

濃州住ーーと有天文の比業物

金衞（モリ） ○一人

濃州関一派二字銘ニ有明應比

金盛 △一人

石道法橋ーーと有東武住ス元禄比

金本 ○一人

濃州関住ーーと有永禄の比

金王 ○二人

○和州千手院一派二字銘ニ有正治比と云或ハ嘉元比の国吉同人とも云へり ○筑前盛国も如此二字銘ニ有

金剛 ○一人 △一人

○和州千手院一派二字銘ニ有貞應比 △駿河国ーーと彫銘ニ有或ハ金剛丸又金王丸とも有関の流く時代不明

金山 ○一人

和州千手院一派弘長比○金山剱男除難寿長とも切

菊御作

後鳥羽帝の御作なり鈕元ニ菊斗り有委事ハ古刀銘尽ニ具也承元戊辰の年正月御番鍛冶を定られ中ニも粟田口久国長原信房の両工を奉行させられ日本鍛冶宗匠と勅許ある或ハ御師範鍛冶とも唱え又承久辛巳年七月北条義時の為ニ隠岐国海部郡苅田郷へ遷りあり彼国ニても六人の鍛冶を召れて刀剣を造らせ玉ふとなり都て

上皇の御作八番鍛冶の華太刀の形像を造り焼刃ハ斗りあり玉ふ故ニ御所焼の太刀と唱ふ延應巳亥年二月廿二日　崩御鳳壽六十二と云々初名　顕徳院と申奉る仁治壬寅年七月八日　後鳥羽院と追號ある

菊廣 △一人
山城国住平ーーと打銀元ニ菊を切慶長比

菊平 △三人
△加州住源ーーと打辻村の一族寛文比
△肥前国源ーー○伊賀守源ーー○大法橋伊賀守入道源ーーと打銀元ニ菊を切寛文比二代有といふ

奇峯 △一人
井上ーーと打坂陽ニ住ス真改男井上門兵衛良忠か道号也父のごとく菊を切天和の比

紀充 △一人
和州郡山九条住筒井越中守輝邦入道藤原ーー○筒井越中守輝邦入道ーーと字體異風ニ切越中守包国の男也元禄癸酉頃より紀充と打享保辛亥頃迄の作多し初名包国と切と云ハ非なり初銘輝邦と切事明らか也河内横小路ゟも造る大亀文及簾双も有業物

紀久 △一人
文珠ーー作と打和州文珠一派元禄の比

喜阿弥 ○一人
勢州関一派三字銘ニ打実名未詳貞治比

鬼道 △一人
日向国稲葉伊豆守ーーと打京六代目伊賀守金道の門なり明和安永の比

休鐵 △二人
△奥州名取住河内守国次老後如此二字銘ニ打
△播磨入道ーーと打肥前初代忠国老成の銘也

ユ
行　幸　雪　進

行家 ○一人 △一人
○備中片山一文字一派二字銘ニ打應永比
△豊後大野住甲斐本藤原ーーと打慶長比

行春 △一人
豊後高田住ーーと打河内守行平ヵ初銘なり天和の比

行利 ○三人
○備前国ーーと打福岡一文字一派嘉禎比
○隼人正ーーと打備中片山一文字一派應永比良業
○讃州高市住二字銘ニ打左近進と号弘長比

行俊 ○二人
○播州住ーーと打正中比行宗或ハ国重同人と云
○備中片山一派二字銘ニ打行利同人と云

行歳 ○一人
長州住ーーと打初代顕国門有左エ門と号應安比

行周 △一人
波平ーーと打薩州谷山一派橋品郎右エ門と号亨和壬戌の年行安ニ改始メ行高と打

行景 ○三人
○因州住ーーと打小鍛冶一派二代目の景長門後備州長船へ移住すと貞治比
○因州住太郎左エ門尉ーー○多門天太郎左エ門尉ーーと打小鍛冶一派備州長船ニおゐても造る永享比上の二代目とも云業物
○播州住ーーと打應安比

行包 ○一人 △一人
○備州長船住中村七郎左エ門尉ーーと打文明比
△備州長船住ーーと打慶長比

行勝 △一人
豊前小倉住ーーと打寛文比

行吉 ○七人
○城州櫛笥住二字銘ニ打文永比
○和州千手院一派二字銘ニ打千手院と斗り切るもあり兼久比
○備前国住ーーと打福岡一文字一派四郎左エ門と号兼久の比
○備州安久庄住ーーと打一乗三原一派貞治の比
○筑州住ーーと打左一派延文の比業物
○肥後延寿一派行吉作と三字ニ打長亨比
○波平ーーと打薩州谷山一派文和比

行義 ○一人
波平ーーと打薩州谷山一派時代不明

行善 ○一人
波平ーーと打

薩州谷山二派延徳比

行高 ○一人 △一人

○備前福岡住二字銘ヲ打正治比 △行高入道卜扇と打寛文比在所不明

行忠 ○三人

○因州住ーーと打小鍛冶一派文安の比 ○備州長船ーーと打四郎兵エ尉と号後備中片山へ移る應安比 ○備州長船ーーと打忠光门と云延徳比

行恒 ○二人 △一人

○奥州二字銘ヲ打時代不明 ○備前國長船ーーと打正應比 △豊州高田住山城大掾ーーと打享保比

行次 ○三人 △一人

○備州長船ーーと打建武比 ○備中万寿庄住二字銘ヲ打兼久比 ○備中青江一派二字銘ヲ打建長の比 △豊州高田住藤原ーーと打時代不明

行長 ○六人 △三人

○常州住ーーと打時代不明 ○因州住ーーと打小鍛冶一派長禄比貞治の行長ヲ兆す景長の段とこるへし ○備西大寺门前住ーーと打備前也正應比 ○平ーーと打豊後高田一派天文比 ○藤原ーーと打豊後紀の末と云時代不明 ○波平ーーと打薩州谷山一派時代不明 △奥州住ーーと打 △會津住きと時代不明 △甲斐本ーーと打豊後大野住きと寛永比業物 △豊後高田住藤原ーーと打万治延宝の間良業

行永 △五人

△肥前国住藤原ーーと打佐賀二代目行廣貞享甲子の年迄の銘也 △肥前国藤原ーーと打三代目行廣元禄壬午の年迄の銘之 △肥前国藤原ーーと打四代目行廣寛延庚午の年迄の銘之 △肥前国佐賀住藤原ーーと打初代行廣门忠右エ门と号万治寛文比 △同二代目肥前佐賀住藤原ーーと打休之丞と号享保甲辰夏没き

行宗 ○六人

○末ーーと打城州住時代不明 ○播州住二字銘小打行俊同人正中比 ○

備前国ーーと打長船一派文應比 ○備州長船ーーと打嘉吉比 ○了戒太神ーーと打物多ゝし豊前文明比 ○肥州合志住ーーと打肥後なり正中比

行氏 ○一人

備州長船ーーと打正中一文字の流永和比業物

行信 ○五人

○和州千手院一派二字銘ヲ打建久比行延とも打と云 ○越州ーーと打越前千代崔一派應仁比 ○備中万寿庄住二字銘多ゝし貞治比業物 ○同二代目備州住ーーと打應永比 ○波平ーーと打薩州谷山一派時代不明

行延 ○二人

○和州千手院一派二字銘ヲ打建久比 ○薩州谷山波平一派二字銘ヲ打元暦比三池の類と云

行則 ○一人

備前国宇田三右エ门尉ーーと打吉井の末文禄比

行國 ○二人 △一人

○備前福岡一文字一派二字銘ヲ打兼元中十月番ヲ定らル任河内守廿四人の時ハ三月番也後河内国石川ヲ住ス ○讃岐国阿闍梨ーーと打嘉元正和の间 △摂州住源ーーと打忠行门元禄比

行安 ○七人 △一人

○和州住ーーと打千手院一派時代不明 ○備前国住ーーと打長船一派正應比 ○備中国万寿庄住ーーと打延文比 ○備中片山一派二字銘小打永享比業物 ○伯州大坂住ーーと打應永比 ○薩州谷山波平一派二字銘小打大夫と号文保比と云 ○波平ーーと打薩州谷山一派文和比と云 △波平ーーと打薩州谷山橋口氏正統行周享和辛酉の年改名す

行康 ○一人

波平ーーと打薩州谷山一派時代不明古くミゆ

行正 ○三人

○和州千手院一派二字銘多ゝし藤四郎と号貞應の比 ○備州塩早ーーと打長船一派應永永享の間業物 ○土州住ーーと打時代不明

行政 ○三人

○石州長濱住盛綱流二字銘○豊州ーーと号南朝の年
小ニ号備前ゟくし造る文侲○号ニ号物多ク應安比○ーと号應永比

行文 ○一人

豊州大
野一万田
住糸棚藤原ー
ーと号文明比

行房 △一人

豊後国高田住藤
原ーーと号寛文比

行観 ○一人

長州顕国一派二字
銘ニ号嘉吉比

行真 ○十人

○未ー
ーと号
城州住と明○越前金津住二字銘ヲ号○越中国ーー○日笠庄ーーと号備州○備中万寿庄住ー○同
徳應永比○加茂三郎と号至徳比○ーと号貞治比○長船一派弘安比と云○ーと号建武比○二代
目二字銘多○備中国ーーと号片○筑前国ーーと号○豊後国ーーと号○了戒ーーと号豊前豊
ー貞治比○山一派應永比○左一派應安比○紀一派安貞比○後両州ゟくし造る長禄比○
波平ーーと号薩州谷
山一派弘安比と云

行實 ○二人

○備中片山一派二字
銘ニ号寛元比
○波平ーーと号薩州
谷山一派嘉慶比と云

行貞 ○三人

○石州出
羽ーー
と号長濱住○備州長船ーーと号○了戒ーーと号
きと永和比○兼光門貞治比○豊後長享比

行定 ○一人

薩州波平ーーと号
天文永禄の間

行光 △一人

波平
ーと号
薩州谷山派行周男橋口
助次郎と号もと文化比

行清 ○一人 △二人

○備州長船ーーと△肥前佐賀住ーーと号二代目行廣△同二代目同
○号應永の比△三男弥五郎と号享保安永の間△銘ニ号弥五
郎と号天明
文化の間

行光 ○十五人 △一人

○和州奈良住二字○相摸国住人ーー○鎌倉住人藤三郎ーー或ハ二字銘多ク一新
銘ニ号應安比○藤五国光の門ニして正宗か父と云正應元徳比の年号ニ号物多くえ

ゆ○奥州宝寿一派二字銘ヲ号○藤島ーーと号越○加州住人ーー或ハ二字銘多し○同二代目加州住人ーー○行光
○後九州ヘ移住と正應比○前住と建武比○建武比越前同人とも云○泉五郎○越後国ーー○越
後国柏崎住ーー或ハ二字銘又ハ泉五郎と○同三代目加州ーー或ハ二○同四代目加州住藤原ーー或ハ○同五代目藤原
斗りも切永和比良業泉八加州の地名也○字銘ヲ号ニ永享比○二字銘ヲ号文明の比業物○ーー或ハ二字
銘ヲ号ニ永正天文の○石州長濱住○備州長船ーーと号○備州長船ーー○糸棚ーーと号豊後○波平ー
間以下数代未詳○ーーと号文明比○兼光門貞和比○と号嘉吉比○高田一派享徳比○ーと号
薩州谷山一派○波平ーーと号薩△近江大掾藤原ーーと号加州金△豊後高田住仲間勘左衛門尉藤原ーー○豊後高
永正比業物○州谷山一派弘治比△沢住左兵衛と号寛文天和の間業物△田住藤原ーーと号肥後熊本ゟくし造る寛文貞
享の間紀△波平ーーと号薩州谷山住安周
氏の末也△男橋口四郎左衛門と号宝暦明和比

行満 ○三人 △一人

○濃州三阿弥一派二字銘ヲ号四郎五郎○濃州住人ーーと
と号法名満阿と云貞治比良業○号三阿弥の末永
正○波平ーーと号薩州谷山△肥前佐賀住藤原ーーと号初行
比○一派應安比末又ハ介有と云△廣門忠大夫と号享保癸丑三月歿

行道 △一人

薩州住河内守藤原ーーと
号岩元正繩か後の銘也

行重 ○五人

○相州鎌倉住二字銘ヲ号弥五郎と号○越後国ーーと号本国加○備前国ーーと号○備中国押嶋住ーーと
行光門人聖若とも号と云正中比○州三代目行光門長享比○長船一派貞永比○号文明比大筋違鉈也
長門国ーーと号
顕国門應永比

行秀 ○二人

○城州来一派来ー○備前国日笠住人進士ー
ーと号應永比○造或ハ二字銘ヲ号正安比

行久 ○六人

○石州出羽住ーー
と号正中の比

○備州長舩ーー と号應永比 ○ーーと号天正比
○豊後髙田住藤原 ○肥州ーーと号肥後延 壽一派明應比業物
○波平ーーと号薩州 谷山一派應安比 ○波平ーーと号薩州谷山一派安久と
もおすと云後肥後国川尻へ移住ー甲伏と造る川尻谷山と鳴するゝ乞之永禄比

行弘 ○二人 △一人
○備州長舩ーー と号應永比 ○筑州住ーーと号筑前左一派観應比

左の末之
寛永比

行廣 ○一人 △十二人
○筑州ーー作と号左一派南朝正平比の年号お物多し
△筑前今津住帯刀次郎ーーと号
△備中守ーーと号坂陽住之粟田口忠行門治左門と号播州明石ふても造る天和比
△羽州米澤住藤原ーーと号本国沈州
関小林孫七と号初め髙廣と号寛文比
△同二代目羽州住藤原ーーと号同孫六と号元禄享保の間
△同三代目同銘ょ号同助七と号元文安永の間
△同四代目同銘ょ号同孫七と号もと水心子正秀门亨和文化の比
△石州髙羽住ーーと号
△肥前国藤原ーー○肥前国出羽大掾藤原ーー○肥前国出羽守藤原ーー○出羽守ーーと号も号吉信二男九郎兵衛と号寛永巳卯の年初めて造る正保戊子の春受領寛文癸卯の年守小溥任す鎺貞享比
元ふ一文字を切藝州廣嶋ふても造ると云天和癸亥五月廿七日没六十六歳
△同二代目肥前国出羽大掾ーー○出羽守藤原ーーと号藤馬丞と号初免行永と号慶安庚寅の年三月長崎へ往き薬師寺某ふより阿蘭陀鋼の鍛法を授り倭法と考合せて造成す貞享甲子の年受領元禄辛巳の年没す六十九歳一文字如父
△同三代目肥前国出羽守ーー○出羽守藤原ーーと号治部丞と号初免行永と号元禄壬午の年行廣ょ改め受領銘ょ切といへとも父の譲り官ゝ故ふ末の作ふ八受領と不切寛延庚午の年没す六十三歳
△同四代目肥前国住藤原ーーと号源藏と号父没後行廣小改免出羽守と受領と号といへとも譲り官
御制禁ょ依て受領銘を止む明和乙巳十一月四日没五十六歳初免行永と切
△同五代目肥前国ーーと号藤馬允と号もと六代目忠吉门亨和壬戌の年五十二歳也
△河内守藤原ーーと号薩州住正安男涼川正廣の後銘なり
△同二代目薩州住藤原ーーと号涼川喜左衛門と号元禄宝永の间後国宗と号

行平 ○二人 △二人
○豊後国ーー作○紀新太夫ーー或ハ行平作と号必表銘ょ切兼元中廿四人の内四月番ょ定らは彦山僧定秀门なれとも備前ふて修行すと云故あり下野の国利根の庄へ配流せられ此地ょての作ハ○方士○有風○日本一なと号と云遭赦て帰洛又相摸の国田井の飯島へ再ひ流されわとあく帰国せと云凡寿永比より貞應比迄の作有とて鎺元ょ一腧掛を切ゝ法をのあり此作ょハ必鎺元寸余焼オトシ有る也利用の為ふれ
○波平ーーと号薩州谷山一派暦應の比
△河内守涼ー
△豊後髙田住ーー○紀新大夫末葉○鬼神大夫末なとゝ号也初免行春後肥前唐津へ移住ー本行と改む貞享比
△大和守平ーーと号正保の年号を切豊後の国鋼り前銘と云

行元 ○一人
○備州長舩ーーと号長亨比

行末 ○三人
○播州住ーーと号正應比 ○備中国ーーと号庄山一派永亨比業物 ○筑州住ーーと号筑前左一派文和比

行助 ○三人
○備州長舩ーーと号長州住ーーと号左一派文明の比業物
○豊後国ーーと号高田一派應永嘉吉の间

行瀬。
和州千手院一派一字銘ょ号奈良住貞應比

行仁 ○一人
薩州波平の族二字銘ょ号行忍とも切建久比

行造 ○一人
和州千手院一派二字銘ょ号奈良住寛文比

行鬼 ○一人
筑前左の安吉初代如此号事有

幸家 〇一人 備州長船ーーと歩永正比業物

幸景 〇二人 △一人 ◯作州住ーーと歩長禄比といふ ◯備前国長船ーーと歩兵エ尉とも切因州の行景備前ニ住とる時の門也因州ニても造る應永比小銘鑽美〻良業 △伯州會見住ーーと歩時代不明

幸金 〇一人 和州尻懸一派二字銘ニ歩時代不明

幸次 〇二人 ◯丹波綾部住二字銘ホ歩粟田口正光流康永の比 ◯備中国ーーと歩青江二派應永の比

幸成 〇一人 丹波綾部住二字銘多〻應仁比

幸信 〇一人 豊後田町住ーーと歩應永の比業物

幸國 〇一人 長州住ーーと歩顕国一派嘉吉比

幸政 〇一人 備州長船ーーと歩文明比

幸昌 △三人 △加州住五郎左エ門尉藤原ーーと歩金沢住藤島果慶長比 △同二代目加州住藤原ーーと歩五郎左エ門と号寛文比 △同三代目加州住藤原ーーと歩藤左エ門と号享保比

幸貞 〇三人 △ ◯丹波綾部住二字銘多〻明徳の比業物 ◯豊前国住ーー〇深見庄住ーーと歩應永永享比と云 ◯豊後住ーーと歩嘉吉比 △駿河国島田住ーーと歩元禄比と云

幸定 〇一人 備前国長船ーーと歩永正の比業物

幸真 〇一人 丹波綾部住ーーと歩永享の比

幸光 〇二人 ◯備州長船ーーと小銘ニ切行正門應永長禄の間良業 ◯備州長船住弥三左エ門尉ーーと歩天文の末より天正ニ至る業物

幸道 △二人 △三品宇右エ門尉ーーと歩幸の字訓ヨシふく初代大和守吉道同人なるべし △越後与板住坪井ーーと歩京六代目丹波守吉道門後東武へ来り正秀門と成幸三郎と号寛政文化の比

幸平 〇一人 備州長船ーーと歩文明比と云

幸弘 〇一人 備州長船ーーと歩至徳比

幸久 〇一人 △一人 ◯備中国住ーーと歩天文比 △加州金沢住藤原ーーと歩元禄比

雪光 〇一人 加州住ーー或ハ二字銘ニ歩永正比

進秀 ユキ △一人 奥州仙臺住ーーと歩正秀門東武ニ住ヲ文化比

ミ

光 満 三 盈 道 通

光家 〇二人 ◯備州長船ーーと歩成家門應安比良業 ◯備州長船ーーと歩備中ニても造る文明延徳の間

光治 △三人 △加州住炭宮伊賀守藤原ーーと歩寛永比業物 △同二代目炭宮肥後守藤原ーーと歩元禄比

光友 〇三人 ◯和州當麻一派二字銘ニ歩正應比 ◯備州長船ーーと歩應永の比 ◯豊後紀一派二字銘ニ歩天福比

光俊 〇一人 但州法城寺ーーと歩應永の比良業

光近 〇二人 △一人 ◯備州長船一派二字銘多〻光忠門弘安比 ◯備州長船ーーと歩光弘門と云應永比 △能登守藤原ーーと歩尾州光代門元禄比

光雄 △一人 城太郎ーーと歩洛陽住と云時代不明

光包 〇三人 △一人 ◯城州粟田口一派二字銘ニ歩吉光の流嘉元比 ◯江州戸津住初名平四郎後左助と号〇来ーー或ハ二字銘ニ歩本国備前ニて将監長光門なりしが故有て洛陽へ出来国俊門ニ入後江州へ移住し根本中堂へ籠りて造りし故中堂来と唱ふ嘉元建武の間大業 ◯綾部住ーーと歩丹波幸次

の一派明德比とつふ 〈武州——と切寛文比日置石堂の族と云 **光景**○二人 ◯備州長船——と切永和比 ◯讃州阿野郡住——○讃州住——と切貞治比 **光吉**○四人

◯相州住——と切鎌倉住行光门弥次郎と号建武比助友ともすと云 ◯備州長船——と切文和比 ◯備州長船——と切應仁の比業物 ◯二字大銘ま切在所時代不明

光良○二人 ◯相州住——と切鎌倉住も延文比 ◯備州住——と切備後三原一派文明比業物 **光世**○五人 ◯上野住——と切應永比 ◯越中砥波郡住——と切宇

津一派永亨比 ◯安藝国住——或ハ二字銘多し小春住も喜太郎安吉男左の一派也明德比良業 ◯肥前大村住人——○肥州住——作と切散位一派永亨比 ◯薩州住——と切時代不明

光代△二人 尾州住奈——○肥後守奈——と切本国濃州関ニ—て尾州名古屋へ移住—後東武へ来り常光门と成又勢州津ニても造る元禄享保の间二代有去云 **光忠**○二人△一人 ◯城州栗田口一派二

字銘ま切吉光流永仁の比 ◯備前国——○長船——○光忠造或ハ二字銘ま切近忠男と云室治弘安の间大安ともすと云 〈豊後守源——と切濃州尾州両所ニて造る貞享比 **光恒**○五人 ◯

奥州舞草住人——ニ切羽州ニても造る康暦比 ◯越後桃川住——と切月山流と云應永比 ◯備州長船住——と切建武比 ◯豊後汜一派二字銘ニ切天福比 ◯肥後国——と切肥前ニて

造りし者有時代不明 **光次**○二人 ◯備州長船——と切元弘比 ◯備中青江一派二字銘ま切嘉元比と云 **光長**○五人 ◯平安城住——と切和州尻縣一派長光

男と云来光重门猪熊入道と号と云り元亨正中比の作多し ◯加州富樫住人藤島——○加州富樫住人——と切正中貞和の间 ◯備州長船住——と切平三郎と号永恒ともすと云正中比 ◯備州

長船——と切應安比 ◯紀州——と切奥州月山一派と云時代不明 **光宗**○七人△一人 ◯平安城——と切明德の比 ◯中原——と切三州住平三郎と号光世ともすと正慶比 ◯相州鎌倉

住二字銘ま切應永比 ◯備州長船——と切應安比 ◯備州長船——と切永亨比業物 ◯讃州阿野郡住——と切五郎太夫と号正和比 ◯同二代目讃州住——或ハ同銘ニも切貞和

比〈光宗作と切在所時代不明 **光信**○三人△一人 ◯桃木——○桃——とも切越後住也貞治比と云 ◯伯州大原住——と切兼次ともす應安比 ◯播州宍粟住——と切貞治比 〈

藤原——と切在所時代不明 **光則**○二人 ◯備前国——と切嘉元比 ◯備州長船——と切吉井住ともす明德應永の比 **光國**△一人 加州住藤原——と切炭宫一派元

禄比と云 **光正**○四人△二人 ◯泉州篠田住加賀四郎と号二字銘ま切本国加州と云後正清ニ改む貞治比 ◯備後国辰房——と切文明比と云 ◯伯州檜原住亨字銘ま切同国元重

门應安比 ◯波平——と切薩州谷山一派時代不明 〈法城寺藤原——と切東武住国正源兵エ男藤五郎後源助と号奥州中村ニても造黄金鍛の銘を切亨保比 〈若州小濱住——と切冬廣の同族三郎兵エと号す

明和安永比 **光将**△二人 若狭守——と切尾州名古屋住光代门亨保比 **光火**(マサ)△一人 尾州住奈——と切光代男亨保元文比 **光昌**△一人 筑前国信国——と切

信国末又左エ門と号安永比

光房○三人
○平安城ーーと号元徳比一本永仁比と有
○相州住ーーと号鎌倉行光門正中比
○藝州住ーーと号左一派文明比

光明○一人
備後国尾道辰房ーーと号文亀永正比

光月○一人
二字銘ヲ号在所時代不明古クミゆ

光定○一人◇一人
○来ーーと号越後住後城州へ移リ了戒門と成初め光信或ハ神宮ともと号と云

△万代ーー作と号會津住角元興ヶ初銘也

光貞◇一人
濃州関住信濃少將ーーと号慶長比業物

光真○三人
○濃州住ーーと号関一派天文比と云
○石州出羽住ーーと号元亀比業物
○筑後国ーーと号大石一派永正比

光行○二人◇二人
○越州住ーー作○越前国敦賀住ーーと号金津一派嘉慶比
○備州ーーと号備後三原一派貞和比
△越前敦賀住下總守藤原ーーと号慶長比

光重○七人◇二人
○来ーー○了戒ーーとも号城州住五郎と号初め国俊門後定利門と成了戒ヶ初銘也元徳比
○石州住ーーと号天文比
○伯州檜原住ーーと号延文比
○備州長船住ーーと号安部一派貞治比と云
○備州長船ーーと号康正の比
○備州尾道辰房ーーと号文明延徳の間
○日州福島住ーーと号時代不明
△濃州関住ーー○上總守源ーーと号寛文比
△筑前国ーーと号信国一派時代不明

光弘○一人
備州長船ーーと号貞治永和の間良業

光廣◇三人
△伊勢大掾下坂ーーと号越前住元禄比業物
△豊前住藤原ーーと号時代不明

光久○四人
○藝州小春住ーーと号應仁比
○備州長船ーーと号永和の比
○豊後住ーーと号永享比
○筑州ーーと号左一派康永の比

光秀◇一人
豊後住藤原ーーと号時代不明

光平○一人◇二人
○越中住ーーと号砥波郡住寸天正比
△日置ーー造○日置出羽守源ーー○出羽守源ーー○出羽入道叅信法橋源ーー○叅信法橋源ーー造或ハ光平造とばかりも号十六葉の菊と切江州蒲生住石堂一派宗弘ヶ兄と云東武へ移住ると慶安寛文の間良業
△加州金沢住炭宮藤原ーーと号勝家流忠右衛門と号す享保比

光守○三人
○備州長船ーー或ハ二字銘ヲ号光近門應永比
○同二代目備州長船ーーと号嘉吉文正の間業物
○波平ーーと号薩州谷山一派應安比或ハ應仁比とも云

光盛○一人
備州長船ーーと号嘉吉比

光助○七人
○丹州ーーと号丹波綾部住應永比
○伯州住二字銘ヲ号後遠州へ移住しく
○南仲と号と云文暦比又云應安比ゆく時真同人とも云
○伯州住ーーと号檜原住應永比二字銘も有
○備前福岡一文字一派二字銘ヲ号天福比
○備州長船ーーと号應永比
○備中片山一派二字銘ヲ号暦仁比
○豊後瓜実一派二字銘ヲ号元久比

光夫○一人
大和国ーーと号光佐とも号天福比

光末○二人
○和州千手院一派二字銘多し嘉元の比
○備州長船ーーと号光景門應安比

満世○一人
藤原ーーと号城州鞍馬関一派永享比

満吉○一人
濃州関一派二字銘ヲ号建武比

満次○一人
備中ーー作と号青江一派應永正長のころ

満阿○一人
濃州関行満ヶ道号也

三全トモ◇一人
濃州関住二字銘多し正全門貞享元禄比

三繼○一人◇一人
○藤原ーーと号江

州蒲生住石堂一派但馬守小任さとといふ天正ちん比 ◇同二代目因幡守藤原石堂ーーと号寛永比

三與 ◇一人 武州住ーーと号石堂一派正保の比

三益 ○一人 三益作と号文禄比在所不明一本江州石堂一派と有

三秀 ◇一人 遠州横須賀住ーー○一茀子ーーとも号中塚初藏と号東武ニ住と正秀門文化甲子の年依君命国安と改

三盟郎 ◇一人 防州住ーーと号二王の末時代不明

盈永 ◇一人 讃州臣ーーと号高松住真野久左エ門と号坂陽へ移り尾崎助隆門に成享和文化の比

道辰 ◇四人 ◇若狭守藤原ーーと号奥州會津住長重男中条太郎吉長廣後ニ平右エ門道辰ニ改む長道の門也元禄辛己の年上京して三代目伊賀守金道門ニ入受領をうけ十六葉の菊を切享保庚戌十月没 ◇同二代目若狭ーーと号物多し ◇同三代目奥州會津住ーー業物 ◇同藤助と号明和辛卯の年没 ◇同四代目奥州會津住ーーと号同文吉と号同忠治と号寛政比 ◇と号初名道安と切文化丙寅の年改名

道勝 ○一人 ○二字銘ニ号在所時代不明 ◇武州住ーーと号元禄比と云

道能 ○一人 豊前住ろ戒ーー作と号天文比

道高 ◇一人 城州住ーーと号時代不明

道孝 ◇一人 末ーーと号城州和泉守金道門天和比道高同人ならはへし

道長 ◇一人 奥州會津住ーーと号初代長道万治二年迄の銘也

道寧 ○一人 石州出羽住ーーと号時代不明天文比とも云

道安 ◇一人 ー奥州會津住藤原ーーと号三代目の道辰男中条文吉と号寛政享和の比後道辰ニ改む

道房 ○一人 備州長船ーーと号貞和の比通房同人と云

道明 ○一人 二字銘ニ号在所時代不明或ハ和州物ともに云

道貞 ○一人 末ーーと号江州戸津光包門文和比

道清 ◇一人 ○長州住二王ーーと号文明比 ◇越後守ーーと号城州時代不明

道重 ◇一人 奥州會津住ーーと号渡邊善三郎と号道廣男也安永比

道廣 ◇一人 奥州會津住ーーと号渡邊善三郎と号道辰門明和の比

道秀 ◇一人 城戸伊賀守ーーと号肥前高来住国久男とふ慶長比

道深 ○一人 越後住二字銘ニ号伊賀又八美濃ニも住と兼基父と云應仁比

道印 ○二人 濃州住千手院ーーと号初代国長同人後の国長も如此小銘ニ切

通勝 ◇一人 相模守ーーと号道勝同人ならし

通吉 ○二人 ○三州住ーーと号文明比 ○日州茶師堂ーーと号薩州ニても造る永正比

通房 ○一人 備州長船ーーと号道房同人貞和比と云

通明 ○一人 ◇一人 ○若州住ーーと号小濱住天文比 ◇薩州住ーーと号時代不明

通光 ○二人 ○備州長船ーーと号永享の比 ○日州住ーーと号薩州ニても造永正比

通重 ○一人 通重作と号日州住と云天文の比

通秀 ○一人 薩州住ーーと号天文の比

シ

重鎮茂下新心十シ子四

重家 ○五人 ○備前国分寺一派二字銘多し正應正和の間 ○備州長船ーーと号重吉門建武比 ○同二代目備州長船ーーと号延文貞治の間業物 ○備後国尾道辰房ーーと号太永

天文比

○豊後紀一派二字銘ヲ号兼元比

重春 ○二人 △一人

○和州千手院一派二字銘多し康暦の比

○越後山村一派二字銘ヲ号正長比

△越中則重末冨士傳ーー造と号十六葉の菊と切元禄比

重治 ○一人 △二人

○備後国尾道ーーと号辰房三原一派天文比

△武州住ーーと号延宝天和比

△薩州邪善院狮栁川ーーと号時代不明

重俊 ○一人

備州尾道ーー作と号辰房三原一派永正の比

重利 ○六人 △一人

○和州千手院一派二字銘ヲ号興福寺住弘安比

○大和国ーーと号手掻一派建武比

○丹州ーーと号丹波綾部住應永比又遠寿ともり切

○伯州檜原二字銘ヲ号文永比

○備前正中一文字一派二字銘多し建武比

○備州長船ーーと号文和比

△二字銘ヲ号寛永比在所不明

重富 ○一人

備州長船ーーと号永享嘉吉比

重虎 △一人

摂州住源ーーと号宗重門嶋田金兵エと号延宝比

重近 ○三人 △一人

○備前国分寺一派二字銘ヲ号正應比

○備後尾道住ーーと号辰房三原一派亨禄比業物

○薩州石神ーー作と号大永比

△隅州木下住ーーと号時代不明

重包 ○二人 △三人

○播州小川住二字銘ヲ号和州包重門正和の比

○備州長船ーーと号明徳比

△筑前住源信国ーーと号原田勘左エ門後助六と号享保辛丑の年蒙台命於東武造りしる有其頭より葵一葉を鎺元ヲ号元禄比より造る業物

△信国源ーーと号筑前重包末孫信国又助と号文化中東武へ来り水心子正秀門と成

△隅州高隈住東郷与左エ門と号無銘多し備後守氏房門慶長の比故ありて高隈の龍耳と呼

重景 ○一人

備州長船ーーと号文明比

重勝 ○一人 △四人

○備州尾道住ーーと号辰房三原一派天文比

△下坂ーーと号江州西坂本住兼先男之後肥後奥本へ移住し又筑後柳川へ溥居をと寛永比

△下野得次郎住二字銘ふ号慶長比

△奥州仙臺住ーーと号同邑清俊門作藏と号後二永重門と成師ヨ嗣子なくして没すと故ふ永重の家を継き田代作左エ門重信とあらたむ天和の比

△紀州住ーーと号四代目南紀重国男九郎三郎と号後国勝と改む

重方 ○一人

紀州濱崎住ーーと号亨禄比肥前の地名也業物

重鎌 △一人

隅州住ーーと号高隈郷東次郎左エ門と号相州傳を造る慶長比

重一 △一人

濃州関住ーーと号時代不明

重善 ○一人 △一人

○来ーーと号城州来一派喜の字ふも切康永の比

△常陸国ーーと号寛永比

重吉 ○八人 △三人

○和州千手院一派二字銘多し寛永比

○播州ーーと号小川住重包門貞和比

○備前国住ーーと号長船一派安部氏延慶比

○同二代目備州長船住ーーと号安部名左エ門と号建武の比

○備州長船ーーと号後守吉と切嘉慶比

○備後尾道住ーーと号辰房三原一派永徳の比

○薩州住ーー作○隅州住波平ーーと号永禄比備後国好門奇郎於西条保作と副銘切く候物有業物好門奇郎の郡名不審

○薩州住大山筑後入道ーーと号大永亨禄の間重並同人といふ

△埋忠ーーと号明寿の初銘なり

△武州住ーーと号山本氏下原一派慶長比

△隅州住東ーーと号重近男時代不明

重能 ○一人

了戒ーーと号豊後住本国城州と云長禄比

重義 ○二人 △一人

○勢州千子一派二字銘ヲ号文明比

○備州住ーーと号備の前後州ふく造延文貞治の間

△埋忠橋ーーと号明寿男彦次郎後七左エ門と号法橋明真是之寛永の比業物

重依 ○一人

備州長船ーーと号嘉慶比

重代 △一人

越中国ーーと

有元禄
比と云
重高 ○六人 △一人 ○城州大宮一派二 ○信州飯田住ーーと ○奥州住ーーと有汎涌 ○播州小川住二字
字銘ニ有兼久比 ○有天正文禄比 ○一派建武貞和の間 ○銘ニ有貞治比 ○
備前大宮一派二字 ○備州長船ーー △播磨大掾藤原ーー 裏銘越前国住と有寛永比業物以後寛政中迄
銘ニ有暦應比 ○と有貞治比 △九代と云へとも未詳初代二代ハ東武にても造る三代目より受領ス
と 重武 ○一人 波平ーーと有薩州 重忠 △一人 播磨守藤原ーーと有尾州名 重次 ○九人 △九人 ○平安城
云く 谷山一派時代不明 古屋住と元和万治の間図深し ーーと
有二代目吉次 ○城州鞍馬関一派二 ○備州長船ーーと有 ○備前鵜飼庄一派二字 ○備中青江一派二字
門嘉吉比 ○字銘ニ有寛正比 ○安部一派貞和比 ○銘ニ有應永比業物 ○銘ニ有建長の比
○備後国尾道住ーー作と有 ○来ーーと有淡州 ○濱州住ーーと ○波平ーーと有薩州谷山 △山城国鞍
辰房三原一派永享比 ○来一派永和比 ○有正應の比 ○一派出水住と天文比業物 △馬住个ー
或ハ二字銘ニ △奥州仙臺住藤原ーーと有安次養子大友 △同二代目奥州住藤原ーー △賀州住藤原 △肥
有慶長比 △傳左エ門と号ス二代目国包次男元禄比 △と有同傳之尉と号ス寛延比 △ーーと有元禄比 州
平戸住藤原ーー △紀州住文珠ーー造と △土州高知住二字銘ニ有国益の △土州高知掛川町住二字銘ニ △播
と有時代不明 △有重国門寛文比 △族中沢彦左エ門と号ス延宝比 △有伊平太と号ス時代不明 磨
守源ーーと有在 重繼 ○一人 △二人 ○備州長船ーー △加州住丹後大掾藤原 △加州住ーーと
所時代不明 ○と有應永比 △ーーと有寛永比業物 △有元禄の比 重恒 ○二人

○備州長船ーー或ハ二 ○備州住ーーと有備後 △加州住藤原ーー △越前於豊原藤原ー
字銘ニ有嘉慶比 ○一乗三原一派時代不明 重常 △三人 △と有寛永の比 △ー○越前豊原麓丹
後大掾藤原ーー○丹後守藤原ーー 裏銘越前 △同二代目丹波大掾藤原ーー 裏銘越前豊原
豊原とも有本国播州北宅庄と云寛文の比業物 △○丹波守藤原ーーと有貞享元禄の比 重綱 ○一人
備州長船ーーと 重永 ○五人 △一人 ○和州千手院一派一 ○近江住ーーと ○伯州檜原住二 ○備州長船ーー
有應永の比 ○字銘ニ有文保比 ○有貞和比 ○字銘ニ有永仁比 ○と有應永比
備中国ーーと有 △筑州久留米住ーーと有 重長 ○四人 ○濃州赤坂千手院一派二 ○奥州住ーーと有汎 ○伯
片山一派文和比 △重末流万治寛文の比 ○字銘ニ有元亀天正比 ○涌一派時代不明 州
大原ーーと有日の字 ○薩州住ーーと有谷山 重榮 ○一人 和州千手院一派二字銘ニ 重業 ○二人 ○和州千
斗も切貞和の比 波平一派石神氏天文比 有塔本住文治比と云 手院一派
二字銘ニ有 ○相州住ーー作 重作 △一人 藤原ーーと有相模守と 重命 △一人 城州住源ーーと有時代
嘉禄比 と有天文比 も切と云在所時代不明 不明元禄比是なり
重直 ○一人 備州長船ーーと有 重並 ○一人 △一人 ○隅州住ーーと有 △武州住ーーと 重村 ○一人 和州千手院
次郎左エ門と号ス建武比 亨禄比と云 有時代不明 一派二字銘
ニ有藤太郎と号ス舞 重宗 ○二人 △二人 ○城州住埋忠彦之進 ○丹州住ーーと有 △丹波国住出羽守ー △筑前国
草の門と云兼元比 と号ス二字銘ニ有永正比 丹波也永禄比 ーーと有時代不明 信国源

ーーとう **重氏**○二人 ◯武州住ーーと打文 ◯備州長船住 **重延**○二人 肥前濱崎住ーー **重信**○三人△四人
元禄の比 明比又應永比とも云 ーーと打貞治 と打享禄の比
◯和州手掻住二字銘ニ打嘉 ◯加州藤島一派二字銘ニ打嘉 ◯波平ーーと打薩州谷山 △摂州住ーー △武州住
元比長谷部国重父と云 吉比本国越後山村一派と云 波平一派佐藤氏大永比 △と自享比 △藤原ーー
ーーと打時 △奥州仙臺住ーーと打 △播州住ーーと **重則**○七人△三人 ◯和州當麻一派二字銘ニ打 ◯備州長船ーー
代不明 △作藏重勝ヵ初名之 △打時代不明 忠次郎と号元徳比 ーーと打古岡一
文字家則 ◯備前和氣住ーー○備前国 ◯備前国吉井住ーーと ◯備中青江一派二字 ◯尾道ーー
流正應比 ◯和氣住ーーと打国宗流嘉暦比 ◯打雲州ニも住應安比 ◯銘ニ打應長の比 ◯と打備後
辰房三原一派 ◯肥前濱崎住ーーと △肥前守源ーーと打東武住ス本国 △石堂ーーと打東武住スと △奥
永正比業物 ◯打大永享禄比 △濃州と云後ニ藤原ニ改貞享比 △本国紀州也延寶の比 △州
仙臺住ーーと打永重 **重國**○九人△五人 ◯城州大宮一派二字 ◯来ーーと打城州来一派国長の弟と云 ◯越州
門惣右エ門と号天和比 銘ニ打建久の比 後淡州へ移住ス故ニ淡路来と唱延文比 ーー
或ハ二字銘ニ打一文字と切 ◯能州住二字銘ニ打本 ◯越中二字銘ニ打則 ◯備前大宮一派二字 ◯長州住ー
敦賀住ス應永比業物 ◯国越後信国一派文明比 ◯重子と云永徳比 ◯銘ニ打應永比 ◯ー作と打
頭国門 ◯伯州檜原住ーーと打 ◯二字銘ニ打在 △奥州會津住ーーと打下坂兼宣門皆川 △於南紀ーー造と打本
永享比 ◯景国男と云永徳比 ◯所時代不明 △今右エ門と号後宗寿ニ改寛政享和比 △国和州手掻包永末

文珠九郎三郎包国と号駿州府中ヘ来リ後紀州和歌山ヘ搏住 △同二代目於南紀文珠ーー造と打初名金助 △同三代目於南紀
ーして重国ニ改慶長寛永の間洛陽ニても造る良業 △後四郎兵エと号寛文延宝の比業物 △文珠ーー造と打
九郎三郎と号濃州岐阜 △同四代目於南紀文珠ーー造と打 **重泰**○二人 ◯和州千手院一派一字 ◯丹波畠住二
ニても造る元禄宝永比 △金助と号享保比五代目ハ重勝也 銘ニ打正和比と云 字銘ニ打畠
国後門本国和州重泰男と云 **重安**○三人 ◯大和国住人ーー○越智朝臣ーー ◯備州住ーーと打備後辰房三
法名重仁と云康安比一本重仁ハ重行の法名と云 ともに打千手院一派明應永正の間 原一派備前ニても造る應安比
◯波平ーーと打薩州 **重康**○一人△一人 ◯和州千手院一派一 △上總大掾藤原ーー○上總守 **重正**○二人△一人 ◯備
谷山一派時代不明 字銘ニ打建長比 △藤原ーーと打坂陽住ス寛文比 州
長船ーーと ◯備後尾道ーー作と打 △薩州住ーーと **重政**○三人 △於備州鞆ーー作と打 △豊州高田住藤原
打貞治比 ◯辰房三原一派文亀比 △打時代不明 △辰房三原の末延宝比 △ーーと打宝暦比
△近江大掾藤原ーーと **重舛**△一人 播州姫路住ーー **重房**○三人△一人 ◯城州大宮一派二字銘 ◯来ーーと打
打阿州住元禄比と云 と打国増同人 ◯ニ打重国流天福比 城州来一派
徳治 ◯備前大宮一派二 △和州南都住藤原ーーと **重有**○一人 備州長船ーー **重鑑**○一人△一人 ◯隅州高
比 字銘ニ打貞治比 △打金房一派慶長比と云 と打延文比 隈住ー
ーと打薩州ニても △隅州住ーーと打鏡とも **重阿**○一人 和州千手院一派應 **重眞**○四人 ◯大和国ーーと打
造る天文の比 △切重鎌男寛永比 永の日王同人と云 千手院一派應

永〇但州住ーーと打法城寺一派〇備州長船住ーー〇備州長船住左兵衛尉ーーとも打大藏允元重弟
比〇平田藤八と号す永享比良業〇と云初め景光門後相州へ来り貞宗門と成元徳貞治の間良業
〇二王ーーと打防州 重實〇二人△一人 〇和州住ーーと打千︿陸奥守ーーと打 重貞〇六人△四人 〇但州法城寺
二王一派時代不明 手掻一派明徳比︿在所時代不明 ーーと打平田
と斗りと打重貞男平田〇備前国住ーーと打〇備州住辰房ーーと打〇肥前濱崎住ー〇日州圓山住
藤八と号文安比業物〇国分寺一派至徳比〇備後三原一派永正比〇ーと打天文比〇藤原ー作
と打永〇隅州住ーー〇波平ーーと︿幡国住人ー作〇河内大掾ーーと打九よ︿備前国ーー︿文珠ーーと打紀
禄比〇打薩州ゆくも造永禄比︿牡丹花と切播州住也貞享元禄の間︿と打慶長比︿州和歌山住初代
重国門︿筑前国住信国源 重定〇二人△一人 〇与州住ーーと〇二字銘よ打在︿摂州住ーー 重先△一人 但馬
寛文比︿ーーと打元禄比 打永享比〇所時代不明︿と打寛文比 守藤
原ーーと打豆州北条 重清△一人 越中住藤原ーーと打則重 重行〇六人△三人 〇和州千手院一派二字銘よ打
住重光同人と云ふ 末傳富山よ住と寛永比 〇本国奥州ゟ小舞草千手
院と唱ふ天福比〇備州長船ーー〇辰房ーーと打備後三原〇了戒ー作と打豊之前〇平ーーと打豊
城州大宮ゟ住と云〇と打應永比〇一派尾道住と文明比〇後両州よ住と永禄比〇後高田一派應
安〇薩州住ーー︿羽州山形家士山口此右ヱ門︿豊後国高田住藤︿同二代目豊州高田住藤原 重幸〇二人△一人 〇
比〇と打永禄比︿ーーと打永正子門天明寛政比︿原ーーと打寛永比︿ーーと打古文字ゟも切延宝比

相州住ーーと︿尾州住藤原 重進〇一人 肥州濱崎住ーーと打 重光〇十人△三人 〇城州猪小路住二字銘
打天文比︿ーーと打宝永比 肥前也大永比業物 〇多く一達ニ左正宗の後の銘〇
長谷部ーーと打城州五〇大和ーーと打高市住日光又則光とも打と云〇相州鎌倉住ーーと打行〇雲州住ー
条坊門住應永比〇或公宗良動住千手院一派とも云嘉元比〇光又正宗門と云正中比〇ーと打永
正〇備州長船住ーーと打〇備州長船ーーと〇備後国尾道住ー〇了戒ーーと
比〇兼光門貞治至徳の間〇享徳文明比業物〇打元亀天正の間〇ー作と打應永比〇打豊後文
明︿山城国住ーー︿但馬守藤原ーーと打豆州︿奥州中村住藤原ーーと打〇濃州住ーーと打
比︿と打元禄比︿北条住慶長比重先同人︿廣近男五太夫と号享保比 重道〇一人△四人 〇室屋関一派岐阜
住天正︿城州住藤原ーーと打坂陽ふて︿伊豫守藤原ーー〇大道ーーと打濃州︿奥州二本松住大鍛冶ーーと
比業物︿も造る左平治と号寛文比︿岐阜住重道末信濃守大道孫享保比︿打洛陽二代目和泉守金道
門道号命心︿同二代目奥州住大鍛冶ーー 重弘〇三人 〇千手院ーー作或ハ二字銘多しー和州住藤太と号兼
と号貞享比︿と打道号法心と号享保比 〇元中嘉慶の内三月番よ定むる後濃州赤坂へ配流せら
れ泉水と銘を切以後〇備州長船住ーーと打〇備州長船ーーと打 重廣〇二人△一人 〇相州住ーーと打〇伯耆国
此地ふ遺流禁ふる〇正應比有正と打も同人〇明徳應永の間〇元亀天正の間〇住助恭
ーーと打永禄元亀比道︿摂州住後藤ーー〇鉄肥後守ーーと打 重平〇一人 来ーーと打丹波畠住和州千
祖尾助之丞廣賀同今ゟる︿初め盛門中比盛町後重廣よ改む延宝比 手掻の一派ふしてく後畠国

俊门と成城州ホてヽし造る明徳應永の間

重久 ○三人 △一人 ○和州千手院一派二字銘ヨ寺寛元比 ○備前福岡一文字一派二字銘ヨ寺忠三郎と号弘長比 ○備州長船ーーと寺應永の比 △筑前国住信国源ーーと寺 平四郎と号も享保比

重秀 ○一人 △二人 ○備州長船平ーーと寺近景流應永比業物 △大泉士ーーと寺羽州秋田の士白井密右エ门と号昭秀の门ホて慰造と云文化の比 △北越邑松住板垣源ーーと寺備中水田国重の末裔長吉と号水心子门文化比

重守 ○五人 ○添上郡ーーと寺和州千手院一派嘉慶比 ○伯州檜原住二字銘ヨ寺正和比 ○藝州大山住ーーと寺左 ○平ーーと寺豊後高田派明徳比 一派永亨比 ○二字銘ヨ寺在所時代不明備前と云字銘も有備前国分寺一派貞治應安比

重元 ○一人 備州長船ーーと寺貞治比

重助 ○一人 和氣莊住ーー武八二

重佐 ○一人 備州長船ーーと寺應永比

重末 ○二人 △一人 ○備州長船ーーと寺應永比 ○備中国ーーと寺片山一派家次とも切文和比 △筑州久留米住ーーと寺慶長比

重純 ○一人 波平ーーと寺薩州谷山一派宝徳比

重 ○二人 ○和州手搔住中次郎重則同人一字銘ヨ寺 ○備の前後ヨ一人一字銘ヨ寺時代不明

重太郎 △一人 長州萩住藤原ーーと寺慶長比

重大動 △一人 豊後守ーーと寺濃州大道一派と云寛文比

鎮家 ○一人 平ーーと寺豊後高田一派延徳比

鎮豊 ○一人 豊州住ーーと寺平高田一派弘治比

鎮知 △一人 肥前守藤原ーーと寺伊賀名張住寸本国豊後ホく高田茂右エ门と号鎮智同人と云延宝享保の間

鎮智 △一人 肥前守藤原ーーと寺鎮知同人と云

鎮休ヨシ △一人 於南纪藤原ーーと寺本国伊賀名張享保比

鎮方 ○一人 平ーーと寺豊後高田一派天正比

鎮景 ○一人 平ーーと寺豊後高田一派天文比

鎮種 ○一人 平ーーと寺豊後高田一派永禄比

鎮高 ○一人 平ーーと寺豊後高田一派明應ホん比

鎮孝 ○一人 平ーーと寺豊後高田一派文亀永正比

鎮忠 ○一人 △一人 ○藤原ーーと寺豊後高田派天正の比業物 △肥前守藤原ーーと寺伊賀名張住を本国豊後と云寛文比

鎮次 ○一人 伊藤ーーと寺豊後藤原高田一派永正比

鎮繼 ○一人 平ーーと寺豊後高田一派元亀の比

鎮直 ○一人 平ーーと寺豊後高田一派天正の比

鎮永 ○一人 平ーーと寺豊後高田一派延徳ホん比

鎮榮 ○一人 平ーーと寺豊後高田一派天正比

鎮成 ○一人 平ーーと寺豊後高田一派天文弘治比業物

鎮教 ○一人 平ーーと寺豊後高田一派永禄比

鎮徳 ○一人 平ーーと寺豊後高田一派文明の比

鎮信 ○一人 平ーーと寺豊後高田一派永正ホんとろ

鎮正 △一人 肥前守藤原ーーと寺伊賀名張ヨ住を本国豊後高田鎮忠の末と云造法石堂の如し故ヨ伊賀石堂と唱ふ寛永比業物

鎮政 △一人 肥前守藤原ーーと寺鎮政同人といふ

鎮定 ○一人 平ーーと寺豊後高田一派弘治比

鎮清 ○一人 平ーーと寺豊後高田一派永正比

鎮行 ○一人 藤原ーーと寺豊後高田一派亨禄比

鎮光 ○一人

平ーーと打豊後高田一派永禄天正の間

鎭重 ○一人 平ーーと打豊後高田一派天正比

鎭久 ○一人 平ーー作と打豊後高田一派与州土州にても造る永禄比

鎭秀 ○一人 平ーーと打豊後高田一派天正比

鎭弘 ○一人 肥前守藤原ーーと打伊賀名張住と紀州にても造元禄の比

鎭盛 ○二人 ○ 平ーーと打豊後鎭の字高田の祖應仁比 ○ 平ーーと打同所住と元亀天正比

茂親 △一人 筑後柳川住下坂ーーと打元禄比

茂勝 △一人 筑後柳川住下坂ーーと打重勝男同久留米へ移住を万治の比

茂次 ○一人 備中国ーー或ハ二字銘ニ打青江一派文保比

茂真 ○一人 大和国ーーと打千手院一派明徳比

茂實 ○一人 筑後国住ーーと打大石一派文亀比

茂貞 ○一人 筑州住ーーと打筑後大石一派永正大永比と云

茂行 △一人 二字銘ニ打越後村上侯堀家の慰打と云 実名直長君元禄比水田一派大月左門相槌と云り

茂光 ○一人 備州長船ーーと打文明比

茂重ヨシ △一人 播州姫路住ーーと打三木新兵工氏重同人

下吉 ○一人 城州来一派二字銘ニ打應永比

下坂 △■○一人 ○ 江州志賀郡西坂本八郎左エ門入道ーーと打 是を下坂の祖と云下坂村ニ住を故ニ天正比 △勢州住ーーと打時代不明 △遠州掛川住ーーと打大黒信重同人 △越前国ーー○肥後大掾藤原ーーと打康継ゟ初の銘也 △總州関宿にても造る改名の事ハ康継の傳ニ志るす △越之後州住ーー △ーーと打元禄比 △藝州住ーーと打 △佐伯郡草津村ニ住を一代刀匠也 △筑前国住ーー作 △ーーと打時代不明 △讃州住ーーと打時代不明 ○此外諸国ニ下坂と斗り切鍛冶多し悉く録す 寛文元禄の間 ふいとはあるれ下坂一派ハ実名を銘ニ鐫るものも下坂と斗り打るあり 越前又東武ニハ殊ニ数人あり 唯鉄性の良を取用ゆへし

新井 ○一人 新井作と打但州法城寺国光门應永の比

新御所 ○一人 九條家の作と云兼元比 三日月又時信とも打もある

新太郎 ○一人 備前一文字宗吉と別人在所時代不明

新三郎 △一人 伯耆国住ーー作と打正綱同人といふ

新兵衛 △一人 新兵工尉作と打十六葉の菊と切越前四代目国清同人

心哲 ○一人 二字銘多し備州長船一派の者の法名なるべし文明の比

十重 ○一人 城州来一派二字銘ニ打戸津来门と云應永比

十銘 ○一人 城州来一派二字銘ニ打文安の比

十力 ○一人 千夜因州鳥取住ーーと打寛文比と云

十逆壽 ○一人 伯州三字銘ニ打正元比と云

十二神 ○一人 城州粟田口久国同人にても口決ある事也とそ備前元重も十二神と切事有

十 ○一人 肥後延寿国村同人隠し銘といふ

子禄 △一人 常州水戸藩野中氏の慰造 二字銘ニ打水心子正秀门文化比

シテ ○一人 伯州大原新太夫と号 二字銘ニ打建保の比

四郎 ○一人 濃州関師宅父と云 二字銘ニ打正應比

七　廣弘寛門野巌禮汎久秀衡平兵七彦鬚書

廣家 ○三人
◯相州住――と㕝綱廣门 常州ても造る天文比 ◯越州――と㕝千代鶴一派 加州ても造る明應比 ◯備後国三原住――と㕝永正比

廣舎 ○一人
甲州身延山住――と㕝天文比と云

廣俊 ○一人
備州長船住――と㕝建武比

廣利 △一人
肥前国住藤原――と㕝延宝元禄の間

廣任 △三人
△肥前佐賀住藤原――○忠吉孫一文字――とも㕝初代行廣次男 △同二代目肥前一文字藤原――と㕝弥七兵エと号す享保丙午十一月没業物 △虎左エ门と号す寛保癸亥二月没す

廣辰 △三人
△濃州上有知住藤原――○常陸守藤原――と㕝七郎入道 △同二代目肥後守藤原――と㕝寛文比 △越前国住――と㕝関流 △東武ても造る時代不明

廣近 △一人
奥州中村住人大和守――と㕝坂陽へ出津田助廣门と成得印末尾州ても造る慶長比良業 大掾源――○奥州宇多郡中村住人大和守――と㕝 伏見左エ门と号す初め寛近と切寛文貞享の間業物

廣勝 △一人
肥前国――○三吉――とも㕝初代忠吉门後ニ六郎左エ门と改む寛永比

廣兼 △一人
武州住――と㕝元禄比

廣吉 ○一人 △三人
◯阿州――と㕝貝府一派文明延徳の间 △駿州嶌田住――と㕝廣助の流れ貞享比 △伯耆国住――と㕝倉吉住時代不明

△肥前国住――と㕝初代正廣门助右エ门と号す寛文比

廣賀 ○四人 △[illegible]
◯伯州住――○相州住――と㕝伯州久米郡小鴨城主小鴨左衛門尉某の臣見田兵エと号す小鴨家没落の後倉吉ニ閑居して刀匠となる道祖尾兵エ尉と呼ぶるゝ小相州綱廣雲州廣瀬の金屋児明神へ参詣の刻倉吉ニ旅泊せし此時綱廣の门と成師と共ニ相州へ下る則相州住――と切し八鎌倉ふてゝの作也後帰邑して子孫多し天文弘治の间 ◯伯州住見田五郎左エ门尉 ◯伯耆国住道祖尾藤――とも㕝永禄の比 ◯十郎――作と㕝天正比 ◯伯耆国倉吉住――作 ◯――と㕝永禄比呼名しれす △伯州住道祖尾七郎左エ门尉――と㕝兼應比 △伯耆国住――と㕝元和年号○道祖尾勘助――○道祖尾助之丞――○見田三郎兵エ――○見田助太郎――○見田助右エ门――○伯州津山住――○伯州高山住――ありとも㕝とく新古時代未詳なれとも多し他国へ往て造り物も適く見ゆ

廣義 △三人
△摂津住藤原――と㕝津田助廣门三代目の河内守国助実父といふ延宝の比 △加州住藤原――と㕝寛永比 △伯州住――と㕝倉吉住 △廣儀ともかく㕝貞享の比

廣儀 △一人
武州住――と㕝元禄の比

廣代 ○一人
肥州菊池住――と㕝延壽一派文亀永正比

廣良 △一人
於備州廿日堀邉――造と㕝本国播州也安永の比

廣休 △一人
摂州住――と㕝廣舛同人なり

廣高 △四人
△河内大掾源――○河内守源――と㕝坂陽ニ住せし本国濃州関三阿弥家の末延宝乙卯十月十七日大掾ニ任し後守ニ轉せし △同二代目河内守源――と㕝市左エ门と号す元禄の比坂陽住 △同三代目稲津竜泉子――と㕝宝暦比迄ニ造る △加州住藤原――と㕝時代不明

廣隆 △三人
△藤原――と㕝藝州廣嶋住せし二代目輝廣门長右エ门号す寛文比 △同二代目藤原――と㕝 △同三代目藝州住藤原――○陸奥大掾藤原――と㕝藤四郎輝廣弟初名弥兵エと号す宝永中師の家絶るふよりて相續なし輝廣ニ改む △善八後専藏と号す廣隆の家を再興し天明中受領して享和比迄存生せし

廣龍 ⌂一人 尾州住ーーと云
関流慶長比
廣卿 ⌂一人 長州住藤原ーーーと云
二王一派寛永比
廣次 ○四人 ⌂八人 ○相州住ーー○教覚坊とも云文和の比 ○

同二代目相州住ーー○嶋田住ーーと云 ○同三代目相州住ーー或ハ二字銘と云 ○筑後国竹野郡之内ーー○
九郎三郎と号駿州にても造る應永比 市川長兵エと号文明延徳の間 筑州竹野郡ーーとも云三池

の末永禄 △洛陽住藤原ーーと △尾州住ーーと △甲州府中住ーーと云市川廣正 △越前国ーーと △伯州倉
天正の間 云寛永兼應の比 云寛文比 男長兵エと号宝永正徳の比 云時代不明 吉住ー

ーと云時 △肥前平戸住ーー○相州住ーーと云平戸左文字の末にて中山徳右エ門後加一右エ門と号初名佐賀
代不明 △の初代正廣門慶安中相州へ下り綱廣門と成万治庚子の年帰邑して本国にても相州住と云

也 △同二代目肥州住ーーと云 △同三代目肥州住ーーと云 廣綱 ○二人 ⌂一人 ○武州住ーーと云下原 ○石州出羽
加一右エ門と号天和比 金右エ門と号享保比 一派享禄比業物 住ーーと云

△粟田浅井源ーー○粟田口龍ーーとも云初代 廣恒 ○一人 備後国三原住ーーと云
忠綱門坂陽に住して紀州にても造る延宝の比 天文永禄の比といふ 廣直 ○一人

備前国ーーと云長舩 廣長 ○二人 ⌂一人 ○和州千手院一派廣長作と三字銘多し濃州小山へ移住
一派應安の比良業 ーー又江州西坂本へ轉居して下坂康継の父なり天文永禄

比業 ○常州住ーー作 △肥前国住ーーと云 廣永 ⌂一人 肥前國住ーー作と云傳兵エ 廣宗 ○一人 下
物 と云元亀比 兼應比廣永同人 正永の初銘長の字にも切 野

国ーーと云相州又越後にても造
後正清に改む明應文亀の比 廣信 ○一人 ⌂三人 ○相州住ーー○庄田ー △洛陽住伊藤権左エ門尉ーー○伊藤
ーーとも云享禄比 大和守源ーーと云藤原を切るも有

紀州にて造成の物 △同二代目洛陽藤原ーーと云 △河内守源ーーと云菊
も見ゆ貞享比 弥三右エ門と号ス享保比 と切城州住寛文の比 廣宣 ⌂二人 △濃州関住ーー於大
坂作と云寛文の比

△与州大洲住ーーと 廣法 ○一人 備後三原一派天文比 廣則 ⌂一人 肥前国住人ーー 廣國 ○二人 ⌂四人 ○相
云時代不明 廣法造と三字に切 と云慶長比 州

住ーーと云常州 ○肥後菊池延寿の末 △摂州住ーーと △武州住藤原ーー○大和守藤原ーー裏銘於東叡山下五
にても造天文比 二字銘多し天文比 云時代不明 △鉄釰作とも云下原一派山本重兵エと号ス寛文の比

△藝州住藤原ーーと云五代目輝廣門平左エ門 △肥前国藤原ーーと云二代目忠 廣保 ⌂二人 廣保作と
と号元禄乙亥の年師の家を継き輝廣に改む △廣門正右エ門と号兼應の比 云在不時代

不 廣安 ○一人 波平ーーと云薩州 廣正 ○四人 ⌂三人 ○相州住ーーと云 ○同二代目相州住ーーと ○同三代目
明 谷山一派寛安同人 廣光門永和比 云應永比業物 相州住

ーーと云文正文明比の年 筑後三池住ーー作 △甲州府中住ーーと云相州傳と銘ふ △筑後三池住ーー △播磨守ー
号切おほし後廣光に改と云 ○と云天正文禄比 △市川彦三郎と号廣次父と云貞享比 と云寛文比 ーと云在不

時代 廣政 ⌂一人 若狭守源ーー○源ーーと斗も云坂陽 廣舛 ⌂一人 摂津守源ーーと云坂 廣房 ○一人
不明 住して津田助廣門天和元禄の間業物 陽住天和比廣休とも切

三州吉田住ーーと云本国濃州小山関一派天正比業物

廣貞 ○一人 △三人
○濃州赤坂千手院一派二字銘ニ云應永比 △因州鳥取住ーーと云時代不明 △肥前国住人藤原ーーと云初代吉貞弟相右エ門と号元和寛永の間後吉家ニ改む業物 △肥前国ーーと云二代目兼廣次男相右エ門と号ス貞享比

廣定 △二人
△越前国住ーー作と云時代不明 △肥前国住ーーと云後の廣貞男甚右エ門と号ス享保元文の比

廣泉 キヨ ○一人
二字銘ニ云在所時代不明小山関或ハ和州或ハ勢州とも云

廣行 △一人
豊州高田住藤原ーーと云時代不明

廣幸 △一人
丹後守藤原ーーと云濃州関一派時代不明

廣光 ○五人 △二人
○駿州住ーーと云嶋田廣助門元亀比 ○相摸国住人ーー○相州住ーー或ハ二字銘ニ云貞宗門九郎三郎と号文和貞治比の年号ニ云物多し ○同二代目相州住ーーと号九郎と号應永比 ○相州住ーーと云後の廣正ノ末の銘あり文明比 ○濃州住ーーと云小山関一派天正比業物 △石堂藤原ーーと云東武住元禄比 △奥州中村住二字銘ニ云坂陽ニても造る寛文比

廣道 △一人
武州住猪ーー○藤原ーーとも云下原一派坂陽ニても造る寛文比

廣重 ○一人 △十人
○相州住ーー○下原ーーとも云武州恩方村住ス山本新七郎と号ス天正文禄の間業物 △摂州住小狐丸ーー○小狐丸とも云竜泉子廣高男宝暦比 △武州下原住ーー○猪因幡守ーー○因幡守猪ーーとも云○陸奥守猪ーーと云も同人山本半左エ門と号元禄乙亥の年七十三歳ニての作有洛陽又遠州ニても造 △相州正宗末葉勘解由尉藤原ーー作之と云武州下原一派山本氏寛文延宝の比 △武州住藤原ーー○相摸守ーーとも云下原一派山本新兵エと号ス時代不明 △武州下原住ーーと云山本方右エ門と号勢州ニても造る享保の比 △武州下原一派八王子恩方村住ーーと云山本兵右エ門○佐兵エ○平内等の名有各猪ーー或ハ藤原ーー或ハ下原ーーと云時代作人未詳物多し △仙臺住ーーと云奥州元禄の比 △常州水戸住藤原ーーと云時代不明 △伯州住見田助太郎ーーと云廣賀ガ初銘といふ △肥前住ーーと云初代忠吉門左馬丞と号万治比

廣久 △一人
肥前佐賀住藤原ーーと云忠政門庄右エ門と号延宝天和の比

廣助 ○二人 △三人
○駿州嶋田住ーーと云五代目義助三男永正弘治の間 ○同二代目駿州嶋田住ーーと云天正比 △同三代目嶋田住ーーと云奥左エ門と号寛永の比 △同四代目駿州住ーー○駿河守嶋田住ーーと云仁左エ門と号延宝元禄の間 △嶋田小十郎ーーと云助宗ガ後の銘といふ

廣住 △一人
備中掾ーーと云肥前吉住ガ初の銘あり

弘家 ○三人
○濃州小山関一派二字銘ニ文亀の比 ○備前国住ーーと云後備中岳一派入正中比 ○備中国ーーと云長禄比といふ

弘利 ○四人 △一人
○備前福岡一文字一派二字銘ニ云爲利男助五郎後左近将監と号弘長比 ○同二代目二字銘ニ云後弘行と改む正應の比 ○備州長船住ーーと云正中比 ○筑州住ーーと云筑前左一派應永比業物 △肥前国ーーと云廣利同人

弘近 △一人
武州住ーーと云常州水戸の産穗積氏安永比

弘包 △二人
△信濃守ーー作と云和州手掻包永末孫文珠八左エ門と号坂陽ニ住すと慶長中受領寛永比もつぱら造る業物 △同二代目信濃守藤原ーーと云和州手掻包永十一代孫と切副る物有文珠市之丞後市兵エと号坂陽又東武ニても造る寛文貞享ガ間業物

弘景 △一人
越前金津住ーーと[illegible]寛永[illegible]

弘能 ○一人 了戒ーー作と丼 城州住延徳比　弘吉 △一人 備前岡山住ーーと 丼氏重門延宝比　弘次 ○六人 ◯駿州住ーーと丼 文明比とぞ ◯越中 富田

住ーーと丼 天正の比 ◯石州住ーーと丼長 濵住應永比業物 ◯備州長船住ー ーと丼貞和比 ◯備中青江一派二 字銘小丼建長比 ◯同二代目二字銘多し 永仁の比といふ

弘恒 ○三人 ◯備州長船ーー と丼應安比 ◯備中正恒流二 字銘小丼貞應比 ◯備中国ーーと丼片山 一派貞治比良業　弘經 ○二人 ◯備州長船ーー と丼正慶比

◯備中国住ーーと丼 片山一派延文比　弘縄 ○一人 備州長船住ー ーと丼嘉元比　弘綱 ○二人 ◯石州ーーと丼出羽 住を永亨比と云 ◯備州長船住ー ーと丼應安比

弘直 ○四人 ◯和州千手院一派二字銘小丼 大井川太夫と号す正和の比 ◯大和国ーーと丼 尻懸一派永徳比 ◯備前国ーーと丼 長船一派徳治比 ◯備中正恒流二字 銘多く〻文永の比

弘長 ○二人 ◯泷州ーー或ハ二字銘 小丼明應の比大業 ◯備前国長船住 ーーと丼正和比　弘村 ○二人 ◯和州住ーーと丼千手院一派弘 林とも丼貞和比延壽とハ別人 ◯

肥後菊池住延壽の祖二字銘小丼本国和州尻懸則弘門ふしく城州へ移住ー来国行の聟と成 後肥州菊池へ轉住しく子孫門葉此土ふ繁栄ふ弘長比同銘末ふも又一人有りといふ未詳　弘宗 △一人 越前 金津

住ーーと丼 寛文の比　弘安 ○三人 ◯備前国ーーと丼左 の弘安同人とも云 ◯筑州住ーー作と丼左の国弘男と云後小藝州へ移 住を南朝正平比の年号切物多し良業 ◯波平ーー と丼薩州

谷山一派時 代不明　弘政 ○一人 △一人 ◯備中国ーーと丼 片山一派正應比 ◯甲州住ーーと丼市川長左エ門 と号す廣正孫と云享保の比　弘房 ○一人 相州土塚住ーーと丼 天文永禄の間

弘貞 ○一人 筑州ーーと丼筑前 左一派貞治比業物　弘眞 ○一人 備前国ーーと丼 長船一派正中の比　弘行 ○三人 ◯備前福岡一文字一 派二字銘小丼弘利同

人 也 ◯備州長船ーーと 丼弘恒門正和比 ◯筑州住ーーと丼筑 前左一派延文の比　弘幸 △一人 平安城藤原ーー○堀川住 ーーと丼寛永の比業物　弘光 ○五人 ◯江 州

高木貞宗最 初の銘二字小丼 ◯藤原ーーと丼泷州 小山関一派大永比良業 ◯相州住ーーと 丼永禄の比 ◯備州長船ーーと丼 天正文禄かんころ ◯備州ーー作と丼貝 三原一派應永の比

弘道 △一人 石州住ーー○山城国藤原ーーと丼津和野住川端文蔵 と号すと貞享中上京しく伊賀守金道門と成初名未詳　弘重 ○一人 藤原ーーと丼泷州赤 坂関一派亨禄の比業物

弘元 △一人 奥州二本松臣古山ーー○奥州二本松住藤原ーーとも丼始免 国秀又宗次と丼文化巳の初其古山幸之進弘元と改む　弘助 ○一人 備州長船ーー と丼文安の比

寛近 ○一人 △一人 ◯藤原ーー或ハ寛近作とも丼泷 州関三代目兼定の初銘といふ ◯勢州桑名住藤原ー ーと丼時代不明　寛村 ○一人 勢州桒名住藤原ー ーと丼千五一派ふしく

和泉守兼定勢州雲林院小在 住の時の门と云天文弘治の比業物　寛安 ○一人 日州住ーー作と必太刀銘小丼薩州 月山波平一派廣の字小も切永禄の比

門勝 ヒロ ○一人 肥後延寿の末二字銘ニ打ト永正比と云

門國 ○一人 菊池住——或ハ二字銘ニ打 肥後延寿一派長享比

門 ○二人 ○相州藤源治太夫同人ハ二字銘ヲ打 ○薩州住—作と打波平一派 廣ハ安同人ともいふ永禄比

野里 ヒロサト △一人 伯州倉吉住—— と打寛永比と云

野口 アキ △一人 藤原朝臣——と打伯州 倉吉住廣賀一族元和比

巖淨 ヒロキヨ ○一人 二字銘ニ打越前金津權三国長 同人と云按ニ道号なるべし訓のまゝし

禮樂 ヒロヨシ ○一人 二字銘ニ打在 不時代不明

汎隆 △一人 伯耆守藤原—— 銘裏越前住と打その 銘ス——兼應比より貞享比ニいたる業物

久家 ○一人 越中宇津一派二字銘ヲ打 越前ニおゐて造る至徳比

久遠 △一人 近江国——と 打時代不明

久富 ○一人 越中宇津一派二字 銘ヲ打永享比

久勝 ○一人 濃州赤坂関一派二字銘ニ打後尾州ニ 住と相田加島と呼ハ是也應永の比

久吉 ○四人 △一人 ○城州鎮西住二字銘ニ打粟田口 久国門隅州ニおゐて造る兼久比 ○備中青江一派二字 銘ニ打嘉元の比 ○日州 真幸住粟田口——と打久 国の流也應永の比 ○薩州住——と 打大永の比 △城州住——と打 久道門貞享比

久慶 △一人 奥州盛岡住——と打久次 の男也元文寛延の間

久次 ○六人 △四人 ○和州住二字銘ニ打鎧元ニ一文字 と切後伯州ニ住と建保比 ○備前新田住——と 打應永の比業物 ○備中青江一派二字 銘ヲ——寛元比 ○同二代目備中住 ——と打建治比 ○同三代目備中住 ——と打文保比 ○日州住——と打粟 田口久国門業文明比 △源——と打城州西洞院夷 川住金四郎久道ヵ初銘なり △奥州盛岡住——と打新藤 国義門呼名も久次と号元禄比 △肥前長崎住藤原 ——と打与右エ門正次男元 禄比 △肥前平戸住——と打正久ヵ弟垣見瀬兵エと号初代土 肥貞了門後肥後渡本土松村昌直門と成寛政文化の比

久繼 ○一人 与州住——と 打文安の比

久長 ○一人 因州小鍛冶一派二字 銘ヲ——應永比

久命 十ガ ○一人 濃州西郡物一派二字銘ヲ 打宗命男と云貞應の比

久永 △一人 与州住——と打久 国門享保の比

久宗 ○三人 ○備前福岡一文字一派 二字銘ニ打寛元比 ○備州長船住—— と打延慶比と云 ○備州長船——と打 久光門文明の比

久信 ○一人 了——と打城州了戒 門明徳應永のころ

久則 ○二人 ○備前国——と打 直宗流弘長比 ○備前国吉井住— —と打嘉吉の比

久國 ○五人 △一人 ○藤次郎——或ハ二字銘ヲ——城 州粟田口国家次男林藤次郎と 号兼元二年番鍛冶奉行国月番ニ定られ大隅権守ニ任し山城国鍛冶長者と 許さる 銘裏十二神と切物有後日州又隅州ニても住し子孫門葉其地ニ遺れり ○了戒——作と打 城州住貞治比 ○備州 長船——と打友国とも 切しと云嘉慶比 ○伯州住——と打 檜原住永和比 ○日州住—— 或ハ二字銘ヲ——藤 次郎の男と云弘長弘安の間 △上野守藤原——○上野大掾藤原 ——と打初め守と打後大掾と打寛文

つぶるゝなそゝ以上州高知住国益養子木村平藏と号宝永中上京しゝ令四郎久道门と成無程帰在ちと享保の比迄造る

久安 ○二人

○阿州住――と斗貝府一派文明比 ○波平――と斗薩州谷山一派時代不明

久保 ○二人

肥前国――と斗散位一派享禄比

久阿 ○一人

洑州関一派二字銘ふ斗七郎入道と号建武比法名なるし

久貞 △一人

防州岩国住藤原――と斗阿部瀬兵エと号ノ勝貞ゟ兄元禄比

久真 ○一人 △一人

○備前国――と斗時代不明 △二字銘ふ斗武州川越の藩士鎌田奥妙男次郎八真鍔慰作の銘寛政の比

久行 ○二人

○豊後国藤原――と斗延徳明應比業物 ○波平――と斗薩州谷山一派長享比

久光 ○五人

○城州粟田口一派一字銘ふ斗久国门貞應比 ○来――と斗城州了戒一派永徳比 ○備州長船――と斗細ゟちる鑽ゟく美也明徳應永比業物 ○備州長船――或八二字銘ふ斗大永天文の間 ○隅州住――と斗粟田口久国末應安比

久道 △五人

△近江大掾源――○近江守源――と斗十六葉の菊と切洛陽西洞院夫川ふ住ち伊賀守金道の家より出ゝゝ初名堀六郎兵衛後三品氏ふ改む寛文辛丑の年受領同年守ふ溥任ち貞享元禄比父子両作多しゝ必枝菊と切○以肥州島原鉄作之と云裏銘切し物あり其故てちゝ以元禄の末比より二代目の代作有△同二代目近江守源――○近江守源来――とも斗枝菊と切適く十六葉菊ゟ見ゝ必枝菊と切正徳辛卯の年没年十五翁良業△菊と切るも有三品金四郎と号初名久次と切実法橋栄泉ゟ次男也正徳壬辰の年受領其時△同三代目近江守源――と斗十六葉の菊又枝菊も切享保の首年受領す元文己未の春東武へ下りれ五十歳とつふ業物／若狭正宗兒手拍包永と操造ちと其功よすり以ゝ一代限り五人扶持賜る同七月帰京ち此時甲一歳寳暦の末迄存在ちと

△駿河国藤原――○山城国藤原――と斗正保比 △豫州吉田住――と斗本国洛陽西洞院三品次郎左エ门と号ち三代目久道嗣子ちく女子ありしと他へ嫁せし名其女の子次郎左エ门也祖父の遺業を興し刀匠と成東武ふくし造る寛政文化の間

久重 △一人

常州水戸住――と斗貞享比

久元 ○一人

城州粟田口一派二字銘ふ斗ゝ以久国门八条猪熊ふ住し五郎三郎と号ちと貞應比

久盛 ○一人

平――と斗豊後高田一派文安の比業物

久守 ○一人

平――と斗豊後高田一派明應比

久採 ○一人

隅州住――と斗粟田口久国の门と云貞應比

秀利 ○三人

○来――と斗城州来一派貞和比 ○備州長船――と斗延文の比 ○備中国――と斗青江一派正和比

秀辰 △三代

△関住山城守藤原――○山城守藤原――と斗本国洑州関得印一派ふ斗しゝ坂陽ふ住し権兵エ△同二代目常陸守――○山城守藤原――と斗坂陽ふ住しと号ちと寛永万治の間初名肥後守ふ任せしとも云業物△後東武へ下る初名善右エ门後権兵エと号清重男と云寛文元禄の間△同三代目藤原――と四字銘ふ斗或山城守業物△ともふ斗――と云東武住源左エ门と号享保比

秀虎 △一人

羽州庄内住――と斗水心子正秀门五十嵐金三郎と号文化比

秀近 ○一人 △一人

○備州長船――と斗秀光门貞治の比業物 △紀州住――と斗時代不明

秀興 △一人

薩州住――○奥和泉掾――○和泉守――ともふ斗惠重の初銘也隅州国分ふくも造る事忠重の傳ふ録ち

秀包 ○二人

○備前国――と斗文治の比 ○備州長船――と斗備中ふくも造る明徳應永比

秀景 ○三人

○備州長船住――○備前国長船住――造ともに斗近景男貞和延

文の間良業

○備州長船平ーーと云或ハ平の字不云も有嘉吉文明の間業物

○備州住ーーと云三原一派應永の比

秀吉 ○二人

○波平ーーと云薩州谷山一派日州ふてくも造る文和比

○二字銘ふ云明應比在所不明

秀能 ○一人

了戒ーー作と云城州了戒一派後豊前へ移住すと永享比

秀次 ○六人

○来ーーと云城州鎌倉来一派建武の比

○備州長船ーーと云貞治比

○備中国住次郎左エ門尉ーー或ハ二字銘多しー青江一派嘉元の比大業

○安久庄ーーと云備後葦田一派五阿弥と号明徳の比

○同二代目備州住ーーと云文安比

○波平ーーと云薩州谷山一派延徳の比

秀綱 ○二人

○作州住二字銘よ云本国備前と云寛元比

○備州長船ーーと云或ハ縄の字ニ小云物多し應安明徳の間

秀長 ○一人

豆州北条住人ーー作と云永享の比

秀延 ○二人

○讃州志渡庄住藤原ーーと云弘安比

○二字銘よ云在所時代不明按よ備前ふてく弘長比一本播州と云

秀則 ○二人

○備前国吉井住ーーと云雲州又石州ぞも造る享徳の比

○波平ーーと云薩州谷山一派時代不明

秀國 ○一人 △一人

○波平ーーと云薩州谷山一派時代不明

△角ーーと云奥州會津住角元興中頃の銘也

秀安 ○三人

○奥州舞草一派二字銘よ云羽州ふてくも造る天福比

○備中莖原住ーーと云在の字ふも切文亀永正比

○波平ーーと云薩州谷山一派時代不明

秀康 △一人

上州沼田住ーーと云寛永比

秀正 ○一人

備州長船左エ門尉ーー或ハ二字銘よ云應永比

秀貞 ○四人 △一人

○河内国ーーと云元徳暦應比

○美作国ーー造と云雲州ふてくも造建武比

○備州長船一派二字銘多しー應永比業物

○肥前平戸左一派二字銘多しー筑前ふてくも造る明徳比

△豊後国ーーと云時代不明寛永比是なるべし

秀真 ○二人

○備前国住ーーと云畠田一派貞和比

○備州長船ーーと云至徳比

秀行 ○二人 △一人

○備州長船ーーと云文安文明の比

○讃州志渡庄住藤原ーーと云秀延一族正應比

△二字銘よ云讃州志度の末裔と云なるべし元禄比

秀幸 ○一人

備州長船ーーと云宝徳比

秀光 ○二人 △一人

○備州長船住ーーと云大銘ふ云建武比

○備州長船ーー小振よ銘と云應安より應永の始よ至る宜上大業

△羽州秋田住淡路守ーーと云時代不明

秀道 △一人

城州住ーーと云久道門寛文比

秀重 ○一人

備後国住ーー作と云辰房三原一派享徳比

秀茂 △一人

見竜子ーーと云奥州仙臺住も水心子正秀門東武ぞし造る寛政比

秀平 ○一人

備州長船ーーと云嘉吉比

秀弘 ○一人

備州長船ーーと云永和比

秀廣 △一人

羽州庄内住ーーと云水心子正秀門村上幸吉と号文化比

秀守 ○一人

備前福岡一文字末流二字銘ふ云貞治比

秀盛 ○一人

平ーーと云豊後高田一派天文の比

秀助 ○一人

備州長船ーーと云り明徳應永かん間業物

秀祐 ○一人

藤原ーー作と云城州末一派正慶比

秀 ○一人

備州長船一派一字銘ふ云暦仁比

衡能（ヒラヨシ） ○一人

了戒ーー作と云城州一派永正の比

平矩 △一人

薩州住ーーと云ノ元平門松田藤之進と号文化比

平國 ○一人

宇多ーー或ハ二字銘よ云越中宇津一派文亀比

兵 七 彦 鬚 盈 盛

平林 ○一人 雲州道永一派二字銘ニ打應永比

平田 ○一人 但州法城寺重貞如此二字銘ニ打事有

兵部 ○一人 肥後国同田貫ーーと打天正比業物

ヒヤウヱノゼウ ○一人 和州當麻の国行片假名ニて如此も打

彦一 △一人 城州埋忠ーーと打西陣住明寿の一族也彫物計とも云寛文比

彦兵衛 △一人 埋忠ーーと打城州西陣住初代吉信同人と云寛永比

鬚繼 △一人 讃州住ーー作と打播州又阿州ニても造る○髪次○髪作とも切寛文の比

盈宗 ○一人 備州長船ーーと打應永比夜宗の傳ニ具さなり

毛 盛守森林宴護元基本師持用百猛

盛家 ○五人△一人 ○備州長船ーー或ハ二字銘ニ打長光流應安永和の比業物 ○備州住ーーと打一乗三原一派永享比 ○豊後国髙田住藤原ーーと打壬嘉吉比 ○藤原ーーと打同国同派文亀比業物 ○源ーーと打筑前金剛兵工一派宅の字ニも切天文比 △豊後住ーーと打藤原髙田一派寛永比

盛宅 ○一人 筑前金剛兵工一派二字銘多ハ家の字ニも切天文比

盛利 ○一人△二人 ○備州長船ーーと打應永比 △豊後国日出住ーーと打石見守吉盛の初銘也 △豊州日出住ーーと打吉盛ヵ次男富田鉄三郎と号寛政享和比

盛俊 △一人 肥前平戸住源ーーと打元和比といふ

盛近 ○三人△一人 ○城州大宮一派二字銘ニ打天福比 ○備前大宮一派二字銘多ハー正應比 ○大隅蒲生住ーーと打田代大八と号天文比業物 △摂州住ーーと打寛文比本国淡州といふ

盛岡 △一人 左近将監ーー作と打淡州国一派元和比

盛景 ○四人 ○備前国ーー或ハ二字銘ニ打大宮一派延文應安の間 ○備州長船ーーと打貞治嘉慶の間良業 ○備州長船ーーと打明徳應永の間業物 ○平ーーと打豊後髙田一派永正比

盛包 ○一人 源ーー作と打筑前金剛兵工一派永禄元亀の比

盛方 ○二人 ○平ーーと打豊後髙田一派永禄比 ○源ーーと打筑前金剛兵工一派嘉慶比といふ

盛門 △一人 摂州天満住ーーと打市右エ門盛町同人

盛吉 ○三人△一人 ○遠州菊川住ーーと打永正比 ○筑前金剛兵工一派二字大銘ニ打應永比 ○肥前平戸住ーーと打天文の比業物 △肥前神崎住源ーー○肥州平戸住ーーとも打山口弥助と号天正慶長の間

盛善 ○一人 備州長船ーーと打義の字ニも切嘉吉比

盛高 ○七人△二人 ○金剛兵工源ーー或ハ二字銘ニ打筑前秋月住岩下氏盛国男相州へ来り五郎正宗門と成正和元亨の間一説良西聟とも云 ○同二代目金剛兵工源ーー或ハ二字銘ニ打大振也延文貞治比 ○同三代目金剛兵工源ーー或ハ源ーーと打豊後ニても造る明徳比 ○金剛兵工源ーーと打筑前の末也天文比 ○豊後国住平ーーと打永正比業物 ○同二代目豊後国住平ーーと打天正文禄比の年号有之し ○肥州住ーーと打肥前平戸の住也永徳比 △豊後国髙田住樋口与三兵エ尉ーーと打慶長比業物 △源ーーと打銘東宮薗村忠右エ門作と打慶長の年号有筑前金剛兵衛一派といふ

盛忠 ○一人 △一人
○平ーーと有豊後高田一派弘治の比
△摂州住ーーと有寛文比

盛種 ○一人
平ーーと有豊後高田一派大永比

盛次 ○六人 △四人
○越中竹村住ーーと有永享比
○備前中小路住ーーと有大宮一派貞治の比
○備中青江一派二字銘ニ有應安比大業
○筑前尾崎住源ーーと有金剛兵工一派嘉吉の比
○平ーーと有豊後高田一派天文比
○源ーーと有肥前住之金剛兵工一派也大永の比
△石州住源ーーと有寛文比
△長州住藤原ーーと有貞享の比
△筑前国住益永十助源ーーと有寛文比
△肥前国住源ーーとこ门かるゝよと篆字ニ切寛永比

盛繼 ○一人
備前大宮一派二字銘ニ有應長比

盛綱 ○二人 △二人
○石州出羽住ーー○石州住左エ门尉ーーと有正和文保の比
○博多住源ーーと有筑前金剛兵工一派豊後ニもくゝ造る延文の比
△阿州住左近将ーー作と有将監とも有寛永の比
△和泉守ーーと有元禄の年号とも有在所不明

盛縄 ○一人
源ーーと有筑前金剛兵工一派盛綱同人と云

盛恒 ○一人
備前大宮一派二字銘ニ有康永比

盛常 ○一人
平ーー或ハ盛常作とも有豊後高田一派永正永禄の間

盛永 ○二人 △一人
○備中青江一派二字銘ニ有弘安比
○源ーーと有筑前金剛兵工一派文亀の比
△相模守藤原ーーと有裏銘濃州関之住とも切兼安男後藤忠右エ门と号甲府又和州郡山ニても造る始メ盛長と切享保の比

盛命 十が △一人
駿河国藤原ーー○藤原ーーとも有明暦寛文の间

盛宗 ○一人 △二代
○城州六波羅住二字銘ニ有備前盛宗在京の銘と云
△陸奥大掾橘ーーと有後守ニ轉任之奥州波岡住森宗の裔也助三郎と号相州綱廣门元和の比業物
△同二代目奥州住佐兵エ橘ーーと有近江守久道门初名長次郎と号寛文天和比以後代々未詳

盛氏 ○一人
備州長船ーーと有盛光门應永比

盛則 ○三人
○伯州住ーーと有寛元比
○備前国ーーと有大宮一派貞治比
○備前国吉井ーー或ハ二字銘ニ有雲州ニても造る左近将監と切ーーとハ人とも未阅應永の比

盛德 ○一人
豊後平高田一派二字銘ニ有天正比

盛信 ○一人
平ーーと有豊後高田一派元亀比

盛國 ○三人 △三人
○筑前六道住岩本氏二字銘ニ有金剛兵工ニ父金王と呼法名入西と云ゝ弘安比
○源ーーと有筑前金剛兵工一派永正大永比
○筑州住ーーと有左一派康暦比業物
△石堂ーー作と有城州住之鉄五郎と号時代不明
△勢州桑名住ーーと有坂陽ニても造る寛文比
△和泉守源ーー造○和泉守千手院ーー造とも有東武千手院是也寛永比といふ

盛安 ○二人
○筑前金剛兵工一派二字銘ニ有天文比
○肥前長瀬住橋本盛房男彦十郎と号少貳家より伊勢守ニ任せられ九州鍛冶棟梁となる弘安比未阅

盛康 ○二人
○筑前金剛兵工一派二字銘ニ有吉盛门観應比
○源ーーと有筑前金剛兵工一派文亀永正比

盛政 ○一人
備州長船ーーと有應永比

盛昌 ○一人
源ーーと有筑前金剛兵工一派應永の比

盛匡 ○一人
豊州昌住源ーー作或ハ源ーーとも有豊後住金剛兵工一派匡と切文亀比

盛町 △一人
摂州の盛门ら中比の銘也

盛舛 △一人
伯耆守ーーと有坂陽の住寛文比

盛房 ○三人 △一人
○備前福岡一文字一派二字銘ニ有助房男文應比
○源ーーと有筑前金剛兵工一派

天文弘治比
〇肥前川上住橋本信久男玄蕃亟と号本国筑前ちより建長比
△三州吉田住ーーと打時代不明

盛眞 ○一人
平ーーと打豊後高田一派永禄比

盛實 ○一人

源ーーと打筑前金剛兵エ一派天文弘治比

盛定 ○一人
平ーーと打豊後高田一派永禄比

盛貞 ○一人 △一人
〇雲州住ーーと打明應比守貞同人
△肥前平戸住ーーと打寛永の比

盛淸 ○二人
〇長州住ーー作と打二王一派永享比といふ
〇源ーーと打筑前金剛兵エ一派貞治の比

盛行 ○三人 △一人
〇濃州関一派二字銘小打文明比
〇備後

尾道住五阿弥ーー作と打天正文禄比
〇平ーーと打豊後高田一派長享の比
△肥前平戸住ーーと打慶長比

盛米 ○一人
備州長船ーーと打修理と斗も切天正比

盛光 ○五人 △一人
〇濃州西郡物一派二字銘小打天文比
〇加州住ーーと打應安比業物
〇備州長船住修理亮ーー○備州長船ーー○修理亮と斗も打長井氏康光ゟ兄也應永の首年より造る大業
〇備州長船一派二字銘多ー文安比業物
〇豊後平高田一派二字銘小打文亀比
△早勝美濃守藤原ーー九亀士慰作と打時代不明 裏銘濱州

盛道 △四人
△摂州住武藏守ーーと打本国尾張延宝比
△駿河守藤原ーーと打濃州室屋関一派ーーゝ尾州名古屋ニ住む洛陽ニても造る天和比
△同二代目駿河守藤原ーー○加賀守藤原ーーと打尾州住また貞享正徳の間
△長門掾藤原ーーと打大の字あるーー長州住また長門守ともーーと云貞亨子比

盛重 ○八人 △三人
〇武州下原住ーーと打天正比業物
〇越前敦賀住ーーと打一文字を切生佛ともも切應永比
〇備前大宮一派二字銘小打徳治の比
〇備州長船ーーと打明徳應永の比良業
〇備州長船ーー○新太郎ーーとも打永享康正の間業物
〇備前国住長船ーーと打新左エ門と号ス永正享禄の間
〇源ーーと打筑前金剛兵エ一派文安の比
〇波平ーーと打薩州谷山一派時代不明
△美濃守ーーと打坂陽住また本国尾州と云貞享比
△羽州秋田住ーーと打相州綱廣門六兵エと号享保比
△日鉋刀ーーと打豊後高田一派平岡六兵エと号慶長比

盛鎮 ○一人
平ーーと打豊後高田一派文明比

盛秀 ○二人 △一人
〇備州長船ーーと打康應比
〇源ーーと打筑前金剛兵衛一派應永の比
△肥前草原住源ーー○市太源ーーとも打守安守秀皆同人寛永比

盛久 ○四人
〇太郎ーーと打和州末の手手掻一派永正比業物
〇備前大宮一派二字銘ま打永和の比
〇備州長船ーーと打文明かん比
〇平ーーと打豊後高田一派大永の比

盛尚 ○一人 ヒサ
日州住ーーと打天正の比

盛廣 ○三人 △一人
〇濃州ーーと打関一派亨徳の比業物
〇平ーーと打豊後高田一派永禄比
〇肥前平戸住ーーと打威の字ま切建武比
△駿州住藤原ーー○讃岐守ーーと打濃州関金重末流五平次と号尾州遠州にても造る享保の比

盛弘 ○一人
備州長船ーーと打永享比

盛元 ○二人
〇備州長船ーーと打文安
〇筑前金剛兵エ一派二字銘ま打明應比業物

盛助 ○二人
〇備前大宮一派二字大銘小打應長比
〇備州長船ーーと打應永の比良業

盛汗 ○一人
月山ーーと打奥州住時代不明

盛兄 △一人
豊後日出住吉廉同人

守家 ○八人
〇和州ーーと打手掻一派時代不明
〇備前福岡一文字一派守家造

と三字大銘小キ物多し三郎兵エ尉後権守大夫老後
中務入道と号寛元建長の间 花押 又 粗如此
○備前国福岡住——造○守近孫——と
ナ——も有銘小振ふく美也文永弘安の间
○備前国長船住人——造或

二字銘多し畠田一派初代
家助とナといふ弘長比
○備州長船——
——とナ文明比
○備中国万寿庄住
——とナ永仁比
○平——とナ豊後
高田一派應仁比
○同二代目平——と
ナ文亀大永の间

守治 ○一人
平——造とナ豊後
高田一派天文弘治比

守利 ○八人
○石州出羽住——或ハ二字
銘ふもナ貞治比業物
○備前福岡一文字一派
二字銘小ナ天福比
○備前国——と

ナ福岡住
を弘長比
○備前大宮一派二字
銘よナ貞和比
○備州長船住——と
ナ為利门建武比
○備州長船——と
ナ應永比良業
○備州長船——
とナ亨禄比
○備中青江一派二字
銘多し建武比

守俊 ○四人
○備前畠田一派二字
銘多し應長比
○備中国万寿庄住—
—とナ嘉元比
○備後三原一派二
字銘よナ貞和比
○備後国三原住—
—とナ文明比

守遠 ○一人

備中則高一派二字
銘小ナ正治比

守友 ○二人
○備州長船一派守友造
と三字小ナ應永比
○平——とナ豊後
高田一派天正比

守近 ○四人
○江州戸津末一派二
字銘小ナ文和比

○備前福岡一文字一派二字銘
小ナ守家の族建長比
○備州長船住——○長船
住——と斗もナ應長比
○備州長船——
とナ永亨比

守景 ○二人
○備州長船一派二字
銘小ナ畠田住と云

法名道阿
貞治比
○備前鵜飼庄一派二
字銘多し文和比と云

守包 ○一人
備前福岡一文字一派
二字銘小ナ貞應比

守方 ○一人
平——とナ豊後
高田一派天正比

守勝 ○二人 △一人

○野州住—— 裏銘於徳次郎村
作之とナ永正亨禄の间
筑前福岡住——とナ守
昌の弟権次と号元文比

守吉 ○四人 △一人
○掃部助源——とナ越
前千代崔一派文亀比
○越中宇
津一派二

字銘小ナ
延文比
○長船住——或ハ二字銘
よナ備前畠田一派貞治比
○平——とナ豊後
高田一派元亀比
備前岡山住——
—とナ寛永比

守能 ○一人
了戒——とナ
城州住永正比

守忠 ○一人

備中万寿庄住
——とナ正應比

守種 △一人
加州住藤原——
とナ時代不明

守次 ○六人 △一人
○備前国住——とナ
挙一派至徳比業物
○備中青江一派二字
大銘よナ元暦比
○備
中

国——とナ青江
一派應長比
○同二代目備中国——とナ薩州
安の聟と成又帰在すと云貞和延文の间
波平行
○平——造とナ豊後
高田一派大永の比
肥前平戸住——
○とナ應永の比
筑前福
岡住——

とナ権三兵エと号
元禄正徳の间

守繼 ○一人
大和国——○二字
銘ふもナ時代不明

守綱 ○五人
○備州長船——とナ縄
の字ふも切宝徳比
○二王——とナ防州
吉敷住延徳比
○

筑州——とナ左
一派永和比良業
○源——とナ筑前金
剛兵エ一派永禄比
○波平——とナ薩州谷山
一派縄の字ふ切應永比

守恒 ○二人
○備前畠田一派二字銘
よナ眞守门と云徳治比
○備中正
恒一派

二字銘小ナ
建長比

守經 ○二人
○備州長船一派二字
銘小ナ時代不明
○源——とナ筑前
金剛兵エ一派天文比

守長 ○三人
○備前畠田一派守長造
と三字銘多し建長比
○

平——造とナ豊後
高田一派天正の比

守永 ○一人
備州長船——
とナ明徳比

守仲 ○一人
備前畠田一派二字
銘小ナ時代不明

守造 ナリ ○一人
備前畠田一派二字
銘小ナ時代不明

守宗 ○一人 △一人
○ 備前国ーーと于 畠田一派正安比
△ 備前国長船住 ーーと于慶長比

守氏 ○一人
備州長船ーーと 于至德應永比

守信 ○二人
○ 備州長船住ーー と于應安 比業物
○ 波平ーーと于薩州 谷山一派正和比と云

守延 ○一人
二字銘ヨ于在 所時代不明

守宣 ○一人
平ーーと于豊後高 田一派弘治の比

守則 ○一人
備州長船ーーと于吉井一派と云後ハ 雲州へ移住ーーと〱○藤原ーーと于康正比

守國 ○一人 △二代
○ 備前福岡一文字一派 二字銘ハ于貞應比
△ 和州住藤原ーーと于 洛陽ニても造る寛永比
△ 同二代目平 安城藤原ーーと于坂陽へ移り〱○摂州 住ーーと于弘包門貞享元禄の間

守安 ○七人 △一人
○ 備前福岡一文字一派 二字銘ハ于弘安比
○ 備前畠田一派二字 銘ヨ于建長の比
○ 備州長船ーーと 于貞治應安の間
○ 同二代目備州長船 ーーと于應永の比
○ 大山庄住ーーと于藝 州左一派延文の比
○ 豊後国住了戒ー ー作と于寛正比
○ 二字銘ヨ于在所時代 不明薩州于とくふ
△ 肥前国住市太 源ーーと于寺 秀同 人

守康 ○一人
備中国ーーと 于時代不明

守正 ○一人 △二代
○ 備州長船ーー と于貞治比
△ 和泉守千手院源ーー造○和泉守源ーー○ 於甲州郡内八幡山和泉守源ーー作ともいふ 東武住寛永比 盛国同人と云
△ 同二代目和泉守源ーー○千手 院源ーーと于鉄正同人元禄の比

守政 ○一人
備州長船ーーと于 應永永享の間

守昌 △一人
筑前福岡住 ーーと于三 郎兵エと号 享保の比

守房 ○一人 △一人
○ 越州ーー○守房作と三字銘ヨも 于越前千代崔一派明應の比
△ 肥前国常陸大掾源ーーと 于草原市太一族兼應比

守貞 ○五人 △一人

○ 雲州住ーーと于盛 の字ハも切明應比
○ 備州長船ーーと 于康暦比
○ 備中国大隅権守ーーと 于則高一派と云正治比
○ 平ーーと于豊後 高田一派文明比
○ 筑後住ーーと于大 石一派天正文禄比
△ 豊後高田住ーーと 于関の流享保比

守定 ○一人
平ーーと于豊後 高田一派天文比

守真 ○二人
○ 備前畠田一派二字銘ヨ于 藤左エ門と号嘉元比
○ 平ー ーと于 豊後高田 一派天文比

守實 ○一人
了戒ーー作と于城州住後 豊後へ移住と文明の比

守清 ○二人 △一人
○ 備前畠田一派二字 銘ハ于元亨比
○ 二王ーーと于防州 吉敷住時代不明
△ 肥前平戸住ー ーと于寛文比

守釆 ○一人
越前住ーーと于千代崔 一派大永比末のものといふ

守行 ○二人 △二人
○ 備前国ーーと于畠 田一派建長の比
○ 備州長船 ーーと于永 享比
△ 石見国ーーと 于時代不明
△ 豊後高田住藤原 ーーと于寛文比

守幸 ○一人
備州長船ーーと 于時代不明

守道 ○三人 △一人
城州来一派二字銘ハ于 八幡方同人男貞和比
○ 備 州長船ーーと 于嘉吉比
○ 八幡方ーーと于在所時 代不明来一派同人男
△ 摂州住ーーと 于寛文比

守光 ○五人
○ 備州長船ーーと于 安部一派貞治比
○ 備州長船ーー と于應永比
○ 備州 長船ーーと于明 應文亀比
○ 備中国ーーと于万 寿庄住應安比
○ 了戒ーーと于豊 後長享の比

守重 ○十人 △一人
○ 越州ーーと于越前千代崔一派府中住 康正比性佛ともいふと云盛重の次男
○ 藤嶋 泰ーーと于加 州天正比
○ 備前国長船ーーと于後の守家ら男ゆーー〱順 慶の聟と云老後五郎左エ門入道と号正應比
○ 備州長船住ーーと于 元重ら父と云正和比
○ 備州長船ーーと于 應仁文明の間業物
○ 長 船

雲生男ーーと号備前鵜飼庄物後雲次ニ改むと云延文比

◯備中万寿庄一派二字銘ニ有貞治比

◯藝州左一派二字銘ニ有永享比

◯豊後ーー〇豊州高田ーー作或ハ二字銘ニ有嘉吉文明の間業物

◯波平ーーと号薩州谷山一派時代不明

△摂州住ーーと号延宝比

守久 〇三人 △三人

◯雲州住ーーと号天文比

◯備州長船ーー或ハ二字小銘ニ有挙物の祖貞治比良業

◯平ーーと号豊後高田一派与州上州ニても造る永正比業物

△摂州住ーーと号元禄比

△武州住石堂来ーー〇武州住石堂八左衛門尉来ーー造〇来ーー作とも号東武ニ住と兼応比より造り延宝丙辰の年入道ーーと東連と改む業物

△同二代目武州住来ーー〇石堂来ーーとも号八左衛門と号元禄正徳の間

守秀 〇二人 △一人

◯備前福岡一文字一派二字銘ニ有ーー弘安比

◯備州長船ーーと号明徳応永比業物

△肥前平戸住源ーー作と号市太盛秀同人

守弘 〇三人

◯越前千代鶴一派二字銘ニ有加茂二郎と号加州ニても造永享比

◯同二代目越州ーー或ハ二字銘ニ有小加茂二郎と号延徳の比業物

◯備州長船ーーと号応永比

守廣 〇二人

◯伯州倉吉住七郎右衛門尉ーーと号道祖尾一族天正比寛永の首年迄存在すと云

◯備州長船ーーと号守弘と別人応永比

守元 〇二人

◯備州長船ーーと号守久門人永和比

◯備州長船ーーと号修理亮盛光門長禄比業物

守助 〇二人

◯城州住二字銘ニ有江州戸津来の末流明徳応永の比

◯備州長船住ーーと号畠田一派〇南無観世音菩薩と斗も号文和応安の間業物

守末 〇一人

備州長船ーー或ハ二字銘ニも号応永永享の間

森　林　宴護　元

森宗 〇二人

◯奥州津軽住ーー或ハ森宗作と三字銘ニも号相州伝と云法名慶林永正比以下数代未詳

◯越前千代鶴一派二字銘太くと号明応比

森房 △二人

△摂州住ーーと号本国濃州関也父兼房と共ニ坂陽ニ住と七兵衛と号寛文比

△奥州住橘ーーと号津軽の盛宗二代目と同人

森光 〇一人

奥州ーーと号舞草の末応永比

森重 〇一人

加州藤嶋一派二字銘ニ号天文比

森弘 〇二人

◯越前千代鶴一派二字銘ニ有寛正比

◯備州長船ーー或ハ二字銘ニ有永正比といふ

林喜（モリヨシ） 〇一人

石州長濱住ーーと号天文比

林次 〇一人

城州粟田口一派二字銘ニ有国友門貞応比

林三 〇一人

二字銘ニ有在所時代不明辰房三原の如しー

宴至（モリチカ） 〇一人

五阿弥ーー作と号備後尾道住と明応比

護國（モリ） △一人

上野大掾ーーと号土州高知住久国の男木村氏享保寛延の間

元家 〇一人

備州長船ーーと号元重門人永徳比

元治 〇一人

二字銘ニ有在所時代不明

元俊 △一人

長曽祢ーーと号江州長曽祢村住戈市と号兼応寛文の比

元利 △一人

羽州米沢住ーーと号古山長蔵と号水心子正秀門享和文化比

元近 〇二人

◯相州住ーー或ハ二字銘ニも号小田原鍛冶駿州ニても造る永禄の比

◯備後国三原住貝ーー或ハ二字銘ニ有天文比

元興 △一人

角ーーと号奥州会津住餘六八と号初名水心子正秀門ニて秀国と号寛政の首年薩州へ往き元平門に[illegible]文化戊辰の年没

元兼 〇一人

関ーーと号濃州赤坂関一派

天文比 とある

元包 ○一人 備州長舩――と打時代不明

元勝 △一人 因州鳥取住――と打享□比

元武 △一人 薩陽士奥氏平――と打元平の弟正左エ門と号安永文化の間

元忠 △一人 肥州住四郎――作と打 長崎住と時代不明

元次 ○一人 肥州住――作と打 肥後也長享比

元繼 △代々 △下坂――と打六代目康継享保甲寅の冬家督を継八元継と打以後嫡子の定例として代々同銘あり △下坂藤太郎――と打八代目康継男文化己巳の年廿一歳

元恒 ○一人 備州長舩――と打元重流明徳の比

元成 ○一人 甲州住――

―或ハ二字銘ニ打相州流也天文比

元作 ○一人 長州住二王――と打永正の比

元直 △一人 薩州住――と打元貞男奥次郎兵エと号元文安永の間

元長 △一人 尾州住――と打吉木喜兵エと号初名信直と打享和辛亥の年薩州へ住す元平門ニ成改名す名古屋ニ住を

元宗 ○一人 ○備州長舩――と打貞治の比 △奥州會津住――と打元貞門内藏進と号す文化の比

元氏 △一人 大和守――と打濃州関住寛文の比

元信 ○一人 美作国河邉住――と打正應比一本美濃と云ハ非なり

元國 ○一人 隅州住――と打栗田口久國門寛喜比

元安 ○三人 △一人 ○遠州住――と打應永比 ○奥州舞草一派一字銘ニ打應永比 ○備州長舩――と打元重門明徳比 △薩陽士――と打元武の弟奥次右エ門と号安永文化の間

元正 ○二人 ○二王――作と打防州吉敷住也長州ニても造天文比 ○備州長舩――と打元重門永和比

元房 △一人 薩陽奥――と打元武男武右エ門と号文化の比

元眞 ○四人 ○和州千手院派

二字銘ニ打元應比相法師と云とも ○濃州関一派一字銘ニ打貞和比 ○丹州――と打丹波時代不明 ○備州長舩――と打元重門應安比

元貞 ○一人 △一人 ○石州長濱住――と打永禄比 △薩州住――と打忠清の孫奥孝左エ門と号初名忠寄惣左エ門正房門貞享寛保の間

元清 ○三人 ○大和――と打千手院一派建武の比 ○和州南都住金房――と打元亀比業物 ○二王――と打防州吉敷住永正の比

元行 ○一人 備州長舩――と打至徳比

元光 ○一人 備州長舩――と打明應文亀比業物

元道 ○一人 △一人 ○大和国――と打金房一派天正比 △山城国源――と打元禄比

元重 ○四人 ○濃州関二字銘ニ打六郎左エ門尉と号弘長比 ○伯州檜原住――○伯州原住――とも打初名弥九郎光重と打長舩元重此地へ来りし時の門人と云應安比 ○同二代目伯州檜原住――と打應永比 ○備州長舩――或ハ二字銘ニ打守重男重眞の兄大藏允と号相州貞宗門也裏銘ニ士一神と切事有伯州ニても造る正中より貞治比迄の作有最上大業物

元久 ○一人 備州長舩――と打元重門文和の比

元平 △一人 薩陽士奥氏平――○薩陽士奥――○奥大和守平朝臣――と打元直男孝左エ門と号寛政己酉の年受領文化己巳ニ六十余歳

元寛 △一人 薩陽士奥――と打元平男六郎と号文化己巳ニ廿七歳

元守 ○一人 二字銘ニ打在所時代不明

元末 ○一人 備州長舩――と打天文の比

元助 ○一人 駿州住――と打義助門弘治の比

元祐 ○二人 ○備州長舩――と打享禄比 ○豊州住――作○平――と打高田一派文亀の比

元喜 △一人 長州萩住国富ク法名也

基全 ○一人 トモ 羽州住——と打月山一派 奥州ニても造建武比

基近 ○一人 備前国長船——○基近造或ハ二字銘ニも打 法華太郎[illegible]江間入道も同人と云嘉元比

基包 ○一人 備前長船——と打基近門文保比

基景 ○一人 備州長船——と打応永比

基吉 ○一人 了戒——作と打 豊後永徳の比

基高 ○一人 奥州舞草一派二字銘ニ打 貞応比日州ニ同銘有とことも未詳

基次 ○三人 ◯ 相州山内一派二字銘ニ打貞治比 ◯ 相州住——と打二代目廣次門永享比 ◯ 備州長船——と打基近門文保の比

基綱 ○一人 備前国——と打基宗門貞治比

基宗 ○一人 備州長船——と打正中比

基正 ○一人 備州長船——と打康安比

基政 ○一人 備州長船——と打兼光門嘉慶比

基真 ○一人 備州長船住——比

備州長船——と打基包門貞治比

基貞 ○一人 備前国——と打弘長比といふ

基行 ○一人 和州住——と打正應の比

基光 ○三人 ◯ 備州長船住——と打兼光門延文の比 業物 ◯ 備州長船——と打賀光一族明應比

基重 ○三人 ◯ 濃州住——と打関元重流と云應長比 ◯ 奥州住——と打建武の比 ◯ 備州長船——と打應安の比といふ

基平 ○一人 奥州舞草一派二字銘ニ打建長比

基弘 ○一人 備州長船——と打永和の比

本近 ○一人 二字銘ニ打相州元近同人と云未詳

本宗 ○一人 和州手掻一派二字銘ニ打後紀州粉川入鹿の一派ニ入といふ文保比

本信 △一人 大和守——と打坂陽○国輝門小林藤助と号後東武神田へ移住すと正徳享保比

本行 △三代 △ 高田河内守源——と打豊後藤原高田より出て紀の行平ヵ末裔といふ初め行平と打延宝年中肥前唐津へ移住し代々此地ニ住ス後東武へ下り麻布雁鳥石ニ住居し本阿弥家より本の文字を授りて本行ニ改む其頃相州鎌倉へ往来して綱廣の門ニ入鍛法を改め唐津へ帰邑す老後○豊後太郎——と打松葉本行と唱へ本の字ちかれ松葉の如く切る是も初代なり享保の首亡ん △同二代目河内守源——と打唐津ニ住すと享保元文の比 △同三代目肥前唐津住河内守源——○高田河内守源——○肥前守源朝臣——と打宝暦のま土井家ニ従て総州古河へ移住す是四代目より業を変して医師となる

本重 △一人 尾州住——と打名古屋の住傳十郎鶴重ヵ後なる銘なり貞享比

師宅 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打正應比の四郎ヵ子と云文保の比

師包 ○一人 濃州関一派二字銘ニ打法名道仙と号貞和比

師景 ○四人 ◯ 伯州岩見住——と打寛正比 業物 ◯ 備前大宮一派二字銘ニ打永徳の比 ◯ 備州長船——或ハ二字銘も有應永甲辰の比より享徳比迄の作多し師光の門なるへし大業 ◯ 備州長船——と打永正比の作多し業物

師次 ○三人 ◯ 備中国——或ハ二字銘ニ打弘長の比 ◯ 備中国住——と打延文比良業 ◯ 阿州貝府一派二字銘ニ打文明比

師宗 ○三人 ◯ 濃州——と打直井志津一派本国和州といふ延文比業物 ◯ 奥州宝寿一派二字銘ニ打建武の比 ◯ 阿州貝府一派二字銘ニ打文安の比

師實 ○[illegible] ◯ 備前兼元中廿四人の内二月番ニ[illegible]二字銘ニ打物多し ◯

○備前国ーーと号大宮一派應永比

師光 ○一人 備州長船ーーと号倫光門と云永和應永の間良業

師久 ○一人或二 ○備中青江一派二字銘ニ号弘安比 ○阿州貝府一派二字銘小号應永の比 ○薩州住ーーと号谷山波平一派永仁比と云

持行 ○一人 城州住ーーと号文禄の比

持満 ○一人 持満作と号越前敦賀住天文比

持重 ○一人 城州住ーーと号天正の比

用吉 ○一人 備前福岡一文字一派二字銘小号洛陽ニても造貞應比

用恵 △一人 奥州若林住初代国包寛永癸未の年より法名を切○用恵国包○山城大掾藤原国包老仁釋用恵とも号二字ニも切也

百國 ○一人 江州住ーーと号甘呂俊長の流也應永比

七 千 泉 仙

千手院 和州上長岡村釜口山千手院の門前ニ住すなが故ニ氏のごとく唱ふる也千手院の祖行信を始として一派の刀匠実名を銘ニ鐫ふ者も千手院或ハ和州添上郡千手院或ハ大和国千手院なとゝ斗切もの代々多く見ゆ千手院の説區々なれどもいづれ千手院と唱ふるものハ兼元中番鍛冶ニ擢で出られし千手院重弘なり故ありて濃州赤坂へ配流せられ此地ニてハ実名を隠し泉水と銘せしが其子孫門葉赤坂千手院と唱ふ泉水の訓イヅミなれバ此故を以ていづみ千手院と云ひ略してあるくハ赤坂といふこともあれなりと云ハ誤りなるべし ○和州ニ千手院と斗り号ものの應永の比まで数人ときこへたり ○濃州赤坂住ーーと号嘉禎の比 ○濃州住千手院道印と号国長の法名なるべし正應比 ○千手院道印と号濃州赤坂住長享比業物 ○千手院と斗り号文明比の作多し道印同人と云

千代鶴 ○一人 △一人 ○越州住ーー作と号越前應永比の作多し △越州住ーーー作と号天和貞享比

千代守 ○一人 加州住藤原ーーーと号永正なん比

千菊 ○一人 奥州舞草一派国平同人と云

泉水 ○一人 和州千手院重弘同人

仙心 ○一人 濃州赤坂千手院一派右衛門四郎 次郎トモ 入道して仙心と二字銘ニ号貞治の比

仙阿 ○一人 濃州関一派実名未詳康暦比といふ

ス

助 久 祐 資 佐 相 典 菅 末 季 純 住 角

助家 ○一人 備前岩名庄住ーー或ハ二字銘ニ号時代不明と云ふ又ハ永仁比なりと

助春 ○一人 △一人 ○播州住ーーと号とも切関岩といふ △摂州住ーー○源ーーと号祐春同人といふ

助友 ○三人 △一人
○獅子ーーと专平安城一派五郎三郎と号文永比
○備前国ーーと師久 一派三郎太夫……比
○或長船平ーーと专備前正中一文字一派又八延景門とも云永徳の比

△常陸国ーーと专時代不明

助俊 ○二人
○備前福岡一文字一派二字銘多し建長比
○備州長船ーー○備州長船郎左エ門尉ーー或二字銘ニ专徳治比

助利 ○一人
○

淡州住ーーと专永正比といふ
△摂州住勝左エ門尉ーーと专寛文比
△紀州住石道兵左エ門尉ーー○平安城石道源ーーと专本国紀州也延宝の比

助時 ○一人
相州山内助真一派二字銘多し嘉元の比

助近 ○四人 △一人
○来ーーと专城州来一派永亨比
○備前福岡一文字一派二字銘多し弘長比
○備中青江一派一字銘多し延文比業物
○薩州波平一派二字銘ニ专後国近と专延文の比

△武州住ーーと专本国摂州大坂ニて津田助廣門弥右エ門と号後東武ニ住と延宝比

助隣 △一人
武蔵国住藤原ーーと专本国濃州関善定家一派ニて延宝の末東武へ移住と舜の字ニ改元禄比迄の作多し業物

助包 ○三人 △一人
○備前国ーー作或二字銘ニ专福岡一文字一派又左エ門後ニ左馬允と号助則男と云大銘多し建長の比
○同二代目備前国住ーーと专弘安比小銘多し

○備州長船ーーと专文明比
△摂州住菅原ーー○上野守菅原ーーと专二代目の小林国助門村田権兵エと号土州高知ニても造後和州郡山へ移住し国武ニ改む

助手 カツ △一人
武州住藤原ーーと专寛文比

助吉 ○八人 △一人
○大和国住ーー作と专應永比
○薬王寺大友ーーと专三州住嘉吉比業物
○江州蒲生住ーーと专石堂一派文明の比
○長濱住ーーと专石

州大永比
○備前国ーー或二字銘ニ专福岡小一文字門建治比助房聟と云
○備前国住人左兵エ尉ーー或二字銘ニも专吉岡一文字一派延慶比業物
○備州長船ーーと专應永比
○波平ーーと专薩州谷山一派貞治比

△越前国ーーと专助長門寛文比

助義 ○三人 △一人
○備前国吉岡住人左兵エ尉ーー或二字銘ニも专一文字と切正應比大業
○同二代目備州吉岡住ーーとも专一文字と切建武貞和比の作多し業物
○備州長船住ーーと专文和の比
△於南紀平安城ーーと专助利一派元禄比

助良 ○二人
○濃州西郡物二字銘多しー永正大永比業物
○備州長船ーーと小銘ニ专應永比

助依 ○二人
○摂州住ーーと专時代不明
○備前国ーーと专福岡一文字一派建長比或ハ文永比

助高 ○一人 △一人
○備前ーーと专国分寺一派寛元比

△摂津住ーーと专津田助廣門助宗ゥ弟備後福山へ移住と寛文壬子の年廿二歳と云業物
△摂津住ーーと专坂陽ニ住と本国播州ニて黒田鷹鳥謎門也寛政戊午の年十二月九日受領文化乙丑の年五十三歳

助隆 ○一人 △一人
○相州住ーーと专三代目助廣門嘉吉比業物
△尾崎源五右エ門藤原ーー○尾崎長門守藤原朝臣ーーと专

助忠 ○四人
○勢州住千子ーー或二字銘ニも专天文比
○備前国ーーと专福岡一文字一派弘安比
○備州長船ーーと专貞治比
○備州長船ーーと专文明比業物

助武 ○二人
○備前国ーーと专福岡一文字一派三郎兵エと号弘長の比
○備前国住人左兵衛尉紀ーーと专嘉元比良業

助次 ○十人 △一人
○大和国ーーと专千手院一派永亨の比
○樂天寺……と专三州薬王寺一派茶天寺とも切関……出延徳比
○江州蒲生住ーーと专石堂助長

一族永正比 ○濃州西郡物二字銘多し嘉吉比業物 ○備前国吉岡住――或二字銘も有新兵エと号ス正安比 ○同二代目備前国住――と云正中比 ○備前国長船――と云延文貞治の比

○備中青江一泒二字銘多し太郎と号ス弘長比 ○備中国丹仁東庄青江――作○備中国住人――と云徳治正和比 ○薩州谷山波平一泒二字銘ヲ云建仁比と云 △越前国――と云時代不明寛文の比といふ

助繼 ○一人 備中国住――と云青江一泒時代不明

助常 ○三人 ○播州小川住二字銘ニ云紀太夫と号ス寛元比 ○備前国――と云福岡一文字一泒永仁の比 ○備中国――と云青江一泒時代不明

助經 ○一人 備州長船――と云左エ門尉と号ス建武比

助綱 ○三人 ○鎌倉山内住――或二字銘も有相州藤源次門人也鎌倉車大道住ともいふ徳治の比 ○備前国――と云福岡一文字一泒山内同人と云 ○備前国分寺一泒二字銘ヲ云弘安比

助縄 ○一人 二字銘ニ云在所時代不明国分寺同人とも云

助長 ○六人△二人 ○源――と云和州尻懸一泒應永の比 ○和州手掻一泒二字銘多し至徳比 ○薬王寺大友――と云三州也関の流文安比 ○江州――と云本国備前福岡一文字一泒助宗末流といふ貞治應安の比 ○江州蒲生住――作と云本国備前長船ゆへ一文字助宗末流の家絶るによりて此国へ来ル蒲生郡石塔寺の門前に住すと故に石塔を氏になしより以来ハ石堂石道とも称も是諸国石堂の祖也明應比業物 ○備前国分寺一泒二字銘ヲ云弘安比 △摂州住――と云国助門寛文比 △河内大掾藤原――と云越前福井住兼應の比

助永 ○四人 ○大和――と云尻懸一泒暦應比と云 ○備前国――と云福岡住太郎左エ門と号弘長比 ○備中国――と云青江一泒時代不明 ○筑州住――作と云筑後三池の末應永正長の比

助直 ○一人△一人 ○備前国――と云国分寺一泒嘉吉比 △近江国住――○近江国住――於摂州大坂作之○近江守――○近江守高木住――○津田近江守――裏銘江州高木とも云津田孫太夫と号本国江州野洲郡高木村也大坂へ出甚之丞助廣門人後聟と成延宝乙卯の年より苗氏を切と云元禄己巳年五十一歳と云良業

助宗 ○六人△九人 ○嶋田住――作或二字銘にも云駿州嶋田住五代目義助末男五条久左エ門と号ス文亀永正の比業物 ○同二代目助宗作と三字銘ニ云物多し天文永禄の間忠なん形長船風也 ○同二代目二字銘多し後信州松代移住すと云彦八と号ス天正比 ○濃州関一泒二字銘多し建武比 ○備前福岡一文字則宗の男二字銘ニ云大一文字と唱ふ兼元二年九月番ニ定られ修理亮ヲ改む別銘継俊と云と云 ○長船――作と云備前也天文永禄の間業物 △摂州住――○若狭守――と云助高の兄九兵エと号ス初代助廣門兼應寛文なん間業物 △駿州嶋田住――○豊後大掾藤原――○豊後守――と云八薬菊を切六兵エと号ス信州羽州等へも入るゝ流ハ此一門也寛永比 △播磨大掾藤原――裏銘駿州嶋田住ともいふ寛文元禄の间 △信州松本住――○善光寺住兄――○嶋田小十郎――と云八薬菊も切六兵衛助宗の男なく津田助廣門と成廣助ヲ改免後助廣と改むるとも云寛文貞享なん间 △同二代目信州住――と云嶌田仁左エ門と号ス享保比 △羽州住嶋田藤原――と云六兵衛ヵ次男弥助と号ス元禄比ニ至るといふ △出羽守――と云弥助同事坂陽ニも住すと云 △越前福井住――と云本国信州松代と云初代国

清の初名△越前福井住三代目国清の初名
元和比△二字銘多しー吉五郎と号まと

助村 ○三人

○備前国ーーと打福岡一文字一派文暦比大銘也
○備前ーーと打直宗一派国分寺住弘安比
○備州長船住人ーーと打嘉元比

助氏 ○二人

○大和国ーーと打手搔一派應安比業物
○備州長舩ーー或ハ二字銘ニ打應永比

助植 ○一人

備中国ーーと打青江一派文保建武の間大業

助則 ○五人

○備前福岡一文字一派二字銘ニ打助宗男新太郎後修理亮と号小一文字と以ハ是なり隠岐の国ニ於て番鍛冶ニ定る寛元建長比迄存在すと
○備前国吉井住ーーと打應永比
○同二代目備前国吉井住ーー或ハ二字銘ニ打後雲州へ移住すと嘉吉の比
○肥州住ーーと打菊池延寿の末明應永正の間
○波平ーーと打薩州谷山一派文和比と云

助教 ○一人

波平ーーと打薩州谷山一派永禄比と云

助順 △一人

中井ーー造と打本国城州ニて定七郎と号坂陽へ来り助隆門ニ入る享和文化比

助延 ○五人

○大和国添上郡南都住ーーと打嘉吉文安比
○泉州堺加賀四郎一派二字銘ニ打文亀比
○奥州住ーーと打時代不明
○備前福岡一文字一派二字銘ニ打兼元二年十二月番ニ定る備後守ニ任すと宗吉の妹聟と云
了○備中国ーーと打青江一派貞治の比業物

助信 ○三人 △三人

○大和国住ーーと打應永比助延同人と云
○駿州嶋田住ーーと打助宗一族弘治永禄比
○芝築地住ーーと打永亨了比在所不明
△摂州住源ーー○出羽守ーーと打中河内守国助の門小林八左エ門と号助重ら兄也寛文貞享の間業物
△阿州住ーー○藤原ーーとも打寛文の比
△播磨大掾源ーーと打在所時代不明

助國 ○四人

○城州粟田口一派二字銘多し徳治比
○来ーーと打城州末の来時代不明
○相州山内住ーーと打藤源次門建武比
○備前国分寺住人ーー作○国分寺ーー或ハ二字銘ニ打蔡氏也元徳比
○備後国安那東条住左近蔡ーーと打も同人三原ニも住すと

助安 ○二人

○備前国ーーと打相州山内ニも住すと文保比
○備後国三原住ーー○備州ーーとも打長享比

助康 ○一人

備前福岡一文字一派二字銘ニ打文永比

助正 ○四人 △一人

○備前ーーと打福岡一文字一派弘安比
○備州長舩ーーと打正中の比
○備中国ーーと打青江一派正應比
○波平ーーと打薩州谷山一派應永比
△三字銘ニ打在所時代不明
△武州ニても打元禄比とも云

助政 △二人

△常州水戸住ーーと打野中氏の臣直江新蔵と号初メ坂陽へ上り尾崎助隆門と成文化戊辰の年水心子正秀門ニ入ル
△鈴木大和守ーーと打本国淡州ニて初メ山本平馬尉と号坂陽へ出津田助直門と成鈴木久馬と改メ後帰邑すと天和享保の間

助當 ○一人

信州住ーーと打文明の比

助房 ○四人 △二人

○濃州関住ーー或ハ二字銘ニ打天正比業物
○作州住ーーと打長享比
○備前福岡一文字一派二字銘多しー藤左エ門尉と号建長比
○同二代目二字銘多しー弥左エ門と号弘安比
△平安城石堂藤原ーーと打太郎左エ門と号後東武又奥州白川ニても造る元禄享保の間
△同二代目平安城石堂ーーと打太平次と号東武ニても造る享保元文比

助是 ○一人

備前福岡一文字一派二字銘ニ打九郎二郎と号建治比

助眞 ○二人

○備前福岡一文字一派二字銘多しー藤源次と号正元中相州山内へ下り門人等各相具ふと云初メ奴真と打遠州ニても造る此所ニてもハ

関東ニ而も打山内ニて八雲藤とも打ーと云○大進坊等と争 ◯備州長船ーー ◯備中則高流二字
論有是を鎌倉の小路軍と唱ふ又長寿の説區々也未詳 ◯ど打文明比 ◯銘多く兼久比 助眞 ○五人 △一人
◯駿州嶌田住ーーと打本国備前助宗 ◯同二代目駿州嶌田住 ◯備前助眞門二字銘ニ打祖
末裔是を義助の祖と云應永比是非不知 ーーと打康正の比 州山内ニて卜造る初免則眞と
打永 ◯備前国ーーと ◯菊池住ーーと打肥 〈摂州住藤原ーーと打 助定 ○一人 △一人 ◯備前国住長船
仁比 ◯打永亨比 後延寿一派文明比 〈津田助廣門寛文比 ーーと打彦左
の門大永 〈備前国長船住ー 助里 ○二人 △一人 ◯備前国ーーと打吉岡 ◯備州長船住右馬允ーー○ 〈長門国住山
天文の間 ーーと打寛永比 一文字一派弘長比 備州長船ーーと打康正比 〈岡八郎左エ門
尉ーーと打 摂州住藤原ーーと打中河 ◯備前国ーーと打福岡一文字 ◯
慶長比と云 助清 △一人 内守国助門寛文の比 助行 ○三人 △一人 一派片山太郎太夫と号建仁比
同二代目備前国ーーと打 ◯備州長船ーー 〈於南紀平安城ーー 助光 ○八人 △一人 ◯和州奈良住新左エ門
片山五郎と号天福比 ◯と打應永比 〈作と打寛永の比 尉ーーと打嘉元の比
折左エ門と ◯駿州嶌田住ーーと ◯相州山内住ーーと打備前 ◯蒲生住ーーと打江州石 ◯越州
云八非也 ◯打輝助門大正比 ◯吉岡より来るとも云正慶比 ◯堂助長一派文亀の比 北宅小
房住ーーと打越 ◯備前吉岡住左近将監紀ーー○備州吉岡住 ◯備州長船ーー ◯備州長船ーーと
前也永正比と云 ーー或二字銘ニ打一文字も切永仁元亨の間 ◯と打永和比 打天文比業物

〈城州五条住石堂 藤原ーーと打東 ◯越中国ーーと打 ◯備前福岡一文
ーーと打寛文比 助道 △一人 武住を寛政比 助重 ○三人 △二人 則重流貞治比 字一派二字銘ニ
打永 ◯備中国ーーと打青江一 〈摂州住藤原ーー○出羽守ーーと打二字銘も有中河 〈相州小田原住ーー
仁比 ◯一派家安とも打正長比 〈内の門山本長左ニ門と号助信の弟寛文天和の間業物 ーと打時代不明
助茂 ○二人 ◯備前吉岡住左エ門尉紀ーーと打小一文字 ◯備州吉岡住ーー或二字銘ニ打 助成 ○二人
助則男初名新太郎と号を弘長の比 一文字と切次郎兵エと号貞和比
◯備前福岡一文字一派二字銘ニ打次郎太夫助重 ◯備中国ーーと打 助平 ○六人 △一人 ◯和州住ーーと打
ともに切と云承元二年十一月番ニ定られ長門守ニ任ず ◯青江一派寛正比 尻懸一派永亨比
良 ◯武州下原住ーー ◯播州小川住ーーと打 ◯備前福岡一文字一派 ◯同二代目二字 ◯波平ーーと打
業 ◯と打文禄の比 左エ門と号宝治比 二字銘多し弘安比 銘多し嘉元比 薩州谷山一派
文和 〈摂州住藤原ーーと打 助秀 ○三人 ◯後鳥羽帝承久辛巳の秋七月隠岐の国へ 遷行の後彼国ニ
比 〈東武ニても造る慶長比 ◯於ゝ 震造の御物ニハ助秀と鐫せられ鈕元ニ十六葉あん
菊を切ると云大きさ五分半 ◯備前吉岡住ーー或ハ二 ◯備中国ーーと打片山 助久 ○六人 ◯江州蒲生
中の花ニ大小有と云々 字銘も有貞治の比 一派應永比業物 住ーーと打
應永比 ◯備前福岡一文字一派二字銘ニ打 ◯同二代目二字銘多し大 ◯備州長船ーー ◯阿州貝
業物 ◯藤左エ門と号ス小銘也天福の比 銘ちは物ゝ弘長の比 ◯と打嘉慶比 府一派

二字銘ニ有 ◯薩州谷山波平一派二
長亨比 ◯字銘ニ有時代不明

助廣 ○七人 △三人

◯駿州嶋田住ーーと有 ◯相州住ーーと有吉廣门
助宗门延徳永正の間 元亨康暦の間
同二代目相州住ーーと有 ◯同三代目相州住ーーと ◯同四代目相州住ーー裏銘於上総国真里谷作之○表銘兼
延文より應永の首ニ至る ◯有永享文安の間 音裏銘彫物相州住助廣と有物有文明長享の間
業 ◯奥州住ーーと有派 ◯備中ーーと有片 △摂州住藤原ーー○大坂住ーー○越前守藤原ーーと有
物 ◯播一派と云文保比 ◯山一派永徳の比 △弥兵エと号本国播州津田の数有師ふーく坂陽へ移住し
初代国助の门と成寛永 △同二代目摂州住源ーー○万治戊戌の年受領しく○越前守ーー○越前守源ー
承應の間最上大業物 △ーー○裏銘雙の字一字切り以地鉄研作と云ゑりとも有物多し是寛文の首年追也寛文
四五年より津田の氏を切しを角津田と唱ふ楷書ニ切故なり同七丁未の年四月十日時の御城代青山
因州侯の刀匠と成十人扶持賜る延宝甲寅の年同藩士田塩吉兵エ保良なる者ニ命ありて銘の字體を
近衛流ニ書せられ助廣ニ賜ふ是より銘の體を改む俗ニ丸津田と唱ふるハ是なり摂州内出村の産ふく
坂陽の城下ニ住し津田甚之丞と号を天和壬戌の年没を于時四十六歳生涯の作凡千六百七十余刀と
云く角津田大業丸津田業物 △駿州嶋田住ーー裏銘於信州松本作之と有菊一文字と切嶋田小十郎助宗
此鉄合を考へ知るなり △の後の銘といふ津田助廣门と成師没後貞享の比ニいたり受領しく○
越後守藤原ーーニ改ゑ
名も与左エ门ニ改るしと云く

助弘 ○二人

◯和州尻掛ーーと有永徳比業物 ◯備州長船ーーと有應安比

助守 ○三人

◯駿州嶋田住ーーく

有助信门 ◯備前福岡一文字一派二 ◯長船ーーと有備前
天正比 ◯字銘多し建治の比 ◯コワリ一派貞治の比

助盛 ○四人

◯城州大宮一派二字銘多し建永比 ◯城州大宮一派

二字銘多し ◯備前大宮一派二字銘ニ有 ◯平ーーと有豊後
建永の比 ◯裏銘大宮日とも切正應の比 ◯高田一派延徳比

助林 モリ ○一人

平ーーと有備前正中一文字一派元弘まんころ

助森 ○一人

相模国ーーと有山内一派弥太郎と号吉光とも切正安比

助持 ○二人

◯播州小川住二字銘ニ有弘長比 ◯備前国ーーと有国分寺一派徳治比

助七 ○一人

茉王寺ーーと有三州也大永比と云

㸚

㸚休 ○一人

備前国ーーと有正中一文字一派建武比

㸚成 ○一人

和州十市住二字銘ニ有元暦比といふ

㸚安 ○一人

来ーーと有城州来一派元亨のころ

㸚定 ○一人

城州綾小路一派二字銘ニ有延文比

㸚光 ○一人

城州綾小路一派二字銘ニ有嘉元比

㸚重 ○二人

◯備前国住ーーと有福岡一文字一派貞應の比 ◯

備前国長船ーーと有㸚の字斗も有文永の比

㸚弘 ○一人

備前福岡住ーーと有一文字一派弘長比

㸚廣 ○一人

備前国ーーと有福岡一文字一派建治の比

㸚盛 ○一人

備前国岩名庄住ーーと有正中一文字一派建武比

㸚 一字 ○一人

備前㸚重同人

祐家 ○一人 備州長船住ーーと号彦兵エ祐定男彦三郎と号後祐定ニ改永正比

祐春 △一人 摂津住源ーー○美濃守源ーーと号花房祐国门人寺久夫と号一本小宮久左エ门延宝比

祐吉 △一人 備中庭瀬住ーーと号祐平门兼左エ门と号寛政文化の間

祐忠 △一人 備前国長船住七大夫ーーと号後岡山ニ住ス法名喜八と云宝永比

祐次 ○一人 △一人 ◯備州長船ーーと号應永比 △備前国住ーーと号寿次二男梛ダと号寛政文化の间

祐經 ○一人 備州長船ーーと号祐光门文明の比業物

祐直 ○一人 △一人 ◯備州長船住ーーと号祐定一派永禄比 △備前国住横山源五郎ーーと号祐平弟文化の比

祐宗 ○一人 備前国長船住ーーと号彦兵エ祐定门師と両作多しー永正享禄の间業物

祐信 △一人 備前国住横山七之進ーーと号上野の弟大和大掾祐定ヵ初銘也

祐國 △一人 紀伊国住ーー○紀伊住ーー○花房備前守源ーーとも号紀州石堂一派坂陽ニ移住ス助国又平作名ニも切寛文延宝比業物

祐定 ○廿人 △廿五人 ◯備州長船一派二字小銘ニ号ス物多し直刃康光ニ比ス銘子八異也明徳應永の比 ◯備前国長船住又右エ门尉藤原ーーと号應永永享比 ◯備州長船ーーと号長禄文明の间細鏨ニ切良業 ◯備前国長住彦兵エ尉ーー○備州長船ーーとも号長禄の祐定男と云明應永正の间大業 ◯同二代目備前国住長船彦兵エ尉ーー○備州長船ーーとも号初名彦三郎祐家と号大永永禄の间業物 ◯備前国長船住与三左エ门尉ーー○備前国長船住ーーとも号横山氏ゆく友成の末裔と云延徳の祐光ヵ男とも云ふ永正天文の间大業及文華美なり ◯同二代目備前国長船住源兵エ尉ーーと号鑽足揃ひ〳〵銘美也天文永禄の间業物

◯同三代目備前国長船住七郎右エ门尉ーーと号小早川家の刀匠と云元亀天正の间業物 ◯備前国長船住源兵エ尉ーーと号文亀永正比銘卑く鑽あらくなし ◯備前国長船住源兵エ尉ーーと号元亀天正比銘細ふーして締るゝ業物 ◯備前国住長船藤兵エ尉ーーと号永正の与三左の门永禄比小銘也 ◯備前国長船住与左エ门尉ーーと号永正の与三左の门享禄比銘平ふ小文字まわり能き物也良業

◯備前国長船住与三左エ门尉ーーと号永禄元亀比与三左エ门祐光の後銘と云 ◯備前国長船住ーーと号七郎右エ门の養子藤四郎と号ス実ニ三代目源兵エ衛ヵ四男と云天正慶長の间此作人と天正の祐定と唱ふ小銘で大業 ◯備前国住長船重兵エーーと号永正の与三左の门天文比 ◯備州長船住平六ーー作と号永正の与三左の门天文永禄の间 ◯備前国長船住十郎ーーと号ス永正の与三左の门弘治比

◯備前国長船住新拾郎ーーと号天正比業物 ◯作州住八郎二郎ーー作と号本国備州長船永正の与三左の门ゆく津山ニ移住ス後権左门と号天文弘治 ◯阿州池田住ーーと号本国備州長船二代目源兵エの门大西彦兵エと号天正の比

△備前国長船住七兵エ尉ーー作と号藤四郎ヵ男ゆく永正の与三左より五代の孫也延宝甲寅八月没九十八翁業物

△同六代目備前国長船住横山上野大掾藤原ーー○横山上野大掾藤原ーー裏銘備州長船住人とも切平兵エと号寛文甲辰の秋受領享保辛丑の冬没八十九翁

△同七代目大和大掾藤原ーー裏銘備前長船鍛冶正統と号物多し初名七之進祐信と切後七兵エニ改む正徳丙申の夏受領養父老成の後元禄の末より代作多くしるく銘も七兵エヵ鐫し故違へ有世ニ上野大掾二代と云ふも理りあり

△同八代目備前国住長船ーーと号忠之進と号延享乙丑の春没六十七

△同九代目横山兵エと号宝暦壬申

の年太守の命により壽光と改 △備前国長船住源左衛門尉｜｜作 △同二代目備州長船住｜｜と書源之進
明和辛卯の冬没す五十七 △と書藤四郎三男寛永寛文の間 △と号す実末弟也享保壬寅の冬没七十二
翁 △同二代目備前国長船住｜｜と書 △同四代目備州長船住｜｜と書安次郎後源八郎 △備前国長船住横山
△源八郎と号す寛保癸亥の秋没三十二 △と号す壽次に改む宝暦明和比其次八長次と切 △宗左衛門尉｜｜と書藤
四郎四男寛文比 △同二代目河内守源｜｜ 裏銘備前長船住と書菊一文字を △同三代目備前国長船住｜｜○横山
専ら造る業物 △切仁左衛門と号す元禄中受領摂州又作州津山にても造る △七郎右衛門尉｜｜ 裏銘備前国長船住と
と書享保 △同四代目備前国長船住｜｜と △同五代目備前国長船住｜｜と書同覚治と号す実弟也後薩州 △備前国
元文比 △書同源五郎と号す宝暦比 △元平門と成祐平に改む○横山氏今三家にて各祐定と書 △長船住
七郎左衛門尉｜｜と書 △備前国住長船源兵衛尉｜｜と書備州和気郡 △同二代目備前国住横山｜｜ △備州長船住｜
藤四郎が門寛永比 △天神山堺に住す相州小田原にても造る慶安比業物 △と書藤三郎と号す元禄比 裏銘｜永正九代
末葉○備前国長船住与三左衛門尉｜｜ 裏銘於難波 △備前国住長船五郎｜｜ △備州長船次郎三郎源 △備前国
作之或於摂州大坂作之とも書也寛文の比良業 △と書藤四郎門寛永の比 △｜｜と書慶長比と云 △住長船
｜｜ 裏銘以完栗鉄作之と書 △備前国長船住孫太夫｜｜作と書 △備前国住長船七左衛門尉 △備前国住長船九郎右
横山与三兵衛と号す寛文比業物 △法名常念と号す上野と両作有元禄比 △藤原｜｜と書享保比 △衛門尉｜｜作と書延
宝比 △備前国住長船三右衛門 ◯祐定の銘呼名不書物多し功者にすりて某の作といふもの紛れ多し 大業
といふ △尉｜作と書享保の比 の優劣あり同銘数人未詳その多し 唯證ある者を爰に録す

祐貞 ○一人 備州長船住｜｜と書永正の与三左衛門大永天文比

祐行 △一人 紀伊国｜｜と書祐国門森右衛門と号す坂陽にても造天和比

祐光 ○七人 ◯備州長船｜｜と書應永の年号 ◯備州長船｜｜○於摂州竹原備州長船｜｜と書物多し ◯備州長船｜｜と書利光の男と云嘉吉長禄比の年号銘多し良業 ◯備州長船六郎左衛門尉｜｜○備州長船｜｜と書友成の末裔にて与三左衛門祐定の父と云文明明應の間業物 ◯備州長船｜｜と書三代目則光門次郎左衛門と号す大永天文の間 ◯備前国長船住与三左衛門尉｜｜作と書五郎左衛門清光の弟也天文癸巳又永禄丙寅の年号切る物有業物 ◯同二代目備前国長船住新左衛門尉｜｜と書永禄元亀比 ◯備前国住長船孫兵衛尉｜｜作と書永禄天正の間

祐道 △一人 紀州住石堂｜｜と書祐国門新兵衛と号す坂陽にても造貞享比

祐重 ○一人 △二人 ◯備州長船｜｜と書文明長享比 △紀州住石堂｜｜○小寺美濃守｜｜と書祐国門喜兵衛と号す延宝元禄までの間 △備前国住長船｜｜と書源五郎祐定の実子横山喜多治と号す祐平と同居して寛政文化の間

祐平 △一人 備前国長船住伊勢守藤原｜｜と書源五郎祐定の弟にて横山覚治と号す天明八辰正月薩州元平の門と成祐平に改む寛政辛亥の年受領文化比

祐守 △一人 備前国岡山住｜｜と書壽守と男勇治と号す寛政比

祐末 ○一人 石州出羽住｜｜と書嘉吉比

祐慶 ○一人 大進法師｜｜と書相州大進坊の傳に録す

資能 ○一人 了戒｜｜と書城州相能同人

資利 ○一人 泉州加賀四郎一派二字銘にて書應永比

資公（タカ） ○一人 堺住｜｜と書泉州加賀四郎一派永享嘉吉比

資 佐 相 典 菅

資次 ○二人 ○泉州加賀四郎一派 二字銘ニ有 文安比 ○勢州千子一派二字銘ニ有 應永の比

資縄 ○一人 泉州加賀四郎一派資縄作と二字ニ有 文明比

資永 ○一人 筑州住大石藤原ーーと有 筑後 天文比

資則 ○二人 ○泉州加賀四郎一派 二字銘多ーー 文亀比 ○備中万寿庄住ーーと有 長享比

資國 ○一人 肥後国同田貫ーーと有 天正比

業物 資正 ○三人 ○和田住ーー作と有 泉州加賀四郎一派 應永比 ○勢州住ーーと有 千子一派 應永比 ○備後国尾道住ーーと有 三原一派 永正の比

資貞 ○二人 ○泉州加賀四郎一派 二字銘ニ有 天文比 ○筑州住ーーと有 筑前左の末 藝州ニても造る 長禄比

資光 ○一人 泉州加賀四郎一派 二字銘多ーー 文明比

佐之 △一人 阿州住安藝ーー造と有 坂陽へ出 尾崎助隆門と成 寛政の比

佐光 ○一人 備州長船ーーと有 光弘門 明徳の比

佐平 ○一人 大隅左エ門尉ーーと有 備中片山一派 文和比 同銘二三代有と云 共未詳

相能 スケ ○一人 了戒ーーと有 城州後ニ筑紫へ移る 資能とも有 文明の比

典光 スケ ○一人 筑後三池住ーーと有 三池の末と云 天正の比

菅次 ○一人 羽州二字銘ニ有 ○遠州ニも宮沢と有 共云 ○山内助真 此国ニも 関東又関修院なと有とも云 未詳 文永比

菅永 ○一人 和州千手院一派 二字銘ニ有 正長比 直宗同人と云

末

末友 ○一人 来ーーと有 城州来一派 明徳 應永比

末遠 ○二人 ○城州粟田口一派 二字銘ニ有 林次門 貞應比 ○肥後延寿一派 二字銘 うつ物多ーー 天文の比

末則 ○一人 和州ーーと有 當麻一派 暦應比

末明 ○一人 備前国長船ーーと有 末行の流 應長の比

末景 ○二人 ○石州出羽住ーーと有 應永比 業物 ○備州長船ーーと有 建武比

末兼 ○一人 備州長船ーーと有 末長門 元弘比

末貞 ○一人 肥前龍造寺住ーーと有 延寿の末 天正比

末吉 ○三人 △一人 ○来ーーと有 城州末行門 明徳 應永の比 ○備州長船ーーと有 建武の比 ○備中青江住ーーと有 文和の比 業物 △肥前国住ーー作と有 忠吉門 寛文の比

末祥 ○一人 石州長濱住ーーと有 天文の比 祥末と別

末次 ○四人 △一人 ○来ーーと有 城州末一派 末行門 末供太郎と号ス 永徳 應永の間 ○濃州関一派 二字銘ニ有 末行門 應仁比 業物 ○備中青江一派 二字銘ニ有 元應比 ○薩州住ーーと有 波平一派 天文比 △日州飫肥住ーーと有 河崎国平男 享保比

末繼 ○一人 石州長濱住人ーー ○長濱銘裏 末継と有 物有 長禄 文明の間

末綱 ○二人 ○甲州住ーーと有 関の流 文明比と云 ○石州長濱住ーーと有 寛正之比

末長 ○一人 備州長船住ーーと有 正應のころとりへ

末永 ○二人
○備州長船ーーと云左近五郎太郎トモと号貞治比
○備中青江一派二字銘ニテ弘安の比

末宗 ○二人
○城州粟田口一派二字銘ニテ本国和州也粟田口国清門永仁比
○備前国吉井住ーーと云至徳比といふ

末則 ○三人 △一人
○備前福岡一文字一派二字銘ニテ安則門嘉禎比
○備州長船ーー○備前国吉井住ーーと云貞治の比
○肥州志保田ーーと云肥前散位一派文明比業物
△備前守ーーと云元禄此在所不明皆焼刃

末國 ○二人
○和州住ーーと云城州ニても造る明徳比業物
○備中住ーーと云青江一派の末康正の比

末正 ○一人
城州粟田口一派二字銘ニテ久国門後備前ニ住と建長比

末貞 ○四人
○石州住ーーと云長濱住嘉吉の比
○備州長船ーーと云永享比
○豊前国住了戒ーーと云文明比
○肥前塚崎住ーーと云散位一派應永の比

末定 ○一人
石州住ーーと云長濱住延徳比

と云

末真 ○一人
備中万寿庄住ーーと云永享比

末行 ○八人 △一人
○城州綾小路一派二字銘ニテ久定門徳治の比
○来ーーと云城州来秀次門本国和州重兼二男と云文和比より来国行と云
○和州當麻一派二字銘ニテ應永の比
○同二代目大和国ーーと云長禄の比
○濃州関一派二字銘ニテ兼行流應永比
○同二代目二字銘ニテ文明比
○備州長船ーーと云明徳應永比○弘長比同銘有と云未詳
○備中国ーーと云青江一派建武の比
△豊州高田住藤原ーーと云寛永比といふ

末光 ○五人
○濃州住ーーと云関一派文安比業物
○石州出羽住ーーと云観應の比
○備州長船ーーと云永享の比
○備中青江一派二字銘ニテ正中比
○隅州住ーーと云永禄比といふ

末秀 ○四人
○備州長船ーーと云永享の比
○了戒ーーと云豊後了戒一派豊前ニても造る明徳の比
○肥前諫早住ーー○肥州住ーー或ハ末秀作と三字ニても云散位一派康正文明の間業物
○肥州住ーーと云菊池延寿一派貞治の比

末人 ○四人
○石州住ーーと云長濱住天文比
○備州長船ーーと云守景門永和應永の間良業
○肥前国ーーと云散位一派應永比
○薩州住ーーと云時代不明

末平 ○二人
○備前国長船ーーと云正應比といふ
○筑前鐘崎住ーーと云大永比といふ業物

末弘 ○一人
備州長船ーーと云明徳應永の比

末廣 △一人
物部ーーと云蜷川氏慰作水心子正秀門寛政文化ゟの間

末守 ○二人
○備前国吉井住ーーと云應永比と云
○豊後高田一派二字銘ニテ正中比業物

末盛 ○二人
○筑前二字銘ニテ延元比○奥州宝寿筑紫ニても隠銘といへとも時代不明
○平ーーと云豊後高田一派弘治比

季

季安 ○一人
波平ーーと云薩州谷山一派明徳の比

季實 △一人
薩州住ーーと云元平門中馬十郎と号文化比

純貞○一人 波平ーーと打薩州天文比ヒカキ尸

純清△一人 波平ーーと打薩州有馬氏時代不明

住安○一人 薩州波平一派二字銘を打時代不明

角國○一人 播州住ーーと打小川住安頼流正應比本国和州といふ

混雜

伏鬼○ 城州来太郎ーの隠銘なり

闘修○ 遠州あるく山内助真の銘と云○関東○菅次○菅次院○南仲○伊平○源二大夫なとも打も皆同人と云或ハ奥州鍛冶とも云未詳

塞全○ 遠州建武の比本国奥州といふ

閑峯○ 奥州舞草一派應永の比といふ

玉有○ 奥州舞草九一派建武比

君萬歳○ 三字銘を打相州大進坊同人と云

慣重○ 石州長濱住ーーと打文明比

西京○ 大和国ーーと打有俊同人

生玉○ 筑前三笠郡宰府山内住ーーくく造ると云大石左一派康正○生郷○聖道成佛とも打といふ

生佛○ 奥州宝寿同人○越前府中住ーー○筑前ーーと打 生玉同人二字銘にも打物有

見佛○ 阿州宮井住ーーと打

刀直○ 大和

亜風○ 遠州

晃次○ 備後鍛冶と云或ハ親次の銘腐くちたるものとも云

京西○ 備後国三原西作と打一乘三原の末天正の比といふ

玉○ 江州勢田六郎同人といふ

額○ 藤原ーーと打在所不明永正比とも

敬暦△ 伊賀国住受神勅狐鍛冶ーー作と打

牡丹△ 丹後田辺住ーーと打濃州大道と两作有

羊宗△ 岩切小市郎ーーと打薩州といふ

代包 △ 武蔵国ーーと有時代不明

震 △ 震作之と有寛文九年の年号有九峯老人の説是也

壺 △ 壺作と有慶長の年号を

切末の千代雀の如し

古今鍛冶備考巻之四畢

銘寄止